SHITENNOJI UNIVERSITY 2026

令和8年度入学生

履修要覧

四天王寺大学
Shitennoji University

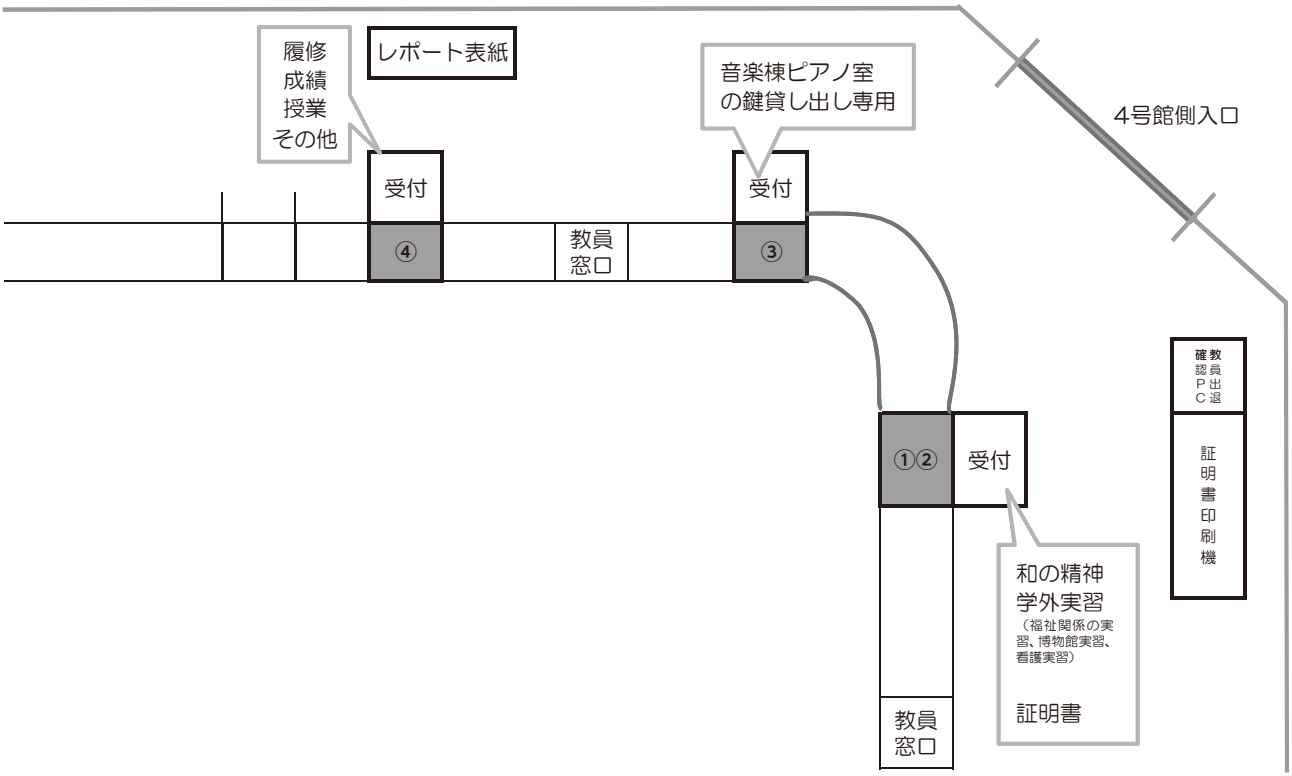
教務課受付対応窓口について

教務課窓口受付について

教務課受付時間：9：00～17：30
（月曜日～土曜日 祝日除く）

受付時間外の問い合わせには対応できません。
※11：35～12：25は当番者のみでの対応になります。

教務課へ用件がある場合は、担当受付窓口で問い合わせてください。
受付窓口以外では対応できませんので、順番に並んでください。



[教職教育推進センター]（４号館地下１階）

受付内容

① 学外実習（教育実習、介護等体験、臨床実習、保育実習等）
② 教員採用試験及び対策講座等に関すること。
③ 学校インターンシップ、学校ボランティア等に関すること。

よくある質問

卒業や教員免許に必要な単位、科目がわからない場合は、履修要覧の以下のページで調べてください。

卒業するには何単位必要？ ……P.34・35
→各学部・学科（専攻）を卒業するには何単位必要かが書いてあります。

他学部・他学科の科目を履修することができる？ ……P.37
→他学部・他学科の科目を履修する場合の条件や単位認定等について書いてあります。

卒業に必要な科目は？
→各学科で卒業に必要な科目が書いてあります。必修・選択必修・選択科目があります。

重要！！
卒業には科目群ごとに決められた単位数を修得する必要があります。

- 教養教育科目→（学科により必要単位が異なります）……P.68
- 専門教育科目→
  - 日本学科……P.76 ～
  - 国際コミュニケーション学科……P.84 ～
  - 社会学科……P.93 ～
  - 人間福祉学科……P.103 ～
  - 教育学科　学校教育コース……P.116 ～
  - 教育学科　幼児教育保育コース……P.129 ～
  - 経営学科　公共経営専攻……P.138 ～
  - 経営学科　企業経営専攻……P.144 ～
  - 看護学科……P.153 ～

取得可能な教員免許・資格は？ ……P.170
→取得可能な教員免許・資格一覧を確認してください。

教員免許・資格に必要な科目は？
→各教員免許・資格の種類により、必要な科目が書いてあります。履修登録前に必ず自分の希望する教員免許・資格に必要な科目を調べてください。

文学部・社会学部・看護学部	教職に関する科目	P.162、163
文学部・社会学部・教育学部	学校図書館司書教諭に関する科目	P.164、241
日本学科	教員免許（国語）中・高	P.172 ～、178 ～
日本学科	教員免許（書道）高	P.172 ～、180 ～
国際コミュニケーション学科	教員免許（英語）中・高	P.172 ～、182 ～
社会学科	教員免許（社会）中	P.172 ～、184 ～
社会学科	教員免許（地歴）高	P.172 ～、186 ～
社会学科	教員免許（公民）高	P.172 ～、188 ～
人間福祉学科	教員免許（公民）高	P.172 ～、190 ～
人間福祉学科	教員免許（福祉）高	P.172 ～、192 ～
教育学科	学校教育コースで取得できる教育職員免許状の課程	P.194
教育学科	幼児教育保育コースで取得できる教育職員免許状の課程	P.217
教育学科	幼児教育保育コース　保育士	P.230
看護学科	教員免許（養護）	P.224 ～、227 ～
人間福祉学科	社会福祉士国家試験受験資格	P.235
人間福祉学科	精神保健福祉士国家試験受験資格	P.238
全学科	社会福祉主事任用資格	P.242
文学部	日本語教員養成プログラム	P.244
文学部・社会学部・経営学部	地域共創プログラム	P.254
社会学科	博物館学芸員	P.245
文学部・社会学部・教育学部	児童指導員任用資格	P.246
社会学科	社会調査士	P.247
社会学科	認定心理士	P.248
人間福祉学科	身体障害者福祉司任用資格	P.249
人間福祉学科	知的障害者福祉司任用資格	P.249
人間福祉学科	公認初級パラスポーツ指導員	P.250
人間福祉学科	児童福祉司任用資格	P.250
看護学科	看護師国家試験受験資格	P.251
看護学科	保健師国家試験受験資格	P.252
看護学科	助産師国家試験受験資格	P.253

行事等

学生は本学の行事等に参加しなければなりません。行事等に参加する時には、本学のスーツ着用基準に沿った服装を端正に着用し学生証と念珠、『聖典聖歌集』を携行しなければなりません。

・教養教育科目「和の精神」の授業規律について

礼儀を正して静穏な環境で自らを省み、自他を尊重し、思慮深い安定した人格を養うことが「和の精神」の授業の目的です。**授業規律については履修要覧に記載しています。**

○必ず参加しなければならない行事等

授戒会

入学時の学生全員に対して行う。四天王寺管長が戒師となって戒を授け、戒を受ける者は戒を受けてこれを守ることを誓う。それは善行の誓いであり、人としてよりよい生き方を求めようとする誓いである。

礼拝（本学大講堂にて実施）

礼拝とは、1 年次生に対して、毎週木曜日 2 時限目に夏学期「和の精神Ⅰ」、冬学期「和の精神Ⅱ」の授業で行うものであり、「和の精神Ⅰ」では献灯に始まり、読経、止観（瞑想）、聞法（学習）、聖歌斉唱を行う。「和の精神Ⅱ」では止観に続いて写経を行い聞法に代える。

○自由参加の行事（四天王寺本坊で行われる行事）

釈尊降誕会	4 月 8 日	お釈迦様のお生まれになった日に行われる法要（花まつり）
釈尊成道会	12 月 8 日	お釈迦様が悟りを開かれ、仏陀になられた日に行われる法要
釈尊涅槃会	2 月 15 日	お釈迦様が入滅された日に行われる法要
聖徳太子御聖忌	2 月 22 日	聖徳太子の祥月命日に行われる法要（祥月：故人が亡くなってから何年目かにめぐって来た当月当日）
聖徳太子讃仰会	毎月 22 日	聖徳太子の月命日に行われる太子讃仰の法要

○自由参加の行事（四天王寺大学の学内で行われる行事）

聖徳太子讃仰座禅会	毎月 1 回	聖徳太子の月命日前後の木曜日に行う座禅会。

は じ め に

この『履修要覧』には、四天王寺大学で学生生活を送る皆さんが、本学での学修を行うにあたって必要な知識と知っておかなければならない事柄や規則について、詳しい説明がなされていますので大いに活用してください。

一人ひとりの夢や希望が異なるように、皆さんの学修の目標や関心もそれぞれ異なっています。自分が設定した目標に向かってどのように授業を組み立てていくのか、この『履修要覧』を熟読し、その内容を十分に理解し、学修計画をしっかり立ててください。その積み重ねが、有意義な学生生活を送るために必要不可欠なことです。ここに記載されている事項についての疑問や不明な点があれば、必ず自分で直接教務課に来て確認するようにしてください。また、この『履修要覧』は、皆さんが卒業するまで使用しますので大切に保管し、必要に応じてすぐに見ることができるように、常に身近に置くようにするとよいでしょう。

皆さんの眼前に広がっている学問の大海原において、コンパス（羅針盤）の役割を果たすのが『履修要覧』です。この『履修要覧』を活用し、大いなる希望を胸に抱いて学問の航海に旅立ってください。
Bon voyage !

目　次

よくある質問……1
はじめに……3

教育理念　7

本学の教育方針……8
教員養成の目標及び達成するための計画……12

事務手続き　17

学籍番号と各学部・学科等の略称……18
UNIPASS……19
大学からの連絡と教務課への問い合わせ……20
教員との連絡方法……21
休講……22
補講……23
ピアノ室の利用……23

授業・履修　25

学位……26
単位のしくみ……27
セメスター制について……28
授業……28
シラバス（授業計画）……32
卒業に必要な単位……35
履修……36
履修単位上限……38
卒業研究……39
課題研究……41
単位認定……42
転学部・転学科・転コースについて……45

試験・成績 47

成績評価の方法……48
定期試験……48
追試験……50
再試験……52
成績と GPA……53

教育課程（授業科目一覧・単位数など） 57

授業科目編成表の見方……58
ナンバリングコードの表示と見方……59
履修系統図について……60
教養教育科目……61
キャリア教育について……63
情報教育について（全学共通）……64
専門教育科目について……72
教職に関する科目（文学部・社会学部・看護学部）……162
司書教諭の講習に関する科目……164
重ねて履修できない科目一覧表……165

各種免許・資格 167

諸規程 257

教育理念

- 本学の教育方針
- 教員養成の目標及び達成するための計画

本学の教育方針

●「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

「和の精神」を持ち、実社会で活躍できる人間形成

本学は、大学生活全体を通して、「和の精神」を持ち、実社会で活躍できる人間形成を図ります。

このような人間形成を目指す本学のディプロマ・ポリシーは次のとおりです。

自己分析・自己研鑽の力

○自らの理念や行動を相対化し、省察することができる。

○自己を高めるために生涯にわたり、学び続けることができる。

豊かな人間性 ～慈愛の心・利他の精神～

○多様な立場、考え方の存在を認める（受容する）ことができる。

○他者に対して思いやりを持ち、寛容な態度で接することができる。

○他者の喜びや躓きを自己のものとして共感することができる。

社会（組織）で活躍できる力 ～専門性を基礎として～

○社会（組織）の現状について認識できる。

○社会（組織）の一員としての自己を理解できる。

○社会（組織）に貢献する強い意欲を持ち、行動することができる。

○組織の新たな課題解決や改革に仲間とともに取り組み、実現することができる。

●「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる「『和の精神』を持ち、実社会で活躍できる人間」の育成を目的として、学部共通に教養教育科目を、そして、各学科において専門教育科目を体系的に編成する。

〈教育課程の編成、教育内容〉

【教養教育科目】

「教養教育科目」の中で「和の精神Ⅰ」、「和の精神Ⅱ」、「仏教概説」、「現代社会と人権」は、慈愛の心と利他の精神をもつ豊かな人間性を育てる基礎を形成することを目的とする。この４科目は、大学での学修や現代社会で求められる総合的な知識・技能を修得する他の「教養教育科目」、そして各学部・学科における専門分野を修得する「専門教育科目」を学ぶ前提となる科目である。

まず、「和の精神Ⅰ」では瞑想、「和の精神Ⅱ」では写経と瞑想という実践行を行い、仏教に関する知識と考え方を学び、思慮のある安定した人格の形成を図る。

「仏教概説」では「和の精神Ⅰ」、「和の精神Ⅱ」の意義をより深く理解し、仏教に関する基礎的な知識を学び、仏教的な情操を体得する。

「現代社会と人権」では、人間存在のかけがえのなさを知り、現代社会における多様な人々との共生の重要さを学ぶ。

「教養教育科目」は、学問の対象や性格によって、「こころと思想」、「学びの基礎」、「社会と文化」、「情報と自然科学」、「健康と福祉」、「言語」、「キャリア教育」の 7 つの科目群に分類される。

○「こころと思想」は、建学の精神である聖徳太子の仏教精神を深めるとともに、心の問題や思想について学び、自らの生き方を振り返る一助とする。

○「学びの基礎」は、大学での学修に必要なスキルを育成するとともに、専門的な学びへのスムーズな移行を図る。

○「社会と文化」は、法や政治という社会システム等について学ぶことで、社会の一員としての意識を高める。

○「情報と自然科学」は ICT 活用能力等を高めるとともに、自然科学の観点から生命や社会について考える素地を養成する。

○「健康と福祉」は、心身の健康に対する意識を高めるとともに利他の精神に基づく福祉の考えを学ぶ。

○「言語」は、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「コリア語」、「日本手話」等で構成され、各言語でのコミュニケーション技能や、異文化理解や多文化共生等のグローバル社会に対応できる資質・能力を養成する。

○「キャリア教育」は、入学から卒業までを見通したキャリアデザインを構想するとともに、卒業後の社会生活を視野に入れて、キャリア意識や社会人に必要な幅広い知識・技能を身につける。

【専門教育科目】

「専門教育科目」は、各学科における学識を深め、専門性を高めるとともに、これを通して、社会（組織）で活躍できる力の修得を目指す。

具体的には、各学科のカリキュラム・ポリシーで定める。

〈教育方法〉

探究型学修やアクティブ・ラーニング、ICT 等を積極的に取り入れた授業を実施する。単なる知識・技能の修得に終わることなく、主体的に授業に参加して自己内対話を深めるとともに、共に対話する中で、学びの共有化と深化を目指す。

授業は、対面授業を中心に実施するが、科目の特性や内容、カリキュラム上の必要性等に応じて遠隔授業を実施し、多様な学びのニーズに応える。

〈学修成果の評価方法〉

学修成果の評価にあたっては、学修内容の修得としての「学び」と「『和の精神』を持ち、実社会で活躍できる人間」への「育ち」という 2 つの観点から行う。4 年間で何が身についたかを可視化し、大学での学びと育ちを自他ともに実感できるものとする。

●「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針を踏まえ、求める能力やその評価方法を学力の３要素等と関連付けて明示し、多面的・総合的に評価します。具体的には、次のような人物を求めています。

⑴　豊かな人間性（慈愛の心・利他の精神）を身につけ、本学で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つことができること　〔求める要素：関心・意欲・態度〕

⑵　本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、思考を深めて他者に表現できること　〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力、表現力〕

⑶　多様な文化・価値観を理解し、自ら課題に対して仲間とともに積極的に取り組み、自己研鑽に努めることができること　〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●教育研究上の目的

〈文学部〉

文学部は、建学の精神に基づき、人文学に対する知識や理解を深め、言語及びメディアによる確かな表現力・コミュニケーション力を身につけ、専門分野における課題を発見し、知見を応用して問題を解決する能力を培うことを目的とする。

【日本学科】

日本学科は、日本の言語・文化についての知識と教養、言語及びメディアによるコミュニケーション力を備え、主体的に課題を発見し解決する意欲を有し、多様な価値観に基づく調和的で豊かな人間性を育むことを目的とする。

【国際コミュニケーション学科】

国際コミュニケーション学科は、英語や英語圏の文化、中国語やアジア文化などを目的に応じて学び、言語及びメディアによって表現しながら、観光等の場面で異文化の人々と交流することで、実践的なコミュニケーション力や情報発信力、問題解決力を育むとともに、異文化を受容し他者を思いやる心を身につけることを目的とする。

〈社会学部〉

社会学部は、世界が複雑・不確実な形で変容する中、人間と社会、文化に関わる様々な分野の動向と課題を捉えうる専門知識と知見を身につけるとともに、その人間的基礎としての社会貢献への高い使命感と他者理解の精神の養成を目的とする。そのために常に社会的関心を持って新たな課題を発見し、問題解決の道筋を探究し多様な他者と協働する力を鍛える中で、生涯を通じて学ぶ態度の育成に留意することとする。

【社会学科】

社会学科は、社会や人間について、時間と空間、マクロとミクロの視点を組み合わせながら多面的かつ客観的に捉えつつ、人々や社会の将来のあり方を見据えながら、発生しうる様々な課題を発見し、その解決に取り組める人材の育成を目的とする。

【人間福祉学科】

人間福祉学科は、人を思いやる心を持ち、人とのつながりを大切にしながら、福祉専門職の価値や倫理及び社会福祉的な対象理解能力や問題解決能力、さらには社会福祉の相談援助の知識・技術を身につけた人材の育成を目的とする。

〈教育学部〉

教育学部教育学科は、建学の精神に基づき、乳幼児・児童・生徒の学びと育ちを支援するため、子どもをとりまく現代的課題に対して、多様な他者と協働し、幅広い視野と専門的知識・技能をもって取り組むことができる教員を養成するとともに、常に社会的関心を持って主体的に問題解決の道筋を探究し、生涯を通じて学び続ける態度を有する人材の養成を目的とする。

〈経営学部〉

経営学部経営学科は、企業や行政機関などの組織活動に必要な経営の専門知識と実践能力を身につけるとともに、高い使命感と倫理観を涵養し、広く社会に貢献できる人材の養成を目的とし、次の 2 専攻を設ける。公共経営専攻は、行政機関を中心に、公共サービスを担う多様な組織の経営活動に必要な専門知識と論理的思考能力を修得し、地域社会の要請に応え、主体的に課題発見・解決に取り組める人材の養成を目的とする。企業経営専攻は、多様な経営領域の専門知識を修得し、企業や地域社会と連携した実践的活動を通じて、グローバルからローカルまで幅広い舞台で新たな課題の発見・解決に貢献しうる人材の養成を目的とする。

〈看護学部〉

看護学部看護学科は、人間の生命と尊厳の尊重及び権利の擁護といった高い倫理観を基盤に、あらゆる健康レベルの個人、家族、集団、地域の顕在的、潜在的な健康課題を解決するために必要な人間力、専門的知識・技能・態度を修得し、自律的、創造的に看護を実践できる看護人材の育成を目的とする。また、これからの少子高齢社会の動向を見据え、地域におけるケアの重要性を認識して、人々が住み慣れた場所で安心して療養を継続でき、幸せに生きていくことができる社会の実現に貢献できる人材育成をめざす。

教員養成の目標及び達成するための計画

●教員養成の目標

本学は聖徳太子が敬田院を設立された精神、すなわち宗教的情操教育によって人格の陶冶を図り、広範にして深い知識と高い技術・技能を教授することによって人格の形成に資することを目的として、設置以来社会に有為な人材の育成に努めている。従って、教員養成に対する理念は、この建学の精神に基づいて、地域社会の学術・教育・文化・福祉などの振興と発展に寄与することである。

今後ますます求められる国際社会における基本的資質能力と国際感覚を養い、近年の急激に変化発展する社会に適応する知識と技術力を修得し、教員として直面する新たな事態に対処できる能力ある教員養成をめざす。

●目標を達成するための計画

それぞれの免許状とも、まず本学の建学の精神である宗教的情操教育と人権に関する教育を行い、人格の陶冶を図る「教養教育科目（こころと思想）」の履修が必要となる。この履修により、子どもたちの生命と心を護り、愛情をもって教育できる人間性豊かな教員の育成をめざしている。

第二に、「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習」などの「教養教育科目」の履修により、教員として必要となる科学的な観察力と判断力、国際的な感覚を身につける。子どもや保護者から信頼され、教養豊かな教員の育成がめざされる。

第三に、各免許状の取得に必要な「専門教育科目」において高度な学識と豊かな知識を養うことを目的とした多くの科目を配している。このうち、「教職に関する科目」では、免許状の種類により「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」で教育の原点を学び、教員の役割を理解する。加えて、「生徒指導論」などにより幼児・児童・生徒への心のケアや指導方法、「各教科教育法」により高い教材研究能力をそれぞれ身につけることをめざしている。「教科に関する科目」では、専門的な知識や技能を身につけることをめざしている。

〈教育学部教育学科〉

【小学校教諭一種免許状】

社会の急激な変化の中で、子どもを取り巻く多様な現代的課題に幅広い視野をもって対峙し、児童・生徒一人ひとりに適した学びと協働的な学びの在り方を考え、「いい先生」とは何かを追求し続けられる小学校教員の養成をめざしている。そのために、各セメスターにおいて地域社会や学校等での協働の力を高める科目を履修し、多様な子ども理解やケアの在り方を学び深めることを求める。そして、大学での学びと継続的な教育現場での経験を連動させながら、小学校教員としての豊かな人間性と深い専門性、省察と研鑽に支えられた実践力を身につける必要がある。また、学びの過程において、活動や実践を振り返り、社会や自らの課題に気づき、それらに向き合う姿勢も求められる。

【特別支援学校教諭一種免許状】

少子化により義務教育段階の児童生徒数が減少する一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数は増加を続け、特別支援学校在籍児童生徒数は直近 10 年で 1.2 倍に増えている。特別支援学校では、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、視覚障がい、聴覚障がい等の障がい者、複数の障がいを合わせ有する重複障がい者のほか、近年では自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症等を併存する軽度知的障がい者も増加し、在籍児童生徒の障がいの種類・程度は多様化している。他方、特別支援学校教諭免許状を保有する教員が不足している。本選修では、大学での学びと特別支援学校での学びを関連付けながら、各種障がいについての理解と共に、障がいのある子どもたちが抱える困難について理解し、一人ひとりのニーズに応える適切な支援と指導ができる教員の養成をめざす。

【幼稚園教諭一種免許状】

急速な少子化が進み、家庭・地域を取り巻く状況の変化による幼児の体験不足が一層懸念されている。また、幼稚園やこども園など多様な幼児施設への対応、気になる子どもや多文化の共生を視野に含め、幼児期の特性を踏まえた教育の充実、小学校以降の学びへの接続など、質の高い幼児教育を推進する力が求められる。

保育の本質である『遊びからの学び』『環境を通して行う教育』を実践する専門的知識を有し、豊かな人間性をもった幼稚園教員の育成をめざしている。

「幼児理解（教育相談を含む）」や「幼児教育課程総論」、健康、人間関係、環境、言葉、表現の各領域の「保育内容の理論と方法」等の科目の履修を通して、教育・保育現場で求められている様々なニーズに応えることができる高い専門性と実践力を身に付けることをめざしている。

【中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）】

変化の激しいグローバル社会において、自ら問いをたてて探究し、学び続ける教員が求められる。小中連携の英語教育や中学校・高等学校における英語教育を担当するために、豊かな人間性と英語力、及び授業実践力を備え、学校現場でリーダー的役割を果たせる教員の養成を目指している。そのため、「英語音声学」「英語学特論」や「中等英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」において、模擬授業等の演習方式で、英語の仕組みや英語教授法を学ぶ。そして、「ベーシックコミュニケーション」「アドバンストコミュニケーション」の履修により英語によるコミュニケーション能力やアカデミックライティングの力を高める。さらに「Cross-cultural Communication」「Academic Presentation」では、異文化間理解・多文化共生について議論し、協働的課題解決ができる英語教諭としての高い能力を身につける。

【中学校・高等学校教諭一種免許状（数学）】

AI 化やその他絶え間ない技術革新等により急速に変化する社会の中で、数学は現代社会を読み解くために不可欠な基盤となっている。教育においても、数学的に考え課題解決する力の育成、科学を記述する言語としての数学の理解がますます重要性を増している。このような中、小学校から大学初年級までの数学教育について一貫した視点を持ち、多様な子どもの違いを生かした数学的活動や授業を通して、算数・数学を学ぶ意義や有用性を子どもたちに広く深く実感させることができる教員の養成をめざしている。

「代数学」「幾何学」「解析学」「確率・統計学」などの科目により教科内容についての理解を深め、「中等数学科教育法」において教育方法の理論と実践を学ぶ。加えて、子どもの算数・数学概念の獲得のしかたを理解し、子どもの発想や疑問、想いも大切にできるようにするための「子どもの発達と算数・数学」、数学が実社会で果たす役割を理解し、課題解決する力を身につけるための「数学的リテラシー」などの科目により、数学教諭としての高い能力と実践力を身につけることをめざしている。

【中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）】

社会情勢の変化に伴い学習方法の多様化や、児童生徒の個性化・多様化が進み、教育環境も大きく変化してきた。教育の様々な課題を主体的に捉え、対処するための科学的な知見を養うことが重要である。理科選修では、科学の幅広い知識を身につけ、学校現場や社会で活躍する使命感と下記のような実践的能力を備えた教員の養成をめざしている。そのためには、身の回りの自然の不思議さ・科学技術のすばらしさに触れ、科学の楽しさ・面白さを知り、児童生徒に「科学の大切さ」を伝えるための専門性を身につけることが必要である。

1. 小学校にて理科の専門性を発揮できる教員
2. 持続可能な開発目標（SDGs）の教育諸問題に対応できる学び続ける教員
3. 小学校をはじめとして、中学校・高等学校での探究的な学習を推進する教員

【養護教諭一種免許状】

養護教諭は、児童生徒の健康管理、健康相談、保健教育などの学校保健活動を行う専門家である。近年、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、児童生徒の健康問題が深刻かつ複雑化し、心身の成長・発達への課題も多岐にわたっている。また医療的ケアが必要な児童生徒数、発達障害・学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒数は増加しており、これらの児童が抱えている心身の問題や親子関係・友人関係等の解決にむけて、保健医療福祉の関係機関との連携・協働が求められている。教育学部教育学科では、児童生徒一人一人を見つめ、小さな変化を感じ取り SOS に気づける力、校内外をつなぐコーディネーターの役割を担える力、児童生徒の命と未来を護る力を有する養護教諭の養成をめざしている。

〈文学部日本学科〉

【中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）】

「読む・書く・聞く・話す」という「国語」の 4 技能にわたる高いコミュニケーション能力を有し、自己と他者の間の相互理解を実現することができる教員、日本文化全般にわたる幅広い知識に基づき「国語」の教育を行うことができる教員の養成をめざしている。

「日本語学」「日本語文法」「講読（日本語学）」などの科目により日本語学を学び、「日本文学論」「日本文学史」「古典Ⅰ（日本）」「古典Ⅱ（中国）」などの科目により日本文化全般にわたる文学的知識を学ぶこととなる。そして、「国語教材研究論」などの科目により教育技術・教材研究の能力を高めることとなる。

【高等学校教諭一種免許状（書道）】

高い実技能力と実技指導能力を持ち、書道史・書論・鑑賞法について総合的な知識を身につけた教員の養成をめざしている。

「書道史」「書論・鑑賞」「日本文学論」「日本文学史」「古典Ⅰ（日本）」「古典Ⅱ（中国）」などの科目により日本文学・日本語学・日本史・日本文化についてバランスよく習得し、書写を含む「書道」の科目を重点的に学ぶことで実技力と実技指導能力を高めていくこととなる。

〈文学部国際コミュニケーション学科〉

【中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）】

高度な英語教育の専門的理論を学び、英語文化・語学の研究だけでなく、人間としての総合的な判断能力を培い、国際社会に役立つバランス能力を備えた教員の育成をめざしている。

英語のコミュニケーション能力を高めるために、「ベーシックコミュニケーション」「Oral Communica-

tion」「アドバンストコミュニケーション」「Academic Communication」などの履修をすることになる。また、「英語学概説」「英語学」「英語音声学」「英文法」などの科目を通じて、英語学の知識を身につけ、「英語文学概説」「Reading（Literature）」などの科目を通じて、英語文学の知識を身につけることになる。加えて、「英語圏文化概説」「Reading（Culture）」などの科目を通じて、異文化についての理解も深めていくことをめざしている。

〈社会学部社会学科〉

【中学校教諭一種免許状（社会）】

中学校社会科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが求められる。日本と外国の地理や歴史、現代社会の様々な制度や仕組みについて理解する授業や、様々な社会的事象に関心を持ち、それらを多面的・多角的に考察する授業を設計し、実践できる教員の養成をめざしている。

「日本史」「西洋史」「アジア史」「中国史」をバランスよく履修することで、日本と外国の歴史を関係づけて学ぶ。また、「人文地理学」「自然地理学」「地誌」の科目を履修することで、地理学について学ぶ。そして、「法学」「社会学理論」「経済学」「哲学概論」「ジェンダー論」「社会調査法」などの科目を履修することで、社会の中の幅広い対象について学ぶ。これらの科目で学んだことをベースにして、「社会教科教育法」などの科目により、教材研究の能力を高めることをめざしている。

【高等学校教諭一種免許状（地理歴史）】

高等学校地理歴史科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することが求められる。現代社会を取り巻く様々な問題に対して、地理的・歴史的な見方・考え方に基づいて多面的・多角的に考察する授業を設計し、実践できる教員の養成をめざしている。

「日本史」「西洋史」「アジア史」「中国史」などの科目を履修することで、各国の成り立ちや過去の様々な状況における人々の多様な営みと思惟について学ぶ。また、「人文地理学」「自然地理学」「地誌」などの科目を履修することで、日本をはじめとする世界各地の人々の暮らしや自然環境について学ぶ。これらの科目で学んだことをベースにして、「地理歴史教科教育法」などの科目により、教材研究の能力を高めることをめざしている。

【高等学校教諭一種免許状（公民）】

高等学校公民科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民、特に主権者としての資質・能力を育成することが求められる。現代社会を取り巻く様々な問題に対して、国際的な視野を持って多面的・多角的に考察し、公正に判断し、より良い社会を構想する授業や、人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める授業を設計し、実践できる教員の養成をめざしている。

「法学」「社会学理論」「経済学」「社会心理学」「哲学概論」「ジェンダー論」「産業社会学」「家族社会学」などの科目を履修することで、幅広く現代社会について学ぶ。これらの科目で学んだことをベースにして、「公民教科教育法」などの科目により、教材研究の能力を高めることをめざしている。

〈社会学部人間福祉学科〉

【高等学校教諭一種免許状（公民）】

高齢化社会を迎え、福祉への関心やニーズが高まるなか、社会では知識や技術に加え、一人ひとりの気持ちに寄り添った対応ができる能力が求められる。このような能力を持ち、倫理、文化、政治、経済などの観点から思考できる教員の養成をめざしている。

「法学」「政治学」「社会学と社会システム」「経済学入門」「心理学と心理的支援」などの様々な科目の履修により、多様な観点を身につけ、「地域福祉と包括的支援体制」、「社会保障」、「貧困に対する支援」などの関連科目により福祉に関する知識や技術を身につけることをめざす。そして「臨床心理学」「カウンセリング理論」などの科目の履修により心の面についても学ぶこととなる。

【高等学校教諭一種免許状（福祉）】

日本社会が福祉社会であるためには、社会福祉が国民のものでなければならない。そのためには、国民が社会福祉を理解し、日本全国に福祉風土を醸成する必要がある。そして、現在では福祉ニーズが拡大・多様化・高度化している。これらに対応できる総合的な社会福祉の実現に向けた幅広い知識、及び主体的に考え、公正に判断でき、実践できる力を備えた指導力のある教員の養成をめざしている。

「社会福祉の原理と政策」、「社会保障」などの科目により社会福祉学を、「高齢者福祉」、「児童・家庭福祉」、「障害者福祉」などの関連科目により高齢者・児童・障害者の福祉について学ぶこととなる。また、「ソーシャルワークの理論と方法」、「ソーシャルワーク演習」、「介護福祉」、「介護演習」、「ソーシャルワーク実習指導」などの科目の履修により、社会福祉の理論と実践力を講義、演習、実習を通して学び、身につけることをめざしている。

〈看護学部看護学科〉

【養護教諭一種免許状】

養護教諭は、児童生徒の保健管理、健康相談、保健教育などの学校保健活動を行う専門家である。近年、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、児童生徒の健康問題が深刻かつ複雑化し、心身の成長・発達への課題も多岐にわたっている。また医療的ケアが必要な児童生徒数、発達障害・学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒数は増加しており、これらの児童が抱えている心身の問題や親子関係・友人関係等の解決にむけて、保健医療福祉の関係機関との連携・協働が求められている。看護学部看護学科では、看護師資格をもち、教育現場で活躍できる養護教諭の養成をめざしている。

事務手続き

- 学籍番号と各学部・学科等の略称
- UNIPASS
- 大学からの連絡と教務課への問い合わせ
- 教員との連絡方法
- 休講
- 補講
- ピアノ室の利用について

学籍番号と各学部・学科等の略称

●学籍番号

新入生には、入学時に学籍番号が与えられます。学籍番号とは、学生証に印字されている７桁の番号です。通常、卒業するまで変更することはありません。

学内の事務処理は、全て学籍番号によって行われます。試験の答案用紙やレポート提出の際、その他さまざまな手続きにおいて必要となります。記入する際には正確に記入してください。

●学籍番号のしくみ

学籍番号例　2（①）　60（②）　5（③）　001（④）

桁（左から）	内　容
①１桁目	学部　2- 文学部・社会学部 3- 教育学部 4- 経営学部　8- 看護学部
②２桁目～３桁目	期生
③４桁目	学部・学科・専攻・コース 文学部　1-　日本学科 3-　国際コミュニケーション学科 社会学部　4-　社会学科 5-　人間福祉学科 教育学部　1-　教育学科　学校教育コース 4-　教育学科　幼児教育保育コース 経営学部　2-　経営学科　公共経営専攻 3-　経営学科　企業経営専攻 看護学部　1-　看護学科
④５桁目～７桁目	個人番号 一般学生　001 ～ 復籍学生　401 ～ 再入学生　501 ～ 転入学生　601 ～　（他大学２年次修了後、間を空けずに転入） 転入学生　701 ～　（他大学卒業後、転入又は他大学２年次以上在学後に退学、その後転入） 転学部生　801 ～ 編入生　901 ～

●各学部・学科等の略称

各学部・学科（専攻・コース）は、便宜上、以下の略称で示されることがあります。

学　部	学　科	専攻・コース	略　称
文学部	日本学科		日本
	国際コミュニケーション学科		国コ
社会学部	社会学科		社会
	人間福祉学科		人福
教育学部	教育学科	学校教育コース	教学
		幼児教育保育コース	教幼
経営学部	経営学科	公共経営専攻	経公
		企業経営専攻	経企
看護学部	看護学科		看護

UNIPASS

● UNIPASS とは

UNIPASS は、インターネットを通じて、履修登録を行ったり、自分の成績や授業の出欠席を確認したり、授業をはじめ大学のさまざまな情報が掲示されるポータルサイトです。また、授業課題の提示や提出もここで行う場合があります。毎日ログインし、最新の情報を確認してください。

【UNIPASS の主な機能】

No.	機　能		説　　明	問い合わせ先
①	授業時間割	(学生時間割表)	自分の時間割が閲覧できます。希望した科目が履修登録できているか確認してください。	教務課
		(シラバス照会)	開講科目のシラバス（授業計画や評価方法など）が検索・閲覧できます。	
②	成績	(成績照会)	入学してからの自分の成績が閲覧できます。	
③	履修登録		履修する科目の登録ができます。教員免許等の免許・資格の登録も必要です。履修登録期間のみメニューが表示されます。	
④	出欠	(学生出欠状況確認)	自分の履修科目の出席状況が確認できます。	科目担当者（教員）
⑤	授業資料		毎回の授業で使用する資料です。	
⑥	課題提出		授業で出される課題です。毎日確認してください。	
⑦	授業 Q & A 登録		授業についての質問はここで行ってください。	
⑧	掲示		大学の各部署や教員からのお知らせが掲示されます。	各部署・教員
⑨	アンケート回答		大学の各部署や教員からのアンケートを回答します。	

⑤⑥⑦：UNIPASS にログイン ⇒「クラスプロファイル」よりアクセス
（注）提出した課題、教員からの授業資料や Q&A は、年度を越えると閲覧できなくなる為必ず各自で保存してください。

●メール設定について

UNIPASS に自分のメールアドレスを設定すると、大学からのお知らせや授業に関する情報（休講・教室変更など）や科目担当教員からのお知らせ等がそのメールアドレスに転送されます。※添付ファイルは UNIPASS に直接ログインしないと開くことができません。

UNIPASS での転送メールアドレス設定、その他 UNIPASS のくわしい使い方については、『UNIPASS 操作マニュアル』を参照してください。

メール設定に関する注意

1）UNIPASS を通して情報発信されるものの中には、データ（word 文書や excel ファイル・PDF ファイルなど）が添付されている場合があります。転送されてきたメールから添付されているデータは参照できませんので、必ず UNIPASS にログインして、確認してください。
2）UNIPASS から転送されてきたメールに直接返信しても、差出人へメールは届きません。
3）全ての情報が UNIPASS を通してメールされるわけではありません。毎日必ずログインし、UNIPASS 画面を確認してください。

※ UNIPASS にログインする ID とパスワードは入学時に配布します。不明の場合は、ラーニングコモンズ（3 号館 1 階）に問い合わせてください。

●保護者の UNIPASS 閲覧

保護者の方も UNIPASS を通じて学生の時間割表や成績表、出欠状況を閲覧することができます。閲覧方法や ID とパスワードは保護者宛に入学時の 5 月頃に郵送しています。

大学からの連絡と教務課への問い合わせ

●大学からの連絡

大学からの連絡は、UNIPASS を通じて行います。

例えば、教室変更、休講、授業に関する注意事項など、学生生活を送る上で、大切な情報ばかりです。毎日、必ず UNIPASS を確認してください。

お知らせした情報は、皆さんが知っているものとして取り扱いますので、注意してください。

●教務課窓口での問い合わせ

授業の履修登録や時間割や教室の配当、成績の管理などを行っているのが教務課です。これらのことで分からないことがあれば、窓口で尋ねてください。

【窓口受付時間】：月曜日～土曜日（祝日除く） 9：00 ～ 17：30
11：35 ～ 12：25 は当番者のみでの対応になります。

※授業、履修、試験、レポート、成績などに関することなどの電話での問い合わせには、間違いが生じやすく、個人が特定できないといった問題もありますので、窓口のみの対応となります。

●教務課事務取扱内容

履修・授業・休講・補講
試験・レポート
単位・成績
学外実習（博物館学芸員・社会福祉士・精神保健福祉士・MSW インターンシップ･看護師･保健師･助産師）
和の精神・授戒会
免許・資格に関すること
各種証明書

※上記以外の教育実習・保育実習等の学外実習については、教職教育推進センター（4 号館地下 1 階）に問い合わせて下さい。（看護学部の養護実習を含む）

●提出物等の期限について

各種手続き（履修登録、レポート提出、追・再試験、その他資格の取得など）の期限は必ず守ってください。定められた期間内に手続きを完了しない場合、単位の修得や資格取得ができなくなるばかりでなく、卒業できなくなる場合もあります。

教員との連絡方法

大学の教員と連絡をとりたい場合は、次のような方法があります。

●研究室を訪ねる

専任教員には研究室があり、授業時間以外は研究室に在室していることが多いので、直接研究室を訪ねてもよいでしょう。また、専任教員は「オフィスアワー」を設定しています。オフィスアワーは学生の皆さんが、学修や進路についての疑問や質問・学生生活についての相談等、個別に尋ねることができるように設けられた時間です。研究室の場所・オフィスアワーについては、UNIPASS に掲載されている「研究室一覧 / オフィスアワー（学内のみ利用可）」を確認してください。

非常勤講師には研究室・オフィスアワーはありません。担当の授業がない曜日には原則として本学に出講していません。

質問等があれば授業終了後等に行ってください。

●メールを送る

教員を直接訪ねることができない場合は、メールを送りましょう。専任教員・非常勤講師ともに G-mail アドレスを持っています。G-mail アドレスは、UNIPASS の「マニュアル」又は学内ホームページに掲載されている「教職員メールアドレス検索」で確認してください。また履修登録している科目担当教員には UNIPASS のクラスプロファイルの授業 Q&A でも質問できます。ただし、メールを利用するかどうかは各教員によって異なり、返信がない可能性がありますので、極力直接教員を訪ねるようにしてください。

●授業のない期間に連絡をとりたい場合

授業のない期間（定期試験期間や、夏期・冬期休業期間など）には、教員が必ず学内にいるとは限りません。また、非常勤講師については、原則として大学には出講していません。したがって、教員への連絡・相談はできる限り授業期間内にしておいてください。

休講

授業は、本学又は担当教員のやむを得ない事情（学会出張、体調不良等）によって休講になることがあります。

休講はできる限り早く UNIPASS で連絡しますが、やむを得ず、当日連絡することもありますので、注意してください。

休講の連絡がなく、授業開始後 30 分を過ぎても担当教員が来ない場合は、休講扱いとします。教務課に申し出て指示を受けてください。

●臨時休講について

【1】臨時休講の条件

次の⑴～⑸のいずれかの状況が生じた場合は、臨時休講となります。（定期試験期間中も含む）

⑴ 大阪府の「南河内」区域※のいずれかの市町村に特別警報（暴風・大雨・暴風雪・大雪）が発表された場合

⑵ 大阪府の「南河内」区域※のいずれかの市町村に暴風警報が発表された場合

※「南河内」区域：富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村

⑶ 近鉄南大阪線の「大阪阿部野橋」から「古市」の全区間が運行停止となった場合（一部運行停止、延着を除く）

⑷ 大阪府のいずれかの市町村に大規模地震対策特別措置法に基づく警戒宣言が出された場合

⑸ 学長もしくは教務センター長が学生の安全確保の必要があると判断した場合

※⑸の場合、本学 HP 及び UNIPASS でお知らせします。

ただし、施設の安全確認など判断に時間を要することがあり、即時に連絡できない場合があります。

【2】上記⑴～⑷の状況が発生・解除・継続された場合の授業の取り扱い

午前 5 時 59 分までに解除された場合	1 限より全授業実施
午前 6 時から 8 時 59 分の間に発生している場合	1・2 限休講
⬇	
午前 6 時から 8 時 59 分までに解除された場合	3 限以降の授業実施
午前 9 時以降も継続している場合	終日休講
午前 9 時以降に発生した場合	発生した時点以降終日休講

注　意

- 授業がある場合の通学については、十分に注意し、各自で安全を確保してください。
- 各自、上記の条件を確認して判断してください。
- 臨時休講の有無について、個別での問い合わせはご遠慮ください。
- 大阪府以外又は大阪府の「南河内」区域以外から通学する学生について
  大学が臨時休講にならない状況において、在住地域に特別警報（暴風・大雨・暴風雪・大雪）、暴風警報が発表された場合、科目担当者が配慮することがあります。

補講

授業が休講となった場合、又はその他の理由により、平常の開講曜日時限以外で授業を行うことを補講といいます。

補講を行うことが決まり次第、授業内に教員から連絡又は UNIPASS で連絡します。

●補講日

年度・学期によって、補講日を設定している場合があります。補講日には平常授業を行わず、補講の連絡があった科目のみ補講が実施されます。補講日については学年暦で確認してください。

但し、補講日以外に実施される場合もあります。

ピアノ室の利用について

8 号館音楽棟ピアノ練習室を利用する際は、教務課に届け出が必要です。音楽棟は、授業や個人練習、部活動の場として多くの人が利用しますので、学生の皆さんが気持ちよく練習できるように、利用方法を守ってください。

【1】利用方法

①教務課で利用届を記入
②学生証を預け、鍵又は使用許可証を受け取る
→ ③ 1 時間練習（授業期間外は 90 分）
→ ④鍵又は使用許可証を教務課へ返却し、学生証を受け取る

【2】利用時間

時　期	曜　日	時　間
授業期間中	月～金	9：00 ～ 18：30（受付は 17：30 まで）
	土	9：00 ～ 17：00（受付は 16：00 まで）
授業期間外	月～金	9：00 ～ 17：30（受付は 16：00 まで）
	土	9：00 ～ 17：00（受付は 15：30 まで）

1） 申し込みには、学生証が必要です。
2） 利用時間は 1 時間（授業期間外は 90 分）です。延長は教務課まで申し出てください。
※状況によって延長不可能な場合もあります。
3） 授業での使用が優先のため、個人練習での使用ができない場合があります。

【3】設備及び注意事項について

1） 備品等に故障・紛失破損などがあれば、すぐに教務課に申し出てください。
2） 盗難防止のため、鍵をかけずに貴重品等の荷物を練習室に置いたままにしないでください。
3） 電子ピアノ室での練習は、使用許可証をピアノの上に置いてください。練習を終了したときは、ヘッドホンは電子ピアノの横に必ずかけてください。
4） ピアノ室での飲食は厳禁です。

授業・履修

学位
── 学位授与までの道のりについても説明しています。

単位のしくみ
── 単位の計算方法や単位と出席について説明しています。

セメスター制について

授業
── 授業期間・授業時間・学生アンケートについて説明しています。

シラバス（授業計画）
── シラバス（授業計画）について説明しています。

卒業に必要な単位
── 卒業に必要な単位数や条件を説明しています。

履修
── 授業科目の履修登録について説明しています。

履修単位上限

卒業研究

課題研究

単位認定
── 留学・取得した資格・他大学や短期大学などの授業科目が
単位として認められる場合があります。

転学部・転学科・転コースについて

学　位

●学位の授与

本学の卒業者には、「学士」の学位を授与します。学位に付記される専攻分野の名称は、以下のとおりです。

学　部	学位と専攻分野の名称
文学部	学士（文学）
社会学部	学士（社会学）
教育学部	学士（教育学）
経営学部	学士（経営学）
看護学部	学士（看護学）

●学位授与までの道のり

卒業し、学士の学位を授与されるには、以下の条件を満たしている必要があります。

- ４年以上大学に在学していること
  ※休学した期間は在学期間に含まれません。
- 卒業に必要な単位数（卒業要件単位数）を修得していること

４年次以降の成績評価の結果、上記２つの条件を満たした学生は、教授会等の審議を経て卒業が決定します。

卒業者発表は各学期の指定日に UNIPASS にて行います。卒業判定結果について、電話等での確認はできません。

卒業する学生は、学位授与式へ出席し、学位記（卒業証書）を授与されます。

※卒業延期者には卒業延期通知を郵送します。

＊在学できるのは８年までです。

単位のしくみ

●単位の計算方法

卒業するためには、各学部・学科で定められた単位を修得しなければなりません。

単位は、授業科目を履修・受講し、定期試験やレポート提出、授業中の評価にて合格点（60 点以上）をとることによって修得できます。

履修登録	→	授業への出席	→	単位修得
単位修得にはまず履修登録が必要です。		毎回の授業に出席します。		定期試験・レポートや授業中の平常点等により評価される。合格点を取れば、単位修得となります。

【1】単位の計算基準

1 単位＝ 45 時間の学修（授業時間外の学修を含む）

文部科学省令として定められている大学設置基準では、授業の方法や授業時間外に必要な学修（予習・復習・学外実習）の時間数などによって単位数が以下の様に定められています。

(授業の方法)

- 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

(単位)

- 授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね 15 時間から 45 時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって 1 単位とし単位数を計算するものとする。

※保健師助産師看護師学校養成所指定規則においては、1 単位当たりの実験、実習及び実技の授業時間の下限は 30 時間と定められています。

●単位と出席

本学の「四天王寺大学履修規程」では、「各科目について、その出席時数が当該科目の全授業数の 3 分の 2 に満たない者は、試験を受験しても単位は認定されない。」とされています。

授業の出席確認は様々な方法で行われますが、自分の履修している科目については、自分でも記録をとるなどして、しっかり出席回数を把握しておくようにしてください。また、授業は毎回出席し、積極的に授業に参加するようにしてください。

なお、科目ごとの評価方法に関しては、シラバス（授業計画）で確認してください。

セメスター制について

●セメスター制

本学では、1 年間を 2 つの学期に分け、講義を各学期ごとに完結させ、履修・試験・成績評価を行います。夏学期・冬学期をそれぞれ 1 セメスターとして数えます。

1 年次		2 年次	
夏学期	冬学期	夏学期	冬学期
1 セメスター	2 セメスター	3 セメスター	4 セメスター
3 年次		4 年次	
夏学期	冬学期	夏学期	冬学期
5 セメスター	6 セメスター	7 セメスター	8 セメスター

授業

大学の授業は、高等学校までの授業とは大きく異なります。まず、自分自身で「どの授業を受けるか」を選択し、履修登録を行います。同じ学科、同じ学年でも、選ぶ授業によって時間割は違ってきます。

●授業期間

本学では、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを 1 年間の授業期間としており、夏学期と冬学期に分かれています。1 年の間には授業の無い期間がありますが、その期間に、「集中講義」や各種講座などが行われます。

学期ごとの授業開始日・授業終了日や休業期間については、学年暦で確認してください。

●授業時間

大学の授業は 1 時限＝ 100 分です。本学では 1 時限から 5 時限まであり、それぞれの授業時間は次のとおりです。

時　限	授業時間
1 時限	9：00 ～ 10：40
2 時限	10：55 ～ 12：35
(昼休み)	12：35 ～ 13：25
3 時限	13：25 ～ 15：05
4 時限	15：20 ～ 17：00
5 時限	17：10 ～ 18：50

●学生アンケート

学生の皆さんに「学生アンケートによる授業評価」を実施しています。これは、授業について学生の皆さんの要望や建設的な意見に耳を傾け、教員と学生が一体となって、より充実した授業をめざすために行われます。

●オンデマンド授業

オンデマンド授業の進め方や注意事項については、授業内でアナウンスがありますので、確認してください。

不明な点がある場合は、UNIPASS の授業Q＆A等を使って担当教員に確認してください。

●休講、補講及び教室変更について

大学又は担当教員のやむを得ない事情により、授業が休講となることがあります。休講となった回の授業については、後日補講を行います。

なお、自然災害等により臨時休講となる場合もあります。詳細は、P.22、23 を確認してください。

また、授業が行われる教室が変更となることがあります。教室変更が行われた場合は、以降の授業すべて変更になることがありますので、教室変更の通知をよく確認してください。

休講・補講・教室変更については、UNIPASS にてお知らせしますので、確認してから授業へ出席してください。

●授業を欠席する場合

大学での学修においては、すべての授業に出席しなければなりません。単位修得には原則として３分の２以上の出席を必要としています。

●公認欠席について

次の理由により欠席した場合は、科目担当者の判断により、公認欠席として教育的措置を受けられる場合があります。但し、集中講義については、公認欠席の扱いは適用されません。

公認欠席の扱いを受けようとする学生は、各理由の生じる１週間前、又は理由発生後１週間以内にそれぞれの理由に応じて、各部署所定の「公認欠席願」に欠席理由を証明する資料を添えて申請を行い、その承認を受けた学生は「願い出に関する許可書」を授業担当者に提示してください（※「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の公認欠席は担任教員へ提示してください）。但し、最終的に公認欠席が承認されるかどうかは、担当教員の判断になります。

※定期試験期間中に欠席をした場合

⇒ 公認欠席届（就職試験・公式試合・発表会等の際に必要）又は定期試験を受験できなかった理由を客観的に証明できる証明書や診断書等を教務課へ提出し、追試験申込の手続きを行ってください。

⑴ 忌引による公認欠席

死亡を証明する文書（会葬御礼等）を添付して学生支援センターへ届け出てください。

忌引日数

① 父母・配偶者・子　　５日間
② 兄弟姉妹・祖父母　　３日間
③ その他の３親等までの親族　２日間

※休日は日数に含まれます。

※法事による欠席は対象外。

⑵ 就職・編入学・大学院選抜試験等による公認欠席

事前に「公認欠席願」の申請をキャリアセンターへ申し出てください。就職試験に準ずるとみなされる就職活動についても認められる場合があります。詳細についてはキャリアセンターまでお尋ねください。

⑶ 教員採用試験等による公認欠席

事前に「公認欠席願」の申請を教職教育推進センターへ申し出てください。

⑷ 公式試合出場・発表会等による公認欠席

事前に試合出場や発表会参加を証明する文書等を添付して学生支援センターへ申し出てください。但し、公的機関からの全国的規模、又はこれに準ずる規模の公式試合・発表会に出場要請を受けた場合のみ（各学期１科目あたり３回まで）。

⑸　学外実習による公認欠席

教育実習などの学外学習による欠席の場合は、教務課・教職教育推進センターより各教員に通知しますので、原則手続きは不要です。

実習期間に変更があった場合のみ、社会福祉実習、博物館実習、看護実習は教務課窓口へ、教育実習、介護等体験、臨床実習、保育実習は教職教育推進センターへ申し出てください。

⑹　その他、裁判員制度など特にセンター長が認めた場合

●授業中に守るべきマナーについて

本学では、勉学に集中できる静穏な学修環境の整備を目的に、全学を挙げて規律ある学修環境づくりに取り組んでいます。下記の規律の主旨を理解し、各自が規律遵守を心がけてください。

受講心得

一、本学学生は、建学の精神、学園訓に則り、学びの主体として自ら学修の意義を見出し、真摯に学業に取り組むこと。
二、前条の精神に基づき、授業においては、授業の妨げになるような行為を慎むこと。
三、授業の妨げとなる行為があり、教員から注意を受けた場合は、自ら省みて速やかに行為を改めること。

シラバス（授業計画）

大学の授業科目には、それぞれシラバス（授業計画）がUNIPASS上に公開されています。シラバスとは、その授業内容や進め方について、詳細に記したものです。履修登録を行う前に、必ず確認をしてください。シラバスには、授業の担当教員名などの他、次のような事項が記載されています。

- 授業題目
- 概要
- 到達目標（この授業を受ける場合の目標）
- 授業計画（毎回の授業をどのように進めていくのか）
- 学外教育活動予定（日程、行先、内容等）
- 目標達成のための授業方法・履修上の注意事項（課題へのフィードバック方法含む）
- 授業時間外に必要な学習（予習・復習に必要な学習内容）
- 授業形態（講義、演習、実習・実験・実技）
- 使用するテキスト（教科書）や、参考図書
- 成績評価の方法（試験やレポート、小テストなど、どのような基準で評価が決まるのか）
- 実習材料費等（実習材料費を徴収する費用について）
- アクティブラーニングを行っているか、また、その詳細
- ICTの活用状況
- ルーブリックを採用しているか
- 14回全て外国語のみで授業を行っているか（但し外国語教育を主たる目的とする科目は除く）
- 実務経験のある教員による授業内容

■シラバスの見方

シラバスは、UNIPASSの時間割→シラバス照会から確認することができます。検索画面で授業科目名や担当教員名を入力して検索できます。

■シラバスの使い方

シラバスを読むことによって、授業の詳細な内容を事前に知ることができます。「どの授業を履修するか」を決定する際に、シラバスでその授業の概要などをよく確認して、授業を選択する参考にしてください。また、事前の準備や、学習の進み具合の確認等に適宜利用してください。

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と当該授業科目の関連（卒業時点において学生が身に付けるべき能力）についての詳細は履修要覧を参照し、確認してください。

(例)

授業コード	K0010-101		科目ナンバリング	LAPA1010a1		
開講学期	夏学期	授業区分	週間授業	曜日・時限	木曜２限	
科目名	和の精神Ⅰ				単位数	1 単位
科目名 (英文)	SPIRIT OF WA(HARMONY)1					
教員						
授業題目	和の精神Ⅰ（瞑想）					
概要	本学創設の基礎を築かれた聖徳太子は、人々の救済を願って四箇院（悲田院・療病院・施薬院・敬田院）の制を設けられました。特に敬田院は人々が自ら宗教的情操を涵養し、人格の陶冶をはかり、理想とする未来像の実現のための強い意志を鍛える修養の道場でもありました。つまり、太子の「和の精神」を身につけ、現代社会に活かしてゆくことが、本学の建学の理念であります。その具体化のために、この科目では仏教の修行方法の一つである瞑想を中心とした実践を行うとともに、「和の精神」に基づく学園訓の理念とその意義を学びます。瞑想の実践により物事を冷静に正しく理解する智慧を獲得するとともに、広く社会に役立つ「和の精神」を体得した人格の形成を目指します。					
※卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連（卒業時点において学生が身につけるべき能力）についての詳細は履修要覧を参照の上、確認してください						
到達目標	瞑想により安定した人格の形成を目指すとともに、「和の精神」に基づいた日常の心構えと態度を身につけ、それを実践できる。					
授業計画	1 オリエンテーション（受講こころえ、礼拝について、読経・瞑想・聖歌斉唱の仕方について）、レポート作成 2 献灯、読経、瞑想、講話（『和の精神』で学ぶこと、授戒会オリエンテーション）、レポート作成、聖歌斉唱 3 献灯、読経、瞑想、講話（『和の精神』を学ぶ意義）、レポート作成、聖歌斉唱 4 献灯、読経、瞑想、講話（読経・瞑想について）、レポート作成、聖歌斉唱 5 献灯、読経、瞑想、講話（学生生活とリスク社会について）、レポート作成、聖歌斉唱 6 献灯、読経、瞑想、講話（学園訓－礼儀について）、レポート作成、聖歌斉唱 7 献灯、読経、瞑想、講話（建学の精神と聖徳太子）、レポート作成、聖歌斉唱 8 献灯、読経、瞑想、講話（学園訓－誠実について－）、レポート作成、聖歌斉唱 9 献灯、読経、瞑想、講話（学園訓－和について－）、レポート作成、聖歌斉唱 10 献灯、読経、瞑想、講話（薬物乱用の害について）、レポート作成、聖歌斉唱 11 献灯、読経、瞑想、講話（「聖歌」について）、レポート作成、聖歌斉唱 12 献灯、読経、瞑想、講話（グローバル教育研修と和の精神）、レポート作成、聖歌斉唱 13 献灯、読経、瞑想、講話（性感染症について）、レポート作成、聖歌斉唱 14 献灯、読経、瞑想、講話（夏学期を終えるに当たって）、レポート作成、聖歌斉唱					
学外教育活動予定 (日程､行先､内容等)						
目標達成のための授業方法・履修上の注意事項 （課題へのフィードバック方法含む）	『履修要覧』に掲載している「授業規律」を守り、教職員の指示に従うこと。 毎回のレポート提出を出席の要件とする。単位の認定は 3 分の 2 以上の出席を必要条件とする。 なお、以下の項目に違反する場合、入堂・出席を認めない。詳細については、『聖典聖歌集』に記載の「「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の授業規律について」を確認すること。 ・スーツ着用基準に定められた服装を端正に着用する。 ・入堂時に『聖典聖歌集』を所持していることを示し、授業中は常に携帯する。 ・授業開始（午前 10 時 55 分）前に入堂し、指定された座席に着座しておく。					
授業時間外に 必要な学習	①講話一覧を見て、講話のテーマについて大まかに調べたり、目を通したりしておくこと。(各自の興味・関心、課題意識に応じて 1 時間～数時間) ②講話の中で示された参考文献や興味を持った事柄について授業後に調べること。(各自の興味・関心、課題意識に応じて 1 時間～数時間) ③瞑想などの実践を、他の授業の開始前や普段の生活の中でも積極的に行うこと。(各自のライフスタイルに合わせて、1 時間～数時間)					
授業形態	実験・実習					
テキスト（授業において使用する書籍等）	『聖典聖歌集』(四天王寺大学)					
参考文献（学修をさらに進めるために役立つ書籍等）	適宜プリント配布、PPT で投影					
成績評価の方法	各授業回のレポート提出 100%					
実習材料費等						

アクティブラーニングを行っている							○
ペアワーク		グループワーク		プレゼンテーション		ディスカッション	
ロールプレイ		反転授業		双方向型学習　ICT 等		発見学習	
問題解決型学習（外部機関）		実験・実技	○	実習		フィールドワーク	
その他							

学生・教員とも ICT を活用（双方向）				教員のみ ICT を活用	○	学生のみ ICT を活用	
PC	○	タブレット端末		電子黒板		スマートフォン	
その他							

ルーブリックを採用している		

全授業回を外国語のみで行っている（外国語教育を主たる目的とする科目は除く）

実務経験		職業等	

合理的配慮	授業における「合理的配慮」が必要な場合は、担当教員又は学生支援センターにご相談下さい。なお、ここでいう「合理的配慮」とは、令和 6 年 4 月 1 日施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部を改正する法律」によるものです。
備考	

卒業に必要な単位

●卒業するためには

大学を卒業して学位を得るためには、本学に 4 年以上在学していることのほか、卒業するために必要と定められた単位を修得しなければなりません。これを「卒業要件単位数」といいます。

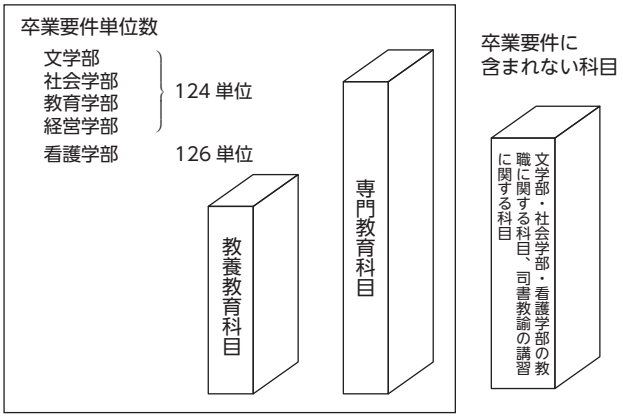
卒業要件単位数は、文学部・社会学部・教育学部・経営学部では合計 124 単位、看護学部では合計 126 単位と定められています。

ただし、各学部・学科のカリキュラムに設けられた科目は分類され、要件が定められています。科目の分類は、全学部共通で開講される「教養教育科目」と、学科（専攻・コース）ごとにそれぞれ開講される「専門教育科目」とに分けられます。

卒業要件単位数については、次のようなイメージで、それぞれ分類ごとの単位数を積み上げることにより卒業をめざします。

※文学部・社会学部・看護学部の「教職に関する科目」及び「司書教諭の講習に関する科目」は卒業要件に含まれないため、注意してください。

＊教育学部の「教職に関する科目」は、卒業要件に含まれます。



●卒業に必要な単位数

卒業するためには、本学に 4 年以上在学し、次のとおり卒業要件として定められた単位数を修得しなければなりません。

（卒業要件）

文学部

学科・専攻名	教養教育科目			専門教育科目			合　計 (A)＋(B)
	必修	選択	小計(A)	必修	選択	小計(B)	
日本	18	18	36	24	64	88	124
国コ	16	22	38	30	56	86	124

社会学部

学科・専攻名	教養教育科目			専門教育科目			合　計 (A)＋(B)
	必修	選択	小計(A)	必修	選択	小計(B)	
社会	18	18	36	22	66	88	124
人福	18	18	36	16	72	88	124

教育学部

学科・専攻名	教養教育科目			専門教育科目			合　計 (A)＋(B)
	必修	選択	小計(A)	必修	選択	小計(B)	
教学	16	10	26	42	56	98	124
教幼	16	10	26	54	44	98	124

経営学部

学科・専攻名	教養教育科目			専門教育科目			合　計 (A)＋(B)
	必修	選択	小計(A)	必修	選択	小計(B)	
経公	18	20	38	16	70	86	124
経企	18	20	38	18	68	86	124

看護学部

学科・専攻名	教養教育科目			専門教育科目			合　計 (A)＋(B)
	必修	選択	小計(A)	必修	選択	小計(B)	
看護	14	10	24	102	0	102	126

（注意 1）教職に関する科目の単位は、卒業に必要となる単位に算入されない（教育学部教育学科を除く）。
（注意 2）司書教諭の講習に関する科目の単位は、卒業に必要となる単位に算入されない。
（注意 3）各自が所属する学部・学科以外で開講されている専門教育科目を履修した場合（＝他学部・他学科履修）は、各自の専門教育科目の選択科目として単位に算入される。ただし、上限を 16 単位とする。

履修

●履修とは

履修とは、卒業、免許・資格の取得に必要な科目を自分で選択し、その科目の単位修得をめざすことをいいます。どの科目を履修するかについては、卒業及び免許・資格取得までのプロセスを自分なりに考え、授業科目を体系づけて計画する必要があります。

●履修登録について（※担任教員の指導を必ず受けてください）

履修登録は、「自分が履修する科目を登録する」手続きです。

年度初めに夏学期と冬学期の履修登録を同時に行います。

履修登録期間、履修登録訂正期間は、学年暦で確認し、必ず期間内に行ってください。

Ⅰ　ガイダンス（学科別オリエンテーション）

・「履修要覧」受け取り
・カリキュラム（授業の組み立てや履修の仕方等）の説明
・ガイダンスでわからないことがあれば個別に担任教員又は教務課をたずねてください。

⬇

Ⅱ　履修登録期間

期間内にUNIPASSにて登録を行ってください。

履修登録時の注意事項

・科目名、担当教員をよく確認して登録すること。
・履修上限単位数を超過しないこと。
・履修登録期間内であれば、何度でも変更が可能。
・各種実習・卒業研究・集中講義は、画面下の枠から選択します。
・**自分で確認し最終確定した時間割を印刷して、担任教員の履修指導を必ず受けてください。**
必要があれば履修科目を訂正してください。

⬇

Ⅲ　履修訂正期間

履修登録期間終了後に、やむを得ず時間割の訂正が必要になった学生のために履修訂正期間を設けます。
・**自分で確認し最終確定した時間割を印刷して、担任教員の履修指導を受けてください。**

※履修登録に誤りがあった場合、その科目の単位修得はできません。
十分に確認のうえ、履修登録を行ってください。

履修希望科目の決定時の注意

・在学しているセメスターより上のセメスター配当科目は、履修できません。
・在学しているセメスター以下のセメスター配当科目は、履修できます。
・時間割変更がないか、UNIPASSで確認してください。
・学科・クラス指定の授業があるので、確認してください。
・科目名の後にA、Bなどアルファベットが付いている科目は「A」から順に履修してください。
・既に修得した科目を再度履修することはできません。

授業の出席は、履修登録にかかわらず初回から必要です。

各科目の授業概要、到達目標、授業計画、目標達成のための授業方法・履修上の注意事項、授業時間外に必要な学習（予習・復習等）、成績評価の方法など、UNIPASS上の「シラバス照会」で必ず確認してください。

●自分が所属するクラスの確認

クラス分け表を見て自分が所属するクラスを確認しましょう。
科目によってクラスを分けて開講している場合があるので、正しいクラスで履修登録を行いましょう。

●科目の開講についての注意事項

⑴　履修希望者が想定している人数より多くなった科目では、クラス指定学生の履修が優先されます。その他の学生については、抽選等による履修人数制限を行う場合があります。
⑵　履修希望者数が 10 名以下で著しく少人数の科目は、閉講又はクラス合併等が行われる場合があります。

●他学部・他学科専門教育科目の履修の注意事項

他学部・他学科で開講される専門教育科目を履修することができます。詳細は以下の通りです。

1．他学部・他学科の学生が履修できる科目は、以下の①～④全ての条件を満たしたものとします。
ただし、適正な人数を超えた場合などは、自学部・自学科の学生の履修が優先されます。

① 同じ入学年度のカリキュラムである
② 他学部・他学科履修不可科目ではない
③ 配当セメスターが自分のセメスター以下である
④ 自分の学部・学科に同等科目がない

①～④は履修要覧で確認することができます。

2．履修登録
シラバスを確認し、必ず授業担当の先生の許可を得たうえで、履修登録してください。
UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは科目編成表の「他学部・他学科履修」欄に「不可」の記載がなくても履修できない場合もありますので、ご注意ください。

3．単位修得
単位を修得した場合、16 単位を上限に専門教育科目の選択科目として算入されます。

（注）　社会学部人間福祉学科※、教育学部、看護学部、短期大学部の専門教育科目については他学部、他学科の学生は履修できません。

※「地域共創プログラム」関連科目は、「地域共創プログラム」取得をめざす文学部・社会学部・経営学部の学生に限り、他学部・他学科履修を可とします。

履修単位上限

履修登録することのできる単位数の上限（履修単位上限）は年間 48単位です。

ただし、各学期の履修単位上限は26単位です。

（例1）夏学期24単位＋冬学期24単位＝合計48単位

（例2）夏学期26単位＋冬学期22単位＝合計48単位

1) 次にあげる科目は、上記の履修単位上限を越えて履修できます。

① 文学部・社会学部・看護学部の「教職に関する科目」

② 「司書教諭の講習に関する科目」

③ 集中講義科目（日程が重複して開講される科目は、2科目同時に履修できない）

④ 卒業研究・課題研究

⑤ 教育学部の教育実習・教育実習指導科目、保育実習・保育実習指導科目、「臨床看護学演習」、インターンシップ科目

⑥ 社会学部人間福祉学科の「ソーシャルワーク実習指導 A」·「ソーシャルワーク実習指導 B」「ソーシャルワーク実習指導 C」「ソーシャルワーク実習 A」「ソーシャルワーク実習 B」「MSW インターンシップ」

2) 前年度のGPA（※P.53参照）が3.50以上ある場合、履修登録単位数の上限を超えて、年間56単位・各学期28単位まで履修登録することができます。

3) 教育学部の学生のうち、教員免許状の取得を希望する者は、『免許・資格科目履修申請願』を提出することにより、単位数の上限を超えて履修することができます。

4) 下記認定科目については、履修単位上限を越えて単位が認定されます。

① 「外国の高等教育機関における授業科目」の認定科目

② 外部検定試験による単位認定

③ 「大学コンソーシアム大阪」単位互換事業により単位を修得した科目

④ 「本学入学前の既修得単位」の認定科目

⑤ 「他の大学又は短期大学等の授業科目」の認定科目

⑥ 「国内実地研修Ⅰ・Ⅱ」

⑦ 留学・海外研修・海外実地研修に関する科目

5) 履修単位上限は編入・転入学生及び転学部転学科等の学生、9 セメスター生以上には適用しません。

6) 複数学期にわたり開講する科目は、単位数を学期数で割って履修単位上限に算入します。

卒業研究（文学部・社会学部・教育学部・経営学部）

「卒業研究」は、各学科の「専門教育科目」の選択科目４単位として設置されています。３年次以降に各指導教員の指導のもと、１つの研究テーマを追求し、そのために必要な調査・分析をし、完成までにさまざまな知識、経験、手法を身に付け、「卒業研究」としてまとめます。また、その中で論文構成・文章作成の能力も養います。自分の専門知識の拡大や自己啓発のために、できるだけ履修することを勧めます。

●提出までの日程

事　項	期　日	提出先
①「卒業研究作成計画書」の提出	４年次開始時まで　※日時は指導教員の指示に従う	指導教員
②「卒業研究」履修登録	４年次	UNIPASS にて履修登録
③「卒業研究」提出	４年次冬学期の指定する期間	教務課

※諸手続及び書類の提出については、期限を必ず守ってください。

９月卒業生は、提出までの日程を教務課で確認してください。

●「卒業研究」の履修条件

「卒業研究」を履修するための条件は次の通りです。

1）３年次を終了して、「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の２単位を含み、卒業に必要となる修得単位数が合計 90 単位以上あること

2）４年次開始時までにゼミの指導教員の指導に従って、「卒業研究作成計画書」を作成し、ゼミの指導教員の審査を受けた上で、卒業研究作成許可を得ておく

●「卒業研究」の書式

1） 論文形式の場合

原稿は和文又は英文で、提出用紙はパソコンで作成することが望ましいですが A4 原稿用紙でも可能です。書式は次の通りで、共同研究の場合も一人当たりの分量は同じです。詳細は指導教員の指示に従ってください。

項　目	パソコン使用の場合
①「表紙」	規定の書式を UNIPASS からダウンロードする ※制限枚数に含めない
②「目次」「参考文献」「添付資料」（巻末にまとめる）など	制限枚数に含めない
③「本文」(序論・本論・結論・注)	A4 判用紙を使用。 和文の場合は 12,000 字以上（目安として、1 枚 40 字× 30 行にして 10 枚以上とする)。 英文の場合は 5,000 語以上（目安として、1 枚 75 ストローク× 30 行にして 15 枚以上とする)。
④その他	感熱紙の使用は不可

2） 論文形式以外の場合

指導教員の許可を得た上で、教務課へ申し出てください。事前に提出方法や形式などについて明記し、指導教員から教務課に願い書を届け出る必要があります。

●「卒業研究」の提出

「卒業研究」を提出する際は、次のことを守ってください。

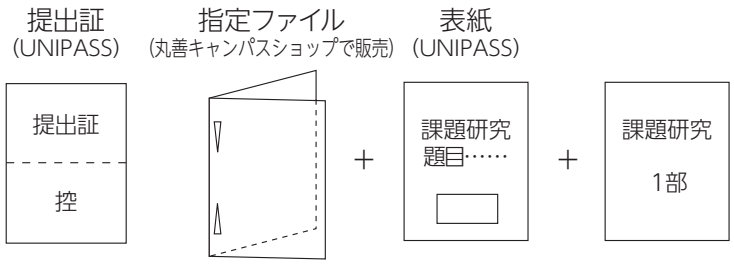
1）「卒業研究」は 1 部提出する。

2） ①「表紙」は UNIPASS からダウンロードする。

② 丸善キャンパスショップで指定ファイルを購入し、「表紙」「卒業研究」を指定ファイルに綴じる。

③「提出証」を UNIPASS からダウンロードし、併せて提出する。

3） 定められた期間内に提出すること。



【傷病その他やむを得ない事情により提出期限までに提出できない場合】

傷病又は不時の災害その他真にやむを得ない事由によって期日に提出できない者、もしくは、できなかった者は、その事由を証明する書類を添付した上で、卒業研究を指導教員に提出して下さい。

課題研究（看護学部）

「課題研究」は、看護学科の「専門教育科目」の必修科目 2 単位として配置されています。4 年次以降に各指導教員の指導のもと、1 つの研究テーマを追求し、完成までにさまざまな知識、経験、手法を身に付け、「課題研究」としてまとめます。また、その中で論文構成・文章作成の能力を養います。

●提出までの日程

事　項	期　日	提出先
①「課題研究」履修登録	4 年次	※1 UNIPASS にて履修登録
②「課題研究」提出	4 年次冬学期の指定する期間	教務課

※　諸手続き及び書類の提出については、期限を必ず守ってください。

●「課題研究」の履修条件

「課題研究」を履修するための条件は次のとおりです。

1）3 年次を終了して、「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の 2 単位、「看護研究法」の 2 単位及び統合実習の実習参加要件（p.157）を満たすこと

2）4 年次の履修登録時に「課題研究」の履修登録を行うこと

●「課題研究」の書式

論文の形式

原稿は和文で作成する。書式は次のとおりです。詳細は指導教員の指示に従ってください。

項　　目	パソコン使用
①「表紙」	規定の書式を UNIPASS からダウンロードする ※制限枚数に含めない
②「目次」	制限枚数に含めない
③「引用・参考文献」「添付資料」	制限枚数に含める
④「本文」（序論・本論・結論）	A4 版用紙を使用。 和文の場合は 12,000 字以上（目安として 1 枚 40 字×30 行にして 10 枚程度とする）。

●「課題研究」の提出

「課題研究」を提出する際は、次のことを守ってください。

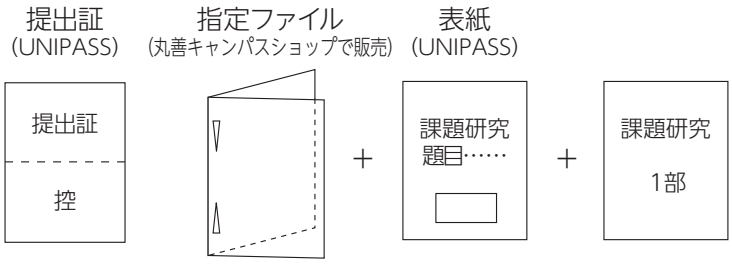
1）「課題研究」は 1 部提出する。

2） ①　「表紙」は UNIPASS からダウンロードする。

　　②　丸善キャンパスショップで指定ファイルを購入し「表紙」「課題研究」を指定ファイルに綴じる。

　　③　「提出証」を UNIPASS からダウンロードし、併せて提出する。

3） 定められた期間内に提出すること。



【傷病その他やむを得ない事情により提出期限までに提出できない場合】

傷病又は不時の災害その他真にやむを得ない事由によって期日に提出できない者、もしくは、できなかった者は、その事由を証明する書類を添付した願い書を教務センター長に提出し、受理されれば追試験に準じて課題研究の受付を許可します。

単位認定

●単位認定の上限

本学学則により、外国の高等教育機関、あるいは日本国内の他の大学や短期大学などでの学修により本学での単位を認定する場合の単位認定の上限は次の通りです。すべてを合わせて 60 単位を上限としています。

認定区分		上　限	上限(合計)
①留学	外国の高等教育機関における授業科目	60 単位	合わせて最大 60 単位まで
②外部検定試験		1 単位	
③大学コンソーシアム大阪		60 単位	
④本学入学前の既修得単位		60 単位	
⑤他の大学又は短期大学等の授業科目		60 単位	

1. 編入・転入時に認定された単位は除く
2. 単位認定を受ける際は、各項目の注意事項をよく読み、必要な手続きを行うこと
3. 単位認定された科目は成績表で再確認すること

●留学による単位認定

本学の認める外国の高等教育機関に留学し、そこで単位を認定された場合、本学では審査のうえ本学の履修単位として認めることができます。ただし留学先の認定単位がそのまま認められる訳ではありません。

項　目	内　容
①認定される単位の上限	60 単位
②認定区分	個別認定
③認定される科目群	所属学部・学科・専攻に関する内容の留学は、その「専門教育科目」として認定される。

不明な点は、グローバル教育センター（i-Taik）に問い合わせてください。

●外部検定試験による単位認定

指定された資格・検定について、本学で定められた基準以上の成績を修めた場合に、教養教育科目「実用英語演習」1 単位として単位を認定します。単位認定を希望する学生は定められた期間に、教務課にて申請手続きを行ってください。詳細については、UNIPASS でお知らせします。

1） 単位認定できる資格等

	種　　目	言　語	認定基準	
			級位又は得点	外部検定試験実施団体等
（1）	実用英語技能検定	英語	準 1 級以上	日本英語検定協会
（2）	IELTS™	英語	5.5 点以上	日本英語検定協会
（3）	TOEFL® iBT	英語	72 点以上	ETS（Educational Testing Service）
（4）	TOEIC® L & R（IP 除く）	英語	785 点以上	国際ビジネスコミュニケーション協会

2） 認定科目

教養教育科目「実用英語演習」

3） 申請時期：（夏学期）5 月上旬頃から 1 週間程度　（冬学期）9 月中旬頃から 1 週間程度

4） 申請窓口：教務課

●「大学コンソーシアム大阪」単位互換事業により単位を修得した場合

大学コンソーシアム大阪単位互換とは、他大学の講義を履修することができ、さらに履修した科目が在籍大学の単位として認定される制度です。大学コンソーシアム大阪会員の大学が単位互換包括協定を結んで、多彩な科目の提携を行っています。

【注意事項】

「大学コンソーシアム大阪」単位互換事業により単位を修得した場合に認められる単位は履修上限単位数に含まれません。

受講手続きについて

履修登録とは別の手続きが必要です。詳細は UNIPASS で 3 月中旬頃にお知らせします。

1） 単位取得できる科目

大学コンソーシアム大阪加盟大学の主催するオンキャンパス科目やコンソーシアムの主催するセンター科目

2） 認定科目

教養教育科目の選択科目として認定されます。

3） 受講手続きについて

① 大学コンソーシアム大阪の HP から希望する科目のシラバスや web 出願締切日を確認する。
大学コンソーシアム大阪単位互換事業 http://www.consortium-osaka.gr.jp

↓

② 出願を行う
大学コンソーシアム大阪の HP から、web 上にて出願の入力を行い、承認を受ける（受けないと出願したことにはなりません）。

↓

③ 選考

↓

④ 選考結果の通知を受け（UNIPASS で通知）、受講を開始する。

※履修が認められた後の履修放棄は他の希望者や科目提供大学に多大な迷惑がかかります。必ず最後まで学修を継続してください。

●本学入学前の既修得単位の認定

本学に入学する以前に、他の大学（専門職大学含む）又は短期大学において、修得した授業科目の単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、60 単位を上限として認定する場合があります。なお、単位認定の申請は入学時の指定された期間のみとなります。

詳細については教務課まで問い合わせてください。

●他の大学又は短期大学等の授業科目の単位認定

他の大学（専門職大学含む）又は短期大学及び高等専門学校の専攻科、高等学校の専攻科又は専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であること及びその他の文部科学大臣の定める基準を満たすこと）において学生が行った学修や、その他の文部科学大臣が別に定める学修については、これを本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより 60 単位を上限として認定する場合があります。

転学部・転学科・転コースについて

在学中に他の学部・学科（専攻・コース）に変わることを転学部・転学科・転コースといいます。ただし、全ての学部・学科（専攻・コース）で募集が行われる訳ではありません。転学部・転学科・転コースには審査があり、合格すると翌年度４月から転学部・転学科・転コース先の学部・学科（専攻・コース）の３セメスター又は５セメスターに所属することになります。出願には、修得単位数や学業成績などの条件があります。毎年 UNIPASS にて、「転学部転学科募集要項」を公開しますので、希望する学生は必ず確認してください。また、質問等があれば、教務課に問い合わせてください。

【転学部転学科手続きの流れ】

1）「転学部転学科募集要項」を確認する。
2）①「希望願い書」・②「希望理由書」を記入する。
3）証明書発行サービスで、審査検定料 10,000 円を支払う。
　また、教務課に①「希望願い書」・②「希望理由書」・③成績単位修得証明書（教務課窓口で申込）を提出する。
4）選考を受ける。
5）合否通知書を教務課より郵送。
6）〈合格の場合〉
　① オリエンテーションは転学部転学科先の学部・学科・コースに参加する。
　② 学生支援センターにて、新しい学生証を受け取る。
　③ 教務課で履修相談をする。

試験・成績

成績評価の方法

定期試験
── 時間割発表方法・定期試験時間等について

追試験
── 定期試験をやむを得ない理由で受験ができなかった場合について

再試験
── 不合格になった科目の再試験について

成績と GPA
── 発表方法・評価方法・GPA について

成績評価の方法

成績評価は、科目や担当者により評価方法、評価基準が異なります。
評価方法・評価基準については、シラバスを確認してください。
試験等、成績評価の方法には次の種類があります。

種　類	内　容
①授業中の試験・レポート	平常の授業時間内で行う小テストやレポート課題のことです。(下記参照)
②定期試験	夏学期・冬学期の各学期末の定期試験期間中に実施する試験です。(p.48 参照)
③追試験	病気等やむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合に、所定の手続きをした上で受験することができる試験です。(p.50 参照)
④再試験	4 年次生以上（看護学部生除く）で、当該学期に履修登録し、不合格となった場合は、再試験申込日に申し込むことで再試験を受験することができます。(p.52 参照)

●授業中の試験・レポート

授業中に実施する小テストの実施要領や、レポート課題については、各科目の担当教員が指示します。
定期試験を行わず小テストやレポート課題の結果のみで成績評価を行う科目もあります。なお、授業内の確認テスト・小テストやレポート課題は授業の一部とみなし、追試験の対象になりません。
また、小テストやレポート課題でも学生証の提示が必要となることがありますので、学生証は常に携帯しておいてください。

定期試験

定期試験は学期末に実施します。
各定期試験期間には、予備日を設けています。予備日とは、気象警報発令等で試験が実施できない場合の振替日です。
定期試験期間中の詳細は、別途 UNIPASS 等で通知します。

●時間割発表

定期試験を実施する授業科目及び時間割は、試験開始日の 2 週間前に UNIPASS で掲示します。

UNIPASS の「試験時間割」機能では、自分が履修登録している科目の試験及び試験実施教室が表示されます。通常の授業で使用している教室と試験時の教室が変更になっている場合もありますので、試験日までに必ず確認しておきましょう。

試験に関わる重要なお知らせがある場合は、UNIPASS を利用してお知らせします。定期的に確認するようにしてください。

●定期試験時間

定期試験の時間帯は、次の通りです。通常の授業時間と開始時間は同じです。

時限	定期試験時間
1 時限	9：00 ～ 10：00
2 時限	10：55 ～ 11：55
(昼休み)	11：55 ～ 13：25
3 時限	13：25 ～ 14：25
4 時限	15：20 ～ 16：20
5 時限	17：10 ～ 18：10

●受験にあたっての注意点

受験心得

1　試験場では、すべて監督者の指示に従うこと。
2　試験は指定された座席で受けること。
3　学生証を携帯していない場合は、試験を受けることができない。
4　学生証は机上の指定された場所に提示すること。
5　机上には筆記用具（筆箱不可）、学生証、持ち込み許可の指定された物以外は置かないこと。許可された物以外の持ち物は足元に置くこと。
6　スマートフォン・携帯電話などの通信可能な機器については、その電源を切り、かばんの中へ片付けること。時計としては使用できない。かばんの中へ片付けずに、身につけていた場合は不正行為となる。
7　試験場内の自分の座席及び机上やその内側等に、試験範囲あるいは試験内容に関する事項を転写しないこと。
8　試験開始後は試験場内の座席及び机上やその内側等に、故意にその試験に際して認められた物品以外の物を放置しないこと。
9　試験開始後の私語はしてはならない。
10　試験場内での物品の貸し借りは行わないこと。
11　試験場内ですでに記入がなされた答案・その他を故意に見たり、また、自身あるいは他人の記入がなされた答案・その他を故意に第三者に提示しないこと。
12　試験開始後 20 分を経過した後に、試験場に入室することはできない。
13　試験開始後 30 分を経過した後は、監督者の指示により試験場より退室することを認める。
14　答案用紙は白紙であっても、学籍番号・氏名など必要事項を記入の上、これを提出しなければならない。

以　上

●不正行為

試験期間内又は試験期間外に行われた試験において不正行為が発覚した当該科目の成績は零点とします。また、同一学期内に不正行為を 2 度以上行った者は、当該学期の成績をすべてを零点とします。

ここでいう不正行為とは、原則として前掲の「受験心得」の注意事項を守らなかった場合をいいますが、授業科目担当者又は試験監督者が、これに準ずる行為であると判断した場合も、上記の処分を受けることがあります。

●仮学生証の発行

学生証を忘れた場合は、学生支援センターで、仮学生証の発行を受けてください。

仮学生証の発行は、学年暦に記載の

- 夏学期定期試験、夏学期追試験、夏学期再試験
- 冬学期定期試験、冬学期追試験、冬学期再試験

のそれぞれの試験期間中に一度しかできません（発行日のみ有効）。

学生証を紛失した場合は、証明書発行サービスで手続きを行ない、学生支援センターにて速やかに再発行の申込みを行ってください。(手数料：3,000 円)

追試験

定期試験時間割に記載されている試験をやむを得ない事由により受験することが出来なかった場合は、定められた期間に追試験申込書を教務課に提出し、これが受理されれば追試験を受けることができます。追試験申込書を提出する時には、試験が受けられない事由を証明する書類を添えなければなりません。

●追試験手続きの手順

1） 追試験申込書・定期試験が受けられなかった理由を客観的に証明できる書類の提出。
2） 追試験受験が認められたか確認する（追試験申込書提出の 3 日後以降に UNIPASS 等で通知）。
3） 指定された日時に UNIPASS で発表される追試験時間割又はレポート課題を確認する。
4） 追試験を受ける。又は定められた期日までにレポート課題を提出する。

【注意事項】

- 追試験申込書の受理の確認は電話では行いません。必ず UNIPASS 又は教務課窓口で行って下さい。
- 提出した書類に不備がある場合、追試験申込書は受理されません。
- 提出した証明書などに改ざんや不正があった場合は厳正に処分します。

＊追試験を筆記試験で実施する場合は、追試験期間中に実施します。

●追試験の対象となる事項

理　由	必要な証明書など
本人の病気・怪我	試験日を含む医師の診断書（領収書での受付は不可）
公共交通機関の遅延 （自宅からの通学経路に限る）	20 分以上の遅延証明書
忌引（3 親等内の親族）	死亡を証明する文書・会葬御礼・葬儀証明書
結婚式への参列 （2 親等内の親族。本人の式は含まない）	結婚式の案内状
就職試験	キャリアセンター又は教職教育推進センター発行の公認欠席届
公式試合・発表会等	学生支援センター発行の公認欠席届
裁判員制度	裁判員に選ばれたことが分かる書類
災害	被災証明書又は罹災証明書
その他教務センター長が認めるもの	個別に指示する

※公認欠席届の発行方法は、該当部署で確認してください。

●追試験の対象とならない事項（質問の多い事項を抜粋）

授業時間内に行われる小テストやレポート提出
交通事故（怪我による通院を除く）、交通渋滞
出席回数や平常点の不足等により、合格の見込みがない科目（受理後の取消も有）
医師の診断書がない病気・怪我（領収書のみは不可）
公認欠席にならない法事など
選考を伴わない就職活動
ボランティア活動、インターンシップ

再試験

4 年次生以上又は看護学部の学生で、当該学期に履修登録し、不合格となった科目については、再試験申込日に申し込むことで再試験を受験することができます。

再試験を受けることができる科目数は 1 学期につき 3 科目までです（看護学部の学生は除く）。

授業科目担当者によっては再試験を行わない場合や、出席日数によって再試験の受験が許可されない場合があります。

再試験の実施日に受験できなかった場合の追試験は行いません。

再試験は定期試験終了後に実施します。

※再試験は、再試験の申請をした学生のみ対象です。対象者がいない場合、再試験は行いません。

● 1 ～ 6 セメスターにおける看護学部の再試験科目について

看護学部専門教育科目の講義科目、演習科目全てが対象です。

●再試験手続きの手順

1） 再試験申込日に申し込みを行う。

- 手続きに必要なもの：①学生証
  ②受験手数料：1 科目につき 2,000 円

2） 指定された日時に UNIPASS で発表される再試験時間割又はレポート課題を確認する。

3） 再試験を受験する。又は定められた期日までに、レポート課題を提出する。

●再試験の成績評価

再試験による科目の成績評価は、上限が 60 点となります。

成績と GPA

●成績発表

各学期の定期試験後の成績は、学年暦に記載の成績公開日に UNIPASS の「成績照会」機能で発表します。必ず各自で確認をして、次学期以降の学修計画の見直しを行ってください。

なお、保護者の方も UNIPASS の保護者向けページで成績の確認が可能です。

●成績評価

成績の評価は「秀」「優」「良」「可」「不合格」「認」で表します。「不合格」以外が「合格」となります。「認」は単位は付与されますが、成績や GP は付与されません。

単位修得	評　価	得　点	GP	備　　考
できる	秀	90 − 100	4	目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。
	優	80 − 89	3	目標を十分に達成している。
	良	70 − 79	2	目標を達成している。
	可	60 − 69	1	目標を最低限度達成している。
	認		対象外	教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定します。
できない	不合格	0 − 59	0	目標を達成していない。

表中の GP については、次の「GPA」の項目で説明します。

不合格科目については、UNIPASS の「成績照会」画面には表示されますが、成績証明書には記載されません。

● GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

GPA は、学生個人の成績を客観的・総合的に評価するための指標です。 各授業科目の 5 段階評価に対して、4 ～ 0 のグレード・ポイント（GP）を付与して算出する 1 単位あたりの平均値をいいます。GPA を利用することで、学修の質を評価することができます。

GPA は次のように算出されます。

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{（当該学期の履修登録科目の GP ×当該科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期の履修登録総単位数}}$$

$$\text{年度 GPA} = \frac{\text{（当該年度の履修登録科目の GP ×当該科目の単位数）の合計}}{\text{当該年度の履修登録総単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{（在学全期間の履修登録科目の GP ×当該科目の単位数）の合計}}{\text{在学全期間の履修登録総単位数}}$$

UNIPASS の成績照会欄に各種 GPA を記載しています。

● GPA の活用

1)4 学期連続して学期 GPA が 1.00 未満であった学生に対し、学修・学生生活に対する助言指導を行い、その後の学業続行の見込みがないと判断した場合は退学勧告を行います。

2)前年度の GPA が 3.50 以上ある場合、所定の履修単位上限を超えて、年間56単位・各学期28 単位まで履修登録することができます。

3)学生の履修指導の際、GPA を参考にすることがあります。その他、履修条件、転学部転学科の受験資格、留学や奨学金などの選考基準として GPA の数値が条件となる場合があります。

● GPの算出対象

1） 過去に不合格となり、再履修をして合格となった場合でも、過去の不合格履歴が GPA の算出対象となります。

2） 卒業に必要な単位に含まれない、文学部・社会学部・看護学部の「教職に関する科目」及び「司書教諭の講習に関する科目」についても GPA の算出対象となります。

3） 追試験・再試験が発生した科目はその評価を GP に換算します。

4）「認定」の科目は単位は付与されますが、成績や GP は付与されず、算出対象になりません。

5） 不合格科目の GP を 0 とし、GPA 算出の対象とします。

●成績照会について

以下の条件に当てはまる科目については、発表された成績について、定められた期間中に「成績照会申請書」を教務課に提出することで、担当教員へ成績の確認を申し出ることができます（本人の申し出に限る）。申請期間等は事前に掲示しますので、定められた期間以外は受け付けません。

【申請条件】

1） 該当科目の履修登録がされていること。

2） 授業に 3 分の 2 以上出席していること。

3） 指定されたレポート等の課題を必ず提出していること。

＊手続きの詳細は必ず UNIPASS で確認してください。

必ず本人が申請しなければなりません。

成績照会の申請は、成績について誤りがないかどうかを確認するための、とても重要な手続きですので、申請には必ず本人が申し出ることが必要です。

UNIPASS での成績表示

この表示は見本のため、履修年度は
実際の流れと異なります。

表示パターン　◉ まとめて表示 ○ 年度学期表示

表示パターンを変更することで、学期ごとにまとまった表示で成績の確認を行うことも可能です。

評価欄

秀 …… 90 点 ～ 100 点
優 …… 80 点 ～ 89 点
良 …… 70 点 ～ 79 点
可 …… 60 点 ～ 69 点
不可 …… 0 点 ～ 59 点
＊ …… 現在履修中
認 …… 単位を認定された科目

科目名	単位	評価	素点	年度	学期	教員氏名
《教養教育科目》						
和の精神Ⅰ	1	秀	100	2026	夏学期	
和の精神Ⅱ	1	秀	100	2026	冬学期	
仏教概説		不可	50	2026	冬学期	
現代社会と人権Ⅰ		不可	20	2026	夏学期	
大学基礎演習Ⅰ	2	優	80	2026	夏学期	
大学基礎演習Ⅱ	2	優	80	2026	冬学期	
日本国憲法		不可	20	2026	冬学期	
情報処理演習Ⅰ	2	可	65	2026	夏学期	
《専門教育科目》						
日本学表現演習Ⅰ	2	秀	90	2026	夏学期	
日本学表現演習Ⅱ	2	優	85	2026	冬学期	
古典Ⅰ（日本）	2	良	70	2026	夏学期	
古典Ⅱ（中国）		不可	10	2026	冬学期	
《その他》						
《教職に関する科目》						
教職論	2	優	80	2026	冬学期	
教育原論	2	優	80	2026	夏学期	
教育心理学	2	可	60	2026	冬学期	
特別支援教育		不可	0	2026	夏学期	

（注）評価欄に＊が出力された科目は現在履修中です。

GPA
通算 GPA 1.82
年度 GPA

2026
1.82

年度学期 GPA

26 夏学期	26 冬学期
2.18	1.45

GPA
GPAの詳細はp. 53を参照のこと。

修得単位数欄
修得した単位の区分とその合計を示す。
単位数が、卒業要件単位数を満たしていても、必修科目・選択必修科目を修得していなければ、卒業要件を満たしているとはいえない。

教職単位、自由単位
卒業要件単位数には含まれない。

単位修得状況

科目分類								合計						
	教養	専門			その他									
			学科	他学科		教職	自由							
修得済単位	8	8	8	0	6	6	0	16						
合計単位	8	8	8	0	6	6	0	16						

修得単位数合計の目安

学科によって一概には言えませんが、下表の単位数を目安にしてください。但し、単位数が多くても、その中に修得すべき科目（必修科目、選択必修科目）が含まれていないと卒業要件を満たすことにはなりません。

夏学期（前期）			冬学期（後期）		
学　年	目安となる修得単位		学　年	目安となる修得単位	
	文･社会･教育･経営	看護		文･社会･教育･経営	看護
1 年次（1 セメスター）	15 単位以上	16 単位以上	1 年次（2 セメスター）	31 単位以上	32 単位以上
2 年次（3 セメスター）	46 単位以上	48 単位以上	2 年次（4 セメスター）	62 単位以上	63 単位以上
3 年次（5 セメスター）	77 単位以上	79 単位以上	3 年次（6 セメスター）	93 単位以上	95 単位以上
4 年次（7 セメスター以上）	108 単位以上	111 単位以上			

教育課程
（授業科目一覧・単位数など）

授業科目編成表の見方 …… 58

ナンバリングコードの表示と見方 …… 59

履修系統図について …… 60

教養教育科目 …… 61

専門教育科目について …… 72
- 文学部 …… 72
  - 日本学科 …… 73
  - 国際コミュニケーション学科 …… 82
- 社会学部 …… 90
  - 社会学科 …… 91
  - 人間福祉学科 …… 100
- 教育学部 …… 110
  - 教育学科学校教育コース …… 113
  - 教育学科幼児教育保育コース …… 126
- 経営学部 …… 136
- 看護学部　看護学科 …… 150

教職に関する科目
（文学部・社会学部・看護学部） …… 192

司書教諭の講習に関する科目 …… 194

重ねて履修できない科目一覧表 …… 195

教育課程（授業科目一覧・単位数など）

●授業科目編成表の見方

	A	B	C			D	E	F	G			H	I
種別	科目コード	科目名	単位数			配当セメスター	主要授業科目	他学部・他学科履修	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択必修	選択				①	②	③		
学科基幹科目	K2010	英語圏文化概説			2	1～2	○		◎		○		
	K2015	世界体験入門			2	1～2			◎		○		
	K2035	Extensive Reading Ⅱ			2	3～4			◎	○			

A……科目コード　UNIPASS の授業コードに対応。

B……科目名　科目名の後にA、Bなどのアルファベットが付いている科目はAからアルファベット順に履修すること。Ⅰ、Ⅱなどの数字が付いている科目は、途中の数字からの履修も可能。ただし備考欄やシラバスでⅠから順に履修を進めるよう記載があれば、それに従って履修すること。

C……単位数
- **必修**：卒業するためには必ず修得しなければならない科目。
- **選択必修**：［］でくくられている場合、右に記された単位のそれぞれの科目から選択して、選択必修欄に記された単位数を必ず修得しなければならない。
- **選択**：卒業するためには選択して所定の単位数を修得しなければならない科目。

D……配当セメスター　原則として履修すべきセメスター
配当セメスターで履修することが望ましいが、配当セメスターより上のセメスターに在学していれば履修は可能。

E……主要授業科目　教育上主要と認める科目（卒業に必要な必修科目とは異なる場合がある）

F……他学部・他学科履修

各自が所属する学部・学科・専攻以外で開講されている専門教育科目を各自が所属する専門教育科目として履修できるが、この欄に不可と表記されている科目については履修できない。ただし、UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは不可と表記されていない科目でも、人数制限等の理由で履修できない場合もあるので、必ず事前に担当教員に確認すること。

※社会学部人間福祉学科、教育学部、看護学部、短期大学部の専門教育科目は履修できない。

G……身につけるべき能力

卒業認定・学位授与の方針に基づき、卒業時点において学生が身につけるべき能力と各科目との対応を表している。

H……ナンバリングコード

ナンバリングとは、区分や水準等をもとに授業科目に番号を付け、カリキュラム全体の中での各授業科目の学修の段階や順序を表したもの。履修登録や学修の上での参考にすること。

Ⅰ……備考欄　履修可能な学科を指定している場合がある。履修登録時に注意すること。

●ナンバリングコードの表示と見方

10 桁のアルファベット・数字で表します。

H	J	DA	1	001	a	0
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

①第 1 区分コード……教養教育科目・専門教育科目・教職に関する科目、司書教諭の講習に関する科目・留学生対象科目で区分

②第 2 区分コード……学科で区分

③第 3 区分コード……専攻・コース・分野・領域で区分

※①第 1 区分～③第 3 区分についての詳細は、以下の「区分コード表」を確認してください。

④水 準 コ ー ド……1：初級レベル［入門・導入的な内容の科目］
2：中級レベル［発展的・応用的な内容の科目］
3：上級レベル［総合的かつ高度な内容の科目］

⑤科 目 コ ー ド……原則、履修規程に規定された科目の順序

⑥授業での使用言語……a：日本語　b：英語　c：日本語及び英語　d：その他

⑦科目区分コード……0：専門教育科目
1：教養教育科目
2：教職に関する科目・司書教諭の講習に関する科目・リメディアル科目

区分コード表

①第1区分コード		②第2区分コード		③第3区分コード	
学部等	コード	学科	コード	専攻・コース・分野・領域	コード
教養教育科目 Liberal arts education subjects	L	全学科 All departments	A	教養教育科目　こころと思想	LA
				教養教育科目　学びの基礎	LB
				教養教育科目　社会と文化	LC
				教養教育科目　情報と自然科学	LD
				教養教育科目　健康と福祉	LE
				教養教育科目　言語	LF
				教養教育科目　キャリア教育	LG
				教養教育科目　学外研修	LH
文学部 Faculty of Literature	L	日本学科 Department of Japanese Studies	J	学部共通科目	DA
				学科共通	DB
				学科基幹科目	DC
				日本語・日本文学コース	DD
				国語教育・日本語教育コース	DE
				伝統文化・観光コース	DF
				現代文化（和食）コース	DE
		国際コミュニケーション学科 Department of International Communication	I	学部共通科目	EA
				学科共通	EB
				学科基幹科目	EC
				外国語・英語教育コース	ED
				国際文化コース	EE
				ホスピタリティコース	EF
社会学部 Faculty of Sociology	S	社会学科 Department of Sociology	S	学科共通領域	FA
				人間・社会コース	FB
				地域・メディアコース	FC
				心理コース	FD
				歴史コース	FE
				学部共通	FF
		人間福祉学科 Department of Human Welfare	H	社会福祉領域	GA
				医療福祉領域	GB
				心理・健康福祉領域	GC
				福祉マネジメント領域	GD
				学部共通	GE

①第1区分コード		②第2区分コード		③第3区分コード	
学部等	コード	学科	コード	専攻・コース・分野・領域	コード
教育学部 Faculty of Education	E	教育学科 Department of Education	E	学校教育コース　コース共通　教職一般領域	ＨＡ
				学校教育コース　コース共通　初等教育領域	ＨＢ
				学校教育コース　コース共通　コース共通領域	ＨＣ
				学校教育コース　教育・子ども理解領域	ＨＤ
				学校教育コース　特別支援教育領域	ＨＥ
				学校教育コース　幼児教育領域	ＨＦ
				学校教育コース　英語教育領域	ＨＧ
				学校教育コース　数学教育領域	ＨＨ
				学校教育コース　理科教育領域	ＨＩ
				学校教育コース　保健教育領域	ＨＪ
				幼児教育保育コース　コース共通　教職一般領域	ＩＡ
				幼児教育保育コース　コース共通　初等教育領域	ＩＢ
				幼児教育保育コース　コース共通　コース共通領域	ＩＣ
				幼児教育保育コース　幼児教育保育領域	ＩＤ
経営学部 Faculty of Business Administration	B	経営学科 Department of Business Administration	B	公共経営専攻　学科共通科目	ＪＡ
				公共経営専攻　公共経営専攻	ＪＢ
				企業経営専攻　学科共通科目	ＫＡ
				企業経営専攻　企業経営専攻	ＫＢ
看護学部 Faculty of Nursing	N	看護学科 Department of Nursing	N	健康科学科目　身体のしくみと働き	ＮＡ
				健康科学科目　疾病からの回復過程	ＮＢ
				健康科学科目　健康と生活	ＮＣ
				健康科学科目　社会保障と健康政策	ＮＤ
				看護科学科目　看護の基盤	ＮＥ
				看護科学科目　療養生活支援看護	ＮＦ
				看護科学科目　女性の健康と成育支援看護	ＮＧ
				看護科学科目　コミュニティにおける継続的な看護	ＮＨ
				看護科学科目　健康の増進と疾病予防の看護	ＮＩ
				看護科学科目　看護の探求と統合	ＮＪ
				看護科学科目　保健師コース	ＮＫ
				看護科学科目　助産師コース	ＮＬ
				看護科学科目　看護教諭コース	ＮＭ
教職に関する科目 Subjects related to teaching profession	文学部及び社会学部				ＴＴＴＴ
	看護学部				ＴＴＴＮ
司書教諭の講習に関する科目 Subjects related to librarian teachers					ＬＬＬＬ
留学生対象科目					ＺＺＺＺ

●履修系統図について

履修系統図とは、ディプロマ・ポリシーで示されている「卒業時点において学生が身につけるべき能力」を修得するために科目がどのように配置されているのか、つまり、各科目の関連性やつながりを体系的に明示したものです。

●教養教育科目（全学共通）について

「教養教育科目」は、学問の対象や性格によって、「こころと思想」、「学びの基礎」、「社会と文化」、「情報と自然科学」、「健康と福祉」、「言語」、「キャリア教育」の７つの科目群に分類される。

○「こころと思想」は、建学の精神である聖徳太子の仏教精神を深めるとともに、心の問題や思想について学び、自らの生き方を振り返る一助とする。

○「学びの基礎」は、大学での学修に必要なスキルを育成するとともに、専門的な学びへのスムーズな移行を図る。

○「社会と文化」は、法や政治という社会システム等について学ぶことで、社会の一員としての意識を高める。

○「情報と自然科学」は ICT 活用能力等を高めるとともに、自然科学の観点から生命や社会について考える素地を養成する。

○「健康と福祉」は、心身の健康に対する意識を高めるとともに利他の精神に基づく福祉の考えを学ぶ。

○「言語」は、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「コリア語」、「日本手話」等で構成され、各言語でのコミュニケーション技能や、異文化理解や多文化共生等のグローバル社会に対応できる資質・能力を養成する。

○「キャリア教育」は、入学から卒業までを見通したキャリアデザインを構想するとともに、卒業後の社会生活を視野に入れて、キャリア意識や社会人に必要な幅広い知識・技能を身につける。

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

「和の精神」を持ち、実社会で活躍できる人間形成

本学は、大学生活全体を通して、「和の精神」を持ち、実社会で活躍できる人間形成を図ります。

卒業時点において学生が身に付けるべき能力（ディプロマ・ポリシー）

① 自己分析・自己研鑽の力
- ○ 自らの理念や行動を相対化し、省察することができる。
- ○ 自己を高めるために生涯にわたり、学び続けることができる。

② 豊かな人間性～慈愛の心・利他の精神～
- ○ 多様な立場、考え方の存在を認める（受容する）ことができる。
- ○ 他者に対して思いやりを持ち、寛容な態度で接することができる。
- ○ 他者の喜びや躓きを自己のものとして共感することができる。

③ 社会（組織）で活躍できる力～専門性を基礎として～
- ○ 社会（組織）の現状について認識できる。
- ○ 社会（組織）の一員として自己を理解できる。
- ○ 社会（組織）に貢献する強い意欲を持ち、行動することができる。
- ○ 組織の新たな課題解決や改革に仲間とともに取り組み、実現することができる。

科目群	内　容
①こころと思想	宗教・哲学・心理学など、人間のこころと思想について学ぶ科目群
②学びの基礎	大学での学習や生活に必要な知識・技能などを学ぶ科目群
③社会と文化	政治学・経済学・歴史・文化など、人間の社会や文化について学ぶ科目群
④情報と自然科学	コンピューターや生命科学など、自然科学全般について学ぶ科学群
⑤健康と福祉	スポーツや福祉など、人体とそこから発するさまざまな問題について学ぶ科目群
⑥言語	英語及び第二外国語を学ぶ科目群
⑦キャリア教育	大学卒業後の進路に備えた実践的な科目群 地域活性化概論や地域活性化実践演習など、地元地域について多角的な視点から学ぶ科目群

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

「教養教育科目」は学問の対象や性格によって、「こころと思想」「学びの基礎」「社会と文化」「情報と自然科学」「健康と福祉」「言語」「キャリア教育」の科目群から構成されている。

「こころと思想」は、「和の精神Ⅰ」「和の精神Ⅱ」では写経と瞑想といった実践を行い思慮のある安定した人格の形成を図る。また建学の精神である聖徳太子の仏教精神を深め慈愛の心と利他の精神をもつ豊かな人間性を育てていく。またこころの問題や思想について学び、自らの生き方を振り返る一助とする。

「学びの基礎」は、本学の初年次教育で、大学での学びや生活に必要なスキルを育成するとともに専門的な学びへのなめらかな導入を図る。

「社会と文化」は「こころの思想」の学びをもとに法や政治という社会システム等について学ぶことで社会の一員としての意識を高める。

「情報と自然科学」はそれぞれ ICT 活用能力をたかめるとともに自然科学の観点から生命や社会について考える素地を養成する。

「健康と福祉」は心身の健康に対する意識を高めるとともに利他の精神に基づく福祉の考えを学ぶ。

「言語」は英語を主にし、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「コリア語」「日本手話」で構成され、それぞれの基礎から応用まで段階を踏まえてコミュニケーション技能を身に付け、高める。

「キャリア教育」は卒業後の社会生活を視野に入れて、キャリア意識や社会人に必要な幅広い知識・技能を段階的に身に付ける。

「キャリア教育」について

1 年次から 3 年次に掛けてキャリア形成や産業・経済に関する知識を養うことを目的とした授業です。特に、1 年次配当科目「キャリアデザイニング Ⅰ」は、就職意識の向上や社会人になることへの前向きな気持ちの醸成を目的に必修科目としています。(教育学部及び看護学部は選択科目)

その他の科目についても、全学生に学んでもらいたいという思いから時間割上も履修しやすいように配置し、履修を勧めています。

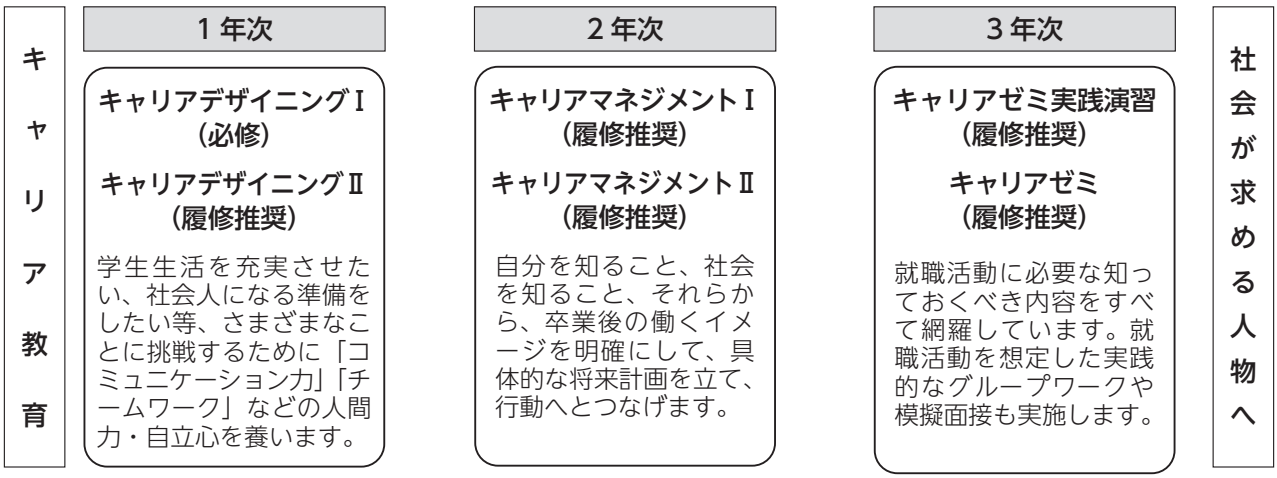
科　目		配当セメスター	分　類
キャリアデザイニング Ⅰ		1 ～ 2 セメスター	必修科目※ 1
キャリアデザイニング Ⅱ		1 ～ 2 セメスター	選択科目（履修推奨）
キャリアマネジメント Ⅰ	(専門教育科目)	3 ～ 4 セメスター	選択科目（履修推奨）
キャリアマネジメント Ⅱ	(専門教育科目)	3 ～ 4 セメスター	選択科目（履修推奨）
キャリアゼミ実践演習	(専門教育科目)	5 ～ 6 セメスター	選択科目（履修推奨）
キャリアゼミ	(専門教育科目)	5 ～ 6 セメスター	選択科目（履修推奨）

※ 1　教育学部及び看護学部は「選択科目」
以上の科目は学科・専攻によるクラス指定に従って履修すること

その他、キャリアセンターが主催する各種講座やセミナーもあります。これらはキャリア教育の授業科目と組み合わせるとより効果的です。各学部・学科・専攻のオリエンテーションやゼミ、各部署からの案内に注意を向けて、自分の将来に有効な計画を立ててください。

キャリア教育関連科目

卒業後の社会生活を視野に入れて、キャリア意識や社会人に必要な幅広い知識・技能を段階的に身につけます。



「情報教育」について（全学部共通）

現代の情報社会を生き抜くための力を養うことを目的とした授業です。

1. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）

「情報処理演習Ⅰ」及び「情報処理演習Ⅱ」は、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に位置づけられた科目です。これらの科目では、ICT やデータサイエンスを学ぶための基礎力を養い、多くの業種で求められるツールを適切に活用する能力を身につけます。本学では、この科目を含む「コンピュータリテラシー」関連の 3 科目を選択必修科目とし、そのうち 1 科目の単位修得が卒業要件となっています。しかし、「情報処理演習Ⅰ」及び「情報処理演習Ⅱ」を履修することでデジタル社会で必要とされる初級レベルの知識・技能を確実に修得することができます。従って本学では「情報処理演習Ⅰ」及び「情報処理演習Ⅱ」の両方の履修を強く推奨しています。

教養教育科目	配当セメスター	分　類
情報処理演習Ⅰ	1 ～ 2 セメスター	選択必修科目
情報処理演習Ⅱ	1 ～ 2 セメスター	選択必修科目

※「情報処理演習Ⅰ」については、学科・専攻ごとのクラス指定に従って履修してください（2 年次生以上は除く）。

2. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）

２年次配当科目の「データ収集分析」「プログラミング演習」「情報システム」及び「ＡＩ入門」を『数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム（応用基礎レベル）』と位置付けています。

これらの科目では、リテラシーレベル（初級レベル）で修得した知識・技術等をさらに発展させ、自らの専門分野においても数理・データサイエンス・ＡＩを活用して、課題を解決できるようになるための実践的な応用基礎力を身に付けることを目的としています。

教養教育科目	配当セメスター	分　　類
データ収集分析	3 セメスター	選択科目
プログラミング演習	3 セメスター	選択科目
情報システム	4 セメスター	選択科目
AI 入門	4 セメスター	選択科目

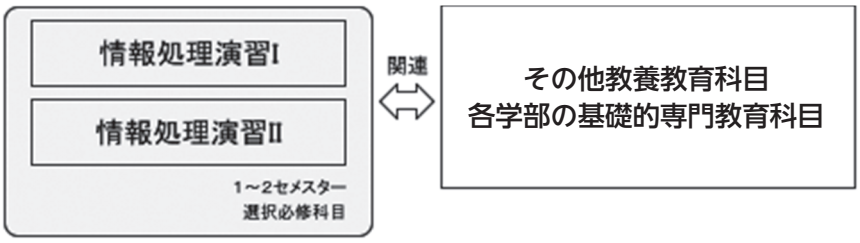
3．Web デザイン教育プログラム

このプログラムでは、Web デザインを中心に、□ HTML/CSS の基礎知識を学ぶとともに、ウエブサイトの運用やセキュリティ対策など情報処理に関する幅広い知識と技術を習得します。

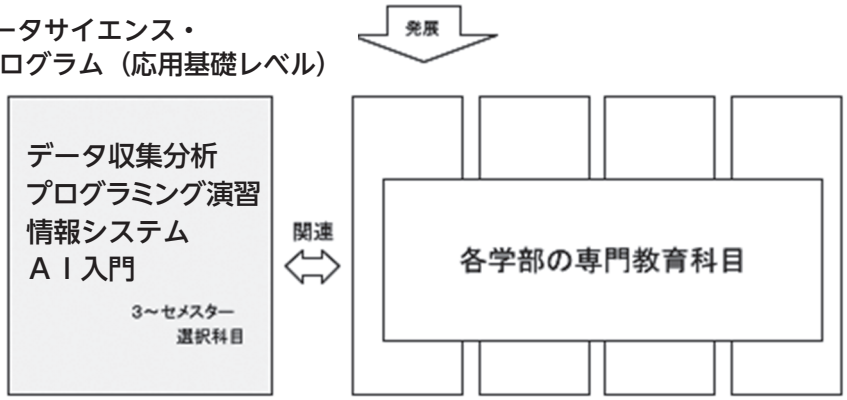
また、国家試験「ウェブデザイン技術検定 3 級」の合格を目標にし、コンピュータの楽しさに触れることで、さらなる学習やスキルアップへの意欲を育むことをめざします。

教養教育科目	配当セメスター	分　　類
情報デザイン	1 セメスター	選択科目
Web デザイン演習	2 セメスター	選択科目
プログラミング演習	3 セメスター	選択科目
情報システム	4 セメスター	選択科目

1. 数理・データサイエンス・
AI 教育プログラム（リテラシーレベル）



2. 数理・データサイエンス・
AI 教育プログラム（応用基礎レベル）



●プログラム修了者に修了認定証を授与

対象教育プログラム

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）

Web デザイン教育プログラム

対象プログラム修了者には、学修成果を証明するデジタル認定証「オープンバッジ」を発行します。このバッジはオンラインで共有可能で、取得スキルや学修歴を視覚的に証明できます。このバッジは就職活動やキャリア形成の際に活用でき、デジタル社会における自己アピールの強力なツールとなり、将来のステップアップに役立ちます。

4．数理・データサイエンス・ＡＩ関連の受験推奨検定試験について

以下の検定試験は、「四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部資格チャレンジ奨励金」の対象になっていますので、在学中に合格した場合は奨励金が支給されます。

進路・就職等を意識した検定試験合格に意欲的に取り組み、継続して学修するための奨励金制度です。ぜひチャレンジしてください。

なお、奨励金の詳細については P.257 に掲載の「四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部資格チャレンジ奨励金規程」を確認してください。

- データサイエンティスト検定　リテラシーレベル
- 統計検定 データサイエンス　基礎
- 統計検定 データサイエンス　発展
- 統計検定 データサイエンス　エキスパート
- 統計検定　２級
- 統計検定　３級

※本教育プログラム（リテラシーレベル、応用基礎レベル）及び検定試験について質問等があれば、ラーニングコモンズ（3 号館 1 階）へお問い合わせください。

「国語系科目・数理系科目」について

1 年次～ 2 年次にかけて、国語系科目では基礎的な文章作成力及び文章表現力を育成し、数理系科目では社会人に求められる基礎的な数理的・論理的思考力の向上をめざします。

文章を書くことや読むことに自信のない方、中学・高校の数学とは違う学び方で数理的・論理的思考力を身に付けたい方は、ぜひ受講してください。

科目名	配当セメスター	内　　容
日本語リテラシー（基礎）	1 ～ 2 セメスター	情報化が進む中で、文章を書く力がとても大切になっています。この授業では、小論文や実務的な文書を書くための基本を身につけます。講義を中心に進めますが、実際に文章を書いて添削を受ける課題もあります。積極的に参加することで、文章力をしっかりと伸ばせる内容です。
日本語リテラシー（応用）	3 ～ 4 セメスター	社会で活躍するために必要な「情報収集」「分析」「表現」などの力を養う授業です。ディベートやグループワークを通じて、問題を言葉で表し、解決策を考える力を身につけます。
数学演習Ⅰ	1 ～ 2 セメスター	この授業では、数学の基本的な考え方や論理的思考力を身につけることを目指します。コンピュータ科学の入門内容を題材に、ゲーム感覚のアクティブラーニングを取り入れています。そのため、数学の知識が少ない人でも楽しく学べるよう工夫されています。
数学演習Ⅱ	1 ～ 2 セメスター	この授業では、数学の基本や論理的な考え方を身につけ、社会で活かす力を育てます。コンピュータ科学や現実の数学的な問題を題材に、ゲーム感覚のアクティブラーニングで楽しく学べる工夫がされています。
数的リテラシー	3 ～ 4 セメスター	企業人、公務員として活躍するには、数学的・論理的思考力が求められます。数学に苦手意識を持つ人にも身近な事例を用いて基礎から振り返り、公式に頼らず、筋道を立てて考える力を育成します。

●教養教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	授業科目	単位数			配当セメスター	主要授業科目	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択必修	選択			①	②	③		
こころと思想	K0010	和の精神Ⅰ	1			1～2	○	○	◎		LALA1010a1	
	K0020	和の精神Ⅱ	1			1～2	○	○	◎		LALA1020a1	
	K0110	仏教概説	2			1～2	○	○	◎		LALA2110a1	
	K0115	仏教実践演習			2	3～4	○	○	◎		LALA2115a1	
	K0120	聖徳太子概説			2	3～4	○	○	◎		LALA2120a1	
	K0125	哲学入門			2	1～2		◎			LALA1125a1	社会学科履修不可
	K0130	現代思想Ⅰ			2	1～2		◎	○		LALA1130a1	
	K0135	現代思想Ⅱ			2	3～4		◎	○		LALA1135a1	
	K0140	心理学Ⅰ			2	1～2		◎			LALA1140a1	社会・人福履修不可
	K0145	心理学Ⅱ			2	1～2		◎			LALA2145a1	
学びの基礎	K0150	大学基礎演習Ⅰ	2 (注1)			1～2		○	◎		LALB1150a1	看護学部履修不可
	K0155	大学基礎演習Ⅱ	2 (注1)			1～2		○	◎		LALB2155a1	
	K0160	情報処理演習Ⅰ		2	②	1～2		◎			LALB1160a1	教免・保育士はいずれか1科目必修
	K0165	情報処理演習Ⅱ			②	1～2		◎			LALB2165a1	
	K0170	コンピュータリテラシー			2	1～2		◎			LALB1170a1	
	K0175	日本語リテラシー(基礎)			2	1～2		◎			LALB1175a1	
	K0180	日本語リテラシー(応用)			2	3～4		◎			LALB2180a1	
	K0185	数理入門Ⅰ			2	1～2		◎			LALB1185a1	
	K0190	数理入門Ⅱ			2	1～2		◎			LALB2190a1	
	K0195	小論文作成法			2	1～2		◎			ZZZZ1195a1	留学生用
	K0200	日本のビジネスマナーと文書			2	1～2		◎			ZZZZ1200a1	留学生用
	K0205	日中翻訳の理論と実践			2	1～2		◎			ZZZZ1205a1	留学生用
社会と文化	K0210	現代社会と人権Ⅰ		2	2	1～2	○	○	◎	○	LALC1210a1	
	K0215	現代社会と人権Ⅱ			2	1～2	○	○	◎	○	LALC1215a1	
	K0220	現代社会と仏教			2	3～4		◎			LALC1220a1	
	K0225	仏教文化入門			2	3～4		◎			LALC1225a1	
	K0230	日本国憲法			②	1～2		◎			LALC1230a1	教免必修
	K0235	法学入門			2	1～2		◎			LALC1235a1	社会学科と人間福祉学科「公民」免許希望者は履修不可
	K0240	政治学			②	1～2		◎			LALC1240a1	
	K0245	ジェンダーの社会学			2	1～2			◎		LALC1245a1	
情報と自然科学	K0250	プログラミング演習			2	3～4		◎			LALD2250a1	
	K0255	情報システム			2	3～4		◎			LALD2255a1	
	K0260	データ収集分析			2	3～4		◎			LALD2260a1	
	K0265	ＡＩ入門			2	3～4		◎			LALD2265a1	
	K0270	情報デザイン			2	1～2		◎			LALD1270a1	
	K0275	Webデザイン演習			2	1～2		◎			LALD1275a1	

●教養教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	授業科目	単位数			配当セメスター	主要授業科目	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択必修	選択			①	②	③		
情報と自然科学	K0280	生命の科学			2	1～2		◎			LALD1280a1	
	K0285	環境の科学			2	1～2		◎			LALD1285a1	
	K0290	生物学	2 (注2)			1～2		◎			LALD1290a1	看護学部のみ履修可
健康と福祉	K0295	スポーツⅠ			①	1～2		◎			LALE1295a1	ⅠとⅡは教免必修 Ⅰは保育士必修
	K0300	スポーツⅡ			①	1～2		◎			LALE2300a1	
	K0305	体育講義			2	3～4		◎			LALE1305a1	教幼のみ履修可 保育士必修
	K0310	社会福祉概論			2	1～2		◎	○		LALE1310a1	
	K0315	児童福祉論			2	3～4		◎	○		LALE1315a1	人福・教幼履修不可
	K0320	老人福祉論			2	1～2		◎	○		LALE1320a1	
	K0325	障害者福祉			2	1～2		◎	○		LALE1325a1	人福履修不可
	K0330	手話コミュニケーション			2	1～2		◎	○		LALE1330a1	
言語	K0400	英語Ⅰ	① (注3)			1～2		◎			LALF1400a1	国際コミュニケーション学科履修不可
	K0405	英語Ⅱ	① (注3)			1～2		◎			LALF1405a1	
	K0410	実用英語演習(注4)			1	3～4		◎			LALF2900c1	
	K0415	ドイツ語Ⅰ		2 (注5)	1	1～2		◎			LALF1415a1	
	K0420	ドイツ語Ⅱ			1	1～2		◎			LALF1420a1	
	K0425	ドイツ語とドイツ文化			2	1～2			◎		LALF1425a1	
	K0430	フランス語Ⅰ			1	1～2		◎			LALF1430a1	
	K0435	フランス語Ⅱ			1	1～2		◎			LALF1435a1	
	K0440	フランス語とフランス文化			2	1～2			◎		LALF1440a1	
	K0445	中国語Ⅰ			1	1～2		◎			LALF1445a1	
	K0450	中国語Ⅱ			1	1～2		◎			LALF1450a1	
	K0455	中国語と中国文化			2	1～2			◎		LALF1455a1	
	K0460	コリア語Ⅰ			1	1～2		◎			LALF1460a1	
	K0465	コリア語Ⅱ			1	1～2		◎			LALF1465a1	
	K0470	コリア語とコリア文化			2	1～2			◎		LALF1470a1	
	K0475	日本手話Ⅰ			1	1～2		◎			LALF1475a1	人福のみ履修可
	K0480	日本手話Ⅱ			1	1～2		◎			LALF1480a1	
	K0485	日本語Ⅰ			1	1～2		◎			LALF1485a1	日本語を母語としない者のみ履修可
	K0490	日本語Ⅱ			1	1～2		◎			LALF1490a1	
	K0495	日本手話とろう文化			2	3～4			◎		LALF1495a1	
キャリア教育	K0500	キャリアデザイニングⅠ	2 (注6)			1～2		◎			LALG1500a1	
	K0505	キャリアデザイニングⅡ			2	1～2		◎			LALG2505a1	
	K0510	数的リテラシー			2	3～4		◎			LALG2510a1	
	K0515	産業・企業研究			2	3～4		◎			LALG2515a1	
	K0520	地域活性化概論			2	1～2		◎	○		LALG1520a1	

●教養教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	授業科目	単位数			配当セメスター	主要授業科目	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択必修	選択			①	②	③		
キャリア教育	K0525	地域活性化実践演習Ⅰ			2	3～4		◎	○		LALG2525a1	
	K0530	地域活性化実践演習Ⅱ			2	3～4		◎	○		LALG2530a1	
	K0535	地域活性化実践演習Ⅲ			2	5～6		◎	○		LALG2535a1	
	K0540	地域歴史文化演習			2	3～4		◎	○		LALG2540a1	
学外研修	K0600	国内実地研修Ⅰ			1 (注7)	1～2					LALH1905a1	
	K0605	国内実地研修Ⅱ			1 (注7)	1～2					LALH1910a1	
	K061A	海外実地研修			2 (注8)	1～2					LALH1915a1	
	K0621	海外語学研修Ⅰ			2 (注9)	1～2					LALH1920a1	
	K0622	海外語学研修Ⅱ			2 (注9)	1～2					LALH1925a1	
	K0623	海外語学研修Ⅲ			2 (注9)	1～2					LALH2930a1	
	K0624	海外語学研修Ⅳ			2 (注9)	1～2					LALH2935a1	
	K0630	中国語学研修Ⅰ			2 (注9)	1～2					LALH1940a1	
	K0631	中国語学研修Ⅱ			2 (注9)	1～2					LALH1945a1	
	K0632	中国語学研修Ⅲ			2 (注9)	1～2					LALH2950a1	
	K0633	中国語学研修Ⅳ			2 (注9)	1～2					LALH2955a1	
卒業に必要な最低修得単位数												
文学部日本学科			18		18	合計 36 単位						
文学部国際コミュニケーション学科			16		22	合計 38 単位						
社会学部社会学科、人間福祉学科			18		18	合計 36 単位						
教育学部教育学科			16		10	合計 26 単位						
経営学部経営学科			18		20	合計 38 単位						
看護学部看護学科			14		10	合計 24 単位						

(注 1) 看護学部看護学科は、「大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。
(注 2) 「生物学」は、看護学部看護学科のみ履修できる。
(注 3) 文学部国際コミュニケーション学科は、「英語Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。
(注 4) 「実用英語演習」の運用については別に定める。
(注 5) 同一言語のⅠ及びⅡを選択し、2 単位を修得する。ただし、原則として日本語を母語としない者が「日本語Ⅰ・Ⅱ」を履修できる。
また、「日本手話Ⅰ・Ⅱ」は社会学部人間福祉学科のみ履修できる。
(注 6) 教育学部教育学科及び看護学部看護学科は、「キャリアデザイニングⅠ」を選択科目とする。
(注 7) 「海外実地研修」については、別に定める規程に基づき運用する。
(注 8) 「海外語学研修」及び「中国語学研修」については、別に定める規程に基づき運用する。

〈教養教育科目「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の授業規律について（節録）〉

礼儀を正して静穏な環境で自らを省み、自他を尊重し、思慮深い安定した人格を養うことが「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の授業の目的です。主旨を理解し、以下の規律を遵守してください。

1. 単位の認定は、全授業回数のうち 3 分の 2 以上の出席を必要条件とする。「和の精神Ⅱ」の場合、全ページ自筆による書写記入済みの写経用紙の提出も必要条件とする。なお、以下の 2・3・4 の項目に違反する場合は出席を認めない。
2. 出席時の服装は、以下のスーツ着用基準に定められた服装を端正に着用する。

   ◆スーツ着用基準

   〈スーツ、ジャケットとパンツ又はスカート〉

   黒色、濃紺、チャコールグレーのいずれか一色の組み合わせで、無地のもの

   〈カッターシャツ、ブラウス〉

   無地又はストライプ

   〈ネクタイ（スーツの場合のみ）〉

   無地又はストライプ

   〈靴〉

   黒色又は茶色で革製の短靴（スニーカー不可）又は、フォーマルパンプス

   ※カッターシャツやブラウスについて、ビジネスシーンでは白色の無地が一般的である。
3. 入堂時には『聖典聖歌集』を所持していることを示し、授業中は常に携帯する。
4. 授業は午前 10 時 55 分開始である。開始前には入堂し着座しておく。
   - 公共交通機関（自宅からの通学経路に限る）の遅延による遅刻は、公共交通機関の延着証明の提示により、やむを得ない遅刻と判断される場合にのみ入堂を認める。

     ※原則として、鉄道以外の遅延は認めない。
5. 授業中は姿勢を正し、静寂を守り、実践に集中する。
6. 授業中の私語・通信機器等の使用は禁止する。
   - 注意されたら、すぐに改める。
   - 再三の注意にかかわらず改めない者については、授業妨害と見なし、改善が認められない場合は、欠席扱いとし、保護者にも教務センターより状況を伝える。
7. 授業中の中座は原則として禁止する。
   - やむを得ずトイレ等を利用する者は、学生証を階段前の教員に提出する。
8. 心身の疾患等により、合理的配慮の必要がある者は、事前に診断書などの証明書をもって学生支援センターに合理的配慮申請を行うか、教務課に申し出る。
9. 私語・通信機器等の使用・中座等について、改善の意思がない場合は、「授業妨害」「建学の精神に反する行為」と見なし、その学期の「和の精神Ⅰ・Ⅱ」の単位を不認定とすることがある。

●「専門教育科目」について

「専門教育科目」は、各学部・学科・専攻の教育目的に即した高度な内容をもつ専門的な科目等によって体系的に構成され、卒業に必要な最低修得単位数が決められています（単位数は学部・学科・専攻によって異なる)。学部・学科・専攻において中心となる科目は、必修、あるいは選択必修としています。学部・学科・専攻によって異なりますが、基本的に 1 年次から 4 年次までの各セメスターにおいて、必修科目として「基礎演習」、「演習」などが配当されており、2 年間もしくは 3 年間におよぶ演習を通して、担当教員がじっくり専門領域についての学修を指導する体制をとっています。

なお、必修科目及び選択必修科目は、修得できなかった場合には、卒業が延期となる可能性があります。必ず配当されたセメスターで修得するよう、特に注意してください。

学部・学科・専攻によっては、ある科目を履修する際の条件（これを「履修要件」といいます）として、特定の科目を修得していなくてはならない場合があります。また、学外実習に参加する場合に履修要件として、いくつかの科目を履修しておかなくてはならない場合もあります。これらの専門教育科目を履修する上での規則については、各学部・学科・専攻によって違いがありますので、「授業科目の編成及び単位数」をよく読んでおいてください。

●文学部

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー)〉

文学部では、卒業時点で以下の 3 点の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して「学士（文学)」の学位を授与する。

① 知識・技能

言語・文化などの諸事象について、幅広い知識ともに、専門的な知識・技能を学んで理解を深め、それを応用することができる。

② 思考力・判断力・表現力等

客観的に思考し判断する能力を身に付け、言語及び多様なメディアを用いて、自らの思考や見解を表現し、他者とコミュニケーションを図ることができる。

③ 主体性、多様性、協働性

社会や文化の様々な事象に関心をもち、主体的な取り組みや他者とのコミュニケーションによって課題を発見・検討し、社会貢献に向けて改善・解決を図ることができる。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー)〉

文学部の教育課程は、文学部のディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能、態度等の資質・能力を身に付けた人材を育成するため、大学が定めるカリキュラム・ポリシーに基づき、「教養教育科目」及び学部に所属する 2 学科の専門教育科目によってカリキュラムを編成する。

【教育課程の編成、教育内容】

建学の精神や大学教育に必要な基礎知識を学ぶ科目及び現代社会で生きるのに必要な知識・技能や幅広い教養を学ぶ科目を「教養教育科目」に設置する。

また各学科の専門教育科目において、進路について考える科目を「学部共通科目」(文学部・社会学部共通)に、主体性と協働する能力を修得する科目を「学科共通科目」(日本学科・国際コミュニケーション学科共通)にする。

学科において知識を学び資質を高める科目のうち、基礎や中核となるものを「学科基幹科目」に、発展的かつ専門的なものを「学科専門」に設置する。そして、専門分野の知見を総合し、課題発見・解決を図る総括的な科目として３・４年次にゼミナールの科目を設置する。

【教育方法】

1）専門的な知識・技能を修得する講義や実習、論理思考を培い課題を発見し解決する能力を養う演習などの中で、アクティブ・ラーニングを取り入れ、主体的・対話的な学びの深化を図ります。

2）他者と協働して社会や世界で活躍するための基盤として、言語の運用能力の深化による自他の相互理解のほか、ICT の活用をも含めたコミュニケーション能力を高めることをめざします。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。

2）講義や演習などの科目については、教育内容や形態に応じて、定期試験、中間試験などの小テスト、課題レポート、コメントシート、学生による自己評価・相互評価、ルーブリックによるパフォーマンス評価など、多面的に適切な方法を用いて評価します。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

文学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受ける条件として、以下のような資質・能力をもつ人物を受け入れることを方針とし、試験や審査を行います。

1）人文科学の専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。　〔求める要素：知識・技能〕

2）ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できること。
〔求める要素：思考力・判断力、表現力等〕

3）言語・文化に対する様々な事柄に関心をもち、課題を発見し解決する意欲を有すること。
〔求める要素：関心・意欲・態度〕

4）主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、他者と協働できること。
〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●日本学科

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

日本学科では、卒業時点で以下の３点の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して「学士（文学）」の学位を授与する。

① 知識・技能
日本について、日本語・日本文学、国語教育・日本語教育、伝統文化・観光、現代文化（和食）という多彩な角度から知識・技能を修得し、応用できる。

② 思考力・判断力・表現力等
確かな思考力と判断力を養い、言語的表現力及び多様なメディアによる視覚的表現を身に付け、それを用いて他者とのコミュニケーションを円滑に図ることができる。

③ 主体性、多様性、協働性
日本の言語や文化について関心をもち、主体的な取り組みや他者とのコミュニケーションによって課題を発見・検討し、地域に根差した社会貢献に向けて、他者と協働して改善・解決を図ることができる。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

日本学科では、ディプロマ・ポリシーとして示した力を修得するために、「教養教育科目」、「学部共通科目」、「学科共通科目」、「学科基幹科目」、「学科専門」によってカリキュラムを編成している。

1）建学の精神・大学教育に必要な基礎知識、現代社会を生きるのに必要な幅広い知識を修得するために、「教養教育科目」を設置する。

2）日本語・日本文学、国語教育・日本語教育、伝統文化・観光、現代文化（和食）の各領域についての専門的な知識・技能を修得するために、学びの根幹となる講義及び演習・実習科目を「学科基幹科目」に設置し、多岐にわたってより専門化した講義及び演習科目を「学科専門」に設置する。

3）言語及びデジタルメディアによる表現力の基礎を修得するための科目を「学科基幹科目」に設置する。さらに、客観的に思考・判断しそれを表現する能力を養うための科目を「学科専門」に設置する。

4）進路について考える科目を「学部共通科目」に設置する。また、「学科共通科目」において主体性と協働する力を修得する科目を２学科で設置する。加えて、社会体験に関する科目を「学科基幹科目」に設置し、各領域について課題発見・検討・改善に関する講義や実践的な演習・実習科目を「学科専門」に設置する。さらに総括的なゼミナールの科目を設置する。

【教育方法】

1）専門的な知識・技能を修得する授業では、プレゼンテーション、グループ活動などのアクティブ・ラーニングを多く取り入れ、主体的・対話的な学びの深化を図ります。

2）言語的表現によるコミュニケーション能力を身に付けるために、読む・聞く・書くという実践的学びを行うとともに、視覚的表現によるコミュニケーション能力を身に付けるために動画編集などの演習を行います。

3）体験型活動を多く取り入れ、他者と協働し主体的に課題解決に取り組む経験を積む機会を十分に設けます。

【学修成果の評価方法】

1）各科目の教育内容や形態に応じて、学期中の小テスト・小レポート・提出物、学期末の定期試験・レポートなどで評価する。

2）学生自らの評価として、ルーブリックやコメントシートを用いた自己評価・相互評価を行わせ、その

評価が適切であるかについて確認した上で、評価の材料とする。

3）教育課程における学修がどの程度の成果を修めたかについては、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価する。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

日本学科は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1）日本の言語・文化についての専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。

〔求める要素：知識・技能〕

2）ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できること。

〔求める要素：思考力・判断力・表現力等〕

3）日本の言語・文化に対する様々な事柄に関心をもち、課題を発見し解決する意欲を有すること。

〔求める要素：関心・意欲・態度〕

4）主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、他者と協働できること。

〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

〈履修のありかた〉

1 年次には、国語・日本語の運用能力を高めるべく「日本学表現演習Ⅰ・Ⅱ」をはじめ、日本語学や日本文学、日本の歴史及び日本文化などの日本学科で学ぶ領域の基礎を学習する。この基礎的な学習を通じて、それぞれの希望や適性も鑑み、専門として学ぶ領域を決定する。教員を志望する場合は、1 年次から計画的に教職課程を履修する必要がある。また、集中講義「パフォーマンス実践演習」を履修することで、他者との関わり方を学んでもらいたい。

2 年次には、「日本学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の履修を通じて大学生としての学習のありかたを学ぶと同時に、各分野の基礎的授業や「講読」の授業を選択履修し、専門領域で学ぶ内容を具体的に理解することで、各自の専門とする領域を決定する。また、集中講義「日本学インターンシップ演習」を履修することで、学科の学びを社会で活用することを考えてもらいたい。

3 年次以降は、ゼミでの学習を中心に、幅広く「特殊講義」なども履修することで、それぞれの学生が自分の専門とする領域及び「日本」に関する知識を拡げ深めつつ、「卒業研究」を行う。

〈学習の成果と卒業後の進路〉

このように、日本学科では、「日本」と「国語」のプロフェッショナル養成を目的とした学習を行うことで、日本文化に関する広範な知識に裏打ちされた高度な国語・日本語の運用能力を獲得できる。こうして修得した日本文化理解力と高度な「国語力」により、卒業後は、中学校・高等学校の国語・書道教員、日本語を母国語としない人たちに日本語を教える日本語教師をはじめ、公務員、マスコミ・出版関係、観光・旅行業界など「日本」に関わるさまざまな場面で活躍が可能となる。高度な日本語の運用能力と優れたコミュニケーション力はどのような職種でも必要とされる能力であり、このような能力を修得することにより、卒業後は、幅広い分野での活躍が可能となる。

●日本学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学部共通科目	K1010	キャリアマネジメントⅠ			2	3～4				○	◎	LJDA2001a0	
	K1015	キャリアマネジメントⅡ			2	3～4				○	◎	LJDA2002a0	
	K1020	キャリアゼミ			2	5～6				○	◎	LJDA3003a0	
	K1025	キャリアゼミ実践演習			2	5～6				○	◎	LJDA3004a0	
学科共通科目	K1030	日本語教育学概論Ⅰ			2	1～2	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDB1005a0	
	K1035	日本語教育学概論Ⅱ			2	1～2	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDB1006a0	
	K1040	日本語教育実習指導及び実習A			2	7～8	文学部以外は不可			○	◎	LJDB3007a0	
	K1045	日本語教育実習指導及び実習B			2	7～8	文学部以外は不可			○	◎	LJDB3008a0	
	K1050	地域における多文化共生Ⅰ			2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LJDB3009a0	
	K1055	地域における多文化共生Ⅱ			2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LJDB3010a0	
	K1060	旅行産業基礎			2	1～2			◎		○	LJDB1011a0	
	K1065	国内旅行実務Ⅰ			2	3～4			◎		○	LJDB2012a0	
	K1070	国内旅行実務Ⅱ			2	3～4			◎		○	LJDB2013a0	
	K1075	地域・文化発信演習			2	3～4	文学部以外は不可	○		○	◎	LJDB2014a0	
	K1080	地域観光演習Ⅰ			2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LJDB3015a0	
	K1085	地域観光演習Ⅱ			2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LJDB3016a0	
	K1090	グローバルスタディーズⅠ			4	1～2				○	◎	LJDB1017a0	
	K1095	グローバルスタディーズⅡ			4	1～2				○	◎	LJDB2018b0	
学科基幹科目	K1210	日本学表現演習Ⅰ	2			1～2	不可	○	○	◎		LJDC1019a0	
	K1215	日本学表現演習Ⅱ	2			1～2	不可	○	○	◎		LJDC1020a0	
	K1220	日本学基礎演習Ⅰ	2			3～4	不可	○		○	◎	LJDC2021a0	
	K1225	日本学基礎演習Ⅱ	2			3～4	不可	○		○	◎	LJDC2022a0	
	K1230	日本文化論Ⅰ		2	2	1～2	文学部以外は不可	○	◎		○	LJDC1023a0	
	K1235	日本文化論Ⅱ			2	1～2	不可＊	○	◎		○	LJDC1024a0 ZZZZ1024a0	＊留学生は履修可
	K1240	講読Ⅰ（日本語学）		4	②	3～4	文学部以外は不可		◎	○		LJDC2025a0	
	K1245	講読Ⅱ（近現代文学）			②	3～4	不可		◎	○		LJDC2026a0	
	K1250	講読Ⅲ（古典文学）			②	3～4	不可		◎	○		LJDC2027a0	
	K1255	講読Ⅳ（日本文化）			2	3～4			◎	○		LJDC2028a0	
	K1260	講読Ⅴ（メディア文化）			2	3～4			◎	○		LJDC2029a0	
	K1265	講読Ⅵ（現代文化）			2	3～4			◎	○		LJDC2030a0	
	K1270	講読Ⅶ（和食文化）			2	3～4			◎	○		LJDC2031a0	
	K1275	講読Ⅷ（文学と文化）			2	3～4			◎	○		LJDC2032a0	
	K1280	パフォーマンス実践演習			2	1～2	不可	○		◎	○	LJDC1033a0	
	K1285	日本学インターンシップ演習			2	3～4	不可	○		○	◎	LJDC2034a0	
	K1290	視覚メディア演習Ⅰ	2			3～4	不可	○		◎	○	LJDC2035a0	
	K1295	視覚メディア演習Ⅱ			2	3～4	不可	○		◎	○	LJDC2036a0	
	K1300	視覚メディア演習Ⅲ			2	5～6	不可			◎	○	LJDC3037a0	

●日本学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学科基幹科目	K1305	視覚メディア演習Ⅳ			2	5～6	不可			◎	○	LJDC3038a0	
	K1310	専門演習Ⅰ	2			5～6	不可	○		○	◎	LJDC3039a0	
	K1315	専門演習Ⅱ	2			5～6	不可	○		○	◎	LJDC3040a0	
	K1320	専門演習Ⅲ	2			7～8	不可	○		○	◎	LJDC3041a0	
	K1325	専門演習Ⅳ	2			7～8	不可	○		○	◎	LJDC3042a0	
		日本学特殊講義(注1)			2				◎	○		LJDC3043a0	
	K1400	卒業研究			4	7～8	不可	○		○	◎	LJDC3044a0	
日本語・日本文学コース	K1410	日本語学Ⅰ			②	1～2	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDD1045a0	
	K1415	日本語学Ⅱ			②	1～2	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDD1046a0	
	K1420	日本語史			②	3～4			◎	○		LJDD2047a0	
	K1425	日本語文法Ⅰ(現代)			②	3～4	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDD2048a0	
	K1430	日本語文法Ⅱ(古典)			②	3～4	不可		◎	○		LJDD2049a0	
	K1435	日本文学論Ⅰ(近現代)			②	3～4	不可	○	◎	○		LJDD2050a0	
	K1440	日本文学論Ⅱ(古典)			②	3～4	不可	○	◎	○		LJDD2051a0	
	K1445	日本文学史Ⅰ(近現代)			②	1～2	不可		◎	○		LJDD1052a0	
	K1450	日本文学史Ⅱ(古典)			②	1～2	不可		◎	○		LJDD1053a0	
	K1455	古典Ⅰ(日本)			②	1～2	不可	○	◎	○		LJDD1054a0	
	K1460	古典Ⅱ(中国)			②	1～2	不可	○	◎	○		LJDD1055a0	
	K1465	現代日本文学研究			2	5～6			◎	○		LJDD3056a0	
	K1470	創作論			2	7～8			○	◎		LJDD3057a0	
	K1475	漢文学			②	3～4			◎	○		LJDD2058a0	
	K1480	書道A			②	1～2	不可	○	◎	○		LJDD1059a0	
	K1485	書道B			②	1～2	不可		◎	○		LJDD1060a0	
	K1490	書道C			②	3～4	不可		◎	○		LJDD2061a0	
	K1495	書道D			②	3～4	不可		◎	○		LJDD2062a0	
	K1500	書道史Ⅰ			②	5～6			◎	○		LJDD3063a0	
	K1505	書道史Ⅱ			②	5～6			◎	○		LJDD3064a0	
	K1510	書論・鑑賞Ⅰ			②	5～6		○	○	◎		LJDD3065a0	
	K1515	書論・鑑賞Ⅱ			②	5～6			○	◎		LJDD3066a0	
国語教育・日本語教育コース	K1520	国語教育論A			2	1～2	不可	○		○	◎	LJDE2067a0	
	K1525	国語教育論B			2	3～4	不可	○		○	◎	LJDE2068a0	
	K1530	国語教育研究			2	7～8	不可			◎	○	LJDE3069a0	
	K1535	国語教材研究論Ⅰ(近現代)			②	5～6	不可		○	◎		LJDE3070a0	
	K1540	国語教材研究論Ⅱ(古典)			②	5～6	不可		○	◎		LJDE3071a0	
	K1545	国語教材研究論Ⅲ(漢文)			②	5～6	不可		○	◎		LJDE3072a0	
	K1550	板書法			2	5～6	不可		○	◎		LJDE3073a0	
	K1555	国語教育実践			2	5～6	不可			○	◎	LJDE3074a0	

●日本学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
国語教育・日本語教育コース	K1560	日本語教育論Ⅰ			2	3～4	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDE2075a0	
	K1565	日本語教育論Ⅱ			2	3～4	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDE2076a0	
	K1570	言語学概論			2	3～4	文学部以外は不可	○	◎	○		LJDE2077a0	
	K1575	日本語教授法Ⅰ			2	5～6	文学部以外は不可			○	◎	LJDE3078a0	
	K1580	日本語教授法Ⅱ			2	5～6	文学部以外は不可			○	◎	LJDE3079a0	
伝統文化・観光コース	K1585	日本文化史Ⅰ			②	3～4		○	◎		○	LJDF2080a0	
	K1590	日本文化史Ⅱ			②	3～4		○	◎		○	LJDF2081a0	
	K1595	仏教と日本文化			2	3～4		○	◎		○	LJDF2082a0	
	K1600	地域文化			2	5～6			○		◎	LJDF3083a0	
	K1605	日本の民俗			2	5～6			◎		○	LJDF3084a0	
	K1610	観光学概論			2	1～2		○	◎		○	LJDF1085a0	
	K1615	観光社会学			2	3～4			◎		○	LJDF2086a0	
	K1620	観光データ分析			2	3～4			○	◎		LJDF2087a0	
	K1625	日本の世界遺産			2	5～6			◎		○	LJDF3088a0	
	K1630	アジア文化概説			2	3～4			◎	○		LJDF1089a0	(＊1)
	K1635	異文化理解			2	5～6	文学部以外は不可		◎	○		LJDF3090a0	
	K1640	日中交流史			2	3～4			◎	○		LJDF2091a0	(＊1)
	K1645	日中比較文化論			2	5～8			◎	○		LJDF3092a0	(＊1)
	K1650	生涯学習概論			2	1～2	不可		◎	○		LJDF1093a0	令和7年度以前入学生対象
	K1655	博物館概論			2	1～2	不可	○	◎		○	LJDF1094a0	令和7年度以前入学生対象
	K1660	博物館展示論			2	3～4	不可		◎		○	LJDF2095a0	令和7年度以前入学生対象
	K1665	博物館資料論			2	3～4	不可		◎		○	LJDF2096a0	令和7年度以前入学生対象
	K1670	博物館教育論			2	3～4	不可		◎		○	LJDF2097a0	令和7年度以前入学生対象
	K1675	博物館経営論			2	5～6	不可		◎	○		LJDF3098a0	令和7年度以前入学生対象
	K1680	博物館資料保存論			2	5～6	不可		◎	○		LJDF3099a0	令和7年度以前入学生対象
	K1685	博物館情報・メディア論			2	5～6	不可		◎	○		LJDF3100a0	令和7年度以前入学生対象
	K1690	博物館実習Ａ			1	5～6	不可			○	◎	LJDF3101a0	令和7年度以前入学生対象
	K1695	博物館実習Ｂ			1	7～8	不可			○	◎	LJDF3102a0	令和7年度以前入学生対象
	K1700	博物館実習Ｃ			1	7～8	不可			○	◎	LJDF3103a0	令和7年度以前入学生対象
	K1705	考古学			2	5～6		○	◎	○		LJDF3104a0	
現代文化（和食）コース	K1710	サブカルチャー論			2	3～4		○	◎	○		LJDG2105a0	
	K1715	現代アート論			2	3～4			◎	○		LJDG2106a0	
	K1716	ファンタジー文化論			2	3～4			◎	○		LJDG2118a0	
	K1718	日本のマンガ			2	3～4			◎	○		LJDG2119a0	
	K1720	日本のアニメーション			2	5～6			◎	○		LJDG3107a0	
	K1725	視覚文化論			2	5～6		○	◎	○		LJDG3108a0	
	K1730	聴覚文化論			2	5～6		○	◎	○		LJDG3109a0	

●日本学科 専門教育科目編成表

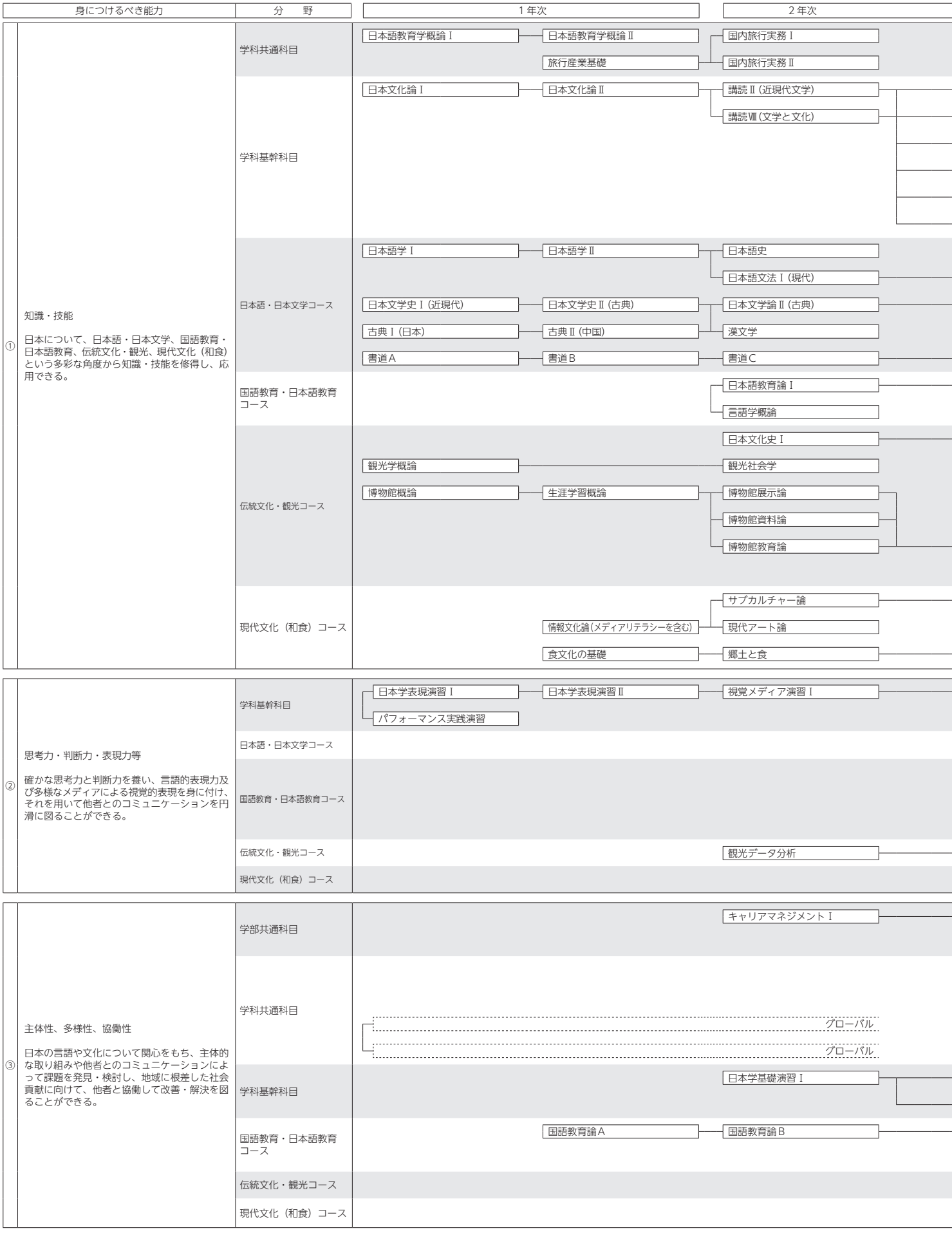
単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
現代文化（和食）コース	K1735	食文化の基礎			2	1～2		○	◎	○		LJDG1110a0	
	K1740	郷土と食			2	3～4	不可		◎	○		LJDG2112a0	
	K1745	郷土と食の実践			2	3～4	不可			○	◎	LJDG2113a0	
	K1750	郷土と食発信演習			2	5～6	不可			○	◎	LJDG3114a0	
	K1755	現代食文化論			2	5～6			◎	○		LJDG3115a0	
	K1760	情報文化論（メディアリテラシーを含む）			2	1～2		○	◎	○		LJDG1116a0	
	K1765	現代メディア論			2	3～4		○	◎	○		LJDG2117a0	
卒業に必要な最低修得単位数			24		64								

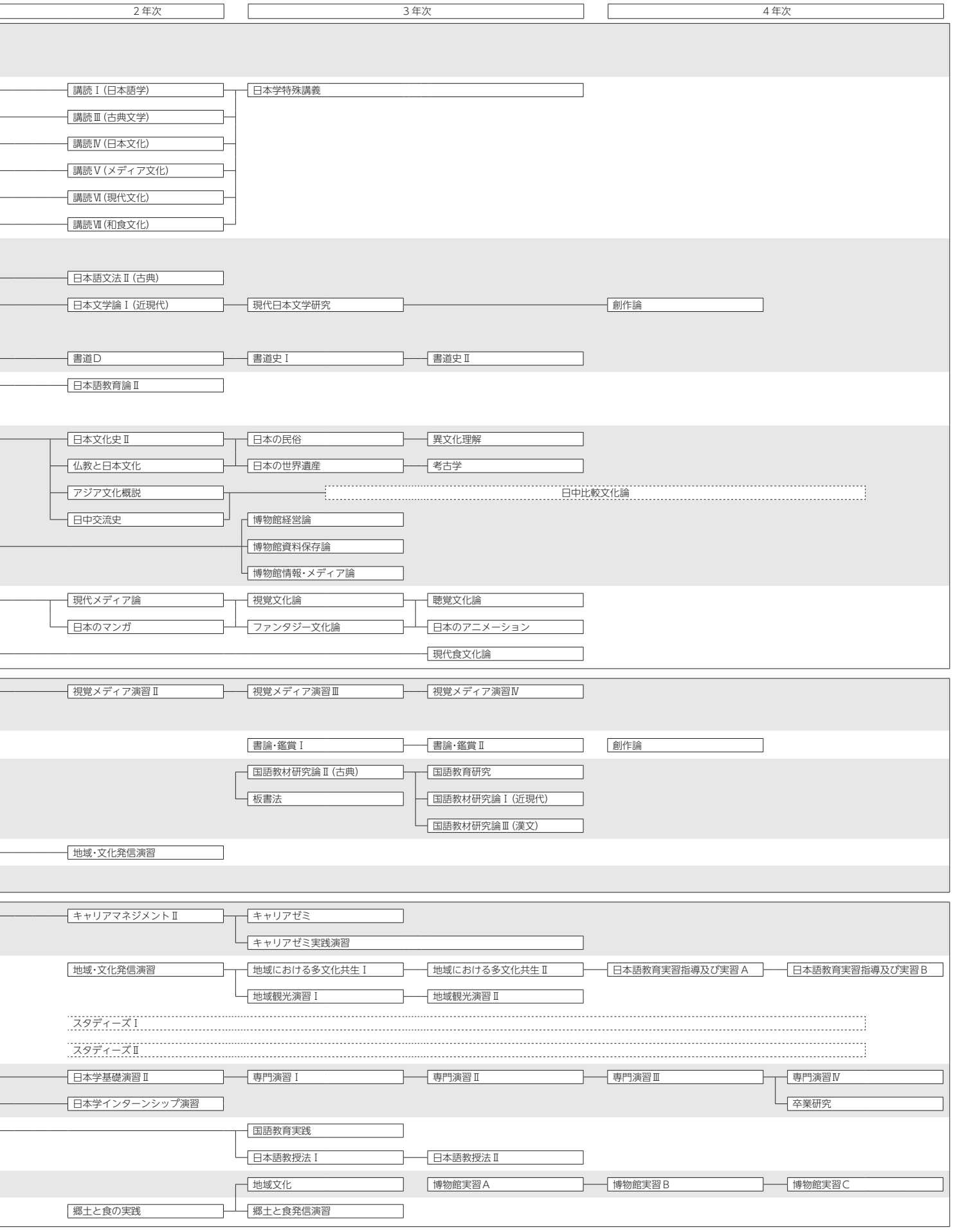
（注 1）授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ 2 単位付与する。
（＊ 1）当該科目は、中国へ留学し所定の科目を終了すると、本学の単位として評価の対象となる科目です。留学前に既に単位修得している科目は、留学後に重複して評価できません。
今後、中国への留学を考えている学生は、履修前に担当教員に必ず相談をしてください。

※注意：他学部・他学科履修について
他学部・他学科履修はシラバスを確認し、必ず担当教員の許可を得てから履修登録してください。
UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは科目編成表の「他学部・他学科履修」欄に『不可』がなくても他学部・他学科履修を許可しない場合があります。

文学部 日本学科 履修系統図



※カリキュラムポリシー（CP）は P74・75 を参照してください。



●国際コミュニケーション学科

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

国際コミュニケーション学科では、卒業時点で以下の 3 点の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して「学士（文学）」の学位を授与する。

① 知識・技能
英語圏、及び、アジアの言語・歴史・文化について、グローバルな視野に基づいた幅広い知識・技能を修得し、応用できる。

② 思考力・判断力・表現力等
客観的に思考し判断する能力を身に付け、外国語及び多様なメディアを用いて、自らの思考や見解を表現し、グローバル化した社会において、異なる文化背景をもつ他者とコミュニケーションを図ることができる。

③ 主体性、多様性、協働性
グローバル社会や、多様な文化における様々な事象に関心をもち、主体的な取り組みや他者とのコミュニケーションによって課題を発見・検討し、社会貢献に向けて他者と協働して改善・解決を図ることができる。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

国際コミュニケーション学科では、ディプロマ・ポリシーとして示した能力を修得するために、「教養教育科目」、「学部共通科目」、「学科共通科目」、「学科基幹科目」、「学科専門」によってカリキュラムを編成している。

1）建学の精神・大学教育に必要な基礎知識、現代社会を生きるのに必要な幅広い知識を修得するために、「教養教育科目」を設置する。

2）グローバルな視野に基づいた幅広い知識・技能を修得するために、英語圏・アジア圏等の文化、ホスピタリティに関する基本的な知識を修得する科目を「学科基幹科目」に設置する。また、外国語・英語教育、国際文化、ホスピタリティに関する専門的な知識・技能を修得する科目を「学科専門」に設置する。

3）外国語及びデジタルメディアによる表現力の基礎を修得するための科目を「学科基幹科目」に設置する。さらに、客観的に思考・判断し、自らの思考や見解を表現する能力を修得するための科目を「学科専門」に設置する。

4）進路について考える科目を「学部共通科目」に設置する。また、「学科共通科目」において主体性と協働する力を修得する科目を 2 学科で設置する。加えて、海外体験に関する科目を「学科基幹科目」に設置し、観光実践、インターンシップ等で課題の発見・改善を図る演習・実習科目を「学科専門」に設置する。さらに総括的なゼミナールの科目を設置する。

【教育方法】

1）専門的な知識・技能を修得する講義や実習、論理思考を培い課題を発見し解決する能力を養う演習などの中で、アクティブ・ラーニングを取り入れ、主体的・対話的な学びの深化を図ります。

2）日本語や英語、中国語を通して多様な情報メディアを効果的に用いた豊かなコミュニケーション能力を活用することにより、実践的・創造的な学修を促します。

3）地域社会・海外などでの体験型活動に取り組むことにより、他者と協働し主体的に課題を解決する能力を高めます。

【学修成果の評価方法】

1）各科目の教育内容や形態に応じて、学期中の小テスト・小レポート・提出物、中間試験、学期末の定期試験・レポートなどで評価する。

2）学生自らの評価として、ルーブリックやコメントシートを用いた自己評価・相互評価を行わせ、その評価が適切であるかについて確認した上で、評価の材料とする。

3）教育課程における学修がどの程度の成果を修めたかについては、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価する。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

国際コミュニケーション学科は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1）英語を通して国際文化についての専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。
〔求める要素：知識・技能〕

2）ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できる。
〔求める要素：思考力・判断力・表現力等〕

3）言語・文化に対する様々な事柄に関心をもち、海外体験や国際交流活動を通して課題を発見し解決する意欲を有すること。〔求める要素：関心・意欲・態度〕

4）主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、相手の立場や価値観を慮った思いやりの心であるホスピタリティ精神を持ちながら他者と協働できること。〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●国際コミュニケーション学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

コース：A…共通、B…外国語・英語教育、C…国際文化、D…ホスピタリティ

種別	科目コード	コース	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学部共通科目	K1010	A	キャリアマネジメントⅠ		2	3～4				○	◎	LIEA1001a0	
	K1015	A	キャリアマネジメントⅡ		2	3～4				○	◎	LIEA2002a0	
	K1020	A	キャリアゼミ		2	5～6				○	◎	LIEA1003a0	
	K1025	A	キャリアゼミ実践演習		2	5～6				○	◎	LIEA2004a0	
学科共通科目	K1030	A	日本語教育学概論Ⅰ		2	1～2	文学部以外は不可		◎	○		LIEB1005a0	
	K1035	A	日本語教育学概論Ⅱ		2	1～2	文学部以外は不可		◎	○		LIEB1006a0	
	K1040	A	日本語教育実習指導及び実習A		2	7～8	文学部以外は不可			○	◎	LIEB3007a0	
	K1045	A	日本語教育実習指導及び実習B		2	7～8	文学部以外は不可			○	◎	LIEB3008a0	
	K1050	A	地域における多文化共生Ⅰ		2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LIEB3009a0	
	K1055	A	地域における多文化共生Ⅱ		2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LIEB3010a0	
	K1060	A	旅行産業基礎		2	1～2			◎		○	LIEB1011a0	
	K1065	A	国内旅行実務Ⅰ		2	3～4			◎		○	LIEB2012a0	
	K1070	A	国内旅行実務Ⅱ		2	3～4			◎		○	LIEB2013a0	
	K1075	A	地域・文化発信演習		2	3～4	文学部以外は不可	○		○	◎	LIEB2014a0	
	K1080	A	地域観光演習Ⅰ		2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LIEB3015a0	
	K1085	A	地域観光演習Ⅱ		2	5～6	文学部以外は不可	○		○	◎	LIEB3016a0	
	K1090	A	グローバルスタディーズⅠ		4	1～2		○		○	◎	LIEB1017a0	
	K1095	A	グローバルスタディーズⅡ		4	1～2		○		○	◎	LIEB2018b0	
学科基幹科目	K2010	A	英語圏文化概説	②		1～2		○	◎		○	LIEC1019a0	
	K2015	A	世界体験入門		2	1～2			◎		○	LIEC1020a0	
	K2020	A	英文法Ⅰ	②		1～2		○	◎	○		LIEC1021a0	
	K2025	A	英文法Ⅱ	②		1～2		○	◎	○		LIEC1022a0	
	K2030	A	Extensive Reading Ⅰ	2		3～4		○	◎	○		LIEC2023c0	
	K2035	A	Extensive Reading Ⅱ	2		3～4		○	◎	○		LIEC2024c0	
	K2040	A	ベーシックコミュニケーションⅠ	②		1～2		○	○	◎		LIEC1025b0	
	K2045	A	ベーシックコミュニケーションⅡ		②	1～2			○	◎		LIEC1026b0	
	K2050	A	ベーシックコミュニケーションⅢ	②		1～2		○	○	◎		LIEC1027b0	
	K2055	A	ベーシックコミュニケーションⅣ		②	1～2			○	◎		LIEC1028b0	
	K2060	A	Oral Communication Ⅰ		2	3～4		○	○	◎		LIEC2029b0	
	K2065	A	Oral Communication Ⅱ		2	3～4		○	○	◎		LIEC2030b0	
	K2070	A	国際キャリアインターンシップⅠ		2	3～4	文学部以外は不可			○	◎	LIEC1031a0	
	K2075	A	国際キャリアインターンシップⅡ		2	3～4	文学部以外は不可			○	◎	LIEC2032a0	
	K2080	B	英語指導技術演習		2	3～4				○	◎	LIEC2033c0	
	K2085	B	英語指導技術実践演習		2	5～6				○	◎	LIEC3034c0	
	K2090	A	ビジュアルメディア演習Ⅰ	2		3～4		○	○	◎		LIEC1035a0	
	K2095	A	ビジュアルメディア演習Ⅱ		2	3～4		○	○	◎		LIEC2036a0	
	K2100	A	ビジュアルメディア演習Ⅲ		2	5～6	不可		○	◎		LIEC3037a0	

●国際コミュニケーション学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

コース：A…共通、B…外国語・英語教育、C…国際文化、D…ホスピタリティ

種別	科目コード	コース	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学科基幹科目	K2105	A	ビジュアルメディア演習Ⅳ		2	5～6	不可		○	◎		LIEC3038a0	
	K2110	A	海外体験実践演習		2	1～2		○		○	◎	LIEC1039c0	
	K2115	A	Intercultural Studies：Discussion		4	1～8	文学部以外は不可			○	◎	LIEC2040a0	(＊1)
	K2120	A	国際交流実践		4	1～8	文学部以外は不可			○	◎	LIEC1041a0	(＊1)
	K2125	A	海外事前指導		2	1～8	文学部以外は不可			○	◎	LIEC1042a0	(＊1)
	K2130	A	専門演習Ⅰ	2		5～6	不可	○		○	◎	LIEC1043a0	
	K2135	A	専門演習Ⅱ	2		5～6	不可	○		○	◎	LIEC2044a0	
	K2140	A	専門演習Ⅲ	2		7～8	不可	○		○	◎	LIEC3045a0	
	K2145	A	専門演習Ⅳ	2		7～8	不可	○		○	◎	LIEC3046a0	
		A	国際コミュニケーション特殊講義(注1)		2	5～6			◎	○		LIEC3047a0	
	K2160	A	卒業研究		4	7～8	不可	○		○	◎	LIEC3048a0	
外国語・英語教育コース	K2165	B	キャリア英語Ⅰ		2	3～4			◎	○		LIED2049a0	
	K2170	B	キャリア英語Ⅱ		2	3～4			◎	○		LIED2050a0	
	K2175	B	アドバンストコミュニケーションⅠ		②	5～6		○	○	◎		LIED3051c0	
	K2180	B	アドバンストコミュニケーションⅡ		②	5～6		○	○	◎		LIED3052c0	
	K2185	B	Academic CommunicationⅠ		2	5～6			◎	○		LIED3053c0	
	K2190	B	Academic CommunicationⅡ		2	7～8			◎	○		LIED3054c0	
	K2195	B	Academic CommunicationⅢ		2	7～8			◎	○		LIED3055c0	
	K2200	B	基礎中国語Ⅰ		2	1～2		○	○	◎		LIED1056d0	
	K2205	B	基礎中国語Ⅱ		2	1～2		○	○	◎		LIED1057d0	
	K2210	B	発展中国語Ⅰ		2	3～4		○	○	◎		LIED2058d0	
	K2215	B	発展中国語Ⅱ		2	3～4		○	○	◎		LIED2059d0	
	K2220	B	実践中国語Ⅰ		2	5～6			○	◎		LIED3060d0	
	K2225	B	実践中国語Ⅱ		2	5～6			○	◎		LIED3061d0	
	K2230	B	現代中国事情		2	1～2		○	◎		○	LIED1062a0	
	K2235	B	英語文学概説		②	3～4		○	◎	○		LIED1063a0	
	K2240	B	英語音声学		②	1～2		○	◎	○		LIED1064a0	
	K2245	B	英語学概説		②	3～4		○	◎	○		LIED1065a0	
	K2250	B	英語学		②	3～4		○	◎	○		LIED2066a0	
	K2255	B	メディア英語実践演習		2	3～4			○	◎		LIED2067a0	
	K2260	B	英語教育論		2	3～4		○	◎	○		LIED1068a0	
	K2265	B	Reading（Culture）		②	3～4			◎	○		LIED2069a0	
	K2270	B	Reading（Literature）		②	3～4			◎	○		LIED2070a0	
	K2275	B	Reading（Language）		②	5～6			◎	○		LIED2071a0	
国際文化コース	K2280	C	国際理解教育		2	5～6			◎		○	LIEE1072a0	
	K2285	C	国際コミュニケーション論		2	3～4		○	◎		○	LIEE2073a0	
	K2290	C	異文化理解		2	1～2		○	◎		○	LIEE1074a0	

●国際コミュニケーション学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

コース：A…共通、B…外国語・英語教育、C…国際文化、D…ホスピタリティ

種別	科目コード	コース	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
国際文化コース	K2295	C	英米文化論		2	3～4		○	◎		○	LIEE2075a0	
	K2300	C	異文化共生論		2	3～4		○	◎		○	LIEE2076a0	
	K2305	C	アジア比較文化論		2	5～6			◎		○	LIEE2077a0	
	K2310	C	英語文学講読		2	5～6			◎	○		LIEE3078a0	
	K2315	C	英国史		②	5～6			◎	○		LIEE1079a0	
	K2320	C	米国史		②	5～6			◎	○		LIEE1080a0	
	K1640	C	日中交流史		2	3～4			◎	○		LIEE1081a0	(＊1)
	K1645	C	日中比較文化論		2	5～8			◎		○	LIEE3082a0	(＊1)
	K1630	C	アジア文化概説	2		3～4		○	◎		○	LIEE1083a0	(＊1)
ホスピタリティコース	K2325	D	ホスピタリティ英語Ⅰ		2	3～4			○	◎		LIEF2084a0	
	K2330	D	ホスピタリティ英語Ⅱ		2	3～4			○	◎		LIEF2085a0	
	K2335	D	国際コミュニケーション基礎演習Ⅰ	2		3～4	不可	○		○	◎	LIEF2086b0	
	K2340	D	国際コミュニケーション基礎演習Ⅱ		2	3～4	不可			○	◎	LIEF2087b0	
	K2345	D	ホスピタリティ産業論		2	5～6		○	◎	○		LIEF3088a0	
	K2350	D	ホスピタリティマインド論		2	3～4		○	◎		○	LIEF2089a0	
	K2355	D	ホスピタリティ概論	2		1～2		○	◎	○		LIEF1090a0	
	K2360	D	世界遺産と観光		2	1～2			◎	○		LIEF1091a0	
	K2365	D	観光メディア		2	3～4			○	◎		LIEF2092a0	
	K2370	D	地域と国際観光		2	3～4			◎	○		LIEF2093a0	
	K2375	D	ホスピタリティツーリズム論		2	3～4			◎	○		LIEF2094a0	
	K2380	D	ホスピタリティマーケティング論		2	5～6			◎	○		LIEF3095a0	
	K2385	D	観光英語		2	3～4				◎	○	LIEF3096a0	
	K2390	D	観光英語実践演習（実地演習）		2	5～6		○		○	◎	LIEF3097c0	
卒業に必要な最低修得単位数				30	56								

（注 1）各授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ 2 単位付与する。

（＊ 1）当該科目は、中国へ留学し所定の科目を終了すると、本学の単位として評価の対象となる科目です。留学前に既に単位修得している科目は、留学後に重複して評価できません。
今後、中国への留学を考えている学生は、履修前に担当教員に必ず相談をしてください。

※ TOEIC L&R IP テストによるクラス編成について

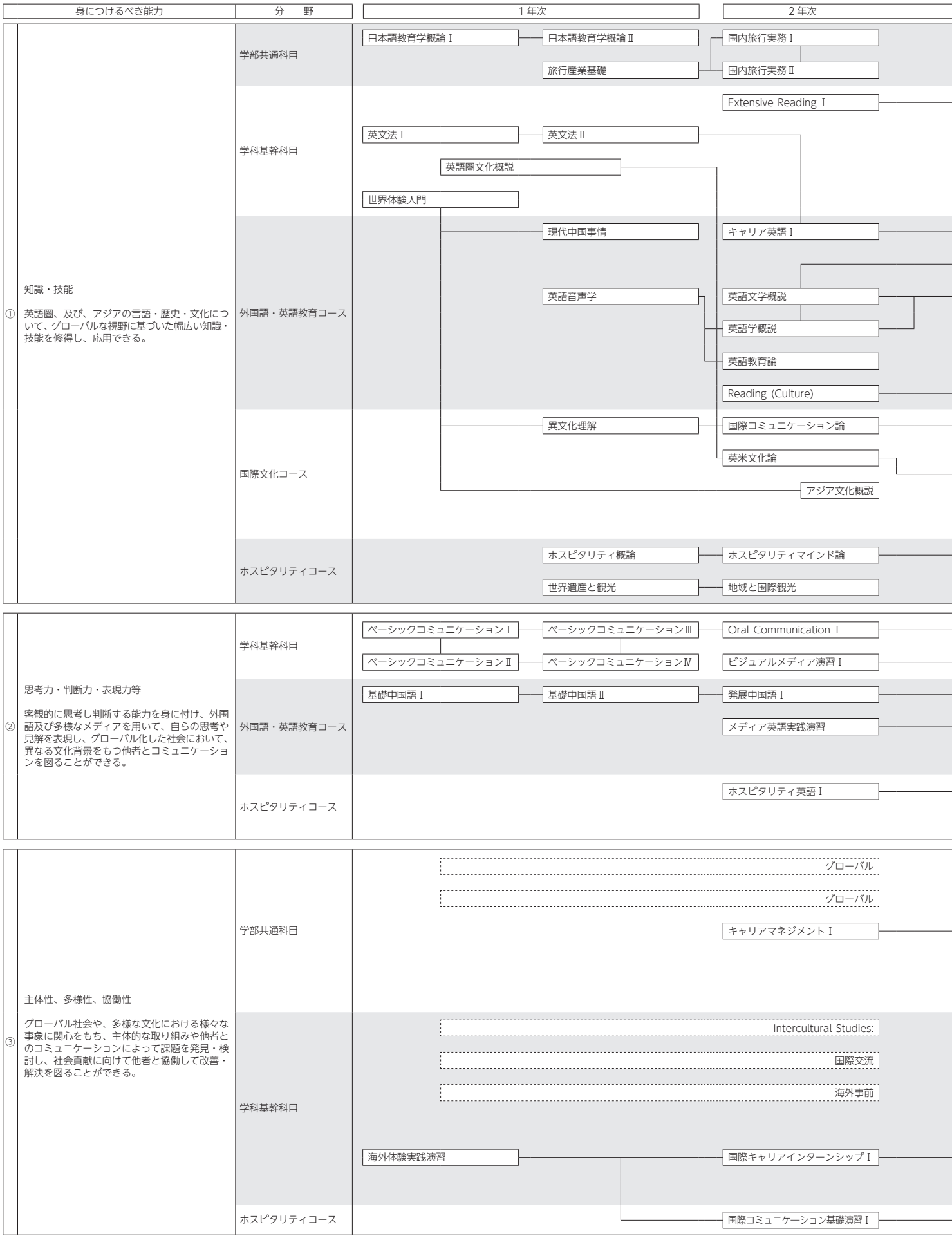
「英文法Ⅰ・Ⅱ」「Extensive Reading Ⅰ・Ⅱ」「ベーシックコミュニケーションⅠ～Ⅳ」については、TOEIC L&R IP テストによる習熟度別クラス編成としています。

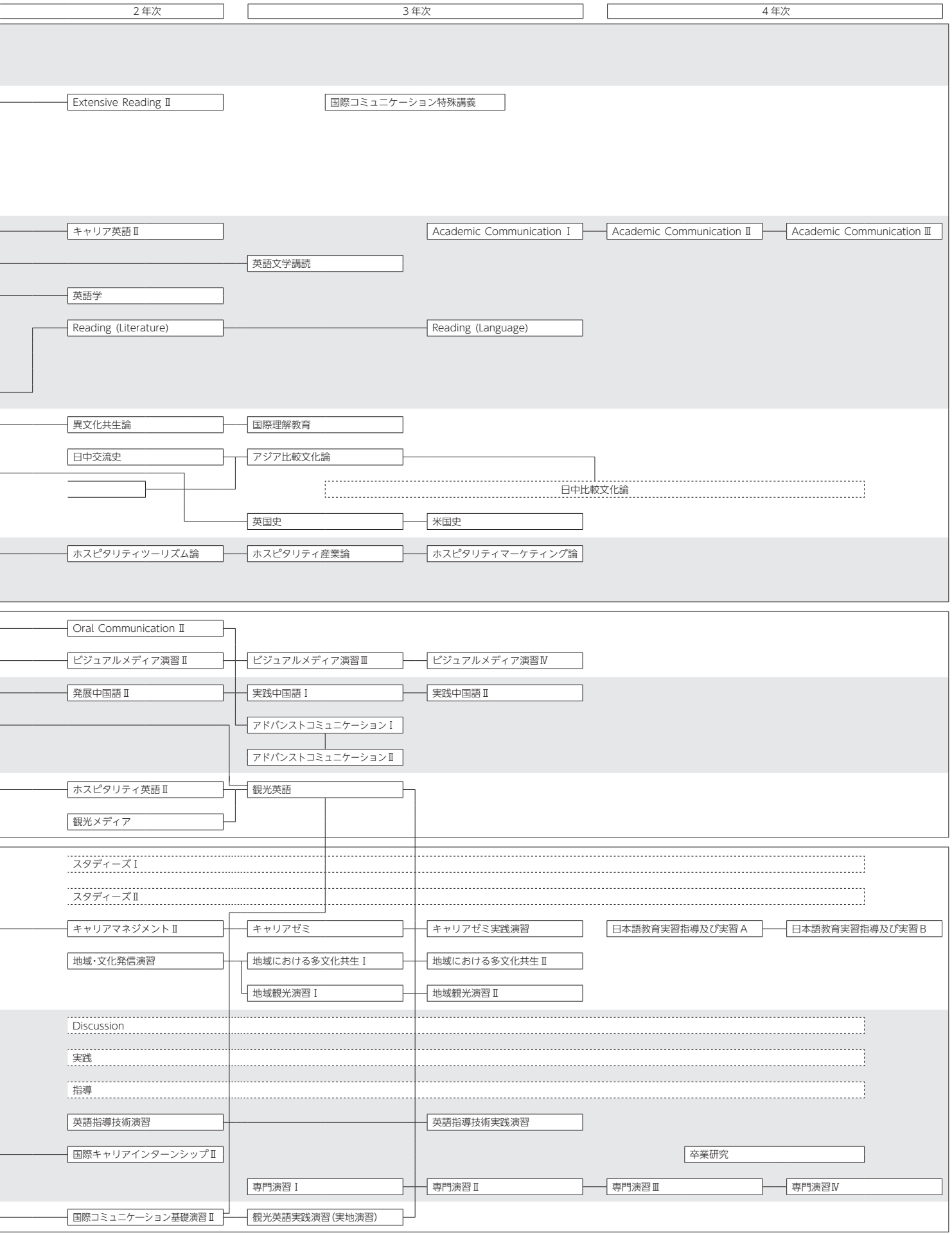
※注意：他学部・他学科履修について

他学部・他学科履修はシラバスを確認し、必ず担当教員の許可を得てから履修登録してください。

UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは科目編成表の「他学部・他学科履修」欄に『不可』がなくても他学部・他学科履修を許可しない場合があります。

文学部 国際コミュニケーション学科 履修系統図




2 年次
3 年次
4 年次
Extensive Reading Ⅱ
国際コミュニケーション特殊講義
キャリア英語Ⅱ
Academic Communication Ⅰ
Academic Communication Ⅱ
Academic Communication Ⅲ
英語文学講読
英語学
Reading (Literature)
Reading (Language)
異文化共生論
国際理解教育
日中交流史
アジア比較文化論
日中比較文化論
英国史
米国史
ホスピタリティツーリズム論
ホスピタリティ産業論
ホスピタリティマーケティング論
Oral Communication Ⅱ
ビジュアルメディア演習Ⅱ
ビジュアルメディア演習Ⅲ
ビジュアルメディア演習Ⅳ
発展中国語Ⅱ
実践中国語Ⅰ
実践中国語Ⅱ
アドバンストコミュニケーションⅠ
アドバンストコミュニケーションⅡ
ホスピタリティ英語Ⅱ
観光英語
観光メディア
スタディーズⅠ
スタディーズⅡ
キャリアマネジメントⅡ
キャリアゼミ
キャリアゼミ実践演習
日本語教育実習指導及び実習Ａ
日本語教育実習指導及び実習Ｂ
地域・文化発信演習
地域における多文化共生Ⅰ
地域における多文化共生Ⅱ
地域観光演習Ⅰ
地域観光演習Ⅱ
Discussion
実践
指導
英語指導技術演習
英語指導技術実践演習
国際キャリアインターンシップⅡ
卒業研究
専門演習Ⅰ
専門演習Ⅱ
専門演習Ⅲ
専門演習Ⅳ
国際コミュニケーション基礎演習Ⅱ
観光英語実践演習（実地演習）

●社会学部

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

社会学部は、社会科学の諸領域の専門知識・技能等を修得するとともに、自他の相互理解による調和・協調の精神を基盤とし、グローバル化する社会において主体的に行動し、他者との協働により社会的課題に取り組むことができる人材の育成を目的としています。

このために、卒業時点で学生が身につける資質・能力は、以下の３点とします。

① 人間・社会・文化に対する専門的な知識・技能
社会科学が対象とする人間・社会・文化の諸事象について、幅広い関心をもち、専門的な知識・技術を身に付け、自ら思考し判断することができる。

② 異なる価値をもつ他者を受容して調和を図れる豊かな人間性
コミュニケーションを通じて、自己を他者に伝えるとともに、異なる価値をもつ他者や異文化を理解して様々な価値観を受け入れ、他者との調和を図ることができる。

③ 社会（組織）に活かせる課題解決能力
社会（組織）の様々な課題について、自らの主体的な取り組みや他者との協働によって解決し、自己の能力を社会に活かすことができる。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

社会学部では、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）として示した能力を修得するために、学部共通科目、各学科の学科共通領域、学科専門コース・領域によってカリキュラムを編成しています。

【教育課程の編成、教育内容】

1）学部共通科目　社会や様々な業界・職種に対する理解を段階的に深め、社会での活躍につながるよう、１年次の「教養教育科目」「キャリアデザイニングⅠ・Ⅱ」を受けて、２年次・３年次に各学科の特性に見合った内容でキャリア科目を設けています。

2）学科共通領域　各学科の学修の基礎や中核となる科目を配置しています。１・２年次には基礎的な知識・技能やコミュニケーション能力を身につけるための少人数による主体的・実践的な科目を設置し、また３・４年次にはより専門的な知識・技能を深め主体的に思考し課題を解決する能力を養う演習科目を設けています。

3）学科専門コース・領域　学生の興味関心や卒業後の進路に応じた能力・資質を形成するため、効果的かつ自由度の高い幅広い学びができるように、各学科の特色ある専門的な科目を体系的に編成した専門コース・領域を設けています。

【教育方法】

1）専門的な知識・技能を修得する講義や実習、論理思考を培い課題を発見し解決する能力を養う演習などの中で、アクティブ・ラーニングを取り入れ、主体的・対話的な学びの深化を図ります。

2）他者と協働して社会や世界で活躍するための基盤として、言語の運用能力の深化による自他の相互理解のほか、ICT の活用をも含めたコミュニケーション能力を高めることをめざします。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。

2）講義や演習などの科目については、教育内容や形態に応じて、定期試験、中間試験などの小テスト、課題レポート、コメントシート、学生による自己評価・相互評価、ルーブリックによるパフォーマンス評価など、多面的に適切な方法を用いて評価します。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

社会学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受ける条件として、以下のような資質・能力をもつ人物を受け入れることを方針とし、試験や審査を行います。

1）社会科学の諸領域の専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。
〔求める要素：知識・技能〕

2）人間・社会（世界）・文化に対する様々な事柄に関心をもち、専門的な知識・技能を身につけ、課題を発見し解決する意欲を有すること。〔求める要素：関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力〕

3）他者や社会との関係において、自ら主体的に思考し実践するとともに、異なる価値をもつ他者や異文化を理解し、他者と協働してものごとに取り組む姿勢をもつこと。〔求める要素：主体性、多様性、協働性〕

●社会学科

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

社会学科は、個人から社会全体にいたる複雑な諸相に対して、客観的かつ多角的にものごとをとらえ、さまざまな課題の発見と理解、そして解決にむけて横断的に思考することができる、また、多様な人びとが活躍する社会の実現に向け、さまざまな価値観を認め、他者と協働することができる人材の育成を目的とします。その学びは、一人ひとりがより充実した人生を実現していくうえで重要なものです。

このために、卒業時点で学生が身につける資質・能力は、以下の 4 点とします。

① 関心・意欲・態度
ローカルからグローバルまでさまざまなレベルで生じている個人や社会の問題に対して、意欲的に取り組み、創意工夫しながら乗り越えていこうと試みることができる。

② 知識・技能
人間や社会、地域やメディア、心理、歴史に関する領域の専門的な理論や調査・分析方法を身につけ、課題解決のために活用することができる。

③ 思考力・判断力、表現力
自ら設定した課題に対して、上記の理論や方法、さらに ICT を活用して情報を収集し、さまざまな角度から論理的かつ横断的に考察し、その成果をわかりやすく表現することができる。

④ 主体性・多様性・協働性
多様化する現代社会において、さまざまな立場の存在を認めながら積極的にコミュニケーションを図り、自らの考えをし っかりと伝え、他者と協働することができる。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

社会学科は、現代社会で活躍しうる能力・資質の形成を目指して、人間・社会、地域・メディア、心理、歴史の 4 コースを編成し、基礎から応用まで段階的かつ横断的に授業科目を配置します。また、4 年間一貫した少人数制の演習科目を設定し、ICT を活用した、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を実践します。

1）演習：主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を少人数制で実践し、自らの考えをわかりやすく伝え、積極的にコミュニケーションをとることで、他者と協働しながら課題を解決する力を養います。1 年次では「大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、2 年次では「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、3 年次からの「演

習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」では 2 年間継続して同じゼミ教員のもとで「卒業研究」に取り組みます。

2）人間・社会コース：社会学的なものの見方や考え方、調査・分析方法を身につけ、社会学の基本を学びます。1 年次必修科目として「社会学概論」、「社会病理学」が設定されており、2 年次以降、自由に選択科目を履修することができます。また、社会調査士の資格を取得するための科目群を設けます。

3）地域・メディアコース：ローカルからグローバル、メディアを媒介したものまで、人と人とのつながりを通して社会や文化を読み解く力を養います。1 年次必修科目として「文化研究概論」が設定されており、2 年次以降、自由に選択科目を履修することができます。上記コース同様、社会調査士の資格を取得するための科目群を設けます。

4）心理コース：人の心や行動の原理を知り、人間関係に対処する力を身につけます。1 年次必修科目として「入門心理学」が設定されており、2 年次以降、自由に選択科目を履修することができます。また、認定心理士の資格を取得するための科目群を設けます。

5）歴史コース：歴史的事実を分析・解明し、幅広い角度からものごとをとらえる視野を身につけます。1 年次必修科目として「入門歴史学」が設定されており、2 年次以降、自由に選択科目を履修することができます。また、中学校社会や高校地理歴史・公民の教員免許、博物館学芸員の資格を取得するための科目群を設けます。

【教育方法】

社会学科では、各授業科目の教育内容に応じて、以下のような形式を組み合わせた多様な教育方法で授業をおこないます。

1）講義形式：ICT や映像資料などを活用しながら、本学科の学びに関する多様な教養や知識を身につける。

2）（フィールドワークを含む）実習形式：自らの興味関心に即して課題を設定し、ICT を活用しながら調査・分析する技能を身につける。

3）演習形式：主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を少人数制で実践し、自らの考えをわかりやすく伝え、積極的にコミュニケーションをとることで、他者と協働しながら課題を解決していく力を身につける。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーに基づいて評価を行う。

2）講義や演習科目で培われた知識や技能、能力を十分に発揮できているか、学生による自己評価も踏まえ、量的側面・質的側面の両面から適切な方法を用いて総合的に評価する。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

社会学科は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1）人間や社会、地域やメディア、心理、歴史に関するさまざまなテーマについて深い興味関心があること
〔求める要素：関心・意欲・態度〕

2）あたり前のものの見方を疑い、さまざまな角度からものごとをとらえようとすること
〔求める要素：思考力・判断力、表現力〕

3）社会学科の学びに必要な読解力や論理的思考力、表現力を有すること
〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力、表現力〕

4）個人や社会に関するさまざまな課題に対して、他者と協働しながら積極的に取り組んでいく意欲があること
〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●社会学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	ナンバリングコード	備考
学科共通領域	K3010	基礎演習Ⅰ	2		3～4	不可	○	○	○	○	◎	SSFA2001a0	
	K3015	基礎演習Ⅱ	2		3～4	不可	○	○	○	○	◎	SSFA2002a0	
	K3020	演習Ⅰ	2		5～6	不可	○	○	○	◎	◎	SSFA3003a0	
	K3025	演習Ⅱ	2		5～6	不可	○	○	○	◎	◎	SSFA3004a0	
	K3030	演習Ⅲ	2		7～8	不可	○	○	○	◎	◎	SSFA3005a0	
	K3035	演習Ⅳ	2		7～8	不可	○	○	○	◎	◎	SSFA3006a0	
	K3040	卒業研究		4	7～8	不可	○	○	○	◎	◎	SSFA3007a0	
	K3045	社会学概論	②		1～2	不可	○	◎	○			SSFA1008a0	
	K3050	社会学理論Ⅰ		②	1～2		○	◎	○			SSFA2009a0	
	K3055	社会学理論Ⅱ		②	5～6			○	◎	○		SSFA3010a0	
	K3060	実験・調査データ処理		2	1～2				◎	○		SSFA1011a0	
	K3065	社会調査法		②	1～2	不可	○	○	◎			SSFA1012a0	
	K3070	標本調査法		2	3～4	不可			◎	○		SSFA2013a0	
	K3075	質的調査法		2	5～6	不可			◎	○	○	SSFA3014a0	
	K3080	資料・データ分析		2	3～4				◎	○		SSFA2015a0	
	K3085	基礎統計学		2	3～4				◎	○		SSFA2016a0	
	K3090	社会統計学		2	5～6				◎	○		SSFA3017a0	
	K3095	社会調査実習A		1	5～6	不可		○	○	◎	○	SSFA3018a0	
	K3100	社会調査実習B		1	5～6	不可		○	○	◎	○	SSFA3019a0	
	K3105	フィールドワーク入門		2	1～2		○	◎	○			SSFA1020a0	
	K3110	フィールドワーク演習		2	3～4			○	◎	◎	○	SSFA2021a0	
	K3115	社会科教育研究Ⅰ		2	3～4			○	◎		○	SSFA2022a0	
	K3120	社会科教育研究Ⅱ		2	3～4			○	◎		○	SSFA2023a0	
	K3125	情報処理実践演習Ⅰ		2	1～2				○	○		SSFA1024a0	
	K3130	情報処理実践演習Ⅱ		2	3～4				○	○		SSFA2025a0	
	K3135	インターンシップ実践		2	3～4			○			◎	SSFA3026a0	
	K3140	英語で話す日本の社会と文化		2	5～6			○	○		○	SSFA3027b0	
		特殊講義(注1)		2									
人間・社会コース	K3145	社会病理学	②		1～2	不可	○	◎	○			SSFB1028a0	
	K3160	犯罪社会学		2	3～4	不可	○	○	◎			SSFB2029a0	
	K3165	刑事司法の社会学		2	5～6			○	◎			SSFB3030a0	
	K3170	家族社会学		②	3～4		○	◎	○			SSFB1031a0	
	K3175	家族関係論		2	3～4	不可	○	◎	○			SSFB2032a0	
	K3180	ジェンダー論		②	5～6		○	◎	○			SSFB3033a0	
	K3185	産業社会学		②	3～4		○	◎	○	○		SSFB1034a0	
	K3190	社会政策論		2	5～6		○	○	◎	○		SSFB2035a0	

●社会学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	ナンバリングコード	備考
人間・社会コース	K3195	社会階層論		2	5～6		○	○	◎	○		SSFB2036a0	
	K3200	現代社会論		②	3～4		○	◎	○			SSFB2037a0	
	K3205	社会意識論		②	3～4			○	◎			SSFB2038a0	
	K3210	宗教社会学		2	5～6		○	○	◎			SSFB2039a0	
	K3215	教育社会学		2	5～6			○	◎		○	SSFB2040a0	
	K3220	法学(国際法を含む)		②	1～2			◎	○			SSFB1041a0	
	K3225	経済学		②	1～2			◎	○			SSFB1042a0	
	K3230	ビジネス情報論Ⅰ		2	5～6			◎	○	○		SSFB3043a0	
	K3235	ビジネス情報論Ⅱ		2	5～6			◎	○	○		SSFB3044a0	
	K3240	マーケティング論		2	5～6			○	◎			SSFB2045a0	
	K3245	哲学概論		②	1～2			◎	○			SSFB1046a0	
	K3250	宗教学		②	3～4			◎	○			SSFB1047a0	
	K3255	近代思想史		2	5～6			◎	○			SSFB2048a0	
地域・メディアコース	K3260	文化研究概論	2		1～2	不可	○	◎	○			SSFC1049a0	
	K3265	マス・メディア論		②	1～2		○	◎	○			SSFC1050a0	
	K3270	ジャーナリズム論		2	3～4			◎	○			SSFC2051a0	
	K3275	エンターテインメント論		2	3～4			◎	○	○		SSFC2052a0	
	K3280	ポピュラー音楽論		2	3～4			◎	○	○		SSFC2053a0	
	K3285	ポピュラーカルチャー論		2	5～6			○	◎	○		SSFC3054a0	
	K3290	メディア文化論		2	5～6		○	○	◎	○		SSFC3055a0	
	K3295	コンテンツ産業論		2	5～6			○	◎	○		SSFC2056a0	
	K3300	広報・広告論		2	5～6			◎	○			SSFC2057a0	
	K3305	都市社会学		2	3～4			◎	○			SSFC1058a0	
	K3310	地域社会学		2	5～6		○	○	◎	○		SSFC3059a0	
	K3315	地域開発論		2	3～4			◎	○	○		SSFC2060a0	
	K3320	まちづくり論		2	3～4		○	◎	○	○		SSFC2061a0	
	K3325	環境社会学		2	3～4		○	○	◎	○		SSFC2062a0	
	K3330	環境問題論		2	3～4			◎	○	○		SSFC2063a0	
	K3335	医療社会学		2	5～6		○	○	◎		○	SSFC2064a0	
	K3340	スポーツ社会学		2	5～6			○	◎			SSFC2065a0	
	K3345	異文化コミュニケーション論		2	3～4		○	○	◎	○		SSFC1066a0	
	K3350	文化人類学		2	3～4		○	○	◎	○		SSFC2067a0	
	K3355	国際問題論		2	1～2			◎	○			SSFC1068a0	
	K3360	国際社会学		②	5～6			○	◎			SSFC2069a0	
	K3365	国際政治論		②	5～6			○	◎			SSFC2070a0	
	K3370	国際経済論		②	3～4		○	◎	○	○		SSFC2071a0	

●社会学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	ナンバリングコード	備考
地域・メディアコース	K3375	国際ビジネス論		2	5～6			○	◎			SSFC3072a0	
	K1645	日中比較文化論		2	7～8			○	◎			SSFC3073a0	(＊1)
	K1630	アジア文化概説		2	1～2			◎	○			SSFC1074a0	
心理コース	K3380	入門心理学	②		1～2	不可	○	◎	○			SSFD1075a0	
	K3385	心理学概論		2	1～2	不可	○	◎	○			SSFD1076a0	
	K3390	心理学実験法		2	1～2	不可	○		◎			SSFD1077a0	
	K3395	心理測定法概論		2	3～4	不可			◎			SSFD1078a0	
	K3400	心理学基礎実験Ⅰ		2	3～4	不可			○	◎	○	SSFD2079a0	
	K3405	心理学基礎実験Ⅱ		2	3～4	不可			○	◎	○	SSFD2080a0	
	K3410	認知心理学		2	3～4		○	○	◎			SSFD2081a0	
	K3415	発達心理学		2	3～4		○	○	◎			SSFD2082a0	
	K3420	学習心理学		2	5～6		○	○	◎			SSFD2083a0	
	K3425	人格心理学		2	3～4		○	○	◎			SSFD2084a0	
	K3430	幼児児童心理学		2	5～6			○	◎			SSFD2085a0	
	K3435	臨床心理学		②	3～4		○	○	◎			SSFD2086a0	
	K3440	カウンセリング理論		2	3～4	不可	○	○	◎			SSFD2087a0	
	K3445	カウンセリング方法論		2	5～6	不可		○	◎		○	SSFD3088a0	
	K3450	心理検査法演習		2	5～6	不可			◎	○		SSFD3089a0	
	K3455	職場メンタルヘルス		2	5～6			○	◎		○	SSFD3090a0	
	K3460	社会心理学		②	3～4		○	○	◎			SSFD2091a0	
	K3465	産業組織心理学		2	5～6			○	◎			SSFD3092a0	
	K3470	コミュニティ心理学		②	5～6			○	◎		○	SSFD3093a0	
	K3475	対人関係の心理学		2	5～6			○	◎			SSFD2094a0	
	K3480	犯罪心理学		2	3～4		○	◎	○			SSFD2095a0	
	K3485	犯罪捜査の心理学		2	5～6	不可		○	◎		○	SSFD3096a0	
歴史コース	K3490	入門歴史学	②		1～2	不可	○	◎	○			SSFE1097a0	
	K3495	日本史概説Ⅰ		②	1～2		○	◎	○			SSFE1098a0	
	K3500	日本史概説Ⅱ		②	1～2		○	◎	○			SSFE1099a0	
	K3505	日本史研究Ⅰ		②	3～4			○	◎			SSFE2100a0	
	K3510	日本史研究Ⅱ		②	3～4			○	◎			SSFE2101a0	
	K3515	日本思想史		②	1～2		○	◎	○			SSFE1102a0	
	K3520	西洋史		②	3～4		○	◎	○			SSFE2103a0	
	K3525	中国史		②	3～4		○	◎	○			SSFE2104a0	
	K3530	アジア史		②	3～4		○	◎	○			SSFE2105a0	
	K3535	歴史学特論(日本史)		②	5～6			○	◎			SSFE3106a0	
	K3540	歴史学特論(外国史)		②	5～6			○	◎			SSFE3107a0	

●社会学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他学科履修	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	ナンバリングコード	備考
歴史コース	K3545	史料講読		②	5～6				◎	○	○	SSFE3108a0	
	K3550	人文地理学		②	5～6			◎	○			SSFE2109a0	
	K3555	自然地理学		②	5～6			◎	○			SSFE2110a0	
	K3560	地理学特論		②	5～6			○	◎			SSFE2111a0	
	K3565	地誌		②	5～6			○	◎			SSFE2112a0	
	K1640	日中交流史		2	3～4			○	◎			SSFE2113a0	(＊1)
	K3570	地域史研究		②	5～6		○	○	◎			SSFE2114a0	
	K1655	博物館概論		2	1～2	不可	○	◎	○		○	SSFE1115a0	
	K1650	生涯学習概論		2	1～2	不可	○	◎	○		○	SSFE1116a0	
	K1665	博物館資料論		2	3～4	不可		○	◎		○	SSFE2117a0	
	K1660	博物館展示論		2	3～4	不可		○	◎			SSFE2118a0	
	K1670	博物館教育論		2	3～4	不可		○	◎			SSFE2119a0	
	K1675	博物館経営論		2	5～6	不可		○	◎			SSFE3120a0	
	K1680	博物館資料保存論		2	5～6	不可		○	◎		○	SSFE3121a0	
	K1685	博物館情報・メディア論		2	5～6	不可		○	◎			SSFE3122a0	
	K1690	博物館実習A		1	5～6	不可		○	○	◎	◎	SSFE2123a0	
	K1695	博物館実習B		1	7～8	不可		○	○	◎	◎	SSFE3124a0	
	K1700	博物館実習C		1	7～8	不可		○	○	◎	◎	SSFE3125a0	
学部共通	K1010	キャリアマネジメントⅠ		2	3～4						◎	SSFF1126a0	
	K1015	キャリアマネジメントⅡ		2	3～4						◎	SSFF1127a0	
	K1020	キャリアゼミ		2	5～6						◎	SSFF2128a0	
	K1025	キャリアゼミ実践演習		2	5～6						◎	SSFF3129a0	
卒業に必要な最低修得単位数			22	66									

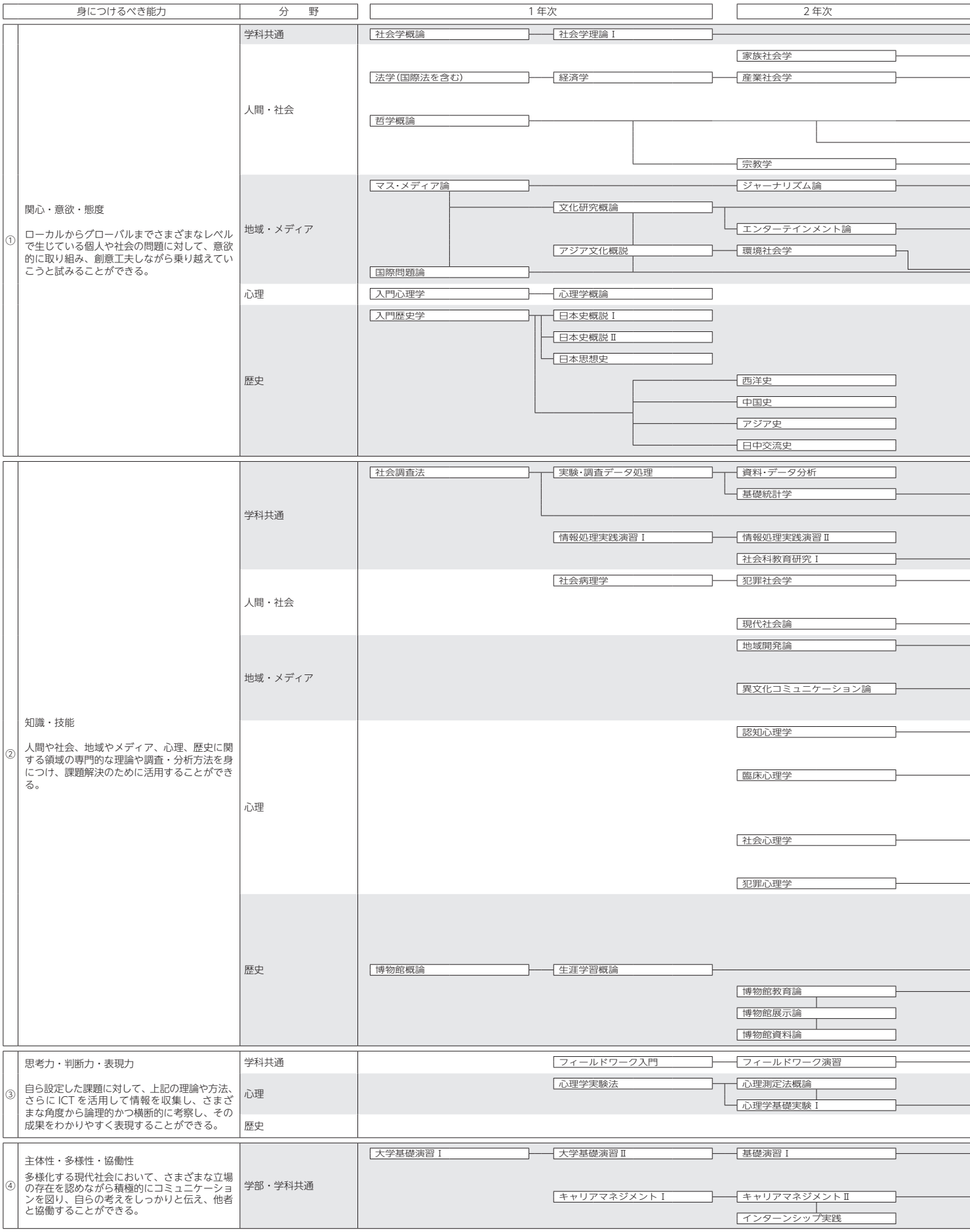
(注 1) 授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ 2 単位付与する。

(＊ 1) 当該科目は、中国へ留学し所定の科目を終了すると、本学の単位として評価の対象となる科目です。留学前に既に単位修得している科目は、留学後に重複して評価できません。
今後、中国への留学を考えている学生は、履修前に担当教員に必ず相談をしてください。

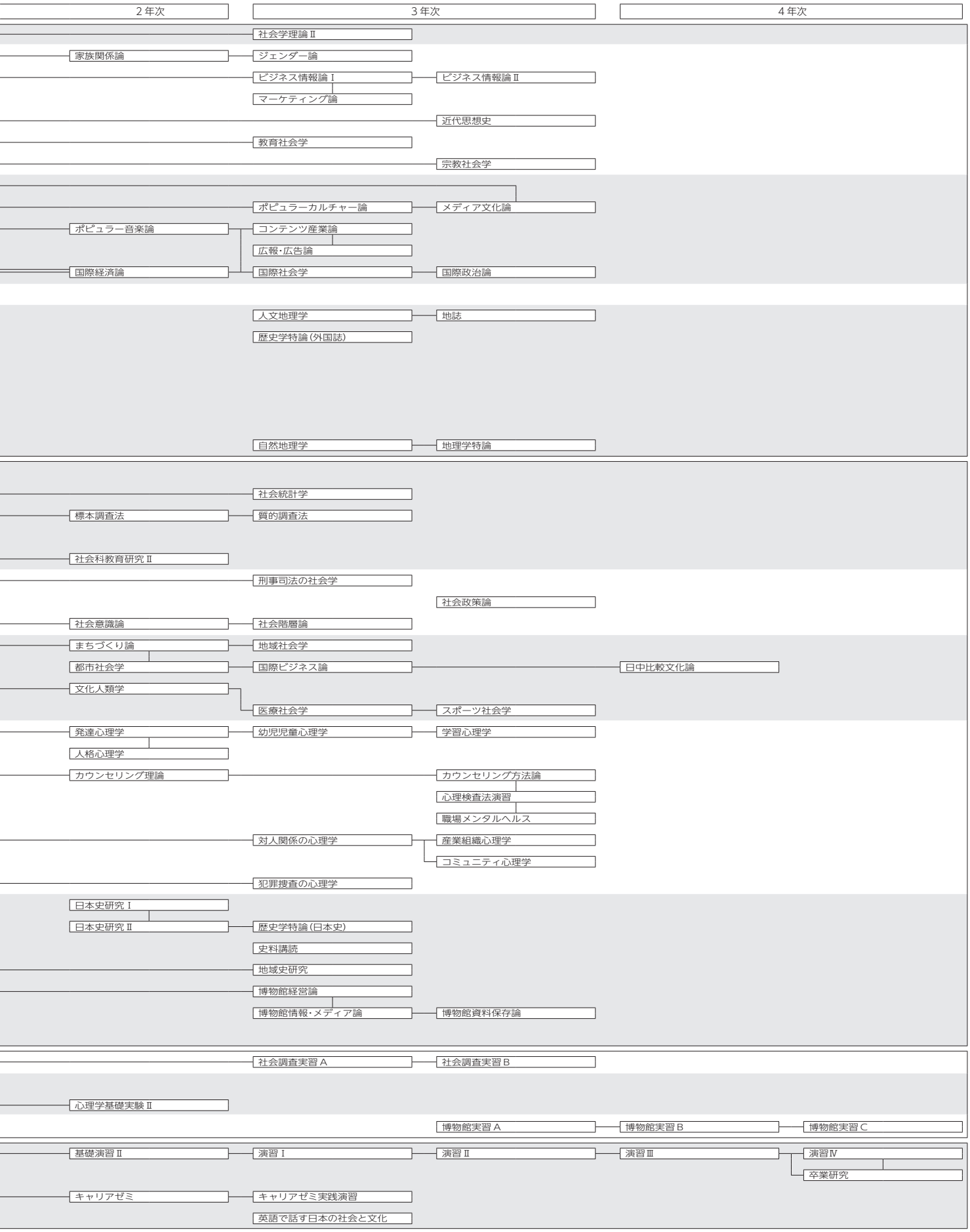
※注意：他学部・他学科履修について

他学部・他学科履修はシラバスを確認し、必ず担当教員の許可を得てから履修登録してください。
UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは科目編成表の「他学部・他学科履修」欄に『不可』がなくても他学部・他学科履修を許可しない場合があります。

社会学部 社会学科 履修系統図



※カリキュラムポリシー（CP）は P91・92 を参照してください。



●人間福祉学科

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

人間福祉学科は、人とその人を取り巻く家族・知人などの人、組織、社会などの環境に働きかけ、課題から現状の枠組みと新しい枠組みを考察することによって、現実的な目標に取り組み、共生社会のコミュニティづくりのために、地域住民等と連携しながら、地域の潜在化したニーズを発見し、分野横断的な支援体制の構築をめざす人物を育成することを目的とします。

このために、卒業時点で学生が身につける資質・能力は、以下の５点とします。

① コミュニケーション能力
他者の話を傾聴し説明もわかりやすく、状況に合わせた非言語的表現力も適切で、円滑なコミュニケーションをとることができる。

② 問題解決能力
社会福祉に関する問題を発見、情報を収集・分析し明確化した上で言語化できる。問題の重要性や緊急性から優先順位を考え、解決に向けて行動できる。

③ 社会福祉に関する専門技術・知識の修得
支援の対象者等の背景、属性、価値観の多様性を理解し、社会福祉に関する専門知識・技術を活用することによって、社会に貢献できる。

④ エコロジカル思考
人とその人を取り巻く家族・知人などの人、組織、社会などの環境に働きかけ、必要な課題を見出し、課題克服のために主体的に取り組むことができる。

⑤ イノベーション力
社会福祉専門職としての明確なビジョンを持ち、課題から現状の枠組みと新しい枠組みを考察し、現実的な目標を設定できる。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

人間福祉学科は、社会福祉学の要素は理念や理論だけでなく実践であるため、アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する能力修得など実際に活用ができるカリキュラムを編成し、現場での学修及びそれに資する教育の機会を核として、講義と演習がそれを支える教育形態とします。さらに、医学、心理学、社会学、介護学などの隣接領域の基本的な知識も修得します。

1） 1年次
自己覚知、倫理、価値等の学修を行い、ソーシャルワークの価値・原則・倫理について理解し、社会福祉活動への関心を高めるために、「大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」を配置します。基本的な面接技術について、視聴覚教材や模擬的な実践によって修得するために「ソーシャルワーク演習Ⅰ」を配置します。社会福祉学をさまざまな視点から学修するために、「医学概論」「臨床心理学」「社会学と社会システム」「福祉法学」などの隣接領域も学修します。

2） 2年次
社会福祉の専門知識と技術を修得するために「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童・家庭福祉」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ～Ⅳ」「地域福祉と包括的支援体制Ⅰ・Ⅱ」などの社会福祉領域の専門科目を履修。「ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク実習指導A・B」「ソーシャルワーク実習A」では講義科目との関連性を持たせ相談援助の展開方法について学ぶ。ソーシャルワーク

業務の実際について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術を体得します。

3）3年次

「ソーシャルワーク実習B」において、相談援助に係わる知識と技術について、具体的かつ実際的に理解し実践的な技術を体得する。「ソーシャルワーク演習Ⅳ・Ⅴ」「ソーシャルワーク実習指導C」において、ソーシャルワーカーに求められる資質、技能、倫理、自己覚知握等を深め、総合的に対応できる能力を修得し、実践と理論の一体的な理解を深めます。

4）4年次

「人間福祉演習Ⅲ・Ⅳ」等を履修し、利他の精神に基づいて、人とのつながりを大切にしながら人と社会の在り方を多角的に考察する力を身につけ、社会福祉に関する専門知識・技術を活用することによって社会に貢献でき、現状に安住せず堅実かつ柔軟な思考で不断の刷新を図ることができる能力を修得します。

【教育方法】

1）講義・演習・実習等の授業形態を組み合わせた授業を実施し、いずれにおいてもアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れる。

2）演習においては、社会活動やフィールドワークを通して、課題解決を目的とするアクティブ・ラーニングを1年次から3年次まで段階的に取り入れる。

3）実習やインターンシップにおいては、社会福祉実践現場において専門知識と専門技術の統合を1年次から3年次まで段階的に図る。

4）実習においては、1年次から3年次まで実習報告会に参加し、学生の実習経験に応じた相互教育の機会を取り入れる。

5）講義と演習を組み合わせた資格取得支援を目的とする授業を実施し、社会福祉専門職に求められる専門知識の定着を図る。

6）3年次から4年次の少人数のゼミにおいては、社会福祉に関する個別的な関心に沿って主体的な学修を促す。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価する。

2）ディプロマ・ポリシーを目標とする学生自身の自己評価を1年次の評価から実施する。

3）講義においては、小テストや期末テストを実施して、到達目標の達成度を評価する。

4）演習・実習・インターンシップにおいては、ルーブリックを用いて、学生自身が学修成果のリフレクションを行う。

5）演習・実習・インターンシップ等においては、学生同士の相互評価やフィードバックを活用して評価する。

6）実習においては、実習指導者による評価を部分的に活用し、学生が修得した能力について複数の教員によって評価を行う。

7）学修ポートフォリオを用いて、1年次の大学基礎演習から3年次のソーシャルワーク実習Bまで縦断的な評価を行う。

8）1年次と3年次にPROGテストを実施し、コンピテンシーの評価を行う。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

人間福祉学科は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1） 他人の話に耳を傾けることができること。〔求める要素：関心・意欲・態度〕

2） 少子高齢化など社会的問題に関心を持っていること。〔求める要素：関心・意欲・態度〕

3） 相談援助の知識や技術を高めようとする目標を持っていること。〔求める要素：知識・技能、思考力〕

4） 違う価値観の人と協働して、物事に取り組むことができること。
〔求める要素：主体性・多様性・協働性、思考力・判断力、表現力〕

5） ボランティアなどの活動に関わり実践から学ぼうとする意欲があること。
〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●人間福祉学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	社会福祉士	精神保健福祉士	配当セメスター	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
社会福祉領域	K4010	社会福祉の原理と政策Ⅰ		②	○	●	1～2	○			◎			SHGA1001a0	人間福祉学科の専門教育科目は他学部・他学科の学生が履修することはできない。
	K4015	社会福祉の原理と政策Ⅱ		2	○	●	1～2	○			◎			SHGA1002a0	
	K4020	社会保障Ⅰ		②	○	●	5～6	○		○	◎			SHGA3003a0	
	K4025	社会保障Ⅱ		②	○	●	5～6	○		○	◎			SHGA3004a0	
	K4030	貧困に対する支援		②	○		3～4	○			◎			SHGA3005a0	
	K4035	保健医療と福祉		2	○		3～4	○			◎			SHGA3006a0	
	K4040	権利擁護を支える法制度		②	○	●	5～6	○			◎			SHGA3007a0	
	K4045	刑事司法と福祉		②	○	●	5～6	○			◎			SHGA3008a0	
	K4050	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		②	○	●	3～4	○			○	◎		SHGA3009a0	
	K4055	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		②	○	●	3～4	○		◎	○			SHGA3010a0	
	K4060	福祉サービスの組織と経営		2	○		5～6	○			◎			SHGA3011a0	
	K4065	医学概論		2	○	●	1～2	○			◎			SHGA1012a0	
	K4070	心理学と心理的支援		②	○	●	1～2	○			◎	○		SHGA1013a0	
	K4075	社会学と社会システム		②	○	●	1～2	○		◎			○	SHGA1014a0	
	K4080	社会福祉調査の基礎		②	○	●	5～6	○			◎			SHGA3015a0	
	K4085	高齢者福祉	②		○		3～4	○			◎			SHGA2016a0	
	K4090	児童・家庭福祉	②		○		3～4	○			◎			SHGA2017a0	
	K4095	障害者福祉	②		○	●	3～4	○			◎			SHGA2018a0	
	K4100	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2		○	●	1～2	○			◎	○		SHGA1019a0	
	K4105	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		②	○		1～2	○			◎	○		SHGA1020a0	
	K4110	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		②	○	●	3～4	○			◎	○		SHGA2021a0	
	K4115	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		②	○	●	3～4	○			◎	○		SHGA2022a0	
	K4120	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		②	○		5～6	○			◎	○		SHGA3023a0	
	K4125	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		②	○		5～6	○			◎	○		SHGA3024a0	
	K4130	ソーシャルワーク演習Ⅰ (注2)		②	○	●	1～2	○	◎		○			SHGA1025a0	
	K4135	ソーシャルワーク演習Ⅱ (注2)		②	○		3～4	○		◎	○			SHGA2026a0	
	K4140	ソーシャルワーク演習Ⅲ (注2)		2	○		3～4	○			◎	○		SHGA2027a0	
	K4145	ソーシャルワーク演習Ⅳ (注2)		2	○		5～6	○				◎	○	SHGA3028a0	
	K4150	ソーシャルワーク演習Ⅴ (注2)		2	○		5～6	○					◎	SHGA3029a0	
	K4155	ソーシャルワーク実習指導A (注2)		②	○		3～4	○	◎		○			SHGA2030a0	
	K4160	ソーシャルワーク実習指導B (注2)		②	○		3～4	○	○		◎			SHGA2031a0	
	K4165	ソーシャルワーク実習指導C (注2)		2	○		5～6	○		○	◎			SHGA3032a0	
	K4170	ソーシャルワーク実習A (注2)		2	○		3～4	○			○	◎		SHGA3033a0	
	K4175	ソーシャルワーク実習B (注2)		4	○		5～6	○			○	◎	○	SHGA3034a0	
	K4180	介護福祉		②			3～4			○		◎		SHGA2035a0	
	K4185	介護演習		②			3～4			○		◎		SHGA3036a0	

●人間福祉学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	社会福祉士	精神保健福祉士	配当セメスター	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
社会福祉領域	K4190	就労支援		2			5～6				◎			SHGA3037a0	人間福祉学科の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
	K4195	加齢・障害の研究		②			5～6				○			SHGA1038a0	
	K4200	人体・生活の研究		②			5～6				○			SHGA1039a0	
	K4205	高齢者支援と福祉		②			3～4				◎			SHGA3040a0	＊1
	K4210	障害者支援と福祉		②			3～4				◎			SHGA3041a0	
	K4215	児童・家庭支援と福祉		②			3～4				◎			SHGA3042a0	＊1
	K4220	福祉法学		②			1～2				◎			SHGA1043a0	
	K4225	社会福祉法制論		2			5～6				◎			SHGA3044a0	
	K4230	社会と人間		②			1～2				○			SHGA1045a0	＊1
	K4235	家族社会学		②			1～2				○			SHGA1046a0	
	K4240	地域社会学		②			3～4				○			SHGA2047a0	
	K4245	人間福祉演習Ⅰ	2				5～6	○		○			◎	SHGA3048a0	
	K4250	人間福祉演習Ⅱ	2				5～6	○		○			◎	SHGA3049a0	
	K4255	人間福祉演習Ⅲ	2				7～8	○		○			◎	SHGA3050a0	
	K4260	人間福祉演習Ⅳ	2				7～8	○		○			◎	SHGA3051a0	
	K4625	卒業研究		4			7～8	○		○			◎	SHGA3052a0	
		人間福祉特殊講義(注1)		2							◎				
	K407A	〈社会福祉研究Ⅰ〉		2			7～8						◎	SHGA3096a0	
	K407B	〈社会福祉研究Ⅱ〉		2			7～8						◎	SHGA3097a0	
	K407C	〈社会福祉総合研究Ⅰ〉		2			7～8						◎	SHGA3098a0	
	K407D	〈社会福祉総合研究Ⅱ〉		2			7～8						◎	SHGA3099a0	
	K407E	〈社会福祉探究Ⅳ〉		2			5～6				◎			SHGA3092a0	7セメスター生履修不可
	K407F	〈社会福祉探究Ⅴ〉		2			5～6				◎			SHGA3093a0	8セメスター生履修不可
	K407G	〈社会福祉特別講義Ⅰ〉		2			3～4				◎			SHGA3094a0	7セメスター生履修不可
	K407H	〈社会福祉特別講義Ⅱ〉		2			5～6				◎			SHGA3095a0	8セメスター生履修不可
医療福祉領域	K4270	精神医学と精神医療Ⅰ		2		●	5～6				◎			SHGB3053a0	
	K4275	精神医学と精神医療Ⅱ		2		●	5～6				◎			SHGB3054a0	
	K4280	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2		●	3～4				○	◎		SHGB2055a0	
	K4285	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2		●	3～4				○	◎		SHGB2056a0	
	K4290	精神保健福祉の原理Ⅰ		2		●	3～4				◎	○		SHGB2057a0	
	K4295	精神保健福祉の原理Ⅱ		2		●	3～4				◎	○		SHGB1058a0	
	K4300	精神保健福祉ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2		●	5～6				◎	○		SHGB3059a0	
	K4305	精神保健福祉ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2		●	5～6				◎	○		SHGB3060a0	
	K4310	精神障害リハビリテーション論		2		●	5～6				◎	○		SHGB3061a0	
	K4315	精神保健福祉制度論		2		●	5～6				◎	○		SHGB3062a0	
	K4320	精神保健福祉援助演習Ⅰ(注3)		2		●	5～6			○	◎			SHGB2063a0	
	K4325	精神保健福祉援助演習Ⅱ(注3)		2		●	7～8			○		◎		SHGB3064a0	

●人間福祉学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別	科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	社会福祉士	精神保健福祉士	配当セメスター	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
医療福祉領域	K4330	精神保健福祉援助演習Ⅲ(注3)		2		●	7～8						◎	SHGB3065a0	
	K4335	精神保健福祉援助実習指導A(注3)		2		●	5～6			○	◎			SHGB1066a0	
	K4340	精神保健福祉援助実習指導B(注3)		2		●	7～8			○	○	◎		SHGB2067a0	
	K4345	精神保健福祉援助実習指導C(注3)		2		●	7～8				○		◎	SHGB3068a0	
	K4350	精神保健福祉援助実習(注3)		3		●	7～8				○	◎		SHGB3069a0	
	K4355	医療福祉論		2			3～4				◎			SHGB3070a0	
	K4360	ターミナルケア論		②			5～6				◎			SHGB3071a0	＊1
	K4365	「いのち」の権利論(生命倫理と遺伝)		②			5～6				◎			SHGB3072a0	＊1
	K4370	MSWインターンシップ		1			7～8			○	◎			SHGB3073a0	人間福祉学科の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
心理・健康福祉領域	K4375	臨床心理学		②			1～2				◎	○		SHGC1074a0	
	K4380	福祉心理学		②			3～4				◎	○		SHGC2075a0	
	K4385	健康心理学		2			3～4				◎	○		SHGC2076a0	
	K4390	カウンセリング理論		②			3～4				◎			SHGC2077a0	
	K4395	カウンセリング方法論		②			5～6				◎			SHGC3078a0	
	K4400	障害者スポーツ研究		2			1～2				◎			SHGC1079a0	
	K4405	スポーツマネジメント		2			3～4				○			SHGC2080a0	
	K4410	レクリエーション活動援助論Ⅰ		2			3～4				◎			SHGC1081a0	
	K4415	レクリエーション活動援助論Ⅱ		2			3～4				◎			SHGC2082a0	
	K4420	リハビリテーション論		2			5～6				○			SHGC2083a0	
福祉マネジメント領域	K4425	ボランティア論		2			1～2				◎			SHGD1084a0	＊1
	K4430	福祉住環境論		2			3～4				◎			SHGD2085a0	
	K4435	経済学入門		②			3～4				○			SHGD1086a0	
	K4440	国際経済学		②			5～6				○			SHGD1087a0	
学部共通	K1010	キャリアマネジメントⅠ		2			3～4		○					SHGE1088a0	
	K1015	キャリアマネジメントⅡ		2			3～4		○					SHGE2089a0	
	K1020	キャリアゼミ		2			5～6		○					SHGE3090a0	
	K1025	キャリアゼミ実践演習		2			5～6		○					SHGE3091a0	
卒業に必要な最低修得単位数			16	72											

(注 1) 授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ 2 単位付与する。

(注 2) ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ（演習）は 150 時間（各 30 時間）、ソーシャルワーク実習Ａ（実習）は 60 時間、ソーシャルワーク実習Ｂ（実習）は 180 時間、ソーシャルワーク実習指導Ａ～Ｃ（実習）は 90 時間（各 30 時間）とする。

(注 3) 精神保健福祉援助演習Ⅰ～Ⅲ（演習）は 90 時間（各 30 時間）、精神保健福祉援助実習（実習）は 150 時間（ソーシャルワーク実習の履修済みを前提とする）、精神保健福祉援助実習指導Ａ～Ｃ（実習）は 90 時間（各 30 時間）とする。

＊1 「地域共創プログラム」関連科目のため、「地域共創プログラム」取得をめざす文学部・社会学部・経営学部の学生に限り、他学部・他学科履修を可とする。

※履修する際の注意点　次ページ参照。

履修する際の注意点

1　専門教育科目表の○の記号は社会福祉士国家試験受験資格、●の記号は精神保健福祉士国家試験受験資格に必要な科目を示している。なお、社会福祉士国家試験受験資格指定科目については、p.235 の「社会福祉士国家試験受験資格」、精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目については、p.238 の「精神保健福祉士国家試験受験資格」を参照のこと。

2　社会福祉士国家試験受験資格指定科目ではないが、社会福祉施設長、生活指導員等に共通する専門知識として社会福祉施設の経営管理・運営・業務等の内容の学修が必要とされているので、福祉マネジメント領域も履修しておくことが望ましい。

3　社会福祉士国家試験受験資格指定科目の履修条件

授　業　科　目	履修条件（左の授業科目を履修するには、以下の科目の単位を修得していることが必要）
ソーシャルワーク演習Ⅱ	「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」 「医学概論」「大学基礎演習Ⅱ」
ソーシャルワーク演習Ⅲ	「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導 A」
ソーシャルワーク演習Ⅳ	「ソーシャルワーク演習Ⅲ」「ソーシャルワーク実習指導 B」 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ」「介護福祉」「高齢者福祉」 「障害者福祉」「児童・家庭福祉」「地域福祉と包括的支援体制Ⅰ」 「貧困に対する支援」「ソーシャルワーク実習 A」
ソーシャルワーク実習指導A	「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」 「医学概論」「大学基礎演習Ⅱ」
ソーシャルワーク実習指導B ソーシャルワーク実習A※1	「ソーシャルワーク実習指導 A」
ソーシャルワーク実習指導 C ソーシャルワーク実習 B※1	「ソーシャルワーク実習指導 B」「ソーシャルワーク実習 A」 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ」 「介護福祉」「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童・家庭福祉」 「地域福祉と包括的支援体制Ⅰ」「貧困に対する支援」

※1　実習参加には前学期までの累積 GPA が 2.0 以上であること。

4　精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目の履修条件

授　業　科　目	履修条件（左の授業科目を履修するには、以下の科目の単位を修得していることが必要）
精神保健福祉の原理Ⅰ	「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」
精神保健福祉の原理Ⅱ	「精神保健福祉の原理Ⅰ」
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	「現代の精神保健の課題と支援Ⅰ」
精神保健福祉援助実習指導 A	「精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ」、「精神医学と精神医療Ⅰ」 「現代の精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ」 「精神保健福祉ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」
精神保健福祉援助実習指導 B 精神保健福祉援助実習	「ソーシャルワーク実習 B」、「精神保健福祉援助実習指導 A」 「精神医学と精神医療Ⅱ」、「精神保健福祉ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」
精神保健福祉援助実習指導 C	「精神保健福祉援助実習指導 B」
精神保健福祉援助演習Ⅱ	「精神保健福祉援助実習指導 A」
精神保健福祉援助演習Ⅲ	「精神保健福祉援助演習Ⅰ」、「精神保健福祉援助実習指導 B」

【選抜試験等】

「精神保健福祉援助実習指導 A・B・C」、「精神保健福祉援助実習」、「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」の最大定員は 20 名。これらの科目の履修にあたっては、上記の履修条件の他、2 年次後期又は 3 年次前期時に実施する選抜試験への合格が必要となる。選抜試験は希望者に対して面接を実施し、学業全体の成績、意欲、指定科目の履修状況等を参考に判定する。

なお、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のためには、社会福祉士国家試験受験資格のための指定科目修得が必要となる。

5　MSW インターンシップ履修要件（目安）

MSW（医療ソーシャルワーカー）として医療機関に就職をめざす場合、医療機関側は MSW を医療関係の専門職と扱うため、社会福祉士有資格を必須要件としている。つまり、大学卒業年度に社会福祉士国家試験に合格することが要件となる。

また、医療機関への就職と連動する科目であるため、MSW インターンシップを受け入れる医療機関の意向に沿う学生の履修を優先する。

以下は、履修のための例年の目安である。

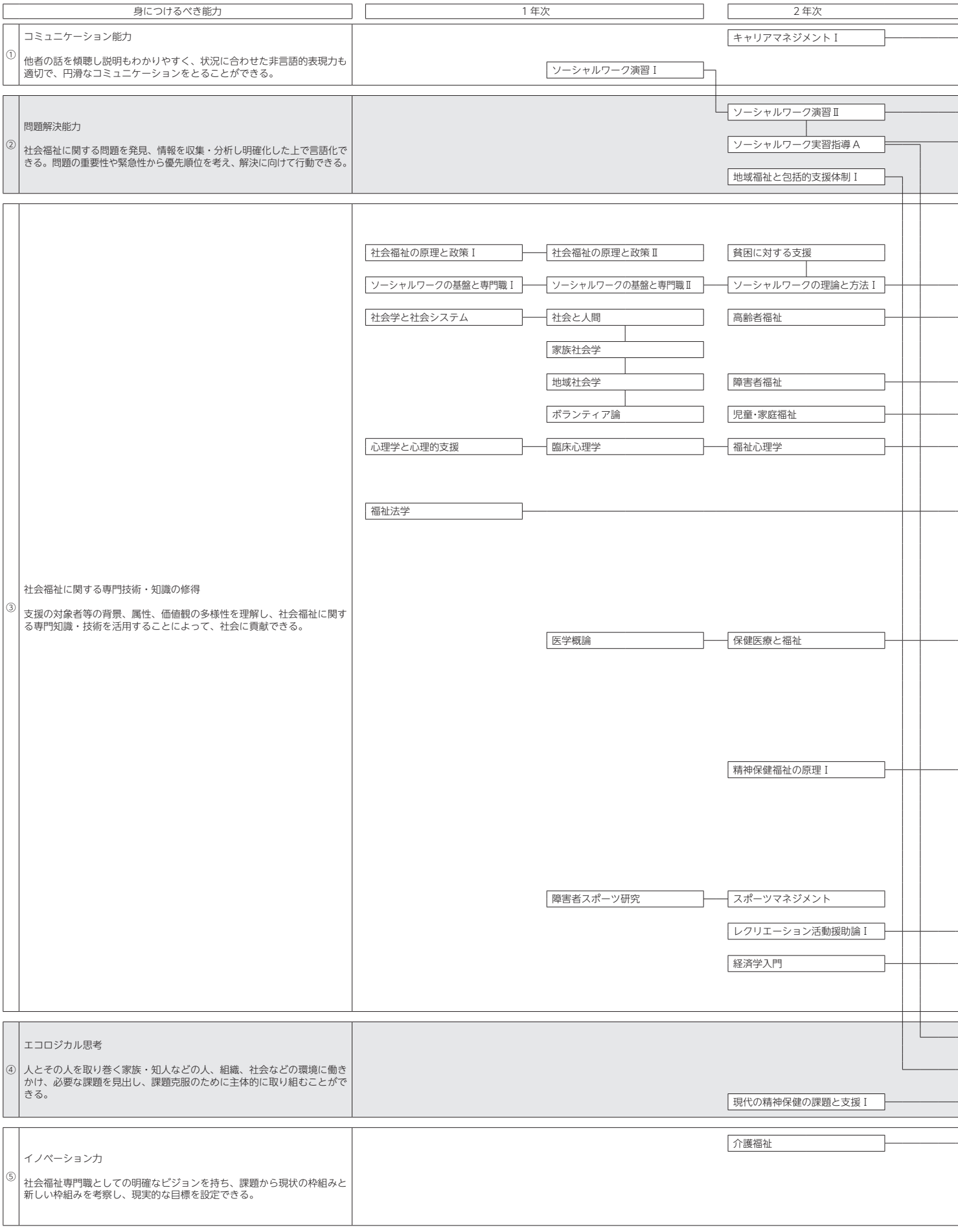
① MSW インターンシップの受け入れ先である、医療機関の要望に沿う学生であること。
② 卒業年度に社会福祉士国家試験の合格が見込まれる者。
③ 社会福祉士国家試験受験資格指定科目である「保健医療と福祉」「ソーシャルワーク実習指導 ABC」「ソーシャルワーク実習 A・B」の評価が良好な者。
④ 原則として、3 年次終了時にすべての「社会福祉士国家試験受験資格指定科目」の単位修得済みである者。

※③④については、編入生は除く。
※②③④については学業全体の成績や意欲も確認し、面接を行う場合がある。

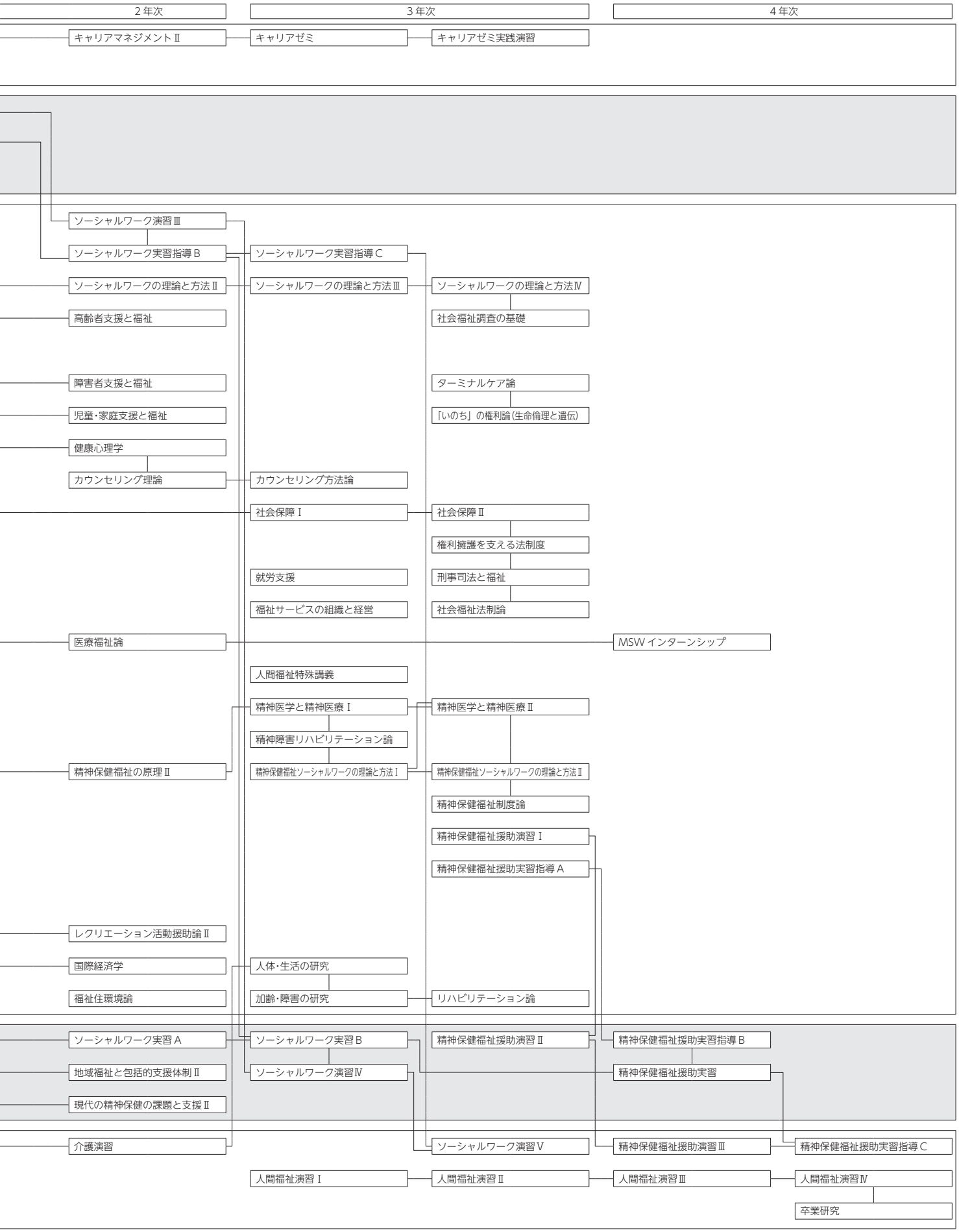
6　人間福祉特殊講義科目の履修条件

学期	授業科目		配当	履修条件
夏	人間福祉特殊講義	社会福祉探求Ⅳ（集中講義）	5～6	• 「ソーシャルワーク実習指導 B」「ソーシャルワーク実習 A」を修得済または同時履修であること • 7 セメスター以上履修不可 • 社会福祉特別講義 I との同時履修不可
冬	人間福祉特殊講義	社会福祉探求Ⅴ（集中講義）	5～6	• 「ソーシャルワーク実習指導 B」「ソーシャルワーク実習 A」を修得済または同時履修であること • 8 セメスター以上履修不可
夏	人間福祉特殊講義	社会福祉研究 I	7～8	• 「ソーシャルワーク実習指導 C」「ソーシャルワーク実習 B」を修得済または同時履修であること • 「社会福祉総合研究 I」を同時履修すること
冬	人間福祉特殊講義	社会福祉研究 II	7～8	• 「ソーシャルワーク実習指導 C」「ソーシャルワーク実習 B」を修得済または同時履修であること • 「社会福祉総合研究 II」を同時履修すること
夏	人間福祉特殊講義	社会福祉総合研究 I	7～8	• 「ソーシャルワーク実習指導 C」「ソーシャルワーク実習 B」を修得済または同時履修であること • 「社会福祉研究 I」を同時履修すること
冬	人間福祉特殊講義	社会福祉総合研究 II	7～8	• 「ソーシャルワーク実習指導 C」「ソーシャルワーク実習 B」を修得または同時履修していること • 「社会福祉研究 II」を同時履修すること
夏	人間福祉特殊講義	社会福祉特別講義 I（集中講義）	3～4	• 「社会福祉探求Ⅳ」との同時履修不可
冬	人間福祉特殊講義	社会福祉特別講義 II（集中講義）	5～6	• 8 セメスター以上履修不可

社会学部 人間福祉学科 履修系統図



※カリキュラムポリシー（CP）はP100・101を参照してください。



●教育学部

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

教育学部は、社会の急激な変化の中で、子どもを取り巻く多様な現代的課題に、幅広い視野で俯瞰的に捉え、子ども一人一人に適した学びと協働的な学びの在り方を追究します。

未来を拓く子どもたちのために、教育者、保育者としての専門的知識・技能の修得、省察と研鑽による実践力・指導力の向上を図り、子どもの成長と発達を促す支援やケアのあり方を生涯にわたって学び続け、「いい先生」とは何かを問いながら、地域社会や学校・保育施設等にて、協働の力、ファシリテーション力を発揮して活躍できる教育者・保育者の養成を目的とします。

教育者、保育者としての専門的な学びを修得する上で、卒業時までに学生が身につけるべき資質・能力は、次の 3 点です。

1）多様な子どもを取り巻く現代的課題に対応する力

多様な立場、考え方の存在を認め、強い意志と情熱及び教育者、保育者としての使命感や責任感を持って、子どもの個々のニーズを共感的に理解し、子どもの学びと育ちに関わり、取り組むための「子ども理解」に関する専門性を獲得する。

2）個別最適な学びと協働的な学びを実現する専門的な知識・技能と実践力を追究する力

学校・保育施設等において、子ども一人一人の興味・関心を引き出し、子どもの課題に応える「個別最適な学び」と、個の学びを小集団や全体の場で拡げたり深めたりする「協働的な学び」を実現できる「教科・領域の専門性」と、ICT や教育方法を効果的に取り入れた「実践的指導力」を獲得する。

3）変化する社会、学校・保育施設等で活躍するための包括的な協働の力

急激に変化する環境の中で、すべての子どもの可能性を引き出すために、チームの一員として、多様な人々と協働で課題解決を図り、持続可能な解決を遂行する力や種々の活動を繋ぐ横断的なファシリテーション力を醸成する。

以上、教育者、保育者として未来を担う子どもの成長と発達を支援し、ケアするために、「子ども理解の専門性」と「教科・領域の専門性」を身につけ、「協働の力」を発揮する教育者、保育者の養成に取り組みます。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

教育学部は「学校教育コース」と「幼児教育保育コース」の 2 コースを設定し、ディプロマ・ポリシーに基づく教育者・保育者としての専門的知識・技能及び実践力、指導力を備えた人材を育成するため、次のような科目領域により教育内容を編成します。

学校教育コースの教育課程は、『教職一般領域』『初等教育領域』『コース共通領域』『選修領域』『教育・子ども理解領域』の 5 領域で実施します。

『選修領域』は、［小学校選修］［英語選修］［数学選修］［理科選修］［保健教育選修］［特別支援教育選修］の 6 選修で構成し、各学校種の教員免許状取得に必要な科目を配置しています。また、『教育・子ども理解領域』では、児童・生徒の多様性を理解し、成長と自己実現を支援し、ケアしていくための教育理論を修得します。

幼児教育保育コースの教育課程は、『教職一般領域』『コース共通領域』『幼児教育保育領域』『初等教育領域』の 4 領域で編成します。幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、小学校教諭一種免許状の取得を基本的な考えとし、就学前の教育・保育から小学校教育への連続性を理解した保育者を養成するための科目を配置

します。

さらに、教育・保育現場での実践的な学びを推進する「インターンシップ」等の科目を設定し、大学で学修する教育理論との往還により、教育者、保育者としての資質・能力を養成するカリキュラムを編成します。

1）『教職一般領域』では、教育者・保育者に必須である教育学の基礎理論や実践論等を学ぶため、「教育原論」「特別支援教育」「教育心理学」「教職論」等の科目を配置します。

2）『コース共通領域』では、教育・保育現場と大学の学びとを往還させ、豊かな人間性と確かな実践力・指導力を培うため、「教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「インターンシップⅠ・Ⅱ」「教育・ファシリテーション演習」などの科目を配置します。

1年次の「大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」（教養教育科目）では、大学の教育課程についての理解を深め、円滑に学修を進めていくためのアカデミックスキルを中心に学びます。続いて、2年次の「教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ」では、専門的な学修に要するスキルや教職のキャリア形成に向けての指導を行います。大学基礎演習・教育基礎演習、どちらもクラス担任制で実施します。3年次の「教育専門演習Ⅰ・Ⅱ」、4年次の「教育専門研究Ⅰ・Ⅱ」では、同じゼミ担当教員が2年間継続して「卒業研究」などの指導を行います。

3）幼児教育保育コースの『幼児教育保育領域』では、幼稚園教諭及び保育士の養成に必要な「領域に関する専門的事項」や「保育内容の指導法」などを配置します。また『初等教育領域』では、小学校教諭の養成に必要な「教科内容論」や「教科教育法」などを配置します。

4）学校教育コースでは、1年次夏学期にて「学校教育入門」を配置します。学校教育とは何か、教員をめざす気持ちを高め、4年間の学修についての理解と未来の教師像を明確にして、教職のキャリア形成を図ります。『選修』決定後の2年次からは、系統性を重視したカリキュラム編成により、専門的な理論と実践を学び、総合的な知識・技能を育成します。

4-1.［小学校選修］では、小学校の教員養成に必要な教科教育に関する教育理論や実践論である「教科内容論」「初等教科教育法」などを配置します。また、幼稚園教諭一種免許状も小学校教諭一種免許状と併せて取得することも可能です。

4-2.［英語選修］［数学選修］［理科選修］では、中学校・高等学校の教員養成に必要な科目として、修得する各教科に応じた「専門必修科目」、「専門選択科目」「教科教育法」などを配置します。

4-3.［保健教育選修］では、子どもの多様な健康課題について考え、健全な成長発達を支援するため、「学校保健」「解剖生理学」「学校看護学」など、養護教諭をめざす上で必要な専門的科目を配置します。

4-4.［特別支援教育選修］では、特別支援教諭をめざす上で必要な「特別支援教育概論」「知的障害教育論」などの専門的科目を配置します。また、特別支援学校教諭一種免許状の取得には、小学校教諭一種免許状の取得が必要です。

4-5.『教育・子ども理解領域』では、子どもを取り巻く環境の変化に対応し、子どもの理解を深め、教育を考える科目として、「子ども理解と人権」「インクルーシブ教育の理論と方法」「ICTと教育データの活用論」「プログラミング教育」などの科目を配置します。

学生は、カリキュラムを系統的に学び、学修すると共に、自らの学修内容を俯瞰することで、総合的な実践力・指導力を身につけ、未来の教師像に向かって自己実現を果たします。

【教育方法】

1）「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、授業では、講話のみならずグループワーク等を取り入れ、課題追究に向けたディスカッション、グループ発表を行うなど、協働での学習活動や双方向的な授業を展開します。

2）これまでの授業実践に ICT を効果的に活用することで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組みます。例えば、電子黒板、タブレット、インターネットや視聴覚機器等の活用を図り、実践力の育成に向けた模擬授業・模擬保育（動画撮影も実施）を行うなど、ICT の利点を生かした学習の推進に努めます。また、ICT アクティブ・ラーニング教室、ICT 模擬授業教室などを積極的に利用し、より効果的な授業を実践します。

3）最新の教育・保育現場等の情報を把握し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、及び保育所等での教育者・保育者の役割等についての理解を図るため、3 年次の「教育実習」に加え、1 年次に現場を知る「ハローナーサリー」「ハロースクール」、2 年次に現場で学ぶ「インターンシップⅠ・Ⅱ」、3 年次に「インターンシップⅢ（選択）」を実施し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、及び保育所等での教育活動に積極的に参加し、実践的な学びを推進します。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。

2）定期試験、小テスト、課題レポート等の提出、授業への参加態度や意欲等により、授業目標への到達度を総合的に評価します。

3）評価の観点とレベルを示したルーブリックの活用を図るとともに、学修の状況や課題追究の過程をパフォーマンス評価します。

4）授業・教育実習（幼・小・中・高・特別支援）・養護実習・保育実習・介護等体験などの課外活動を通して、教育者、保育者として必要な資質・能力や適性を評価します。

5）学修ポートフォリオ（目標・自己評価、教職履修カルテ等）及び上記 2）～ 4）等をもとに、担任教員との面談等を通して自己省察を促すとともに、次の目標設定や学習方法の改善を図る形成的アセスメントを推進します。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

教育学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1）教育・保育に対する強い情熱をもって専門的に学びながら、子どもの多様なニーズへの共感的理解をもとに、一人一人に応じた支援やケアを重視して教育・保育に取り組む熱意溢れる人

〔求める要素：関心・意欲・態度〕

2）本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育・保育についての学びや実践を、子どもの発達を総合的に見通して取り組むことができるように、広い視野から現代の教育課題を捉え、教育・保育活動にいかしていこうと努める人

〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力〕

3）他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようと努める人

〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●教育学科　学校教育コース

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

教育学科学校教育コースは、社会の急激な変化の中で、子どもを取り巻く多様な現代的課題に幅広い視野で俯瞰的に捉え、子ども一人一人に適した学びと協働的な学びの在り方を追究します。

未来を拓く子どもたちのために、教育者としての専門的知識・技能の修得、省察と研鑽による実践力・指導力の向上を図り、子どもの成長と発達を促す支援やケアのあり方を生涯にわたって学び続け、「いい先生」とは何かを問いながら、地域社会や学校等にて、協働の力、ファシリテーション力を発揮して活躍できる小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の各学校種の教員及び養護教諭の養成を目的とします。

教育者としての専門的な学びを修得する上で、卒業時までに学生が身につけるべき資質・能力は、以下の3点です。

① 多様な子どもを取り巻く現代的課題に対応する力
　多様な立場、考え方の存在を認め、強い意志と情熱及び教育者としての使命感や責任感を持って、子どもの個々のニーズに共感的に理解し、子どもの学びと育ちに関わり、取り組むための「子ども理解」に関する専門性を獲得する。

② 個別最適な学びと協働的な学びを実現する専門的な知識や技能と実践力を追究する力
　教育の場において、子ども一人一人の興味・関心を引き出し、子どもの課題に応える「個別最適な学び」と、個の学びを小集団や全体の場で拡げたり深めたりする「協働的な学び」を実現できる「教科・領域の専門性」と、ICT や教育方法を効果的に取り入れた「実践的指導力」を獲得する。

③ 変化する社会、学校等で活躍するための包括的な協働の力
　急激に変化する環境の中で、すべての子どもの可能性を引き出すために、チームの一員として、多様な人々と協働で課題解決を図り、持続可能な解決を遂行する力や種々の活動を繋ぐ横断的なファシリテーション力を醸成する。

以上、教育者として未来を担う子どもの成長と発達を支援し、ケアするために、「子ども理解の専門性」と「教科・領域の専門性」を身につけ、「協働の力」を発揮する教育者の養成に取り組みます。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

【教育課程の編成】

教員は子どもの将来を担う重要な存在であることを学生が自覚し、卒業後、教育現場において、教科指導、生徒指導等の職務を担うことができる教員として必要な資質・能力を身に付け、生涯にわたって「学び続ける教員」になることを重要課題として教育課程を編成します。

教育学科学校教育コースでは、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の各学校種の教員及び養護教諭の養成を目的としたカリキュラム編成を行います。

小学校の教員養成では、小学校教諭として必要な基礎的・専門的知識や技能の修得により、小学校教諭一種免許状を取得します。また、より深く、子どもや子どもを取り巻く社会の多様なニーズに応えられるよう、幼稚園、中学校・高等学校（英語・数学・理科）、養護教諭、特別支援学校のいずれかの教員免許状取得により、専門的知識や技能を基に、校種間で生じる問題への対応や中高の学習を見通した専門的な学習指導など、現場の多様な課題に対応できる専門性の高い小学校教員の養成を目標にカリキュラムを編成します。

中学校・高等学校の教員養成では、「英語」「数学」「理科」の中学校・高等学校教諭一種免許状を取得します。また、生徒の成長過程や生徒を取り巻く社会の多様なニーズに応えられるよう、隣接学校種として小

学校教員免許状の取得により、現場にて幅広い課題に対応できる中学校教員・高等学校教員の養成を目標にカリキュラムを編成します。

特別支援学校の教員養成では、小学校教諭一種許状の取得と合わせて、特別支援学校教員としての専門的知識や技能を学び、特別支援学校教諭一種免許状を取得します。様々な環境の中で成長・発達する児童・生徒の学習課題についての理解を深め、現場の課題に対応できる特別支援学校教員の養成を目標にカリキュラムを編成します。

養護教諭の教員養成では、養護教諭としての専門的知識や技能の修得により、健全な成長・発達を支援する養護教諭一種免許状を取得します。さらに小学校教諭一種免許状を取得し、様々な環境の中で成長・発達する児童・生徒についての理解を深め、子どものいのちと未来を護る養護教諭の育成を目標にカリキュラムを編成します。

【教育内容】

教育学科学校教育コースでは、ディプロマ・ポリシーに基づく教員としての専門的知識及び実践力、指導力を備えた人材を育成するため、次の５領域『教職一般領域』『初等教育領域』『コース共通領域』『選修領域』『教育・子ども理解領域』として教育内容を構成します。

〈全校種の教員免許状取得において必要な基礎科目〉

1）教員としてのキャリア形成を行う科目として「学校教育入門」を配置します。教員をめざす学修の全体像を把握し、身につけたい専門性と未来の教師像を明確にします。

2）『教職一般領域』では、教育学の基礎理論や実践論等を学び、教職の意義や教員の役割などを理解する「教育原論」「特別支援教育」「教育心理学」「教職論」等の科目を配置します。

〈自己の学びを振り返り、問い直し、深め豊かにする科目〉

3）『コース共通領域』では、教育現場と大学での学びとの往還により、豊かな人間性と確かな実践力・指導力を培うため、「教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「インターンシップⅠ・Ⅱ」などの科目を配置します。また、担任制で実施する１年次の「大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」（共通教育科目）、２年次の「教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ」にてアカデミックスキルの基礎力を培い、３年次の「教育専門演習Ⅰ・Ⅱ」、４年次の「教育専門研究Ⅰ・Ⅱ」にて、同じゼミ担当教員が２年間継続して「卒業研究」などの指導を行います。

〈専門教育に関する科目〉

［小学校選修］［英語選修］［数学選修］［理科選修］［保健教育選修］［特別支援教育選修］の６選修について、教員免許状の取得に関わる学問領域の専門的知識や技能を習得します。

4）［小学校選修］では、小学校課程の教科教育に関する基礎理論や方法論等を学ぶため、各教科の「教科内容論」「初等教科教育法」などの科目を配置します。また、幼稚園教諭一種免許状取得に必要な科目や専門性を高める科目の履修も可能です。

5）［英語選修］［数学選修］［理科選修］では、中学・高等学校の教員養成に必要な科目として、修得する各教科に応じた「専門必修科目」、「専門選択科目」「教科教育法」などを配置します。

6）［保健教育選修］では、子どもの多様な健康課題について考え、健全な成長発達を支援するため、「学校保健」「解剖生理学」「学校看護学」など、養護教諭をめざす上で必要な専門的科目を配置します。

7）［特別支援教育選修］では、特別支援教諭をめざす上で必要な「特別支援教育概論」「知的障害教育論」などの専門的科目を配置します。また、特別支援学校教諭一種免許状の取得には、小学校教諭一種免許状の取得が必要です。

〈変化する社会の中で生じる多様な教育課題に対峙するための関連科目〉

8）『教育・子ども理解領域』では、変化する社会、学校・保育施設等における現代的教育課題や多様な子どものニーズを理解し、成長と自己実現を支援するための子ども理解を深める科目として、「子ど

も理解と人権」「インクルーシブ教育の理論と方法」「ICT と教育データの活用論」「プログラミング教育」などの科目を配置します。

【教育方法】

1）主体的・対話的で深い学びを実現するため、授業では、講話のみならずグループワーク等を取り入れ、課題追究に向けたディスカッション、グループ発表を行うなど、協働での学習活動や双方向的な授業を展開します。

2）公式や文法など単に覚えるのではなく、当たり前と思っていたことは“なぜ”そうなっているのか、“なぜ”それが必要なのかを学生自身が理解を組み立て、掴み取っていけるように、学生個々が多様な方法や側面から“なぜ”にアプローチして考えを深めます。

3）情報化の進展に対応するため、ICT アクティブ・ラーニング教室、ICT 模擬授業教室、電子黒板、タブレット、インターネットや視聴覚機器等の活用を促進し、実践力の育成に向けた模擬授業の反復練習に取り入れるなど、学習方法の改善に努めます。

4）学校での実践的な学びを推進するため、1 年次に「ハロースクール」、2 年次に「インターンシップⅠ・Ⅱ」を経験した後、3 年次の「教育実習」「養護実習」「インターンシップⅢ（選択）」に参加します。小学校・中学校・高等学校・特別支援学校での教育活動に積極的に関わり、学びを深めます。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。

2）定期試験、小テスト、課題レポート等の提出、授業への参加態度や意欲、学生による授業評価等により、授業目標への到達度を総合的に評価します。

3）評価の観点とレベルを示したルーブリックの活用を図るとともに、学修の状況や課題追究の過程をパフォーマンス評価します。

4）授業・教育実習（小・中・高・特別支援）・養護実習・介護等体験などの課外活動を通して、教育者として必要な資質・能力や適性を評価します。

5）学修ポートフォリオ（目標・自己評価、教職履修カルテ等）及び上記 2）～ 4）等をもとに、担任教員との面談等を通して自己省察を促すとともに、次の目標設定や学習方法の改善を図る形成的アセスメントを推進します。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

教育学科学校教育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1）教育に対する強い情熱を持って専門的に学びながら、子どもの多様なニーズへの共感的理解をもとに、一人一人に応じた支援やケアを重視して教育に取り組む熱意溢れる人〔求める要素：関心・意欲・態度〕

2）本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育についての学びや実践を、子どもの発達を総合的に見通して取り組むことが出来るように、広い視野から現代の教育課題を捉え、教育活動にいかしていこうと努める人　〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力〕

3）他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようと努める人　〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●教育学科 学校教育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	ナンバリングコード	備考
コース共通	教職一般領域	K5010	教育原論	②		1～2	○	○	◎		EEHA1501a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5015	特別支援教育	②		1～2	○	◎	○		EEHA1502a0	
		K5020	教職論	②		1～2	○	◎	○		EEHA1503a0	
		K5025	教育心理学	②		1～2	○	◎	○		EEHA1504a0	
		K5030	教育制度論	②		5～6	○	◎	○		EEHA1505a0	
		K5035	教育課程総論（小・中・高・養）		②	5～6		◎	○		EEHA1506a0	
		K5040	道徳教育の理論と方法（小・中・養）		②	3～4		◎	○		EEHA1507a0	
		K5045	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）		②	5～6		◎	○		EEHA1508a0	
		K5050	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	②		3～4	○	◎	○		EEHA1509a0	
		K5055	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）		②	3～4		◎	○		EEHA1510a0	
		K5060	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	②		3～4	○	◎	○		EEHA1511a0	
		K5065	教育実習指導		①	5～6	○	◎	○		EEHA2512a0	
		K5070	教育実習		④	5～6	○		◎	○	EEHA3513a0	
		K5075	教職実践演習（教諭）		②	7～8		○	○	◎	EEHA3514a0	
	初等教育領域	K5080	教科内容論（国語）	②		1～2	○	◎			EEHB1515a0	
		K5085	教科内容論（社会）	②		1～2	○	◎			EEHB1516a0	
		K5090	教科内容論（算数）	②		1～2	○	◎			EEHB1517a0	
		K5095	教科内容論（理科）	②		3～4	○	◎			EEHB1518a0	
		K5100	教科内容論（生活）		②	5～6	○	◎			EEHB1519a0	
		K5105	教科内容論（音楽）		②	3～4	○	◎			EEHB1520a0	
		K5110	教科内容論（図画工作）		②	5～6	○	◎			EEHB1521a0	
		K5115	教科内容論（家庭）		②	5～6	○	◎			EEHB1522a0	
		K5120	教科内容論（体育）		②	3～4	○	◎			EEHB1523a0	
		K5125	教科内容論（英語）	②		3～4	○	◎			EEHB1524c0	
		K5130	初等国語科教育法		①	1～2		◎		○	EEHB2525a0	
		K5135	初等社会科教育法		①	3～4		◎		○	EEHB2526a0	
		K5140	初等算数科教育法		①	3～4		◎		○	EEHB2527a0	
		K5145	初等理科教育法		①	3～4		◎		○	EEHB2528a0	
		K5150	初等生活科教育法		①	5～6		◎		○	EEHB2529a0	
		K5155	初等音楽科教育法		①	5～6		◎		○	EEHB2530a0	
		K5160	初等図画工作科教育法		①	7～8		◎		○	EEHB2531a0	
		K5165	初等家庭科教育法		①	5～6		◎		○	EEHB2532a0	
		K5170	初等体育科教育法		①	3～4		◎		○	EEHB2533a0	
		K5175	初等英語科教育法		①	3～4		◎		○	EEHB2534c0	
	コース共通領域	K5180	教育基礎演習Ⅰ	2		3～4	○	○	◎		EEHC1535a0	
		K5185	教育基礎演習Ⅱ	2		3～4	○	○	◎		EEHC1536a0	

●教育学科 学校教育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	ナンバリングコード	備考
コース共通	コース共通領域	K5190	教育専門演習Ⅰ	2		5～6	○	◎		○	EEHC2537a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5195	教育専門演習Ⅱ	2		5～6	○	◎		○	EEHC2538a0	
		K5200	教育専門研究Ⅰ	2		7～8	○	◎		○	EEHC3539a0	
		K5205	教育専門研究Ⅱ	2		7～8	○	◎		○	EEHC3540a0	
		K5210	教育・ファシリテーション演習		1	1～2	○	○	◎		EEHC2541a0	
		K5215	プログラミング教育Ⅰ		2	5～6	○	○		◎	EEHC1542a0	
		K5220	インターンシップⅠ		2	3～4	○	○	◎		EEHC2543a0	
		K5225	インターンシップⅡ		1	3～4	○	○	◎		EEHC2544a0	
		K5230	インターンシップⅢ		1	5～6		○	○	◎	EEHC3545a0	
		K5235	卒業研究		4	7～8	○	◎			EEHC3546a0	
		K5240	教職研究Ⅰ		1	5～6		◎			EEHC1547a0	
		K5245	教職研究Ⅱ		1	7～8		◎			EEHC1548a0	
		K5250	教職演習Ⅰ		1	5～6		◎			EEHC1549a0	
		K5255	教職演習Ⅱ		1	5～6		◎			EEHC1550a0	
		K5260	音楽表現		1	3～4		◎			EEHC1551a0	
		K5265	運動基礎		1	1～2		◎			EEHC1552a0	
学校教育コース	教育・子ども理解領域	K5270	学校教育入門	2		1～2	○	○	○	◎	EEHD1553a0	
		K5275	学級経営の理論と方法	2		5～6	○	○	◎	○	EEHD2554a0	
		K5280	子ども理解と人権	2		5～6	○	◎	○		EEHD2555a0	
		K5285	インクルーシブ教育の理論と方法		2	7～8	○	◎	○	○	EEHD2556a0	
		K5290	ICTと教育データの活用論		2	5～6	○		◎	○	EEHD2557a0	
		K5295	プログラミング教育Ⅱ		2	7～8			◎	○	EEHD2558a0	
		K5300	現代の教育課題探究		2	5～6	○	◎	○	○	EEHD3559a0	
		K5305	子どもと家族・社会		2	7～8		◎		○	EEHD3560a0	
		K5310	子ども支援事業研究		2	5～6		◎		○	EEHD2561a0	
		K5315	初等教科教育演習Ⅰ		2	3～4		○	◎		EEHD2562a0	
		K5320	初等教科教育演習Ⅱ		2	7～8		○	◎		EEHD3563a0	
	特別支援教育領域	K5325	特別支援教育概論		②	3～4	○	◎	○		EEHE1564a0	
		K5330	知的障害者の心理・生理・病理		②	3～4	○	◎			EEHE2565a0	
		K5335	肢体不自由者の心理・生理・病理		②	3～4	○	◎			EEHE2566a0	
		K5340	病弱者の心理・生理・病理		②	3～4	○	◎			EEHE2567a0	
		K5345	知的障害教育論		②	3～4	○	◎	○	○	EEHE2568a0	
		K5350	肢体不自由教育論		②	5～6	○	◎	○	○	EEHE2569a0	
		K5355	病弱教育論		②	5～6	○	◎	○	○	EEHE2570a0	
		K5360	障害者指導法		②	5～6		◎	○		EEHE2571a0	
		K5365	障害者教育探究		②	7～8			○	◎	EEHE3572a0	

●教育学科 学校教育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学校教育コース	特別支援教育領域	K5370	視覚障害教育総論		②	5～6		◎	○	○	EEHE2573a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5375	聴覚障害教育総論		②	5～6		◎	○	○	EEHE2574a0	
		K5380	重複・発達障害教育総論		②	5～6		◎	○	○	EEHE2575a0	
		K5385	教育実習指導（特支）		①	5～6	○	○	◎		EEHE2576a0	
		K5390	教育実習（特支）		②	5～6	○		○	◎	EEHE3577a0	
		K5395	発達障害の理解と指導		2	1～2	○	◎	○		EEHE1578a0	
		K5400	発達障害と教育方法		2	3～4	○	○	◎		EEHE2579a0	
		K5405	障害特性と自立活動		2	5～6		◎		○	EEHE2580a0	
		K5410	インクルーシブ教育の探究		2	7～8				◎	EEHE3581a0	
	幼児教育領域	K5415	幼児教育課程総論		②	3～4	○	◎	○	○	EEHF2582a0	
		K5420	保育方法論		②	5～6		○	◎	○	EEHF3583a0	
		K5425	幼児理解（教育相談を含む）		②	3～4		◎	○		EEHF2584a0	
		K5430	幼児と健康		②	3～4		◎	○		EEHF2585a0	
		K5435	幼児と人間関係		②	3～4		◎	○		EEHF2586a0	
		K5440	幼児と環境		②	1～2		◎	○		EEHF1587a0	
		K5445	幼児と言葉		②	3～4		◎	○		EEHF2588a0	
		K5450	幼児と表現Ⅰ		②	3～4		◎	○		EEHF2589a0	
		K5455	幼児と表現Ⅱ		②	5～6		◎	○		EEHF3590a0	
		K5460	保育内容の理論と方法（健康）		②	3～4	○	○	◎		EEHF2591a0	
		K5465	保育内容の理論と方法（人間関係）		②	5～6	○	○	◎		EEHF3592a0	
		K5470	保育内容の理論と方法（環境）		②	3～4	○	○	◎		EEHF2593a0	
		K5475	保育内容の理論と方法（言葉）		②	5～6	○	○	◎		EEHF3594a0	
		K5480	保育内容の理論と方法（表現活動・音楽）		②	5～6	○	○	◎		EEHF3595a0	
		K5485	保育内容の理論と方法（表現活動・造形）		②	5～6	○	○	◎		EEHF3596a0	
		K5490	保育内容総論		②	1～2		○	◎	○	EEHF1597a0	
		K5495	世界の幼児教育探究		2	1～2		○		◎	EEHF1598a0	
	英語教育領域	K5500	英語学概説		②	3～4	○		○	◎	EEHG1599c0	
		K5505	英語音声学		②	1～2			○	◎	EEHG1600c0	
		K5510	英文法Ⅰ		②	5～6			○	◎	EEHG1601c0	
		K5515	英文法Ⅱ		②	5～6			○	◎	EEHG1602c0	
		K5520	第二言語習得論		②	7～8		○		◎	EEHG3603c0	
		K5525	英語学特論Ⅰ（認知言語学）		②	3～4		○		◎	EEHG3604c0	
		K5530	英語学特論Ⅱ（英語教授法）		②	3～4		○		◎	EEHG3605c0	
		K5535	英語文学概説		②	5～6	○	◎	○		EEHG2606c0	
		K5540	英語文学Ⅰ（英文学）		②	5～6		◎	○		EEHG2607c0	
		K5545	英語文学Ⅱ（米文学）		②	7～8		◎	○		EEHG2608c0	

●教育学科 学校教育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学校教育コース	英語教育領域	K5550	ベーシックコミュニケーションⅠ		②	1～2	○	◎	○		EEHG1609b0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5555	ベーシックコミュニケーションⅡ		②	1～2	○	◎	○		EEHG1610b0	
		K5560	ベーシックコミュニケーションⅢ		②	3～4		◎	○		EEHG2611b0	
		K5565	ベーシックコミュニケーションⅣ		②	3～4		◎	○		EEHG2612b0	
		K5570	アドバンストコミュニケーションⅠ		②	5～6		◎	○		EEHG3613b0	
		K5575	アドバンストコミュニケーションⅡ		②	5～6		◎	○		EEHG3614b0	
		K5580	英語圏文化概説		②	5～6	○	◎		○	EEHG1615c0	
		K5585	世界英語の文化圏Ⅰ		②	5～6		◎		○	EEHG2616c0	
		K5590	世界英語の文化圏Ⅱ		②	7～8		◎		○	EEHG2617c0	
		K5595	中等英語科教育法Ⅰ		②	3～4	○	○	◎	○	EEHG1618c0	
		K5600	中等英語科教育法Ⅱ		②	3～4	○	○	◎	○	EEHG2619c0	
		K5605	中等英語科教育法Ⅲ		②	5～6		○	◎		EEHG2620c0	
		K5610	中等英語科教育法Ⅳ		②	5～6		○	◎		EEHG3621c0	
		K5615	教育実習指導（英語）		①	5～6	○	◎	○		EEHG3622a0	
		K5620	教育実習Ⅰ（英語）		④	5～6	○	◎	○		EEHG3623a0	
		K5625	教育実習Ⅱ（英語）		②	5～6	○	◎	○		EEHG3624a0	
		K5630	児童英語教育実践研究		2	5～6		○	◎		EEHG3625c0	
		K5635	グローバル教育実践演習		2	3～4			○	◎	EEHG3626c0	
		K5640	Cross-cultural Communication		2	7～8			◎	○	EEHG3627b0	
		K5645	Academic Presentation		2	7～8			◎	○	EEHG3628b0	
	数学教育領域	K5650	線形代数学		②	1～2		◎			EEHH1629a0	
		K5655	代数学Ⅰ		②	3～4	○	◎			EEHH1630a0	
		K5660	代数学Ⅱ		②	5～6		◎			EEHH2631a0	
		K5665	幾何学Ⅰ		②	3～4	○	◎			EEHH1632a0	
		K5670	幾何学Ⅱ		②	5～6		◎			EEHH2633a0	
		K5675	位相数学		②	7～8		◎			EEHH3634a0	
		K5680	解析学Ⅰ		②	3～4	○	◎			EEHH1635a0	
		K5685	解析学Ⅱ		②	5～6		◎			EEHH2636a0	
		K5690	微分積分学		②	1～2		◎			EEHH1637a0	
		K5695	確率・統計学Ⅰ		②	3～4	○	◎			EEHH1638a0	
		K5700	確率・統計学Ⅱ		②	5～6		◎			EEHH2639a0	
		K5705	コンピュータ概論		②	3～4	○	◎			EEHH1640a0	
		K5710	コンピュータ演習		②	7～8		◎			EEHH3641a0	
		K5715	数学的リテラシー		②	1～2	○	◎			EEHH1642a0	
		K5720	数学史と現代数学		②	5～6		○		◎	EEHH1643a0	
		K5725	子どもの発達と算数・数学		②	3～4	○	○		◎	EEHH2644a0	

●教育学科 学校教育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学校教育コース	数学教育領域	K5730	中等数学科教育法Ⅰ		②	3～4	○	○		◎	EEHH1645a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5735	中等数学科教育法Ⅱ		②	3～4	○	○		◎	EEHH2646a0	
		K5740	中等数学科教育法Ⅲ		②	5～6		○		◎	EEHH2647a0	
		K5745	中等数学科教育法Ⅳ		②	5～6		○		◎	EEHH3648a0	
		K5750	教育実習指導（数学）		①	5～6	○		◎		EEHH2649a0	
		K5755	教育実習Ⅰ（数学）		④	5～6	○		○	◎	EEHH3650a0	
		K5760	教育実習Ⅱ（数学）		②	5～6	○		○	◎	EEHH3651a0	
		K5765	自然や社会に潜む数学		2	7～8		○		◎	EEHH2652a0	
		K5770	中等教育数学演習		2	7～8		○	◎		EEHH2653a0	
		K5775	数学特論		2	7～8		○	◎		EEHH3654a0	
	理科教育領域	K5780	物理学Ⅰ		②	1～2	○	○	◎		EEHI1655a0	
		K5785	物理学Ⅱ		②	5～6		○	◎		EEHI2656a0	
		K5790	物理学実験		①	3～4		○	○	◎	EEHI1657a0	
		K5795	化学Ⅰ		②	1～2	○	○	◎		EEHI1658a0	
		K5800	化学Ⅱ		②	5～6		○	◎		EEHI2659a0	
		K5805	化学実験		①	3～4		○	○	◎	EEHI1660a0	
		K5810	生物学Ⅰ		②	3～4	○	○	◎		EEHI1661a0	
		K5815	生物学Ⅱ		②	5～6		○	◎		EEHI2662a0	
		K5820	生物学実験		①	3～4		○	○	◎	EEHI1663a0	
		K5825	地学Ⅰ		②	3～4	○	○	◎		EEHI1664a0	
		K5830	地学Ⅱ		②	5～6		○	◎		EEHI2665a0	
		K5835	地学実験		①	3～4		○	○	◎	EEHI1666a0	
		K5840	中等理科教育法Ⅰ		②	3～4	○	○		◎	EEHI1667a0	
		K5845	中等理科教育法Ⅱ		②	3～4	○	○		◎	EEHI1668a0	
		K5850	中等理科教育法Ⅲ		②	5～6		○		◎	EEHI2669a0	
		K5855	中等理科教育法Ⅳ		②	5～6		○		◎	EEHI3670a0	
		K5860	科学的探究の方法		②	1～2		◎		○	EEHI1671a0	
		K5865	生命と地球の科学		②	5～6		◎		○	EEHI2672a0	
		K5870	地域と生活の科学		②	5～6		◎		○	EEHI2673a0	
		K5875	理科クロスカリキュラム研究		②	5～6	○	◎		○	EEHI3674a0	
		K5880	理科教材開発の理論と実践（物理・化学）		②	7～8		○	○	◎	EEHI2675a0	
		K5885	理科教材開発の理論と実践（生物・地学）		②	7～8		○	○	◎	EEHI2676a0	
		K5890	教育実習指導（理科）		①	5～6	○		◎		EEHI3677a0	
		K5895	教育実習Ⅰ（理科）		④	5～6	○		○	◎	EEHI3678a0	
		K5900	教育実習Ⅱ（理科）		②	5～6	○		○	◎	EEHI3679a0	

●教育学科 学校教育コース　専門教育科目編成表

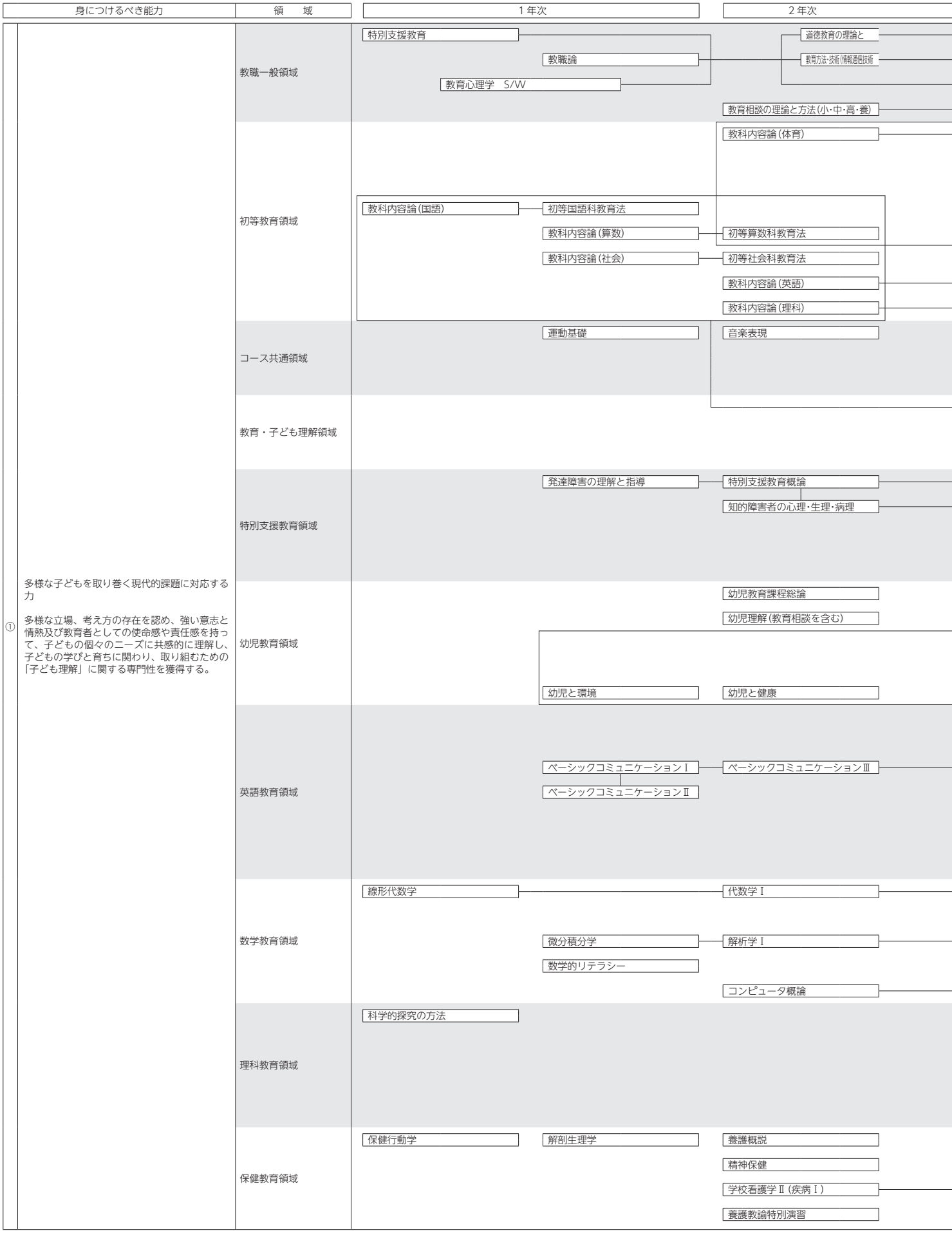
単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

(注) コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

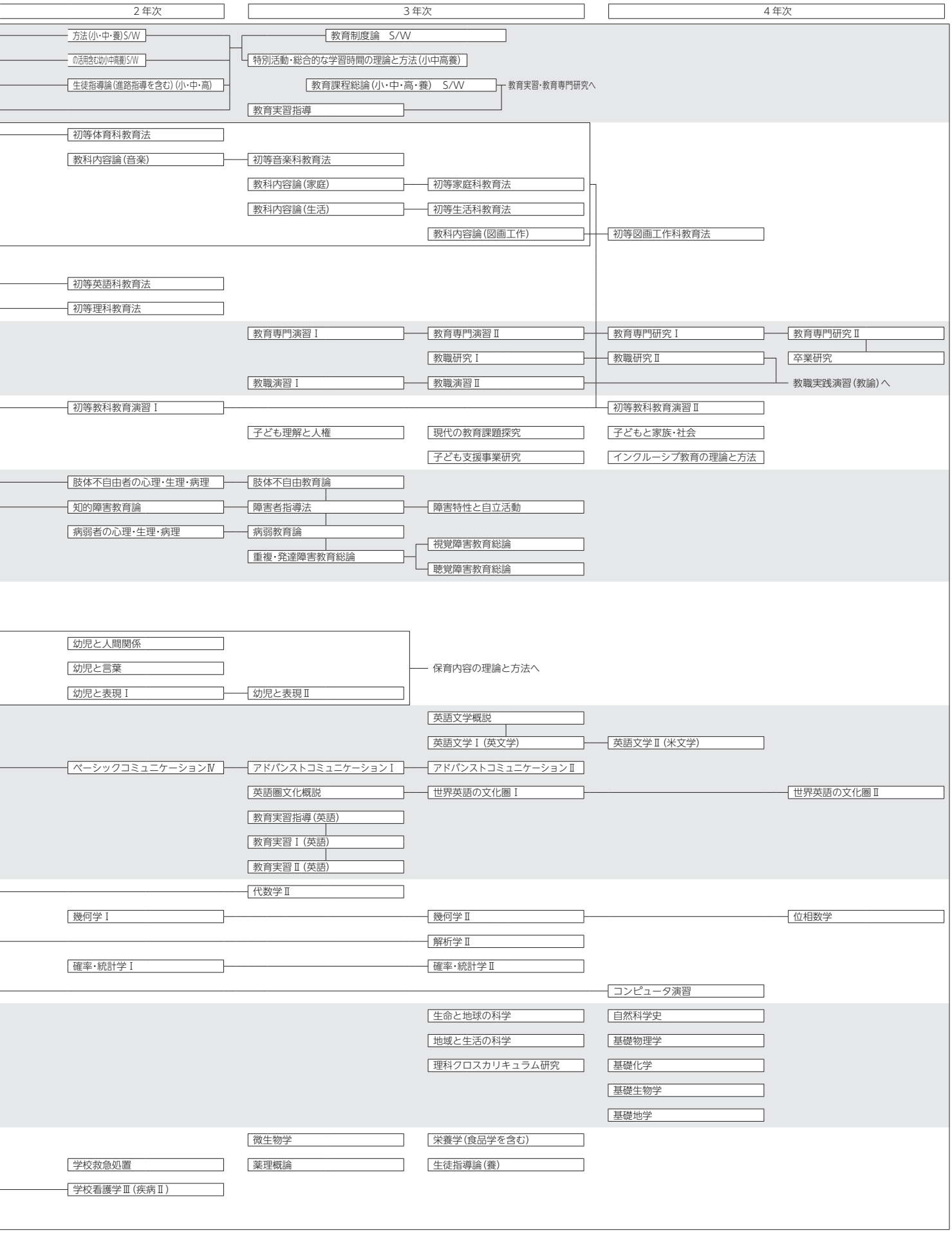
種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	身に付けるべき能力 ②	身に付けるべき能力 ③	ナンバリングコード	備考
学校教育コース	理科教育領域	K5905	自然科学史		2	7～8		◎			EEHI3680a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5910	基礎物理学		2	7～8		◎			EEHI1681a0	
		K5915	基礎化学		2	7～8		◎			EEHI1682a0	
		K5920	基礎生物学		2	7～8		◎			EEHI1683a0	
		K5925	基礎地学		2	7～8		◎			EEHI1684a0	
	保健教育領域	K5930	衛生学		②	3～4			◎		EEHJ2685a0	
		K5935	公衆衛生学(予防医学を含む)		②	5～6			◎		EEHJ3686a0	
		K5940	学校保健		②	1～2	○	○	◎	○	EEHJ1687a0	
		K5945	養護概説		②	3～4	○	◎	○	○	EEHJ1688a0	
		K5950	健康相談		②	3～4	○	○	○	◎	EEHJ2689a0	
		K5955	栄養学(食品学を含む)		②	5～6		◎			EEHJ2690a0	
		K5960	解剖生理学		②	1～2		◎			EEHJ1691a0	
		K5965	微生物学		②	5～6		◎			EEHJ3692a0	
		K5970	薬理概論		②	5～6		◎			EEHJ3693a0	
		K5975	精神保健		②	3～4		◎		○	EEHJ2694a0	
		K5980	学校看護学Ⅰ(基礎)		②	3～4	○	○	◎		EEHJ1695a0	
		K5985	学校看護学Ⅱ(疾病Ⅰ)		②	3～4	○	◎	○		EEHJ1696a0	
		K5990	学校看護学Ⅲ(疾病Ⅱ)		②	3～4	○	◎	○		EEHJ2697a0	
		K5995	学校看護学Ⅳ(応用)		②	5～6		○	◎		EEHJ2698a0	
		K6000	臨床看護学演習		②	5～6				◎	EEHJ3699a0	
		K6005	学校救急処置		②	3～4	○	◎		○	EEHJ2700a0	
		K6010	生徒指導論(養)		②	5～6		◎	○	○	EEHJ2701a0	
		K6015	養護実習指導		①	5～6	○	○		◎	EEHJ3702a0	
		K6020	養護実習		④	5～6	○	○		◎	EEHJ3703a0	
		K6025	教職実践演習(養護教諭)		②	7～8	○	○		◎	EEHJ3704a0	
		K6030	保健行動学		2	1～2		◎			EEHJ1705a0	
		K6035	養護教諭特別演習		2	3～4		◎			EEHJ3706a0	
卒業に必要な最低修得単位数				42	56							

1. 履修上、学校教育コース、幼児教育保育コースの 2 つのコースを設ける。
2. 必修はコース共通、所属コースから表の通り合計単位数を修得のこと。
   選択はコース共通、所属コースから合計単位数を修得のこと。

教育学部 教育学科 学校教育コース 履修系統図



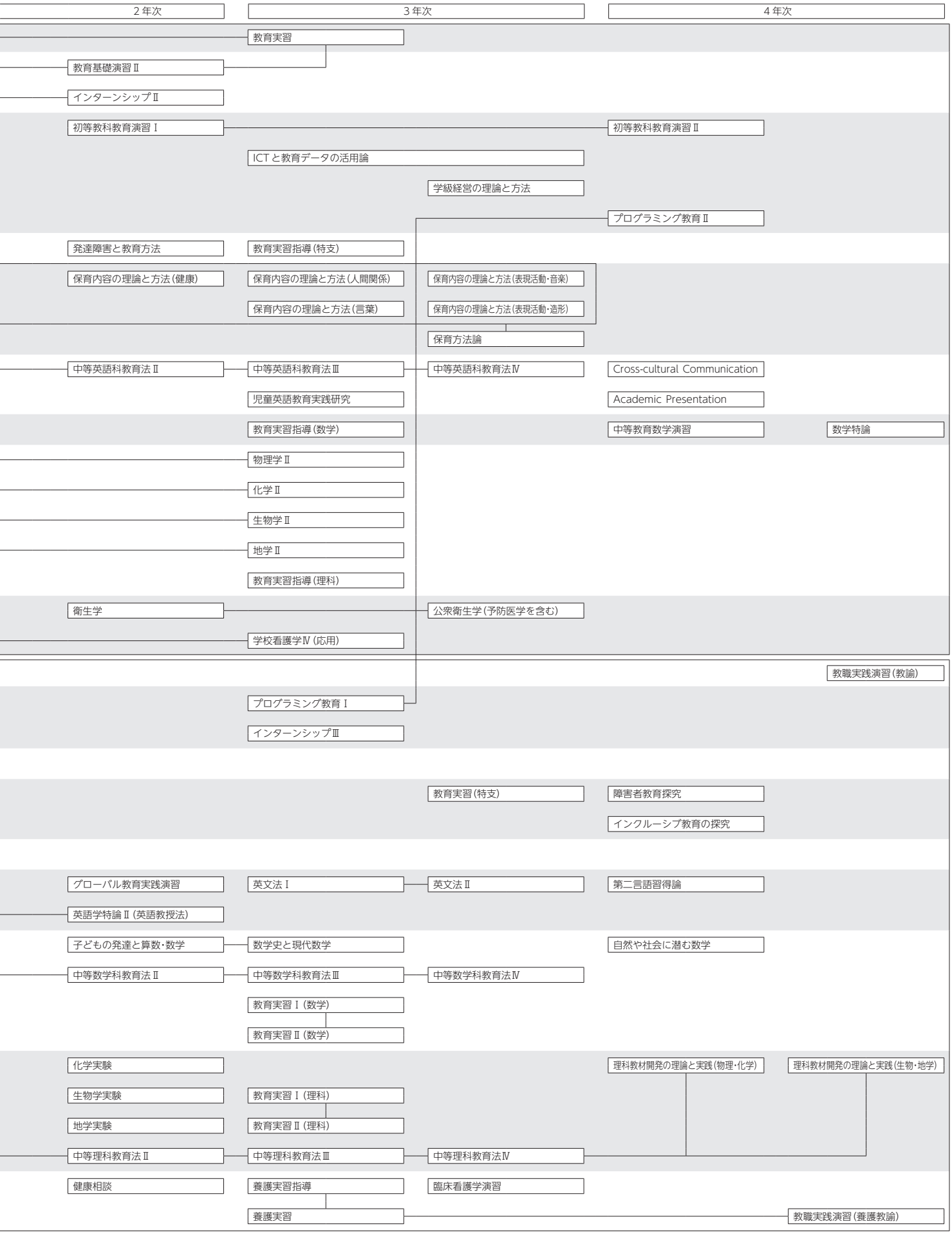
※カリキュラムポリシー（CP）はP113・114を参照してください。



教育学部 教育学科 学校教育コース 履修系統図

	身につけるべき能力	領　域	1年次	2年次
②	個別最適な学びと協働的な学びを実現する専門的な知識や技能と実践力を追究する力 教育の場において、子ども一人一人の興味・関心を引き出し、子どもの課題に応える「個別最適な学び」と、個の学びを小集団や全体の場で拡げたり深めたりする「協働的な学び」を実現できる「教科・領域の専門性」と、ICTや教育方法を効果的に取り入れた「実践的指導力」を獲得する。	教職一般領域	教育原論　S/W	
		コース共通領域	教育・ファシリテーション演習	教育基礎演習Ⅰ インターンシップⅠ
		教育・子ども理解領域		
		特別支援教育領域		
		幼児教育領域	保育内容総論	保育内容の理論と方法(環境)
		英語教育領域		中等英語科教育法Ⅰ
		数学教育領域		
		理科教育領域	物理学Ⅰ 化学Ⅰ	生物学Ⅰ 地学Ⅰ
		保健教育領域	学校保健	学校看護学Ⅰ(基礎)
③	変化する社会、学校等で活躍するための包括的な協働の力 急激に変化する環境の中で、すべての子どもの可能性を引き出すために、チームの一員として、多様な人々と協働で課題解決を図り、持続可能な解決を遂行する力や種々の活動を繋ぐ横断的なファシリテーション力を醸成する。	教職一般領域		
		コース共通領域		
		教育・子ども理解領域	学校教育入門	
		特別支援教育領域		
		幼児教育領域	世界の幼児教育探究	
		英語教育領域	英語音声学	英語学概説 英語学特論Ⅰ(認知言語学)
		数学教育領域		中等数学科教育法Ⅰ
		理科教育領域		物理学実験 中等理科教育法Ⅰ
		保健教育領域		

※カリキュラムポリシー（CP）はP110・111を参照してください。



●教育学科　幼児教育保育コース

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

教育学科幼児教育保育コースは、社会の急激な変化の中で、子どもをとりまく多様な現代的課題に、幅広い視野で俯瞰的に捉え、幼児教育の基本である環境を通して行う教育と幼児一人一人に適した学びを追究します。

未来を拓く子どもたちのために、保育者としての専門的知識・技能の習得、省察と研鑽による実践力・指導力の向上を図り、子どもの学びと育ちを促す支援やケアのあり方を生涯にわたって学び続け、「いい先生」とは何かを問いながら、社会や学校・保育施設等にて、協働の力、ファシリテーション力を発揮して活躍できる幼稚園・保育所・認定こども園の保育者養成を目的とします。

保育者としての専門的な学びを修得する上で、卒業時までに学生が身につけるべき資質・能力は、以下の3点です。

① 多様な子どもをとりまく現代的課題に対応する力
　多様な立場、考え方の存在を認め、強い意志と情熱及び保育者としての使命感や責任感を持って、子どもの個々の内面的なニーズを共感的に理解し、子どもの学びと育ちに関わり、取り組むための「子ども理解」に関する専門性を獲得する。

② 幼児期の特性を踏まえ、一人一人のよりよい学びと協同的な学びを実現する専門的な知識と実践力を追求する力
　多様な社会、施設・学校等において、子ども一人一人の興味・関心を引き出し、子どもの課題に応えるために、直接的体験を重視し、ICT の効果的な活用も取り入れながら実践的指導力の獲得をめざして協働で取り組み、粘り強い省察・研鑽の力を獲得する。

③ 変化する社会、保育施設等で活躍するための包括的な協働の力
　急激に変化する環境の中で、すべての子どもの可能性を引き出すために、チームの一員として、多様な人々と協働で課題解決を図り、持続可能な解決を遂行する力や種々の活動を繋ぐ横断的なファシリテーション力を身につける。

以上、保育者として , 未来を担う子どもの学びと育ちを支援し、ケアするために、「子ども理解の専門性」と「教科・領域の専門性」を身につけ、「協働」の力を発揮する保育者養成に取り組みます。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

【教育課程の編成】

保育者は子どもの将来を担う重要な存在であり、卒業後、保育・教育現場において、幼児の教育・保育の指導を行う職務を担うことができる保育者として必要な資質・能力を身に付け、「学び続ける保育者」になることを重要課題として教育課程を編成します。

教育学科幼児教育保育コースでは、幼稚園・保育所・認定こども園等の各施設の保育者養成を目的としたカリキュラム編成を行います。

幼稚園教諭一種免許状・保育士資格・小学校教諭一種免許状の取得を基本的な考えとし、就学前の教育・保育から小学校教育への連続性を理解した保育者を養成することを目標に編成をします。

【教育内容】

教育学科幼児教育保育コースでは、ディプロマ・ポリシーに基づく保育者としての専門的知識及び実践力、指導力を備え、就学前の教育・保育から小学校教育への連続性を理解した保育者を養成するための教育課程

を編成します。幼児教育・保育の基本である遊びを通した総合的な指導について修得するとともに、保護者と協働して子どもの発達を支援する専門性を身に付けるための科目を配置します。

1）教育・保育の本質や目的に関する科目として、「教育原理」「保育原理」「子ども学概論」「子ども家庭福祉」「保育者論」などの科目を配置します。
2）教育・保育の対象の理解に関する科目として、「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「幼児理解（教育相談を含む）」「子どもの保健」「多様な子ども理解入門」などの科目を配置します。
3）教育・保育の内容・方法・指導法に関する科目として、「幼児教育課程総論」「保育内容総論」「保育内容の理論と方法（健康）」「保育内容の理論と方法（人間関係）」「保育内容の理論と方法（環境）」「保育内容の理論と方法（言葉）」「保育内容の理論と方法（表現）」「子どもと遊び」「音楽実践演習（器楽）」などの科目を配置します。
4）教育・保育現場での実践力を高める科目として、「インターンシップ」「保育インターンシップ」「教育実習」「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」などの科目を配置します。
5）小学校での教科内容や指導法に関する科目として、「教科内容論（国語）」「教科内容論（生活）」「初等算数科教育法」「初等音楽科教育法」「道徳教育の理論と方法（小・中・養）」などの科目を配置します。

【教育方法】

1）主体的・対話的で深い学びを実現するため、授業では、講話のみならずグループワーク等を取り入れ、課題追求に向けたディスカッション、グループ発表を行うなど、双方向的な授業を展開します。
2）保育実践力の育成に向け、模擬保育室を利用した模擬保育の実施や視聴覚教材等を活用した保育実践の具体化を行い、学修方法の改善に努めます。
3）最新の教育・保育現場の情報の把握、幼稚園・保育所・認定こども園・児童福祉施設等での保育者の役割等の理解を図るため、「大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「や「教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を中心に、本学の卒業生の現役保育者などを招聘し、講習会やセミナーを実施します。
4）幼稚園・保育所等施設での実践的な学びを推進するため、2 年次・3 年次の教育保育実習に加え、1 年次に「ハローナーサリー」（保育所・認定こども園での体験）、2 年次にインターンシップ（幼稚園等でのインターンシップ）、「保育インターンシップ」（保育所等でのインターンシップ）、「教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ」で「模擬授業」などを実施し、幼稚園・保育所等での教育・保育活動に積極的に参加し、実践的な学びを推進します。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。
2）定期試験、小テスト、課題レポート等の提出、授業への参加態度や意欲、学生による授業評価等により、授業目標への到達度を総合的に評価します。
3）評価観点とレベルを示したルーブリックの活用を図るとともに、学修の状況や課題追究の過程をパフォーマンス評価します。
4）授業・保育・教育実習（保育所・認定こども園・施設・幼稚園）などの課題活動を通して、保育者として必要な資質・能力や適性を評価します。
5）学修ポートフォリオ（目標・自己評価、履修カルテ等）及び上記 2）～ 4）をもとに、担任教員との面談等を通して自己省察を促すとともに、次の目標設定や学習方法の改善を図ります。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

教育学科幼児教育保育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

1）強い意志と情熱を持って専門的に学びながら「めざす保育者像とは」、と問い続けていく人。また、子どもを一人の人間として尊重し、一人一人の子どもの「心もち」に寄り添い、発達課題に応じた支援やケアを考えようと努める人。〔求める要素：関心・意欲・態度〕

2）本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育・保育についての学びや実践を、子どもの育ちや子どもが育つ家庭環境や地域社会の状況を考え、広い視野から現代の教育・保育課題を捉え、教育保育活動に活かしてしていこうと努める人

〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力〕

3）他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようと努める人〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

●教育学科 幼児教育保育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	保育士	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	ナンバリングコード	備考
コース共通	教職一般領域	K5010	教育原論	②		○	1～2	○	○	◎		EEIA1501a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5015	特別支援教育	②			1～2	○	◎	○		EEIA1502a0	
		K5020	教職論	②			3～4	○	◎	○		EEIA1503a0	
		K5025	教育心理学	②			1～2	○	◎	○		EEIA1504a0	
		K5030	教育制度論	②			5～6	○	◎	○		EEIA1505a0	
		K5035	教育課程総論（小・中・高・養）		②		5～6		◎	○		EEIA1506a0	
		K5040	道徳教育の理論と方法（小・中・養）		②		7～8		◎	○		EEIA1507a0	
		K5045	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）		②		7～8		◎	○		EEIA1508a0	
		K5050	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	②			5～6	○	◎	○		EEIA1509a0	
		K5055	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）		②		7～8		◎	○		EEIA1510a0	
		K5060	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	②			5～6	○	◎	○		EEIA1511a0	
		K5065	教育実習指導		①		5～6	○	◎	○		EEIA2512a0	
		K5070	教育実習		④		5～6	○		◎	○	EEIA3513a0	
		K5075	教職実践演習（教諭）		②		7～8		○	○	◎	EEIA3514a0	
	初等教育領域	K5080	教科内容論（国語）	②			3～4	○	◎			EEIB1515a0	
		K5085	教科内容論（社会）	②			3～4	○	◎			EEIB1516a0	
		K5090	教科内容論（算数）	②			3～4	○	◎			EEIB1517a0	
		K5095	教科内容論（理科）	②			5～6	○	◎			EEIB1518a0	
		K5100	教科内容論（生活）		②		3～4	○	◎			EEIB1519a0	
		K5105	教科内容論（音楽）		②		5～6	○	◎			EEIB1520a0	
		K5110	教科内容論（図画工作）		②		5～6	○	◎			EEIB1521a0	
		K5115	教科内容論（家庭）		②		7～8	○	◎			EEIB1522a0	
		K5120	教科内容論（体育）		②		3～4	○	◎			EEIB1523a0	
		K5125	教科内容論（英語）	②			5～6	○	◎			EEIB1524c0	
		K5130	初等国語科教育法		①		3～4		◎		○	EEIB2525a0	
		K5135	初等社会科教育法		①		5～6		◎		○	EEIB2526a0	
		K5140	初等算数科教育法		①		5～6		◎		○	EEIB2527a0	
		K5145	初等理科教育法		①		5～6		◎		○	EEIB2528a0	
		K5150	初等生活科教育法		①		5～6		◎		○	EEIB2529a0	
		K5155	初等音楽科教育法		①		7～8		◎		○	EEIB2530a0	
		K5160	初等図画工作科教育法		①		7～8		◎		○	EEIB2531a0	
		K5165	初等家庭科教育法		①		7～8		◎		○	EEIB2532a0	
		K5170	初等体育科教育法		①		5～6		◎		○	EEIB2533a0	
		K5175	初等英語科教育法		①		5～6		◎		○	EEIB2534c0	

●教育学科 幼児教育保育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	保育士	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	ナンバリングコード	備考
コース共通	コース共通領域	K5180	教育基礎演習Ⅰ	2			3～4	○	○	◎		EEIC1535a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K5185	教育基礎演習Ⅱ	2			3～4	○	○	◎		EEIC1536a0	
		K5190	教育専門演習Ⅰ	2			5～6	○	◎		○	EEIC2537a0	
		K5195	教育専門演習Ⅱ	2			5～6	○	◎		○	EEIC2538a0	
		K5200	教育専門研究Ⅰ	2			7～8	○	◎		○	EEIC3539a0	
		K5205	教育専門研究Ⅱ	2			7～8	○	◎		○	EEIC3540a0	
		K5210	教育・ファシリテーション演習		1		1～2	○	○	◎		EEIC2541a0	
		K5215	プログラミング教育Ⅰ		2		3～4	○	○		◎	EEIC1542a0	
		K5220	インターンシップⅠ		2		3～4	○	○	◎		EEIC2543a0	
		K5225	インターンシップⅡ		1		3～4	○	○	◎		EEIC2544a0	
		K5230	インターンシップⅢ		1		5～6		○	○	◎	EEIC3545a0	
		K5235	卒業研究		4		7～8	○	◎			EEIC3546a0	
		K5240	教職研究Ⅰ		1		5～6		◎			EEIC1547a0	
		K5245	教職研究Ⅱ		1		7～8		◎			EEIC1548a0	
		K5250	教職演習Ⅰ		1		5～6		◎			EEIC1549a0	
		K5255	教職演習Ⅱ		1		5～6		◎			EEIC1550a0	
		K5260	音楽表現		1		3～4		◎			EEIC1551a0	
		K5265	運動基礎		1		1～2		◎			EEIC1552a0	
幼児教育保育コース	幼児教育保育領域	K6100	幼児教育課程総論		②	○	3～4	○	◎	○		EEID1553a0	
		K6105	保育方法論		②	△	5～6		◎		○	EEID2554a0	
		K6110	幼児理解（教育相談を含む）		②	○	5～6		◎			EEID1555a0	
		K6115	幼児と健康		②		1～2		◎		○	EEID1556a0	
		K6120	幼児と人間関係		②		3～4		◎		○	EEID1557a0	
		K6125	幼児と環境		②		1～2		◎		○	EEID1558a0	
		K6130	幼児と言葉		②		1～2		◎		○	EEID1559a0	
		K6135	幼児と表現Ⅰ		②		3～4		◎		○	EEID1560a0	
		K6140	幼児と表現Ⅱ		②		3～4		◎		○	EEID1561a0	
		K6145	保育内容の理論と方法（健康）	②		○	3～4	○	◎		○	EEID2562a0	
		K6150	保育内容の理論と方法（人間関係）	②		○	3～4	○	◎		○	EEID2563a0	
		K6155	保育内容の理論と方法（環境）	②		○	1～2	○	◎		○	EEID2564a0	
		K6160	保育内容の理論と方法（言葉）	②		○	3～4	○	◎		○	EEID2565a0	
		K6165	保育内容の理論と方法（表現活動・音楽）	②		○	5～6	○	◎		○	EEID2566a0	
		K6170	保育内容の理論と方法（表現活動・造形）	②		○	5～6	○	◎		○	EEID2567a0	
		K6175	保育内容総論	②		○	1～2	○	◎			EEID1568a0	

●教育学科 幼児教育保育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	保育士	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	ナンバリングコード	備考
幼児教育保育コース	幼児教育保育領域	K6180	保育原理		2	○	1～2	○	◎	○		EEID1569a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K6185	子ども家庭福祉		2	○	1～2	○	◎	○		EEID1570a0	
		K6190	社会福祉		2	○	3～4	○	◎			EEID1571a0	
		K6195	子ども家庭支援論		2	○	5～6		◎			EEID2572a0	
		K6200	社会的養護Ⅰ		2	○	1～2	○	◎			EEID1573a0	
		K6205	保育者論	2		○	1～2	○	○	◎		EEID1574a0	
		K6210	保育の心理学		2	○	3～4		◎			EEID1575a0	
		K6215	子ども家庭支援の心理学		2	○	3～4		◎			EEID2576a0	
		K6220	子どもの保健		2	○	1～2	○	◎			EEID1577a0	
		K6225	子どもの食と栄養		2	○	5～6		◎			EEID1578a0	
		K6230	子どもと遊び		2	○	1～2		◎	○		EEID1579a0	
		K6235	音楽実践演習（器楽）		1	○	3～4		◎		○	EEID2580a0	
		K6240	小児体育		1	○	5～6		◎		○	EEID2581a0	
		K6245	子どもと造形表現		1	○	3～4		◎		○	EEID1582a0	
		K6250	乳児保育Ⅰ		2	○	3～4	○	◎			EEID1583a0	
		K6255	乳児保育Ⅱ		1	○	3～4		◎		○	EEID2584a0	
		K6260	子どもの健康と安全		1	○	3～4		◎		○	EEID2585a0	
		K6265	障害児保育		2	○	5～6		◎		○	EEID2586a0	
		K6270	社会的養護Ⅱ		1	○	3～4		◎		○	EEID2587a0	
		K6275	子育て支援		1	○	5～6		◎		○	EEID2588a0	
		K6280	保育実践演習		2	○	7～8		○	○	◎	EEID3589a0	
		K6285	子ども学概論		2	○	7～8		◎	○		EEID1590a0	
		K6290	幼保小中接続研究		2	△	3～4		◎			EEID2591a0	
		K6295	多様な子ども理解入門		2	△	1～2		○	◎		EEID1592a0	
		K6300	フィールドワーク演習（子育て支援）		1	△	7～8			○	◎	EEID3593a0	
		K6305	フィールドワーク演習（子ども支援）		1	△	7～8			○	◎	EEID3594a0	
		K6310	音楽への扉	2		△	1～2	○	◎			EEID1595a0	
		K6315	音楽実践演習（声楽）		1	△	1～2		◎		○	EEID1596a0	
		K6320	音楽実践演習（弾き歌い）		1	△	3～4		◎		○	EEID2597a0	
		K6325	保育インターンシップ		2	△	3～4		○	◎		EEID2598a0	
		K6330	保育実習指導Ⅰ（保育所）		1	○	3～4	○	◎	○		EEID1599a0	
		K6335	保育実習指導Ⅰ（施設）		1	○	5～6	○	◎	○		EEID1600a0	
		K6340	保育実習Ⅰ（保育所）		2	○	3～4	○	◎	○		EEID2601a0	
		K6345	保育実習Ⅰ（施設）		2	○	5～6	○	◎	○		EEID2602a0	

●教育学科 幼児教育保育コース　専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

（注）コース共通科目については、p.110 教育学部の「卒業時点において学生が身に付けるべき能力」を参照すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	保育士	配当セメスター	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	ナンバリングコード	備考
幼児教育保育コース	幼児教育保育領域	K6350	保育実習指導Ⅱ（保育所）		1	㋐	5～6		○	○	◎	EEID2603a0	教育学部の専門教育科目は他学部の学生が履修することはできない。
		K6355	保育実習指導Ⅲ（施設）		1	㋑	5～6		○	○	◎	EEID2604a0	
		K6360	保育実習Ⅱ（保育所）		2	㋐	5～6		○	○	◎	EEID3605a0	
		K6365	保育実習Ⅲ（施設）		2	㋑	5～6		○	○	◎	EEID3606a0	
卒業に必要な最低修得単位数				54	44								

1. 履修上、学校教育コース、幼児教育保育コースの 2 つのコースを設ける。
2. 必修はコース共通、所属コースから表の通り合計単位数を修得のこと。
   選択はコース共通、所属コースから合計単位数を修得のこと。

履修する際の注意点

※　保育士資格（p.230 ～参照）

○：必修

△：選択必修

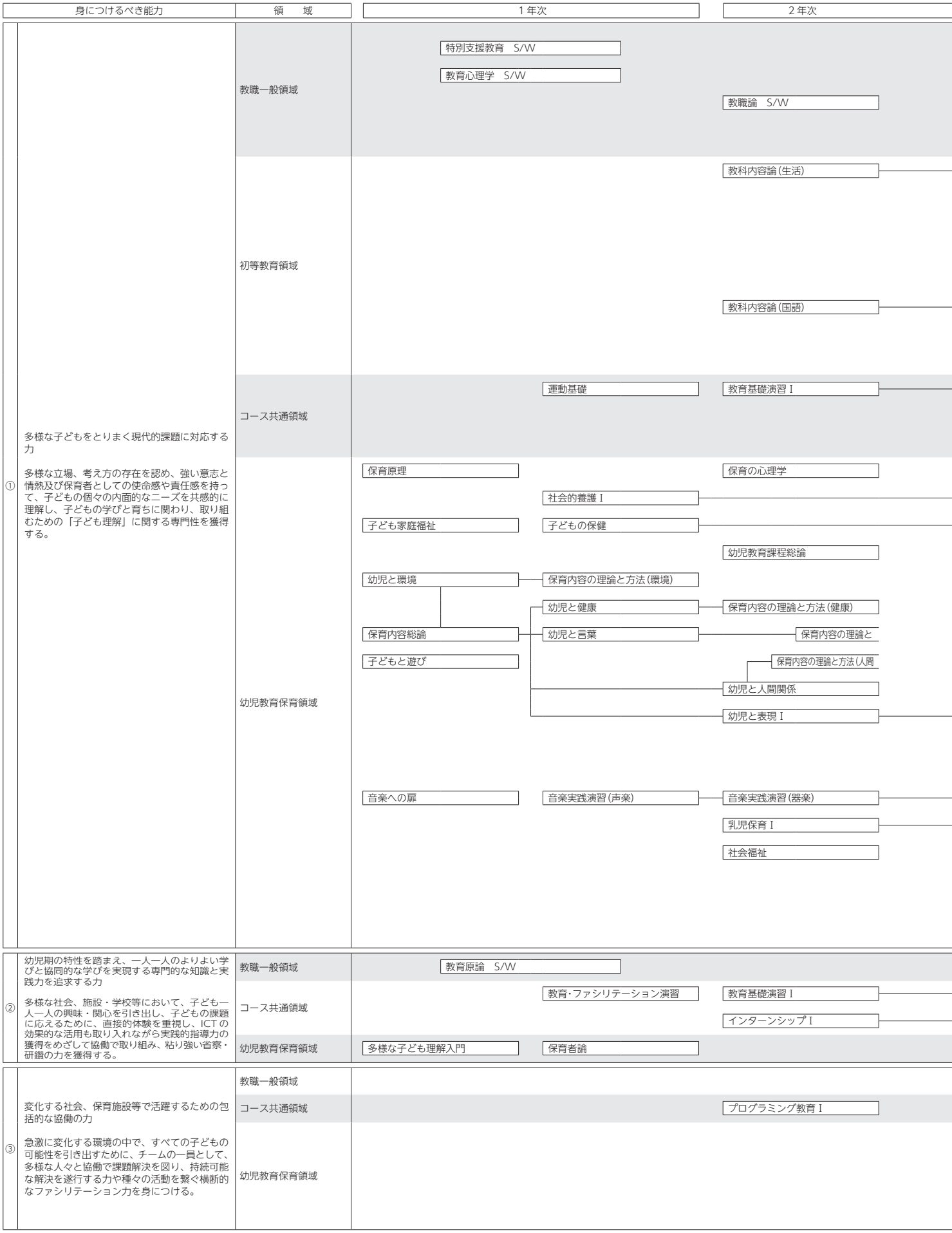
㋐～㋑：㋐「保育実習指導Ⅱ（保育所）」、「保育実習Ⅱ（保育所）」又は㋑「保育実習指導Ⅲ（施設）」、「保育実習Ⅲ（施設）」3 単位は必ず修得すること。

教養教育科目「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」のいずれかと「英語Ⅰ・Ⅱ」、「スポーツⅠ」、「体育講義」は必修

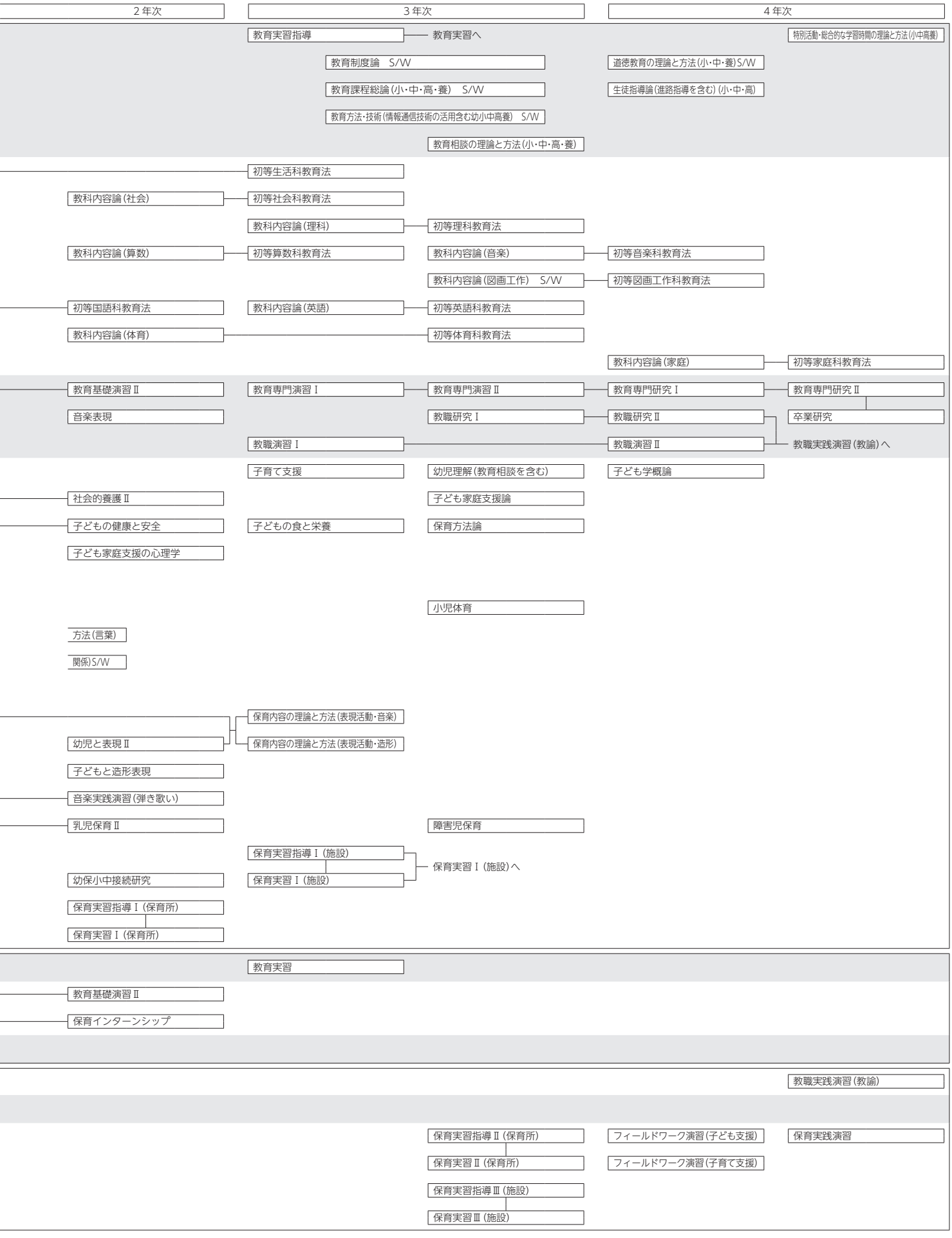
※　保育士養成課程科目の履修要件

授業科目	履修要件
「保育実習Ⅰ（保育所）」 及び 「保育実習指導Ⅰ（保育所）」	履修する前セメスターまでに、次の要件を満たしていること。 • 卒業に必要となる修得単位数が、教養教育科目「和の精神Ⅰ」及び「和の精神Ⅱ」の 2 単位を含んで 55 単位以上であること。 • 専門教育科目「教育原論」、「保育原理」、「社会福祉」、「子ども家庭福祉」、「社会的養護Ⅰ」、「保育者論」、「保育内容総論」、「乳児保育Ⅰ」、「子どもの保健」のうち 7 科目 14 単位以上、及び「音楽への扉」を修得していること。
「保育実習Ⅰ（施設）」 及び 「保育実習指導Ⅰ（施設）」	履修する前セメスターまでに、次の要件を満たしていること。 • 卒業に必要となる修得単位数が、教養教育科目「和の精神Ⅰ」及び「和の精神Ⅱ」の 2 科目 2 単位を含んで 55 単位以上であること。 • 専門教育科目「保育原理」「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅰ」の 3 科目 6 単位を修得していること。
「保育実習Ⅱ（保育所）」 又は 「保育実習Ⅲ（施設）」	• 履修する前セメスターまでに、卒業に必要となる修得単位数が、専門教育科目「音楽実践演習（声楽）」「音楽実践演習（弾き歌い）」を含んで 85 単位以上であること。 • 履修する前セメスターまでに「保育実習Ⅰ（保育所）」及び「保育実習Ⅰ（施設）」を終えていること。

教育学部 教育学科 幼児教育保育コース 履修系統図



※カリキュラムポリシー（CP）はP126・127を参照してください。



●経営学部

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

経営学部では、幅広い教養と多様な経営領域の専門知識を系統的に修得し、将来、企業や行政機関などにおいて活躍し、あるいは起業や事業承継を通じて広く社会に貢献できる人材を養成することを目的とします。

このために、卒業時点で学生が身につけている能力・資質は、以下の５点を目標としています。

① 幅広い教養と多様な経営領域に関する知識
企業や各種団体、国・地方公共団体などの組織において活躍する、また自ら起業家として事業を創出、承継するために備えるべき幅広い一般教養と多様な経営領域の知識を系統的に修得している。

② 専門的知識・技能の修得と課題発見解決力
より専門性の高い経営及び法学領域の知識・技能を修得する中で、その知識・技能に裏付けられた論理的思考にもとづき、企業、行政、地域などの課題に取り組み、解決する能力を備えている。

③ 情報を判断し分析・活用する力
情報通信技術（ICT）を効果的に活用し、経営・経済・行政に関する情報やデータ等を適切に収集・分析・整理するとともに、その結果を的確に表現・伝達・管理保存し、課題解決に活用する能力を備えている。

④ 協働のためのコミュニケーション能力
多様な立場・考え方を認めたうえで自らの考えを他者に論理的かつ明確に伝え、周囲を説得できる説明能力と、他者との協働を円滑に行えるコミュニケーション能力を備えている。

⑤ 社会人としての自己研鑽力
企業人や行政の担い手として高い倫理観を有し、物事に関心を持って誠実にかかわる姿勢を備え、自らのキャリアに関係する知識・スキルなどの修得に積極的かつ継続的に励み、社会の変化に柔軟に対応できるよう、生涯にわたり学び続ける意欲を備えている。

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

経営学部における教育課程編成・実施の基本的な考え方として、経営学を中核とし、法学から情報・キャリアまでの幅広い領域の専門教育科目について、目標に応じて基礎分野から応用分野まで確実に修得できるように、学年の進行に合わせて系統的に配置しています。

主要科目区分として、経営学の基本的な知識を体系的にまとめた学科共通科目、両専攻の主たる専門教育科目である公共経営専攻科目と企業経営専攻科目、特定の専門領域の学修を深める両専攻に共通のビジネス情報、地域創生の２つの領域の科目と、企業経営専攻に配置する会計・ファイナンス、ホスピタリティの２つの領域の科目を設けています。

１年次には学科共通科目を中心に経営学の基本的な知識を固め、２年次以降は専攻ごとに公共経営専攻科目と企業経営専攻科目を中心に据えて、４つの専門領域から興味のある科目を自由に選択して学ぶことにより、専門性を高めることができるように編成しています。また、学科共通科目の中に配置するキャリアサポートの科目では、職業適性や将来設計について考え、社会・職業への円滑な移行を促し、キャリア目標を達成するために必要な科目を学年に応じて系統的に配置しています。

【教育方法】

１）開講科目全般については、従来の講義形式に加え、ICT を効果的に活用し、学生と教員間、学生と学

生間の双方向性があり、かつ、学内外との連携を推進する授業を実施します。

2）ビジネス情報、地域創生、会計・ファイナンス、ホスピタリティの 4 領域を設け、学生が興味のある領域を柔軟に選択し、幅広い教養から専門性の高い知識までを系統的に学べる科目を配置します。

3）学生の将来の進路を見据えた特徴ある科目を専攻ごとに基本から実践まで設けます。公共経営専攻では公務員として必要な知識を習得する演習科目である「行政職特別演習」や「公共政策特別演習」等を設け、企業経営専攻では将来のキャリアを見据えた演習科目として「キャリア演習Ⅲ・Ⅳ」「インターンシップ」を配置し、適性の向上を図ります。

4）公的資格（簿記、FP、宅建士、販売士、PC 検定、IT パスポート、ビジネス実務マナー等）を、初級レベルから上級レベルまで無理なく段階的に取得するための支援授業を連続して配置します。

5）体験型、地域連携型科目を数多く設け、またゼミナールや授業外プロジェクトを通じて積極的かつ継続的なアクティブ・ラーニングを効果的に行うことにより、学生自らが課題を発見し、能動的に情報収集・調査・分析・発表・議論・研究できる学習環境を整えます。

【学修成果の評価方法】

1）教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。

2）各科目において習熟度を測るために定期試験に加え、中間試験や小テストを行うとともに、科目の特色に応じて、レポート等の課題を与え、受講姿勢も含めて総合的に評価します。体験型の科目については、アクティブ・ラーニングの一環として実施するグループワーク、プレゼンテーション等に加え、平素の意欲的な学修姿勢も含めて総合的に評価します。

3）公務員試験に直結する科目については、セメスターごとに全国的評価を行っている外部機関による模擬試験を実施することにより、目標とするキャリアの獲得に向けて学修の進捗度を評価する機会を設けます。

4）国内外でのインターンシップ科目については、インターンシップ実施企業と連携して、実践可能な到達目標を設定し、企業や教員による評価、さらに学生の自己評価等多面的できめ細やかな評価を行います。

5）資格取得を目標とする科目については、外部評価となる資格取得の成果も評価の対象とします。

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

経営学部では、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。

1）高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。〔求める要素：知識・技能〕

2）経済・経営や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、将来、専門知識や経験を活かして、企業人や公務員としてさまざまな分野で活躍し、社会に貢献しようとする高い就業意欲や使命感があること。そのために資格取得や国内外で実施するインターンシップ、地域連携活動にも積極的かつ誠実に取り組む気持ちがあること。〔求める要素：関心・意欲・態度〕

3）学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

4）高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。〔求める要素：思考力・判断力・表現力〕

●経営学科 公共経営専攻 専門教育科目編成表

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
学科共通科目	学科共通	K7010	経営学基礎Ⅰ	2		1～2		○	◎	○				BBJA1501a0	
		K7015	商業簿記Ⅰ	2		1～2		○	◎	○				BBJA1502a0	
		K7020	憲法Ⅰ(人権)		2	1～2		○	◎	○			○	BBJA1503a0	
		K7025	民法Ⅰ(総則)		2	1～2		○	◎	○				BBJA1504a0	
		K7030	マーケティング		2	1～2		○	○	◎				BBJA1505a0	
		K7035	会計学概論		2	1～2		○	◎	○				BBJA1506a0	
		K7040	経営戦略論		2	3～4		○	○	◎				BBJA3507a0	
		K7045	人的資源管理論		2	3～4		○	○	◎				BBJA2508a0	
		K7050	地域活性化総論		2	1～2		○	○	◎				BBJA1509a0	
		K7055	経営情報論		2	1～2		○		○	◎			BBJA1510a0	
		K7060	経済学概論		2	1～2			◎	○				BBJA1511a0	
		K7065	ミクロ経済学		2	3～4			○	◎				BBJA2512a0	
		K7070	マクロ経済学		2	3～4			○	◎				BBJA2513a0	
		K7075	財政学		2	3～4			○	◎				BBJA2514a0	
		K7080	時事問題研究		2	5～6	不可		◎	○				BBJA2515a0	
		K7085	公務員基礎演習(数的処理・推理)		2	3～4	不可		◎	○				BBJA1516a0	
		K7090	公務員基礎演習(自然科学)		2	3～4	不可		◎	○				BBJA1517a0	
		K7095	公務員基礎演習(人文社会科学)		2	3～4	不可		◎	○				BBJA1518a0	
		K7100	公務員基礎演習(実践文章)		2	3～4	不可		◎	○				BBJA1519a0	
		K7105	キャリア演習Ⅰ	2		3～4	不可		○	◎				BBJA1520a0	担当教員の許可を得た企業経営専攻の学生のみ履修可。
		K7110	キャリア演習Ⅱ	2		3～4	不可		○	◎				BBJA1521a0	
		K7115	キャリア開発		2	5～6	不可	○				◎	○	BBJA2522a0	
		K7120	専門演習Ⅰ	2		5～6	不可	○	○	◎			○	BBJA1523a0	
		K7125	専門演習Ⅱ	2		5～6	不可	○	○	◎			○	BBJA2524a0	
		K7130	専門演習Ⅲ	2		7～8	不可	○	○	◎			○	BBJA3525a0	
		K7135	専門演習Ⅳ	2		7～8	不可	○	○	◎			○	BBJA3526a0	
		K7140	卒業研究		4	7～8	不可	○	○	◎			○	BBJA3527a0	
	ビジネス情報	K7145	情報科学概論		2	1～2	不可	○		◎	○		○	BBJA1528a0	
		K7150	情報リテラシー基礎		2	1～2	不可	○		◎	○		○	BBJA1529a0	
		K7155	情報リテラシー応用		2	3～4	不可			◎	○		○	BBJA1530a0	
		K7160	プログラミング演習		2	3～4	不可			◎	○		○	BBJA2531a0	
		K7165	マルチメディア実践		2	3～4	不可	○		◎	○		○	BBJA2532a0	
		K7170	AI・データサイエンス概論		2	5～6	不可	○		◎	○		○	BBJA2533a0	
		K7175	データサイエンス実践		2	5～6	不可	○		◎	○		○	BBJA3534a0	
		K7180	データベース		2	5～6	不可			◎	○		○	BBJA2535a0	
		K7185	経営統計学		2	5～6	不可			◎	○			BBJA3536a0	
		K7190	Webデザイン		2	5～6	不可			◎	○			BBJA2537a0	

●経営学科 公共経営専攻 専門教育科目編成表

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
学科共通科目	ビジネス情報	K7195	マーケティングリサーチ		2	1～2		○	○	◎				BBJA2538a0	
		K7200	マーケティングマネジメント論		2	3～4	不可	○	○	◎				BBJA2539a0	
		K7205	マーチャンダイジング		2	3～4	不可	○	○	◎				BBJA2540a0	
		K7210	ライセンスセミナーPC文書		2	1～2	不可				◎		○	BBJA2541a0	
		K7215	ライセンスセミナーPCデータ		2	3～4	不可				◎		○	BBJA2542a0	
		K7220	ライセンスセミナーITパスポート		2	5～6	不可				◎		○	BBJA2543a0	
	地域創生	K7225	地域活性化演習Ⅰ		2	3～4			○	◎		○		BBJA1544a0	
		K7230	地域活性化演習Ⅱ		2	3～4			○	◎		○		BBJA1545a0	
		K7235	地域活性化演習Ⅲ		2	3～4			○	◎		○		BBJA2546a0	
		K7240	実学マネジメント論Ⅰ		2	3～4			◎		○		○	BBJA2547a0	
		K7245	実学マネジメント論Ⅱ		2	5～6			◎		○		○	BBJA2548a0	
		K7250	中小企業経営論		2	5～6		○	◎	○			○	BBJA3549a0	
		K7255	アントレプレナー論		2	1～2			◎	○			○	BBJA1550a0	
		K7260	ビジネスモデル研究		2	1～2		○	◎	○			○	BBJA1551a0	
		K7265	起業研究		2	3～4		○	○	◎			○	BBJA2552a0	
		K7270	起業実践		2	5～6			○	◎			○	BBJA3553a0	
		K7275	商品論		2	5～6			○	◎				BBJA3554a0	
		K7280	国際ビジネス論		2	5～6			○	◎				BBJA3555a0	
		K7285	国際貿易論		2	5～6			○	◎				BBJA3556a0	
		K7290	旅行ビジネス論		2	5～6		○	○	◎				BBJA2557a0	
		K7295	観光ビジネス論		2	5～6		○	○	◎				BBJA2558a0	
		K7300	SDGｓ概論		2	3～4			○	◎			○	BBJA1559a0	
		K7305	ＮＰＯ運営法		2	5～6			○	◎				BBJA2560a0	
		K7310	不動産学研究(民法Ⅰ)		2	3～4	不可		○	◎				BBJA2561a0	
		K7315	不動産学研究(民法Ⅱ)		2	3～4	不可		○	◎				BBJA2562a0	
		K7320	不動産学研究(宅建業法)		2	3～4	不可		○	◎				BBJA2563a0	
		K7325	不動産学研究(法令)		2	3～4	不可		○	◎				BBJA2564a0	
		K7330	不動産学研究(特講)		2	3～4	不可		○	◎				BBJA3565a0	
公共経営専攻科目	公共経営専門	K7410	憲法Ⅱ(統治機構)		2	1～2		○	◎	○			○	BBJB2566a0	
		K7415	民法Ⅱ(物権)		2	1～2		○	◎	○				BBJB2567a0	
		K7420	民法Ⅲ(債権総論・不法行為法等)		2	3～4		○	◎	○				BBJB2568a0	
		K7425	民法Ⅳ(契約法)		2	3～4		○	◎	○				BBJB2569a0	
		K7430	民法Ⅴ(家族法)		2	5～6		○	◎	○				BBJB2570a0	
		K7435	行政法		2	3～4		○		◎			○	BBJB2571a0	
		K7440	行政学		2	3～4		○	○	◎				BBJB2572a0	
		K7445	法と倫理		2	5～6		○	◎	○			○	BBJB2573a0	
		K7450	刑事法		2	5～6			◎	○				BBJB2574a0	

●経営学科 公共経営専攻 専門教育科目編成表

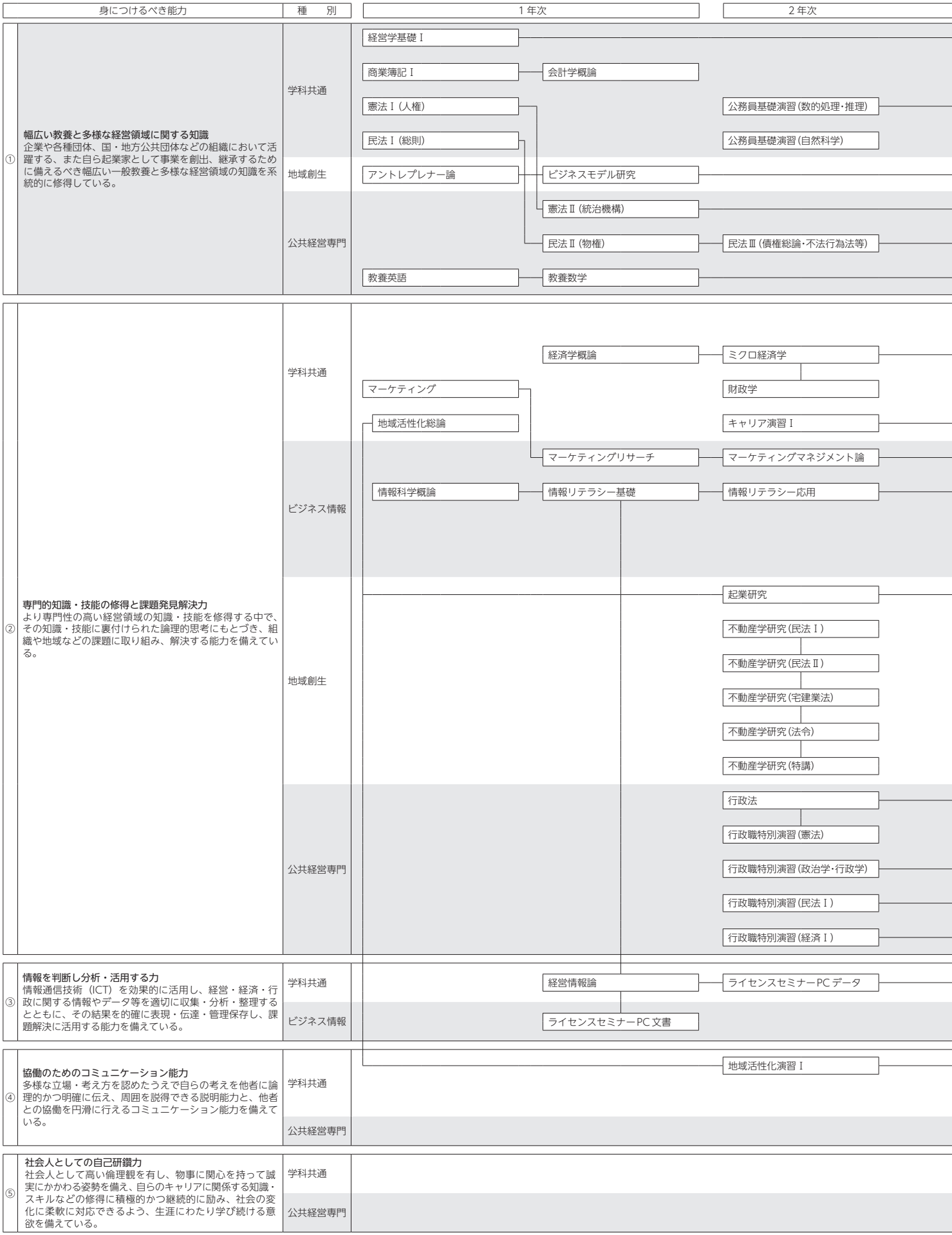
種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
公共経営専攻科目	公共経営専門	K7455	公共経営論		2	5～6	不可	○	○	◎				BBJB2575a0	
		K7460	行政職特別演習(憲法)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2576a0	
		K7465	行政職特別演習(行政法)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2577a0	
		K7470	行政職特別演習(民法Ⅰ)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2578a0	
		K7475	行政職特別演習(民法Ⅱ)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2579a0	
		K7480	行政職特別演習(経済Ⅰ)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2580a0	
		K7485	行政職特別演習(経済Ⅱ)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2581a0	
		K7490	行政職特別演習(政治学･行政学)		2	3～4	不可		○	◎				BBJB2582a0	
		K7495	公共政策特別演習Ⅰ		2	5～6	不可		◎			○		BBJB3583a0	
		K7500	公共政策特別演習Ⅱ		2	5～6	不可		◎			○		BBJB3584a0	
		K7505	教養数学		2	1～2			◎	○				BBJB1585a0	
		K7510	教養英語		2	1～2			○			◎		BBJB1586a0	
		K7515	ライセンスセミナー法学		2	3～4	不可		◎	○			○	BBJB2587a0	
		K7520	ライセンスセミナー公務員Ⅰ		2	5～6	不可		◎				○	BBJB2588a0	
		K7525	ライセンスセミナー公務員Ⅱ		2	5～6	不可		◎				○	BBJB2589a0	
卒業に必要な総単位数				16	70										

※注意：他学部・他専攻履修について

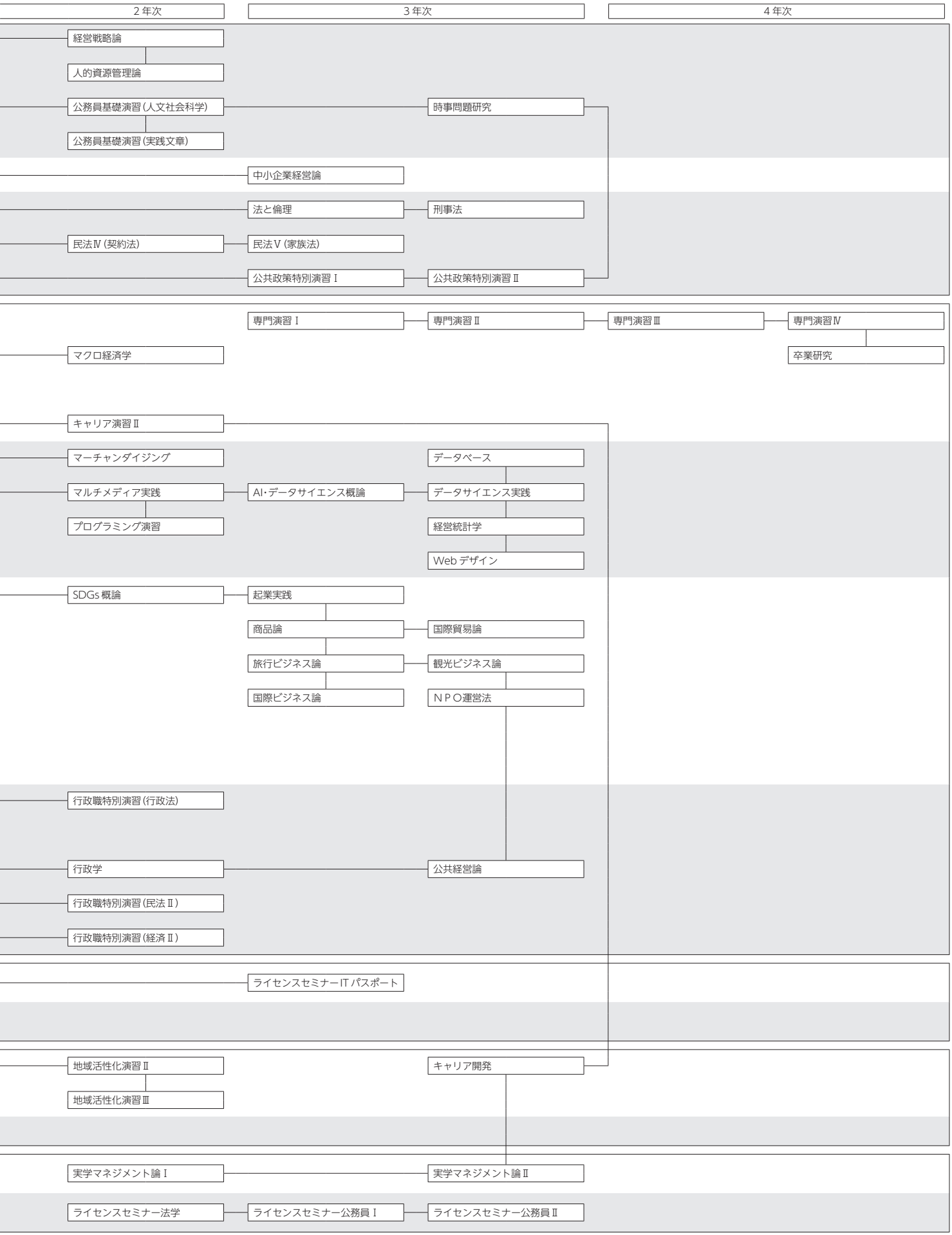
他学部・他専攻履修はシラバスを確認し、必ず担当教員の許可を得てから履修登録してください。

UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは科目編成表の「他学部・他専攻履修」欄に『不可』がなくても他学部・他専攻履修を許可しない場合があります。

経営学部 経営学科 公共経営専攻 履修系統図



※カリキュラムポリシー（CP）はP136・137を参照してください。



●経営学科 企業経営専攻 専門教育科目編成表

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
学科共通科目	学科共通	K7010	経営学基礎Ⅰ	2		1〜2		○	◎	○				BBKA1501a0	
		K7015	商業簿記Ⅰ	2		1〜2		○	◎	○				BBKA1502a0	
		K7020	憲法Ⅰ(人権)		2	1〜2		○	◎	○			○	BBKA1503a0	
		K7025	民法Ⅰ(総則)		2	1〜2		○	◎	○				BBKA1504a0	
		K7030	マーケティング		2	1〜2		○	○	◎				BBKA1505a0	
		K7035	会計学概論		2	1〜2		○	◎	○				BBKA1506a0	
		K7040	経営戦略論		2	3〜4		○	◎		○			BBKA3507a0	
		K7045	人的資源管理論		2	3〜4		○	○	◎				BBKA2508a0	
		K7050	地域活性化総論		2	1〜2		○	○	◎				BBKA1509a0	
		K7055	経営情報論		2	1〜2		○		○	◎			BBKA1510a0	
		K7060	経済学概論		2	1〜2		○	◎	○				BBKA1511a0	
		K7065	ミクロ経済学		2	3〜4		○	○	◎				BBKA2512a0	
		K7070	マクロ経済学		2	3〜4			○	◎				BBKA2513a0	
		K7075	財政学		2	3〜4			○	◎				BBKA2514a0	
		K7080	時事問題研究		2	5〜6	不可		◎	○				BBKA2515a0	
		K7085	公務員基礎演習(数的処理・推理)		2	3〜4	不可		◎	○				BBKA1516a0	
		K7090	公務員基礎演習(自然科学)		2	3〜4	不可		◎	○				BBKA1517a0	
		K7095	公務員基礎演習(人文社会科学)		2	3〜4	不可		◎	○				BBKA1518a0	
		K7100	公務員基礎演習(実践文章)		2	3〜4	不可		◎	○				BBKA1519a0	
		K7105	キャリア演習Ⅰ	2		3〜4	不可		○				◎	BBKA1520a0	担当教員の許可を得た公共経営専攻の学生のみ履修可。
		K7110	キャリア演習Ⅱ	2		3〜4	不可		○				◎	BBKA1521a0	
		K7115	キャリア開発		2	5〜6	不可	○				◎	○	BBKA2522a0	
		K7120	専門演習Ⅰ	2		5〜6	不可	○	○	◎			○	BBKA1523a0	
		K7125	専門演習Ⅱ	2		5〜6	不可	○	○	◎			○	BBKA2524a0	
		K7130	専門演習Ⅲ	2		7〜8	不可	○	○	◎			○	BBKA3525a0	
		K7135	専門演習Ⅳ	2		7〜8	不可	○	○	◎			○	BBKA3526a0	
		K7140	卒業研究		4	7〜8	不可	○	○	◎			○	BBKA3527a0	
	ビジネス情報	K7145	情報科学概論		2	1〜2	不可	○		◎	○		○	BBKA1528a0	
		K7150	情報リテラシー基礎		2	1〜2	不可			◎	○		○	BBKA1529a0	
		K7155	情報リテラシー応用		2	3〜4	不可			◎	○		○	BBKA1530a0	
		K7160	プログラミング演習		2	3〜4	不可			◎	○		○	BBKA2531a0	
		K7165	マルチメディア実践		2	3〜4	不可	○		◎	○		○	BBKA2532a0	
		K7170	AI・データサイエンス概論		2	5〜6	不可	○		◎	○		○	BBKA2533a0	
		K7175	データサイエンス実践		2	5〜6	不可	○		◎	○		○	BBKA3534a0	
		K7180	データベース		2	5〜6	不可			◎	○		○	BBKA2535a0	
		K7185	経営統計学		2	5〜6	不可			◎	○			BBKA3536a0	
		K7190	Webデザイン		2	5〜6	不可		○	◎				BBKA2537a0	

●経営学科 企業経営専攻 専門教育科目編成表

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
学科共通科目	ビジネス情報	K7195	マーケティングリサーチ		2	1～2		○	○	◎				BBKA2538a0	
		K7200	マーケティングマネジメント論		2	3～4		○	○	◎				BBKA2539a0	
		K7205	マーチャンダイジング		2	3～4	不可	○	○	◎				BBKA2540a0	
		K7210	ライセンスセミナーPC文書		2	1～2	不可		◎	○				BBKA2541a0	
		K7215	ライセンスセミナーPCデータ		2	3～4	不可		◎	○	○			BBKA2542a0	
		K7220	ライセンスセミナーITパスポート		2	5～6	不可			○	◎			BBKA2543a0	
	地域創生	K7225	地域活性化演習Ⅰ		2	3～4			○	◎		○		BBKA1544a0	
		K7230	地域活性化演習Ⅱ		2	3～4			○	◎		○		BBKA1545a0	
		K7235	地域活性化演習Ⅲ		2	3～4			○	◎		○		BBKA2546a0	
		K7240	実学マネジメント論Ⅰ		2	3～4			◎	○			○	BBKA2547a0	
		K7245	実学マネジメント論Ⅱ		2	5～6			◎	○			○	BBKA2548a0	
		K7250	中小企業経営論		2	5～6		○	◎	○			○	BBKA3549a0	
		K7255	アントレプレナー論		2	1～2			◎	○			○	BBKA1550a0	
		K7260	ビジネスモデル研究		2	1～2		○	◎	○			○	BBKA1551a0	
		K7265	起業研究		2	3～4		○	○	◎			○	BBKA2552a0	
		K7270	起業実践		2	5～6			○	◎			○	BBKA3553a0	
		K7275	商品論		2	5～6			○	◎				BBKA3554a0	
		K7280	国際ビジネス論		2	5～6			○	◎				BBKA3555a0	
		K7285	国際貿易論		2	5～6			○	◎				BBKA2556a0	
		K7290	旅行ビジネス論		2	5～6			○	◎				BBKA2557a0	
		K7295	観光ビジネス論		2	5～6		○	○	◎				BBKA2558a0	
		K7300	SDGs概論		2	3～4		○	○	◎			○	BBKA1559a0	
		K7305	NPO運営法		2	5～6			○	◎				BBKA2560a0	
		K7310	不動産学研究(民法Ⅰ)		2	3～4	不可		○	◎				BBKA2561a0	
		K7315	不動産学研究(民法Ⅱ)		2	3～4	不可		○	◎				BBKA2562a0	
		K7320	不動産学研究(宅建業法)		2	3～4	不可		○	◎				BBKA2563a0	
		K7325	不動産学研究(法令)		2	3～4	不可		○	◎				BBKA2564a0	
		K7330	不動産学研究(特講)		2	3～4	不可		○	◎				BBKA3565a0	
企業経営専攻科目	企業経営専門	K7610	経営学基礎Ⅱ		2	1～2		○	◎	○				BBKB1566a0	
		K7615	経営管理論		2	1～2		○	○	◎				BBKB1567a0	
		K7620	経営組織論		2	3～4		○	○	◎				BBKB2568a0	
		K7625	財務管理論		2	5～6		○	○	◎				BBKB3569a0	
		K7630	経営心理学		2	5～6		○	○	◎				BBKB2570a0	
		K7635	企業倫理		2	5～6		○		◎		○	○	BBKB2571a0	
		K7640	企業法概論		2	3～4		○	○	◎				BBKB2572a0	
		K7645	会社法		2	3～4		○	○	◎				BBKB2573a0	
		K7650	金融取引法		2	5～6			○	◎				BBKB3574a0	

●経営学科 企業経営専攻 専門教育科目編成表

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
企業経営専攻科目	企業経営専門	K7655	商法総則		2	3～4		○	○	◎				BBKB2575a0	
		K7660	商行為法		2	3～4			○	◎				BBKB2576a0	
		K7665	社会保障法		2	5～6			◎	○				BBKB3577a0	
		K7670	労働法		2	3～4			◎	○				BBKB2578a0	
		K7675	知的財産法		2	5～6			○	◎				BBKB2579a0	
		K7680	独占禁止法		2	5～6			○	◎				BBKB2580a0	
		K7685	キャリア演習Ⅲ	2		3～4	不可	○				◎	○	BBKB2581a0	
		K7690	キャリア演習Ⅳ		2	5～6	不可	○					◎	BBKB2582a0	
		K7695	インターンシップⅠ		2	5～6	不可	○				○	◎	BBKB2583a0	
		K7700	インターンシップⅡ		2	5～6	不可					○	◎	BBKB2584a0	
	会計・ファイナンス	K7705	商業簿記Ⅱ		2	1～2		○		◎	○			BBKB1585a0	
		K7710	商業簿記Ⅲ		2	3～4		○		◎	○			BBKB2586a0	
		K7715	工業簿記		2	3～4		○	◎	○				BBKB1587a0	
		K7720	原価計算		2	3～4				◎	○			BBKB2588a0	
		K7725	管理会計		2	3～4				◎	○			BBKB3589a0	
		K7730	財務会計		2	3～4		○		◎	○			BBKB3590a0	
		K7735	経営分析		2	5～6		○		○	◎			BBKB3591a0	
		K7740	監査論		2	5～6				◎	○			BBKB3592a0	
		K7745	税務会計		2	5～6		○		◎	○			BBKB3593a0	
		K7750	コンピュータ会計		2	5～6	不可	○		○	◎			BBKB2594a0	
		K7755	ファイナンシャルプランニングⅠ		2	1～2			○	◎				BBKB1595a0	
		K7760	ファイナンシャルプランニングⅡ		2	1～2			○	◎				BBKB1596a0	
		K7765	ファイナンス論		2	5～6			○	◎				BBKB2597a0	
		K7770	ライセンスセミナー簿記Ⅰ		2	1～2			◎				○	BBKB1598a0	
		K7775	ライセンスセミナー簿記Ⅱ		2	1～2				◎			○	BBKB2599a0	
		K7780	ライセンスセミナー簿記Ⅲ		2	3～4				◎			○	BBKB2600a0	
	ホスピタリティ	K7785	ホスピタリティマネジメント		2	1～2		○	○	◎		○		BBKB1601a0	
		K7790	ビジネス実務概論		2	1～2		○	◎				○	BBKB1602a0	
		K7795	流通論		2	1～2	不可	○	○	◎				BBKB1603a0	
		K7800	リテールマーケティング論		2	3～4			○	◎		○		BBKB2604a0	
		K7805	美容・健康ビジネス論		2	3～4		○	○	◎				BBKB1605a0	
		K7810	カラーコーディネート論		2	1～2	不可		○	◎				BBKB1606a0	
		K7815	テーブルコーディネート論		2	5～6	不可		○	◎				BBKB1607a0	
		K7820	ホテルマネジメント論		2	5～6	不可		○	◎				BBKB1608a0	
		K7825	ブライダルマネジメント論		2	5～6	不可		○	◎				BBKB1609a0	
		K7830	消費者心理学		2	5～6		○	○	◎		○		BBKB2610a0	
		K7835	ショップビジネス論		2	5～6		○	○	◎		○		BBKB2611a0	

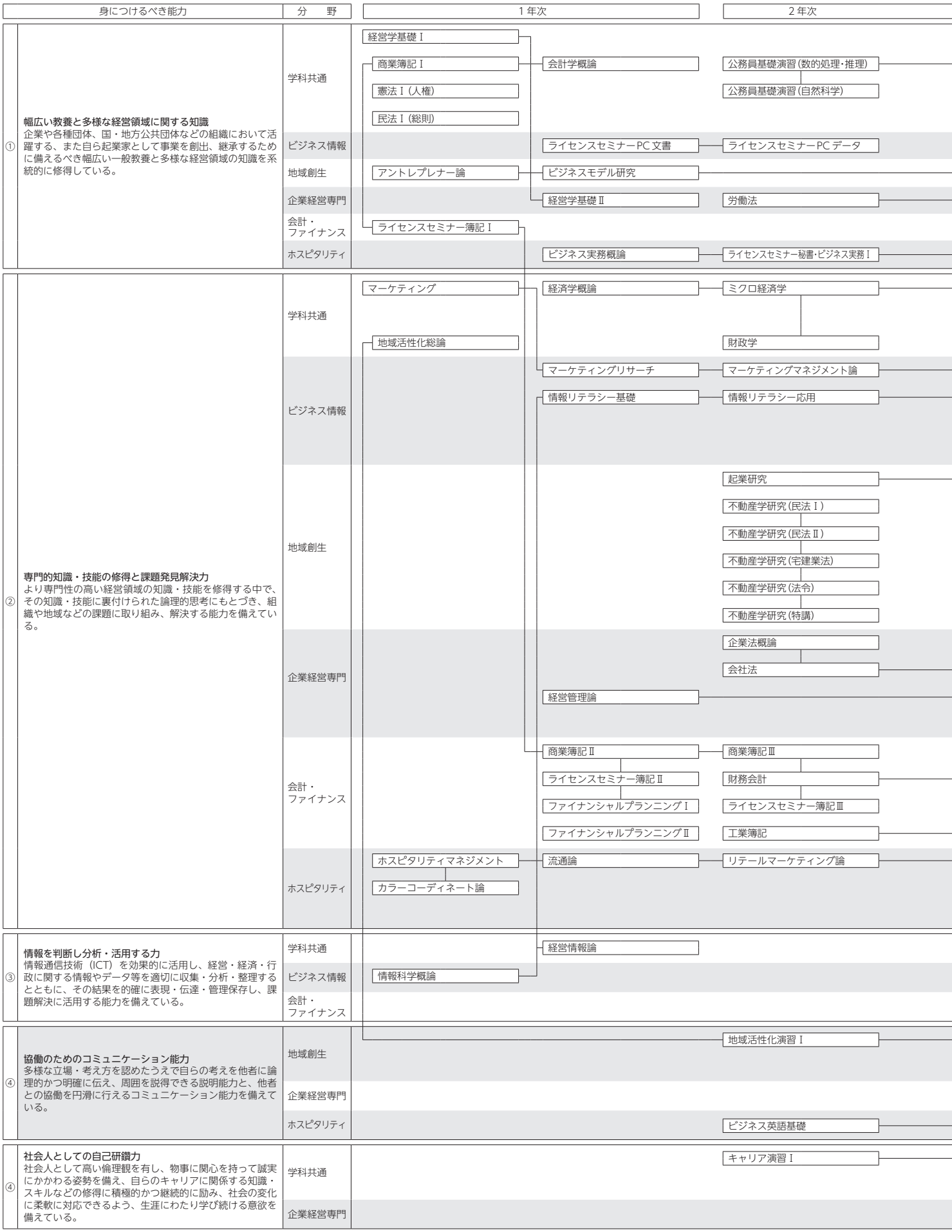
●経営学科 企業経営専攻 専門教育科目編成表

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	他学部・他専攻履修	主要授業科目	身に付けるべき能力 ①	②	③	④	⑤	ナンバリングコード	備考
企業経営専攻科目	ホスピタリティ	K7840	フードビジネス論		2	5〜6								BBKB2612a0	
		K7845	医療事務入門		2	3〜4			○	◎				BBKB1613a0	
		K7850	医療事務応用		2	3〜4			○	◎				BBKB2614a0	
		K7855	ビジネス英語基礎		2	3〜4	不可					◎	○	BBKB1615a0	
		K7860	ビジネス英語応用		2	3〜4	不可					◎	○	BBKB2616a0	
		K7865	ライセンスセミナー秘書･ビジネス実務Ⅰ		2	3〜4			◎			○		BBKB2617a0	
		K7870	ライセンスセミナー秘書･ビジネス実務Ⅱ		2	5〜6			◎			○		BBKB2618a0	
卒業に必要な総単位数				18	68										

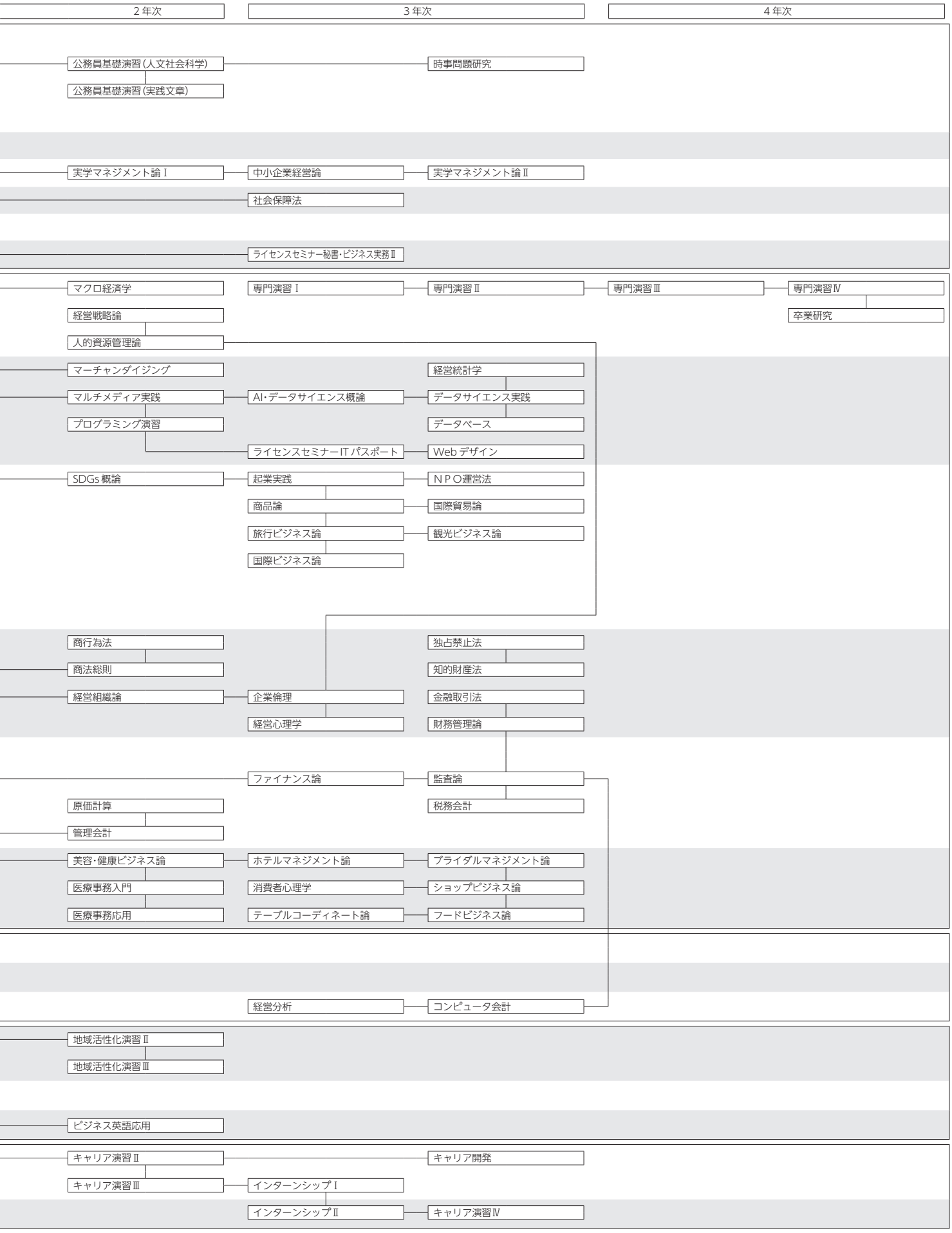
※注意：他学部・他専攻履修について

他学部・他専攻履修はシラバスを確認し、必ず担当教員の許可を得てから履修登録してください。
UNIPASS 上で履修登録できる状態にある、あるいは科目編成表の「他学部・他専攻履修」欄に『不可』がなくても他学部・他専攻履修を許可しない場合があります。

経営学部 経営学科 企業経営専攻 履修系統図



※カリキュラムポリシー（CP）はP136・137を参照してください。



●看護学部

〈卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

看護学部は、教育理念に基づき、①豊かな教養と高い倫理観を醸成すること、②自ら考え、課題を発見し、解決の方法を見出し、行動できる主体性と創造性を涵養すること、③看護の本質を熟考し続け、どんな状況であっても最善の看護を提供できる実践力を身につけることを目的とします。

このために、卒業時点で学生が身につける資質・能力は、以下７点とします。

卒業時点において学生が身につけるべき能力

① 高い倫理観を備え、他者と関係を築く力
- 1）人間を多局面から統合的に理解することができる。
- 2）他者と相互理解を深め、成長し合う関係を築くことができる。
- 3）人間の尊厳と権利を擁護することができる。

② 課題を発見し、対応する能力
- 1）情報を目的に応じて活用することができる。
- 2）課題を発見し、優先順位をつけて、課題解決の方法を考え対応できる。
- 3）学際的な幅広い知識と看護学の専門知識を体系的に修得することができる。

③ 健康と生活を包括的、継続的に支援する看護実践力
- 1）特定の健康課題に対応した生活を支援する看護実践ができる。
- 2）科学的根拠に基づく看護実践ができる。
- 3）地域の健康課題をとらえ、課題解決のための方法を見出し実践できる。

④ 看護者の責務を認識し、他職種と協働する力
- 1）社会における看護の役割と責務を理解できる。
- 2）他職種の専門性を尊重し、情報交換や問題解決のための連携ができる。

⑤ 変化を生み出す力
- 1）社会の動向や人々のヘルスケアニーズの変化に関心を持つことができる。
- 2）新たな健康課題に対応し、主体的・創造的に看護を実践しようとする態度を身につけることができる。
- 3）自分の力を信じて挑戦し続けることができる。

⑥ 国際的活動の基本的能力
- 1）世界の様々な国や地域の健康上の課題とその背景を理解できる。
- 2）異文化や異なる価値観を持つ人を受け入れ、関係を築くことができる。
- 3）看護専門職として国際貢献に関心を持つことができる。

⑦ 自己研鑽を継続する能力
- 1）生涯を通じて、自発的な能力開発を継続しようとする態度を身につける。
- 2）看護を探求し続けるために、自己の課題を見出すことができる。

※各科目との対応については授業科目編成表「身につけるべき能力」欄に表記

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

【教育課程の編成、教育内容】

看護学部のカリキュラム編成においては、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）で示された卒業時に修得すべき能力を、学生が 4 年間でバランスよく、確実に修得できるように科目を配置しています。

また、教育の方法は、学生の主体性を引き出し、学生自らが進んで調べて考えるという学ぶ力を身につけることを重視するアクティブ・ラーニングを主体としています。

したがって教員には、アクティブ・ラーニングの理念を理解し、教授方法を修得すること、学習環境を整え、明確な課題と学習目標を設定して学生の学習を支援することが求められています。

1） ケアすることの価値について熟考し、自分自身の実践の核となる看護観を構築できるように支援する。
2） 教養科目を充実させ、安定した人間性と高い倫理観の醸成や、人間、社会、環境の理解など学際的な知識の理解を支援する。
3）「知識を与えるだけの教育」から「自ら考える力を醸成する教育」への転換を図り、学生自らの気づきや考えを尊重し、学生が意見や考えを自由に表現し、行動に移せるように支援する。
4） 健康が人々の生活や文化に密接に関係していること、生活を支援することがどういうことかを深く理解して、生活に着目した看護が実践できるよう講義、演習、実習の繋がりを重視した教育を行う。
5） 多様な実習の場を提供し、体験学習を通して、地域におけるケアの重要性を認識できる教育を行う。
6） 他職種と連携・協働する重要性とその方法を理解するために、実際の活動を通して実践的に学べるよう支援する。
7） グローバルな視野で世界の健康課題を理解できるよう異文化体験、海外研修等の教育内容を提示する。
8） 学生が看護学を基盤とした自らのキャリアデザインを描けるように支援する。

【教育方法】

1） 常に看護とは何かを探求し続け、新たな看護の創造に貢献できる人材を育てます。専門科目において、大学基礎演習（看護基礎ゼミ）、看護と倫理、看護研究法、課題研究、統合実習などの看護について探求し、思考することを学ぶ科目を、学生の学習レベルに応じて段階的に配置します。
2） 人を生活者として理解するために、1 年次から実習を配置します。2 年次・3 年次では、病気や健康障害による生活への影響と人々の反応に着目した看護の原理と方法を学ぶ実習科目を配置します。
3） 多職種との連携や協働について学び、看護の責務と役割を理解するために、一般教養科目、専門科目における講義、実習を配置します。
4） 学習者の主体性を引き出し、自立して行動できる力を育てる教育を行います。講義・演習科目において、アクティブ・ラーニングを推進します。また、看護実践でのあらゆる状況、患者の状態を学習者の学習準備状況に合わせて再現した環境での体験型学習であるシミュレーション教育を行います。

【学修成果の評価方法】

教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価する。具体的な評価指標は次の 4 項目。

1） 授業目標への到達度の総合的評価：各科目において、定期試験、小テスト、課題レポート等の提出、授業への参加態度や意欲、学生による授業評価等
2） 看護実践力評価：演習科目、実習科目における取り組み、看護師国家試験模試、看護師国家試験
3） 半年ごとの自己省察と目標修正・設定（学修ポートフォリオ及び上記 1）2）をもとに、担任教員又はチューター、実習担当教員と面談を行う）
4） 就職先アンケート、卒業生アンケート

〈入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〉

看護学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。

1） 看護学を学ぶための基礎的能力を有している人　〔求める要素：知識・技能〕

2） 人間の生命や尊厳を大切にし、他者の苦痛や悩みを理解しようとする人
〔求める要素：思考力・判断力〕

3） 学問への真摯な態度を持ち、自ら学ぼうとする人　〔求める要素：関心・意欲・態度〕

4） 人間の可能性や柔軟な心を信じ、人間に関心を寄せられる人
〔求める要素：思考力・判断力、知識・技能〕

5） 失敗を恐れず、失敗から謙虚に学び、成長しようとする人　〔求める要素：関心・意欲・態度〕

6） 看護を通して社会に貢献しようという志を持つ人　〔求める要素：表現力、主体性・多様性・協働性〕

●看護学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	授業の方法	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	ナンバリングコード	備考
健康科学科目	身体のしくみと働き	K8100	人体の構造と機能Ⅰ	②		1～2	講義		○	◎	○					NNNA1001a0	看護学科の専門教育科目は他学部の学生は履修することはできない。
		K8105	人体の構造と機能Ⅱ	2		1～2	講義		○	◎	○					NNNA1002a0	
		K8110	病態生理学	2		1～2	講義		○	◎	○					NNNA1003a0	
		K8115	栄養と代謝	②		1～2	講義		○	◎	○					NNNA1004a0	
		K8120	臨床心理学		2 (※1)	1～2	講義		○	◎	○					NNNA1005a0	
	疾病からの回復過程	K8125	疾病と治療Ⅰ	②		1～2	講義		○	◎	○					NNNB2006a0	
		K8130	疾病と治療Ⅱ	2		1～2	講義		○	◎	○					NNNB2007a0	
		K8135	疾病と治療Ⅲ	1		3～4	講義		○	◎	○					NNNB2008a0	
		K8140	薬理学	②		3～4	講義		○	◎	○					NNNB2009a0	
	健康と生活	K8145	生活健康論	1		1～2	講義	○	◎	○	○					NNNC1010a0	
		K8150	精神保健	②		3～4	講義		○	◎						NNNC2011a0	
		K8155	疫学		② (※1,3,4)	3～4	講義		○	◎			○			NNNC2012a0	
		K8160	保健行動論		2 (※1)	1～2	講義		○	◎	○					NNNC1013a0	
	社会保障と健康政策	K8165	社会保障制度	2		1～2	講義				○	○	◎			NNND1014a0	
		K8170	国際保健学	2		3～4	講義			○		○	○	◎		NNND2015a0	
		K8175	保健統計学		2 (※1,3)	3～4	講義			○	○		◎			NNND2016a0	
		K8180	医療と経済		2 (※1)	5～6	講義			○	○		◎			NNND3017a0	
		K8185	保健行政論		2 (※1,3)	1～2	講義				○	○	◎			NNND1018a0	
看護科学科目	看護の基盤	K8190	看護概論	②		1～2	講義	○	◎		○	○			○	NNNE1019a0	
		K8195	看護の歴史	2		3～4	講義	○	○		○	◎				NNNE1020a0	
		K8200	生活支援論	2		1～2	講義	○	○	◎	○				○	NNNE1021a0	
		K8205	ライフサイクルにおける発達課題と健康	1		1～2	講義	○	◎	○	○				○	NNNE1022a0	
		K8210	看護と倫理	②		3～4	講義	○	◎			○		○	○	NNNE2023a0	
		K8215	コミュニケーション論	1		1～2	講義	○	◎	○						NNNE2024a0	
		K8220	初期実習Ⅰ(生活をみる)	1		1～2	実習	○	◎	○						NNNE1025a0	
		K8225	初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践)	1		1～2	実習	○	◎	○						NNNE1026a0	
		K8230	大学基礎演習(看護基礎ゼミ)	1		1～2	演習	○	◎	○					○	NNNE1027a0	
	療養生活支援看護	K8235	療養生活支援論(成人・高齢者)	2		3～4	講義	○		◎	○	○				NNNF2028a0	
		K8240	フィジカルアセスメント	2		3～4	演習	○		◎	○	○				NNNF2029a0	
		K8245	生活支援技術演習	1		3～4	演習	○		○	◎	○			○	NNNF2030a0	
		K8250	看護治療技術演習	①		3～4	演習	○		◎	○	○				NNNF2031a0	
		K8255	療養生活支援技術演習Ⅰ	3		5～6	演習	○		◎	○	○				NNNF2032a0	
		K8260	療養生活支援技術演習Ⅱ	2		5～6	演習	○		◎	○	○				NNNF2033a0	
		K8265	療養生活支援基礎実習	2		3～4	実習	○		○	◎	○			○	NNNF2034a0	
		K8270	療養生活支援実習Ⅰ(急性・回復期)	2		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNF3035a0	

●看護学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	授業の方法	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	ナンバリングコード	備考
看護科学科目	療養生活支援看護	K8275	療養生活支援実習Ⅱ（慢性期）	2		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNF3036a0	看護学科の専門教育科目は他学部の学生は履修することはできない。
		K8280	療養生活支援実習Ⅲ（老化に伴う健康課題）	2		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNF3037a0	
	女性の健康と成育支援看護	K8285	女性の発達課題と健康	1		3～4	講義	○		◎	○	○				NNNG2038a0	
		K8290	母性生活支援技術演習	2		5～6	演習	○		◎	○	○				NNNG2039a0	
		K8295	母性生活支援実習	2		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNG3040a0	
		K8300	成育生活支援論	①		3～4	講義	○		◎	○	○				NNNG2041a0	
		K8305	成育療養生活支援技術演習	②		5～6	演習	○		◎	○	○				NNNG2042a0	
		K8310	成育療養生活支援実習	②		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNG3043a0	
	コミュニティにおける継続的な看護	K8315	在宅療養生活支援論	1		3～4	講義	○		◎	○	○				NNNH2044a0	
		K8320	在宅療養生活支援技術演習	2		3～4	演習	○		◎	○	○				NNNH2045a0	
		K8325	ケースマネジメントと多職種連携	2		5～6	講義	○		○	○	◎	○			NNNH3046a0	
		K8330	精神健康と生活支援	1		3～4	講義	○		○	◎	○				NNNH2047a0	
		K8335	精神療養生活支援技術演習	2		5～6	演習	○		○	◎	○				NNNH2048a0	
		K8340	家族の健康課題と生活支援	1		3～4	講義	○		◎	○	○				NNNH2049a0	
		K8345	産業保健論		2 (※3)	3～4	講義			◎	○	○				NNNH2050a0	
		K8350	学校保健論		② (※3,4)	3～4	講義			◎	○	○				NNNH2051a0	
		K8355	グローバルヘルスと国際看護	2		7～8	講義	○	○	○			○	◎		NNNH3052a0	
		K8400	災害看護支援論	2		3～4	講義	○		○	◎	○	○	○		NNNH2053a0	
		K8405	在宅療養生活支援実習	2		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNH3054a0	
		K8410	精神療養生活支援実習	2		5～6	実習	○		○	◎	○				NNNH3055a0	
		K8415	災害看護支援技術演習		1 (※2)	7～8	演習			○	◎	○	○	○		NNNH2056a0	
		K8420	国際看護フィールドワーク		1 (※2)	7～8	演習		○	○			◎	◎		NNNH2057a0	
	健康の増進と疾病予防の看護	K8425	地域生活支援論Ⅰ	②		3～4	講義	○		◎	○	○	○			NNNI2058a0	
		K8430	地域生活支援論Ⅱ		2 (※3)	5～6	講義			○	◎	○	○			NNNI3059a0	
		K8435	地域生活支援技術論		2 (※3)	5～6	講義			◎	○	○	○			NNNI2060a0	
		K8440	地域生活支援技術演習Ⅰ		1 (※3)	5～6	演習			○	◎	○	○			NNNI2061a0	
		K8445	地域生活支援技術演習Ⅱ		2 (※3)	7～8	演習			○	◎	○	○			NNNI3062a0	
		K8450	健康教育論		2 (※3)	3～4	講義			○	◎	○	○			NNNI2063a0	
	看護の探求と統合	K8455	看護研究法	2		5～6	講義	○		◎			○			NNNJ1064a0	
		K8460	課題研究	2		7～8	演習	○	○	◎			○		○	NNNJ3065a0	
		K8465	キャリアマネジメント	1		3～4	講義	○				○	○		◎	NNNJ1066a0	
		K8470	看護政策		1 (※2)	7～8	講義			◎		○	○			NNNJ2067a0	
		K8475	看護システムマネジメント論	2		5～6	講義	○	○	○		◎	○			NNNJ2068a0	
		K8480	看護管理実習	2		5～6	実習	○	○	○	○	◎	○			NNNJ3069a0	
		K8485	統合実習	3		7～8	実習	○	○	○		◎	○		○	NNNJ3070a0	
	保健師コース	K8490	地域生活支援実習		5	7～8	実習		○	○	◎	○	○		○	NNNK3071a0	

●看護学科 専門教育科目編成表

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.167 ～で調べて履修すること。

種別		科目コード	科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当セメスター	授業の方法	主要授業科目	身につけるべき能力 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	ナンバリングコード	備考
看護科学科目	助産師コース	K8495	助産学概論		2	5～6	講義		◎	○		○	○	○	○	NNNL2072a0	看護学科の専門教育科目は他学部の学生は履修することはできない。
		K8500	周産期医学		2	5～6	講義		○	◎	○	○	○		○	NNNL2073a0	
		K8505	助産診断・技術学Ⅰ		3	5～6	講義		○	◎		○	○		○	NNNL2074a0	
		K8510	助産診断・技術学Ⅱ		2	7～8	講義		○	◎		○	○		○	NNNL2075a0	
		K8515	助産診断・技術学Ⅲ		3	7～8	講義		○	◎		○	○		○	NNNL2076a0	
		K8520	助産技術学演習Ⅰ		1	5～6	演習		○	○	◎	○			○	NNNL2077a0	
		K8525	助産技術学演習Ⅱ		1	7～8	演習		○	○	◎	○			○	NNNL2078a0	
		K8530	地域母子保健		1	7～8	講義		○	○	◎	○	○		○	NNNL3079a0	
		K8535	助産管理論		1	7～8	講義		◎	○	○	○	○		○	NNNL3080a0	
		K8540	助産実習		11	7～8	実習		○	○	◎	○	○		○	NNNL3081a0	
	養護教諭コース	K8545	養護概説		②	3～4	講義		○	○	◎	○	○		○	NNNM2082a0	
		K8550	健康相談		②	5～6	講義		○	○	◎	○	○		○	NNNM2083a0	
		K8555	養護実習		5	7～8	実習		○	○	◎	○	○		○	NNNM3084a0	
卒業に必要な最低修得単位数				102	0												

1. 健康科学科目（必修科目 22 単位、選択科目 6 単位）……（※ 1）の内、3 科目 6 単位を選択必修とする。
   看護科学科目（必修科目 73 単位、選択科目 1 単位）……（※ 2）のいずれか 1 科目 1 単位を選択必修とする。
2. 保健師国家試験受験資格取得には、卒業要件に加え、（※ 3）と「保健師コース」の全てを修得すること。
3. 助産師国家試験受験資格取得には、卒業要件に加え、「助産師コース」の全てを修得すること。
4. 養護教諭一種免許状取得には、卒業要件に加え、（※ 4）と「養護教諭コース」と教職に関する科目の全てを修得すること。

（注）
- 助産師コースの科目は、女子のみ履修を可能とする。
- 養護教諭二種免許状取得には、「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ」又は「情報処理演習Ⅱ」を修得し、保健師免許を取得することで免許申請が可能となる。

●実習科目の履修要件

1）履修要覧（P.156 ～ P.157）に定められている実習参加要件を満たしていること。

2）毎年行われている定期健康診断を受けていること、及び看護学部において指定した感染症の抗体価検査を受け、必要な感染予防対策を行っていること。

3）実習において必要な一般社団法人日本看護学校協議会共済会の総合補償制度 Will に加入していること。

【注意】

実習によっては実習先に健康診断書や抗体などの検査結果を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。

実習先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾病名等の健康情報を原則記載します。不都合等あれば事前に保健センターに相談してください。

※詳細は、オリエンテーションで説明があります。

■看護師国家試験受験資格取得　実習参加要件

下記科目を履修するために先修科目の単位を取得しておくこと

年次	科　目	先修科目（26 科目 41 単位）		単位数
2年次	療養生活支援基礎実習（2 単位）	健康科学科目	人体の構造と機能Ⅰ	2
			人体の構造と機能Ⅱ	2
			病態生理学	2
			栄養と代謝	2
			疾病と治療Ⅰ	2
			疾病と治療Ⅱ	2
			疾病と治療Ⅲ	1
			薬理学	2
			生活健康論	1
			精神保健	2
			社会保障制度	2
			国際保健学	2
		看護科学科目	看護概論	2
			看護の歴史	2
			生活支援論	2
			ライフサイクルにおける発達課題と健康	1
			看護と倫理	2
			コミュニケーション論	1
			初期実習Ⅰ（生活をみる）	1
			初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）	1
			大学基礎演習（看護基礎ゼミ）	1
			生活支援技術演習	1
			看護治療技術演習	1
			在宅療養生活支援論	1
			家族の健康課題と生活支援	1
			地域生活支援論Ⅰ	2
合計単位数				41

年次	科　目	先修科目（43 科目 72 単位）		単位数
3年次	療養生活支援実習Ⅰ（急性・回復期）（2 単位） 療養生活支援実習Ⅱ（慢性期）（2 単位） 療養生活支援実習Ⅲ（老化に伴う健康課題）（2 単位） 母性生活支援実習（2 単位） 成育療養生活支援実習（2 単位） 在宅療養生活支援実習（2 単位） 精神療養生活支援実習（2 単位） 看護管理実習（2 単位）	健康科学科目	人体の構造と機能Ⅰ	2
			人体の構造と機能Ⅱ	2
			病態生理学	2
			栄養と代謝	2
			疾病と治療Ⅰ	2
			疾病と治療Ⅱ	2
			疾病と治療Ⅲ	1
			薬理学	2
			生活健康論	1
			精神保健	2
			社会保障制度	2
			国際保健学	2

3年次	療養生活支援実習Ⅰ（急性・回復期）（2単位） 療養生活支援実習Ⅱ（慢性期）（2単位） 療養生活支援実習Ⅲ（老化に伴う健康課題）（2単位） 母性生活支援実習（2単位） 成育療養生活支援実習（2単位） 在宅療養生活支援実習（2単位） 精神療養生活支援実習（2単位） 看護管理実習（2単位）	看護科学科目	看護概論	2
			看護の歴史	2
			生活支援論	2
			ライフサイクルにおける発達課題と健康	1
			看護と倫理	2
			コミュニケーション論	1
			初期実習Ⅰ（生活をみる）	1
			初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）	1
			大学基礎演習（看護基礎ゼミ）	1
			療養生活支援論（成人・高齢者）	2
			フィジカルアセスメント	2
			生活支援技術演習	1
			看護治療技術演習	1
			療養生活支援技術演習Ⅰ	3
			療養生活支援技術演習Ⅱ	2
			療養生活支援基礎実習	2
			女性の発達課題と健康	1
			母性生活支援技術演習	2
			成育生活支援論	1
			成育療養生活支援技術演習	2
			在宅療養生活支援論	1
			在宅療養生活支援技術演習	2
			ケースマネジメントと多職種連携	2
			精神健康と生活支援	1
			精神療養生活支援技術演習	2
			家族の健康課題と生活支援	1
			災害看護支援論	2
			地域生活支援論Ⅰ	2
			看護研究法	2
			キャリアマネジメント	1
			看護システムマネジメント論	2
合計単位数				**72**

年次	科　目	先修科目（8科目16単位）		単位数
4年生	統合実習（3単位）	看護科学科目	療養生活支援実習Ⅰ（急性・回復期）	2
			療養生活支援実習Ⅱ（慢性期）	2
			療養生活支援実習Ⅲ（老化に伴う健康課題）	2
			母性生活支援実習	2
			成育療養生活支援実習	2
			在宅療養生活支援実習	2
			精神療養生活支援実習	2
			看護管理実習	2
合計単位数				**16**

■保健師国家試験受験資格取得　学内選抜試験及び実習参加要件

本学では、保健師コースを選択できる定員は 15 人以内とし、選抜時期は 2 年次冬学期の成績評価終了後に行います。出願方法は UNIPASS で連絡します。選抜試験を受験するためには、4 セメスターまでに配当された必修科目及び下記の指定された選択科目（教養教育科目、健康科学科目、看護科学科目）の単位を修得する必要があります。なお、選抜試験の評価は、面接試験と 4 セメスターまでの全履修科目の累積 GPA（実習含む）により行います。

選抜試験・授業科目	受験・履修条件
選抜試験応募条件 定員　15 名	在学 4 セメスター終了までに次の要件を満たしていること。 • 教養教育科目の必修 14 単位及び選択 10 単位を修得していること。なお、上記単位数に「日本国憲法」、「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」の 5 科目 6 単位、及び「情報処理演習Ⅰ」又は「情報処理演習Ⅱ」のいずれか 1 科目 2 単位を含んでいること。 • 専門教育科目の 4 セメスターまでに配当された必修科目 35 科目 55 単位及び「保健行政論」、「保健統計学」、「疫学」、「学校保健論」、「産業保健論」、「健康教育論」の 6 科目 12 単位を修得していること。
「地域生活支援実習」	• 選抜試験に合格していること。 • 専門教育科目の 6 セメスターまでに配当された必修科目 51 科目 88 単位を修得していること。「地域生活支援論Ⅱ」「地域生活支援技術論」、「地域生活支援技術演習Ⅰ」、「地域生活支援技術演習Ⅱ」の 4 科目 7 単位を修得していること。

■助産師国家試験受験資格取得　学内選抜試験及び実習参加要件

本学では、助産師コースを選択できる定員は 5 人以内とし、選抜時期は 3 年次夏学期の成績評価終了後に行います。出願方法は UNIPASS で連絡します。選抜試験を受験するためには、5 セメスターまでに配当された必修科目及び下記の指定された選択科目（専門教育）の単位を修得する必要があります。なお、選抜試験の評価は、面接試験と看護技術試験、5 セメスターまでの全履修科目の累積 GPA（実習含む）により行います。

選抜試験・授業科目	受験・履修条件
選抜試験応募条件 定員　5 名	在学 5 セメスター終了までに次の要件を満たしていること。 • 教養教育科目の必修 14 単位及び選択 10 単位を修得していること。 • 専門教育科目の 5 セメスターまでに配当された必修科目 43 科目 72 単位及び「助産学概論」、「周産期医学」の 2 科目 4 単位を修得していること。
「助産実習」	• 選抜試験に合格していること。 • 専門教育科目の 6 セメスターまでに配当された必修科目 51 科目 88 単位を修得していること。「助産診断・技術学Ⅰ」、「助産診断・技術学Ⅱ」、「助産診断・技術学Ⅲ」、「助産技術学演習Ⅰ」、「助産技術学演習Ⅱ」の 5 科目 10 単位を修得していること。

■養護教諭一種免許状　学内選抜試験及び実習参加要件

本学では、養護教諭コースを選択できる定員は 10 人以内とし、選抜時期は 2 年次冬学期の成績評価終了後に行います。出願方法は UNIPASS で連絡します。選抜試験を受験するためには、4 セメスターまでに配当された必修科目及び下記の指定された選択科目（教養教育科目、語学・情報科学科目、健康科学科目、看護科学科目、教職に関する科目）の単位を修得する必要があります。なお、選抜試験の評価は、小論文（出願時に提出）、面接試験、4 セメスターまでの全履修科目の累積 GPA（実習含む）により行います。

選抜試験・授業科目	受験・履修条件
選抜試験応募条件 定員　10 名	在学 4 セメスター終了までに次の要件を満たしていること。 • 教養教育科目の必修 14 単位及び選択 10 単位を修得していること。なお、上記単位数に「日本国憲法」、「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」の 5 科目 6 単位、及び「情報処理演習Ⅰ」又は「情報処理演習Ⅱ」のいずれか 1 科目 2 単位を含んでいること。 • 専門教育科目で 4 セメスターまでに配当された必修科目 35 科目 55 単位及び「疫学」、「学校保健論」、「養護概説」の 3 科目 6 単位を修得していること。 • 教職に関する科目「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「特別支援教育」、「教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）」、「生徒指導論（養）」、「教育相談の理論と方法（中・高・養）」、「道徳教育の理論と方法（中・養）」の 8 科目 16 単位を修得していること。
「養護実習」	• 選抜試験に合格していること。 • 専門教育科目で 6 セメスターまでに配当された必修科目 51 科目 88 単位及び「健康相談」の 1 科目 2 単位を修得していること。 • 教職に関する科目「教育制度論」、「教育課程総論（中・高・養）」、「特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）」の 3 科目 6 単位を修得していること。

【養護教諭二種免許状取得】

養護教諭二種免許状取得には、「日本国憲法」「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」及び「情報処理演習Ⅰ」又は「情報処理演習Ⅱ」の単位を修得し、保健師免許を取得することで免許申請が可能となる。

●看護学部　進級等の基準

以下の基準に満たない場合、次学年に進級する事ができません。

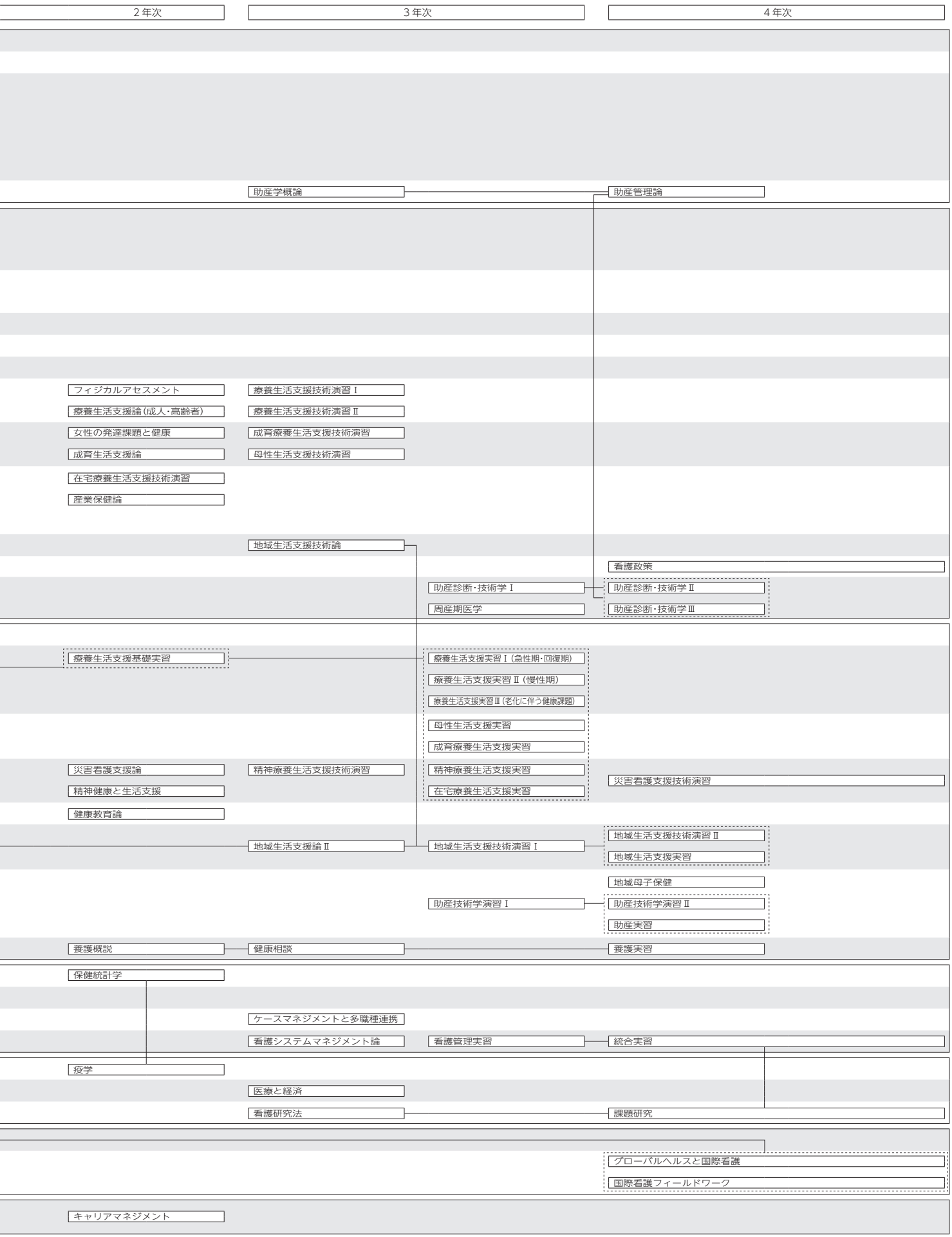
【進級等の基準】

- 2 年次生から 3 年次生への進級には、2 年次終了時に「療養生活支援基礎実習」の単位を修得していなければならない。
  この基準に満たない学生は、2 年次生に留めることとする。
- 3 年次生から 4 年次生への進級には、3 年次終了時に「療養生活支援実習Ⅰ（急性・回復期）」、「療養生活支援実習Ⅱ（慢性期）」、「療養生活支援実習Ⅲ（老化に伴う健康課題）」、「母性生活支援実習」、「成育療養生活支援実習」、「在宅療養生活支援実習」、「精神療養生活支援実習」、「看護管理実習」の 8 科目の単位を修得していなければならない。
  この基準に満たない学生は、3 年次生に留めることとする。

看護学部 看護学科 履修系統図

	身につけるべき能力	種　別	1年次	2年次
①	高い倫理観を備え、他者と関係を築く力 1) 人間を多局面から総合的に理解することができる。 2) 他者と相互理解を深め、成長し合う関係を築くことができる。 3) 人間の尊厳と権利を擁護することができる。	健康と生活	生活健康論	保健行動論
		社会保障と健康政策		社会保障制度
		看護の基盤	大学基礎演習(看護基礎ゼミ) 看護概論 ライフサイクルにおける発達課題と健康 初期実習Ⅰ 初期実習Ⅱ	コミュニケーション論
		助産師コース		看護と倫理
②	課題を発見し、対応する能力 1) 情報を目的に応じて活用することができる。 2) 課題を発見し、優先順位をつけて、課題解決の方法を考え対応できる。 3) 学際的な幅広い知識と看護学の専門知識を体系的に修得することができる。	身体のしくみと働き	人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ	栄養と代謝 病態生理学 臨床心理学
		疾病からの回復過程		疾病と治療Ⅰ 疾病と治療Ⅱ
		健康と生活		疾病と治療Ⅲ 薬理学 精神保健
		社会保障と健康政策		
		看護の基盤	生活支援論	
		療養生活支援看護		看護治療技術演習
		女性の健康と生育支援看護		
		コミュニティにおける継続的な看護		家族の健康課題と生活支援 在宅療養生活支援論 学校保健論
		健康の増進と疾病予防の看護		地域生活支援論Ⅰ
		看護の探求と統合		
		助産師コース		
③	健康と生活を包括的、継続的に支援する看護実践力 1) 特定の健康課題に対応した生活を支援する看護実践ができる。 2) 科学的根拠に基づく看護実践ができる。 3) 地域の健康課題をとらえ、課題解決のための方法を見出し実践できる。	社会保障と健康政策		保健行政論
		療養生活支援看護		生活支援技術演習
		女性の健康と生育支援看護		
		コミュニティにおける継続的な看護		
		健康の増進と疾病予防の看護		
		保健師コース		
		助産師コース		
		養護教諭コース		
④	看護者の責務を認識し、他職種と協働する力 1) 社会における看護の役割と債務を理解できる。 2) 他職種の専門性を尊重し、情報交換や問題解決のための連携ができる。	社会保障と健康政策		
		看護の基盤		看護の歴史
		コミュニティにおける継続的な看護		
		看護の探求と統合		
⑤	変化を生み出す力 1) 社会の動向や人々のヘルスケアニーズの変化に関心を持つことができる。 2) 新たな健康課題に対応し、主体的・創造的に看護を実践しようとする態度を身につけることができる。 3) 自分の力を信じて挑戦し続けることができる。	健康と生活		
		社会保障と健康政策		
		看護の探求と統合		
⑥	国際的活動の基本的能力 1) 世界の様々な国や地域の健康上の課題とその背景を理解できる。 2) 異文化や異なる価値観を持つ人を受け入れ、関係を築くことができる。 3) 看護専門職として国際貢献に関心を持つことができる。	社会保障と健康政策		国際保健
		コミュニティにおける継続的な看護		
⑦	自己研鑽を継続する能力 1) 生涯を通じて、自発的な能力開発を継続しようとする態度を身につける。 2) 看護を探究し続けるために、自己の課題を見出すことができる。	看護の探求と統合		

※カリキュラムポリシー（CP）は P179 を参照してください。



●教職に関する科目（文学部・社会学部）（教育の基礎的理解に関する科目等）・（「教科の指導法に関する科目」）

※卒業要件の単位数には含まれません。

科目コード	科　目　名	単位数						配当セメスター	ナンバリングコード	備考
		中免			高免					
		必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択			
K9010	教職論	2			2			1～2	TTTT1001a2	
K9020	教育原論	2			2			1～2	TTTT1002a2	
K9030	教育心理学	2			2			1～2	TTTT1003a2	
K9040	教育制度論	2			2			5～6	TTTT1004a2	
K9050	特別支援教育	2			2			1～2	TTTT1005a2	
K9060	教育課程総論（中・高・養）	2			2			5～6	TTTT1006a2	
K9070	教科教育法Ⅰ（国語）		8（注1）	2		4（注2）	2	3～4	TTTT2007a2	
K9080	教科教育法Ⅱ（国語）			2			2	5～6	TTTT2008a2	
K9090	教科教育法Ⅲ（国語）			2				5～6	TTTT2009a2	
K9100	教科教育法Ⅳ（国語）			2				5～6	TTTT2010a2	
K9110	教科教育法Ⅰ（書道）						2	5～6	TTTT2011a2	
K9120	教科教育法Ⅱ（書道）						2	5～6	TTTT2012a2	
K9130	教科教育法Ⅰ（英語）			2			2	3～4	TTTT2013a2	
K9140	教科教育法Ⅱ（英語）			2			2	5～6	TTTT2014a2	
K9150	教科教育法Ⅲ（英語）			2				3～4	TTTT2015a2	
K9160	教科教育法Ⅳ（英語）			2				5～6	TTTT2016a2	
K9170	社会教科教育法Ⅰ			2				3～4	TTTT2017a2	
K9180	社会教科教育法Ⅱ			2				5～6	TTTT2018a2	
K9190	社会地理歴史教科教育法			2			2	3～4	TTTT2019a2	
K9200	地理歴史教科教育法						2	5～6	TTTT2020a2	
K9210	社会公民教科教育法			2			2	3～4	TTTT2021a2	
K9220	公民教科教育法						2	5～6	TTTT2022a2	
K9230	教科教育法Ⅰ（福祉）						2	3～4	TTTT2023a2	
K9240	教科教育法Ⅱ（福祉）						2	5～6	TTTT2024a2	
K9250	道徳教育の理論と方法（中・養）	2						3～4	TTTT1025a2	
K9260	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2			2			5～6	TTTT1026a2	
K9270	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2			2			3～4	TTTT1027a2	
K9280	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2			2			3～4	TTTT1028a2	
K9300	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2			2			3～4	TTTT1029a2	
K9310	教育実習指導	1			1			5～6	TTTT2030a2	
K9320	教育実習Ⅰ	4				2（注3）	4	5～6	TTTT3031a2	
K9330	教育実習Ⅱ						2	5～6	TTTT3032a2	
K9340	教職実践演習（中・高）	2			2			7～8	TTTT3033a2	
教員職員免許取得のための必要最低単位数		37			29					

（注1）
- 中学一種免許は同一教科のⅠ～Ⅳの４科目８単位必修。
- 中学一種社会免許は、社会教科教育法Ⅰ・Ⅱ、社会地理歴史教科教育法、社会公民教科教育法の４科目８単位必修。

（注2）
- 高校一種免許は同一教科のⅠ～Ⅱの２科目４単位必修。
- 高校一種地理歴史免許は、社会地理歴史教科教育法、地理歴史教科教育法の２科目４単位必修。

• 高校一種公民免許は、社会公民教科教育法、公民教科教育法の 2 科目 4 単位必修。

(注3)　高校一種免許は教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱを選択必修。

(※1)　教育職員免許状を取得しようとするものは、p.172「中学校・高等学校教諭一種免許状の課程（文学部・社会学部)」を参照のこと。

(※2)　「教職に関する科目」（教育の基礎的理解に関する科目等）（「教科の指導法に関する科目」）の修得単位数は、教育職員免許状の取得のみに有効で、卒業に必要な単位には算入できない。
また各規程（教育実習参加についての要件）に定められている単位数にも算入できない。

(※3)　複数の免許を取得する場合は、それぞれの教科教育法を履修しなければならない。

(※4)　中高両方の免許を取得する場合は、「教育実習Ⅰ」を履修すること。高一種のみ取得する場合は、「教育実習Ⅱ」を履修すること。

(※5)　各教科教育法の履修方法
中一種を取得する場合……該当教科のⅠ～Ⅳ必修
高一種を取得する場合……該当教科のⅠ・Ⅱ必修
但し、英語・国語の高一種を取得する場合は、Ⅲ・Ⅳについても履修することが望ましい。
社会を取得する場合……「社会教科教育法Ⅰ・Ⅱ」「社会地理歴史教科教育法」「社会公民教科教育法」の 4 科目 8 単位必修
地理歴史を取得する場合……「社会地理歴史教科教育法」「地理歴史教科教育法」の 2 科目 4 単位必修
公民を取得する場合……「社会公民教科教育法」「公民教科教育法」の 2 科目 4 単位必修
福祉を取得する場合……希望する者は、教育実習は「公民」で行われる事が多いため、教科教育法については、「教科教育法Ⅰ・Ⅱ（福祉)」に加えて、「社会公民教科教育法」「公民教科教育法」を履修すること。
また「福祉」と「公民」両方の免許を取得することが望ましい。

●教職に関する科目（看護学部）（教育の基礎的理解に関する科目等）

※卒業要件の単位数には含まれません。

科目コード	科　目　名	単位数 養免 必修	単位数 養免 選択	配当セメスター	ナンバリングコード	備考
K9010	教職論	2		1～2	TTTN1001a2	
K9020	教育原論	2		1～2	TTTN1002a2	
K9030	教育心理学	2		1～2	TTTN1003a2	
K9040	教育制度論	2		5～6	TTTN1004a2	
K9050	特別支援教育	2		1～2	TTTN1005a2	
K9060	教育課程総論(中・高・養)	2		5～6	TTTN1006a2	
K9250	道徳教育の理論と方法(中・養)	2		3～4	TTTN1007a2	
K9260	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法(中高養)	2		5～6	TTTN1008a2	
K9270	教育方法・技術(情報通信技術の活用含む中高養)	2		3～4	TTTN2009a2	
K9290	生徒指導論(養)	2		3～4	TTTN1010a2	
K9300	教育相談の理論と方法(中・高・養)	2		3～4	TTTN1011a2	
K9350	教職実践演習(養護教諭)	2		7～8	TTTN3012a2	
教員職員免許取得のための必要最低単位数		24				

養護実習 5 単位は看護学科専門教育科目で充当する。教員免許状取得のための必要最低単位数は 29 単位とする。

●司書教諭の講習に関する科目

文学部・社会学部及び教育学部の学生で学校図書館司書教諭の資格を取得する場合は、「司書教諭の講習に関する科目」を修得する必要があります。

司書教諭の講習に関する科目

科目コード	科　目　名	単位数		配当セメスター	ナンバリングコード	備考
		必修	選択			
K9600	学校経営と学校図書館	2		7〜8	LLLL2001a2	
K9610	学校図書館メディアの構成	2		7〜8	LLLL2002a2	
K9620	学習指導と学校図書館	2		7〜8	LLLL2003a2	
K9630	読書と豊かな人間性	2		7〜8	LLLL2004a2	
K9640	情報メディアの活用	2		7〜8	LLLL2005a2	
学校図書館司書教諭講習の修了証書取得に必要な修得単位数		10				

学校図書館司書教諭講習の修了証書を取得しようとするものは、教職課程（対象となる免許は小一種・中一種・高一種）を履修した上に、さらに、学校図書館司書教諭講習規程による上表の科目 10 単位を履修しなければならない。

（p.241「司書教諭の講習に関する科目」参照）

上記の科目により修得した単位は、学校図書館司書教諭講習の修了証書の取得のみに有効で、卒業に必要な単位には算入できない。

●重ねて履修できない科目一覧表

※下記太枠内の科目は重ねて２科目以上履修できません。各自、所属学科の科目を履修すること。

大/短	科目コード	授業科目	種別・学科
大	K2175	アドバンストコミュニケーションⅠ	国コ
大	K5570	アドバンストコミュニケーションⅠ	教学
短	X0055	アドバンストコミュニケーション	教養
大	K2180	アドバンストコミュニケーションⅡ	国コ
大	K5575	アドバンストコミュニケーションⅡ	教学
大	K3445	カウンセリング方法論	社会
大	K4395	カウンセリング方法論	人福
大	K3440	カウンセリング理論	社会
大	K4390	カウンセリング理論	人福
大	K2040 K2045	ベーシックコミュニケーションⅠ・Ⅱ	国コ
大	K5550	ベーシックコミュニケーションⅠ	教学
大	K2050 K2055	ベーシックコミュニケーションⅢ・Ⅳ	国コ
大	K5555	ベーシックコミュニケーションⅡ	教学
大	K2060	Oral CommunicationⅠ	国コ
大	K5560	ベーシックコミュニケーションⅢ	教学
大	K2065	Oral CommunicationⅡ	国コ
大	K5565	ベーシックコミュニケーションⅣ	教学
大	K1635	異文化理解	日本
大	K2290	異文化理解	国コ
大	K3345	異文化コミュニケーション論	社会
大	K5640	Cross-cultural Communication	教学
大	K2240	英語音声学	国コ
大	K5505	英語音声学	教学
大	K2020	英文法Ⅰ	国コ
大	K5510	英文法Ⅰ	教学
大	K2245	英語学概説	国コ
大	K5500	英語学概説	教学
大	K2010	英語圏文化概説	国コ
大	K5580	英語圏文化概説	教学
大	K2235	英語文学概説	国コ
大	K5535	英語文学概説	教学
大	K2025	英文法Ⅱ	国コ
大	K5515	英文法Ⅱ	教学
大	K3170	家族社会学	社会
大	K4235	家族社会学	人福
大	K5305	子どもと家族・社会	教学
大	K5010	教育原論	教育
大	K9020	教育原論	教職
短	X1010	教育原理(制度的事項等を含む)	保育
大	K5025	教育心理学	教育
大	K9030	教育心理学	教職
大	K5030	教育制度論	教育
大	K9040	教育制度論	教職
大	K5020	教職論	教育
大	K9010	教職論	教職

大/短	科目コード	授業科目	種別・学科
大	K3375	国際ビジネス論	社会
大	K7280	国際ビジネス論	経営
大	K3310	地域社会学	社会
大	K4240	地域社会学	人福
大	K5015	特別支援教育	教育
大	K9050	特別支援教育	教職
短	X1020	特別支援教育	保育
大	K5470	保育内容の理論と方法(環境)	教学
大	K6155	保育内容の理論と方法(環境)	教幼
大	K5460	保育内容の理論と方法(健康)	教学
大	K6145	保育内容の理論と方法(健康)	教幼
大	K5475	保育内容の理論と方法(言葉)	教学
大	K6160	保育内容の理論と方法(言葉)	教幼
大	K5465	保育内容の理論と方法(人間関係)	教学
大	K6150	保育内容の理論と方法(人間関係)	教幼
大	K5480	保育内容の理論と方法(表現活動・音楽)	教学
大	K6165	保育内容の理論と方法(表現活動・音楽)	教幼
大	K5485	保育内容の理論と方法(表現活動・造形)	教学
大	K6170	保育内容の理論と方法(表現活動・造形)	教幼
大	K5490	保育内容総論	教学
大	K6175	保育内容総論	教幼
短	X1090	保育内容総論	保育
大	K5420	保育方法論	教学
大	K6105	保育方法論	教幼
大	K5440	幼児と環境	教学
大	K6125	幼児と環境	教幼
短	X108C	幼児と環境	保育
大	K5430	幼児と健康	教学
大	K6115	幼児と健康	教幼
短	X108A	幼児と健康	保育
大	K5435	幼児と人間関係	教学
大	K6120	幼児と人間関係	教幼
短	X108B	幼児と人間関係	保育
大	K5450	幼児と表現Ⅰ	教学
大	K6135	幼児と表現Ⅰ	教幼
大	K5455	幼児と表現Ⅱ	教学
大	K6140	幼児と表現Ⅱ	教幼
大	K5415	幼児教育課程総論	教学
大	K6100	幼児教育課程総論	教幼
短	X1025	幼児教育課程総論	保育
大	K5425	幼児理解(教育相談を含む)	教学
大	K6110	幼児理解(教育相談を含む)	教幼
大	K3435	臨床心理学	社会
大	K4375	臨床心理学	人福
大	K0520	地域活性化概論	教養
大	K7050	地域活性化総論	経営

大/短	科目コード	授業科目	種別・学科
大	K2250	英語学	国コ
大	K5525 K5530	英語学特論Ⅰ・Ⅱ	教学
大	K5035	教育課程総論(小・中・高・養)	教育
大	K9060	教育課程総論(中・高・養)	教職
大	K5040	道徳教育の理論と方法(小・中・養)	教育
大	K9250	道徳教育の理論と方法(中・養)	教職
大	K5045	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法(小中高養)	教育
大	K9260	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法(中高養)	教職
大	K5050	教育方法・技術(情報通信技術の活用含む幼小中高養)	教育
大	K9270	教育方法・技術(情報通信技術の活用含む中高養)	教職
大	K5055	生徒指導論(進路指導を含む)(小・中・高)	教育
大	K9280	生徒指導論(進路指導を含む)(中・高)	教職
大	K5060	教育相談の理論と方法(小・中・高・養)	教育
大	K9300	教育相談の理論と方法(中・高・養)	教職
大	K5075	教職実践演習(教諭)	教育
大	K9340	教職実践演習(中・高)	教職
大短	K0315 X0245	児童福祉論	教養
大	K4090	児童・家庭福祉	人福
大	K6185	子ども家庭福祉	教幼
短	X1050	子ども家庭福祉	保育
大短	K0140 K0145 X0130 X0135	心理学Ⅰ・Ⅱ	教養
大	K3385	心理学概論	社会
大短	K0235 X0165	法学入門	教養
大	K3220	法学(国際法を含む)	社会
大短	K0125 X0140	哲学入門	教養
大	K3245	哲学概論	社会
大	K7790	ビジネス実務概論	経企
短	X2040	ビジネス実務概論	ライフ
大	K7685	キャリア演習Ⅲ	経企
短	X2030	ビジネス文書	ライフ

大/短	科目コード	授業科目	種別・学科
大	K3240	マーケティング論	社会
大	K7030	マーケティング	経営
短	X2055	マーケティング論	ライフ
大	K3065	社会調査法	社会
大	K4080	社会福祉調査の基礎	人福
大短	K0325 X0255	障害者福祉	教養
大	K4095	障害者福祉	人福
大	K3370	国際経済論	社会
大	K4440	国際経済学	人福
大	K1760	情報文化論(メディアリテラシーを含む)	日本
大	K3290	メディア文化論	社会
大	K0525	地域活性化実践演習Ⅰ	教養
大	K7225	地域活性化演習Ⅰ	経営
大	K0530	地域活性化実践演習Ⅱ	教養
大	K7230	地域活性化演習Ⅱ	経営
大	K0535	地域活性化実践演習Ⅲ	教養
大	K7235	地域活性化演習Ⅲ	経営
大	K3465	産業組織心理学	社会
大	K7630	経営心理学	経企
大	K1060	旅行産業基礎	文学
大	K7290	旅行ビジネス論	経営
大	K2325	ホスピタリティ英語Ⅰ	国コ
大	K7855	ビジネス英語基礎	経企
大	K2330	ホスピタリティ英語Ⅱ	国コ
大	K7860	ビジネス英語応用	経企
大	K7015 K7005	商業簿記Ⅰ・Ⅱ	経営
短	X2070 X2075	簿記演習Ⅰ・Ⅱ	ライフ
大	K7790	ビジネス実務概論	経営
短	X2040	ビジネス実務概論	ライフ
大	K7685	キャリア演習Ⅲ	経営
短	X2030	ビジネス文書	ライフ

※社会学部人間福祉学科・教育学部・看護学部・短期大学部の専門教育科目は、他学部・他学科の学生が履修することはできない。

教職に関する科目の履修について

〈教育学科〉教育学科の学生で教免を希望する者は、教育学科で開設されている教科・教職科目を履修すること。
〈教育学科以外〉教免を希望する者は、「教職に関する科目」で開設されている科目を履修すること。

各種免許・資格

教育職員免許状（以下「教員免許状」という）取得のための
基礎資格と教育職員免許法上の最低修得単位数について … 168

本学で取得可能な教員免許状・資格等について …… 170
──取得可能な免許・資格等を一覧で示しています。

文　学　部

全学科	教職に関する科目	162
全学科	学校図書館司書教諭に関する科目	164、241
日本学科	中・高一種免許状（国語）	172 〜、178 〜
日本学科	高一種免許状（書道）	172 〜、180 〜
国際コミュニケーション学科	中・高一種免許状（英語）	172 〜、182 〜
日本学科	博物館学芸員	245
全学科	地域共創プログラム	254

社　会　学　部

社会学科	中一種免許状（社会）	172 〜、184 〜
社会学科	高一種免許状（地歴）	172 〜、186 〜
社会学科	高一種免許状（公民）	172 〜、188 〜
人間福祉学科	高一種免許状（公民）	172 〜、190 〜
人間福祉学科	高一種免許状（福祉）	172 〜、192 〜
人間福祉学科	社会福祉士国家試験受験資格	235
人間福祉学科	精神保健福祉士国家試験受験資格	238
全学科	社会福祉主事任用資格	242
全学科	日本語教員養成プログラム	244
社会学科	博物館学芸員	245
全学科	児童指導員任用資格	246
社会学科	社会調査士	247
社会学科	認定心理士	248
人間福祉学科	身体障害者福祉司任用資格	249
人間福祉学科	知的障害者福祉司任用資格	249
人間福祉学科	公認初級パラスポーツ指導員	250
人間福祉学科	児童福祉司任用資格	250
全学科	地域共創プログラム	254

教　育　学　部

全コース	学校図書館司書教諭に関する科目	164、242
学校教育コースで取得できる教員免許状の課程		194
幼児教育保育コースで取得できる教員免許状の課程		217
幼児教育保育コース	保育士	230
全コース	社会福祉主事任用資格	242
全コース	児童指導員任用資格	246

経　営　学　部

全専攻	社会福祉主事任用資格	242
全専攻	地域共創プログラム	254

看　護　学　部

看護学科	養護一種免許状	224
看護学科	看護師国家試験受験資格	251
看護学科	保健師国家試験受験資格	252
看護学科	助産師国家試験受験資格	253
看護学科	教職に関する科目	163

教員免許状取得のための基礎資格と教育職員免許法上の最低修得単位数について

【基礎資格】

学士の学位を有すること

【教育職員免許法上の最低修得単位数】

〈中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状〉

	教育職員免許法上の最低修得単位数				
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	28 単位	10 単位	10 単位	7 単位	4 単位
高等学校教諭一種免許状	24 単位	10 単位	8 単位	5 単位	12 単位

(合計：59 単位)

〈幼稚園教諭一種免許状〉

教育職員免許法上の最低修得単位数				
領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
16 単位	10 単位	4 単位	7 単位	14 単位

(合計：51 単位)

〈小学校教諭一種免許状〉

教育職員免許法上の最低修得単位数				
教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
30 単位	10 単位	10 単位	7 単位	2 単位

(合計：59 単位)

〈養護教諭一種免許状〉

教育職員免許法上の最低修得単位数				
養護に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
28 単位	8 単位	6 単位	7 単位	7 単位

(合計：56 単位)

【基礎資格】

学士の学位を有すること及び、幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれかの普通免許状を有すること。

〈特別支援学校教諭一種免許状〉

教育職員免許法上の最低修得単位数			
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育領域に関する科目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習
2 単位	16 単位	5 単位	3 単位

（合計：26 単位）

※上記修得単位数と別に、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（8 単位）の修得が必要となる。

教員免許状の申請について

教員免許状は、教育職員免許法に定められた単位を修得し、大学を卒業した学生が、各都道府県教育委員会に申請することにより授与されます。いずれの教育委員会から授与される教員免許状も全国共通で使用できます。

教員免許状の申請方法は、①一括申請と②個人申請があります。

①一括申請

本学が窓口となり、当該年度の教員免許状取得見込者を取りまとめて手続きを行う申請方法です。本学は、大阪府教育委員会に申請をしています。一括申請を行わなければ、卒業時に教員免許状を得ることはできません。

一括申請対象者は、以下の全ての項目を満たす学生です。

- 在学生で、申請年度 3 月の卒業見込者
- 本学が定めた申請期間内に手続きをした者
- 教育職員免許法第 5 条に定める所要資格及び本学が定める教員免許状取得に必要な最低修得単位数を修得した者

②個人申請

一括申請を行わなかった学生、一括申請の対象外となった学生及び卒業後に科目等履修生などで教員免許取得条件を満たした学生が、個人で行う申請方法です。個人申請は、居住地の都道府県教育委員会へ所定の手続きをもって申請します。都道府県ごとに申請方法、申請書類等が異なるため、各申請者において申請する教育委員会に問い合わせてください。

※卒業後、紛失等により教育職員免許状の再発行を希望する場合は、発行元の教育委員会に問い合わせてください。

本学で取得可能な免許・資格等について

●教育職員免許状

- 本学では、所定の授業科目を修得することにより、下表の●印・○印の免許状を取得することができます。（◇印の免許は、他学部履修による取得となります。）
- 履修にあたっては、免許ごとに要件等が定められていますので、注意してください。
- この表及び次ページの表はあわせて、複数免許状・資格の同時取得を保証するものではありません。

注意事項

1. ○印の免許状の取得は、各学科、コースの●印の教員免許状を取得することを前提として許可しています。
2. ○・◇印の免許状は 4 年間の在学中にその免許状取得要件を満たせるとは限りません。
3. （選抜）：定員があるため、選抜が行われます。

	学科・コース							
	日本	国コ	社会	人福	教学	教幼	経営	看護
中学校教諭一種免許状（国語）	●				◇※1 （選抜 10 人）			
高等学校教諭一種免許状（国語）	●							
高等学校教諭一種免許状（書道）	●							
中学校教諭一種免許状（英語）		●			●			
高等学校教諭一種免許状（英語）		●			●			
中学校教諭一種免許状（社会）			●		◇※1 （選抜 10 人）			
高等学校教諭一種免許状（地理歴史）			●					
高等学校教諭一種免許状（公民）			●	●				
高等学校教諭一種免許状（福祉）				●				
中学校教諭一種免許状（数学）					●			
高等学校教諭一種免許状（数学）					●			
中学校教諭一種免許状（理科）					●			
高等学校教諭一種免許状（理科）					●			
小学校教諭一種免許状					●	○		
幼稚園教諭一種免許状					○	●		
特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）					○※2			
養護教諭一種免許状					●			● （選抜 10 人）
養護教諭二種免許状								△※3

※ 1　小学校選修において、当該免許状と同時に小学校教諭一種免許状を取得することを前提として許可します。（他学部履修）
詳細は、学校教育コースの指導に従ってください。
また、年間の履修登録単位数に上限があるため、4 年間での取得を保証するものではありません。

※２　特別支援学校教諭一種免許状を取得するためには、基礎免許状が必要であり、当該免許と同時に小学校教諭一種免許状を取得することを前提として許可します。
※３　保健師免許状を取得したうえで、「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ」又は「情報処理演習Ⅱ」を修得している者は、申請により養護教諭二種免許状を取得できます。

●資格

- 本学では、所定の授業科目を履修することにより、下表の●印の資格を取得することができます。
- 履修にあたっては、資格ごとに要件等が定められていますので、注意してください。
- この表及び前ページの表はあわせて、複数免許状・資格の同時取得を保証するものではありません。

注意事項

1. （※）印の資格は、特定の免許状・資格を取得することが要件となります。
2. （選抜）：定員があるため、選抜が行われます。

	学科・コース							
	日本	国コ	社会	人福	教学	教幼	経営	看護
学校図書館司書教諭	●（※）	●（※）	●（※）	●（※）	●（※）	●（※）		
保育士資格						●		
社会福祉主事任用資格	●	●	●	●	●	●	●	●
社会福祉士国家試験受験資格				●				
精神保健福祉士国家試験受験資格				●（選抜20人）				
児童指導員任用資格	●（※）	●（※）	●	●	●	●		
日本語教員養成プログラム修了証明書	●	●						
地域共創プログラム修了証明書＊	●	●	●	●			●	
認定心理士			●					
社会調査士			●					
身体障害者福祉司任用資格				●（※）				
知的障害者福祉司任用資格				●（※）				
児童福祉司任用資格				●（※）				
公認初級パラスポーツ指導員				●				
第一種衛生管理者免許								●
博物館学芸員			●					
看護師国家試験受験資格								●
保健師国家試験受験資格								●（選抜15人）
助産師国家試験受験資格								●（選抜５人）

＊本学独自で発行する証明書です。

中学校・高等学校教諭一種免許状の課程
(文学部・社会学部)

●教育職員免許状を取得するために必要な要件

「教職に関する科目」の必要単位の修得 (「教育の基礎的理解に関する科目等」)	「教職に関する科目」は卒業に必要な単位に含まない (「教育の基礎的理解に関する科目等」)
「教科及び教科の指導法に関する科目」の必要単位の修得	「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む)」は卒業に必要な単位に含まない。
「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に定める科目※の修得	※「日本国憲法」 「スポーツⅠ・Ⅱ」 「英語Ⅰ・Ⅱ（国際コミュニケーション学科はベーシックコミュニケーションⅠ)」 「情報処理演習Ⅰ又はⅡ」
「介護等体験」への参加	高校の免許のみを取得する場合は、「介護等体験」参加は不要
免許や実習に関するガイダンスへの出席	
教育実習への参加	
教育職員免許状申請	
大学の卒業	

●学外実習に参加するための心得

学外実習は要件を満たしているからといって、それだけの理由で安易に行うべきものではありません。量・質ともに過密なスケジュールをこなしている学校の現場で多大な迷惑をかけながら、実習させていただくのです。教育実習を行うにあたっては、将来実際に教職につくことを強く希望しているということが、一番の要件になるということを強く自覚してください。

●文学部・社会学部　教育実習及び「介護等体験」の予定

1　学外実習については、学則による開講日だけでなく休業日にも実施します。

2　中学校教育職員免許状取得希望者は、「介護等体験」への参加が必要です。

1セメスター 入学後	教職課程履修等オリエンテーション、「履修カルテ」の作成、「介護等体験」についての説明
↓	
3セメスター 5月	教育実習申込み登録ガイダンス
↓	
3セメスター 5月～6月	実習希望校へ教育実習の内諾依頼（各自）
↓	
4セメスター 9月～	「介護等体験」事前研修（3回程度） 参加申込手続、参加費振込、レポート提出等
↓	
4セメスター 3月	実習希望校へ正式依頼書を提出（大学から実習希望校へ送付（予定））
↓	
5～6セメスター 5月～2月	**「介護等体験」**参加（社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間）
↓	
5セメスター 7月	教育実習事前ガイダンス（人権教育特別講義）
↓	
5セメスター 7月	実習先とのオリエンテーション
↓	
6セメスター 9月～10月	**教育実習参加** 中学校3週間、高等学校2週間
↓	
6セメスター 9月～10月	教育実習終了【実習記録等提出（終了後2週間以内）】

※オリエンテーション、ガイダンス、事前研修等を欠席した場合は、「介護等体験」・教育実習に参加できません。

●文学部・社会学部　「介護等体験」の参加要件

中学校教育職員免許状を取得するためには、教育実習とは別に、特別支援学校で 2 日間、社会福祉施設で 5 日間、計 7 日間の「介護等体験」を行うことが義務付けられています。

その目的は、介護などの経験を通じて学んだことを教育の現場に活かしていくことにあります。詳細については、「介護等体験」事前研修において説明します。

- 参加時期は、上記の予定を参照してください。
- 「介護等体験」には、次の参加要件を満たしていなければ参加できません。

① 4 セメスターを修了していること。

② 参加する前年度の夏学期までに、次のⒶⒷのとおり単位を修得していること。

Ⓐ

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
	和の精神Ⅱ	1 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 2 科目を含んで、46 単位以上		

Ⓑ

教職に関する科目	教職論	2 科目 4 単位以上
	教育原論	
	教育心理学	

③ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

- 体験先は大学から公的機関に依頼し決定します。他大学の学生と一緒に実習をする場合もあります。
- 体験参加申込金及び体験先への謝礼金が必要です。
- 体験先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。体験先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾患名等の健康情報を原則記載します。不都合があれば事前に保健センターに相談してください。
- 体験先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。
- 体験先（社会福祉施設）には腸内細菌検査結果を提出する必要があります。

●文学部・社会学部　「教科教育法」の履修要件

教員免許を取得するためには、取得しようとする教科の「教科教育法」の単位を修得する必要があります。各学科における「教科教育法」の履修要件は以下のとおりです。

文学部日本学科

- 「教科教育法Ⅰ（国語）」は、履修登録する前セメスターまでに以下①②の要件を満たしていなければ履修登録ができません。

① 次のとおり単位を修得していること。

日本学科専門教育科目	国語教育論 A	2 単位
	国語教育論 B	2 単位

② 累積 GPA が 2.5 以上であること。

文学部国際コミュニケーション学科

- 「教科教育法Ⅰ（英語）」は、履修登録する前セメスターまでに以下のいずれかの点数又は等級を取得していなければ履修登録ができません。

CASEC	600 点以上
実用英語技能検定	2 級以上
TOEIC L & R	550 点以上（IP 含む）

※「教科教育法Ⅰ（英語）」は開講学期開始前までに教務センター長宛に履修登録願書を提出する必要があります。

- 「教科教育法Ⅲ（英語）」は、履修登録する前セメスターまでに以下①②の要件を満たしていなければ履修登録ができません。

① 次のとおり単位を修得していること。

国際コミュニケーション学科専門教育科目	英語圏文化概説	14 単位以上
	異文化理解	
	英文法Ⅰ	
	英文法Ⅱ	
	ベーシックコミュニケーションⅢ	
	ベーシックコミュニケーションⅣ	
	Oral Communication Ⅰ	
	英語音声学	
	英語文学概説	
	英語学概説	

② 累積 GPA が 2.5 以上であること。

社会学部社会学科

「社会教科教育法Ⅰ」「社会地理歴史教科教育法」「社会公民教科教育法」は、履修登録する前セメスターまでに「社会科教育研究Ⅰ」を修得し、累積 GPA が 2.5 以上でなければ履修登録ができません。

社会学部人間福祉学科

- 「社会公民教科教育法」「教科教育法Ⅰ（福祉）」は、履修登録する前セメスターまでに以下①②の要件を満たしていなければ履修登録ができません。

① 次のとおり単位を修得していること。

教職に関する科目	教職論	3 科目 6 単位以上
	教育原論	
	教育心理学	
	特別支援教育	

② 累積 GPA が 2.5 以上であること。

●文学部・社会学部　「教育実習」の参加要件

「教職に関する科目」の中には、学外での教育実習が含まれます。

- 実習参加時期は、p.173 を参照してください。
- 「教育実習」は、以下①～⑪全ての要件を満たしていなければ履修登録ができません。

① 5 セメスターを修了していること。

② 「教育実習」を履修登録する前年度までに、次のⒶ～Ⓒのとおり単位を修得していること。

Ⓐ

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
	和の精神Ⅱ	1 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 2 科目を含んで、62 単位以上		

Ⓑ

教職に関する科目	教職論	3 科目 6 単位以上
	教育原論	
	教育心理学	
	特別支援教育	

③ 文学部日本学科で中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）の取得を希望する場合
「国語教育論 A」、「国語教育論 B」、「教科教育法Ⅰ（国語）」の 3 科目を修得していること。

④ 文学部国際コミュニケーション学科で中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）の取得を希望する場合
「教科教育法Ⅰ（英語）」及び「教科教育法Ⅲ（英語）」を修得していること。

⑤ 社会学部社会学科で中学校教諭一種教諭免許状（社会）の取得を希望する場合
「社会科教育研究Ⅰ」及び「社会教科教育法Ⅰ」を修得し、累積 GPA が 2.5 以上であること。

⑥ 社会学部社会学科で高等学校教諭一種免許状（地理歴史）の取得を希望する場合
「社会科教育研究Ⅰ」及び「社会地理歴史教科教育法」を修得し、累積 GPA が 2.5 以上であること。

⑦ 社会学部社会学科で高等学校教諭一種免許状（公民）の取得を希望する場合
「社会科教育研究Ⅰ」及び「社会公民教科教育法」を修得し、累積 GPA が 2.5 以上であること。

⑧ 社会学部人間福祉学科で高等学校教諭一種免許状（公民）の取得を希望する場合
「社会公民教科教育法」を修得し、累積 GPA が 2.5 以上であること。

⑨ 社会学部人間福祉学科で高等学校教諭一種免許状（福祉）の取得を希望する場合
「教科教育法Ⅰ（福祉）」を修得し、累積 GPA が 2.5 以上であること。

⑩ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

⑪ 「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

●文学部・社会学部　「履修カルテ」について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、8 セメスター時に開講される「教職実践演習（中・高)」の授業を受けるまでに、各自で 1 年次から「履修カルテ」を作成することが義務付けられています。「履修カルテ」とは、教職課程を履修する学生が、授業や学外活動等において、何を学んだのかを振り返り記録するとともに、今後どのような学習が必要かを考える手がかりにしてもらうためのものです。

それをもとに「教職実践演習（中・高)」では、教員として必要な資質能力がどの程度形成されたかを確認します。

「履修カルテ」が作成されていない場合や、「履修カルテ」に記入漏れがある場合、8 セメスター時に「教職実践演習（中・高)」を履修できないこともあります。

●文学部・社会学部　「履修カルテ」記入の仕方

入学後オリエンテーションにて説明を受け、UNIPASS で 3 項目について記入します。

⑴　教員志望理由と動機の記入　1 年次終了時
　はじめに教員を志望する理由と動機について記入（100 字程度)

⑵　教職関連科目の履修状況の記入　2 セメ、4 セメ、6 セメ終了時
　履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教職に関する科目」（「教育の基礎的理解に関する科目等」）について振り返り、「履修カルテ」の項目ごとに自己評価を記入

⑶　「介護等体験」や教育実習の状況の記入
　「介護等体験」や教育実習を通じて学んだこと等を記入（100 字程度)

※ UNIPASS での「履修カルテ」の記入は、指定された文字数内・時間内（30 分）で各自入力し、終了時に「↻」をクリックしてください。
（文字数を越えた場合、時間を過ぎた場合や「↻」をクリックしていない場合は更新できません)

中学校・高等学校教諭一種免許状【国語】
(日本学科)

①「教職に関する科目」対応表

(「教育の基礎的理解に関する科目等」)

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位				配当年次				備　考
			中	高							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2	2					○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（中・養）	2	—				○			中学免許のみ
	• 総合的な学習の時間の指導法[*1] • 総合的な探究の時間の指導法[*2] • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2	2				○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1	1					○		中学免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰの2科目を必修とする。 高校免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか1科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ	4		2	4			○		
		教育実習Ⅱ	—			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	2						○	
最低修得単位数合計			29	25（必23、選必2）							

＊1　中学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な学習の時間の指導法」となる。
＊2　高等学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

履修の際の注意事項
1. 中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
3. 高等学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」のいずれか1科目を選択必修とする。
4. 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
5. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位/履修区分			配当年次				備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		中 必修	高 必修	中高 選択	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	日本語史			2		○			
			日本語学Ⅰ	2	2		○				
			日本語学Ⅱ	2	2		○				
			日本語文法Ⅰ（現代）	2	2			○			
			日本語文法Ⅱ（古典）	2	2			○			
			講読Ⅰ（日本語学）			2		○			
			国語教材研究論Ⅰ（近現代）			2			○		
		国文学（国文学史を含む。）	日本文学論Ⅰ（近現代）			2		○			
			日本文学論Ⅱ（古典）	2	2			○			
			日本文学史Ⅰ（近現代）	2	2		○				
			日本文学史Ⅱ（古典）	2	2		○				
			古典Ⅰ（日本）	2	2		○				
			講読Ⅱ（近現代文学）			2		○			
			講読Ⅲ（古典文学）			2		○			
			国語教材研究論Ⅱ（古典）			2			○		
		漢文学	古典Ⅱ（中国）	2	2		○				
			漢文学	2	2			○			
			国語教材研究論Ⅲ（漢文）			2			○		
		書道（書写を中心とする。）	書道Ａ	2	－		○				中学免許のみ必修
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		教科教育法Ⅰ（国語） ※	2	2			○			中学免許はⅠ～Ⅳ必修、高校免許はⅠ～Ⅱ必修
			教科教育法Ⅱ（国語）	2	2				○		
			教科教育法Ⅲ（国語）	2	－				○		
			教科教育法Ⅳ（国語）	2	－				○		
中学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				30（必30）							
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必24、選10）							
中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する場合の最低修得単位数			中学校教諭一種免許状取得最低修得単位数	30（必30）							
			高等学校教諭一種免許状取得最低修得単位数	32（必24、選8）							

※　履修要件があります。（P.174 参照）

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

高等学校教諭一種免許状【書道】
(日本学科)

①「教職に関する科目」対応表

(「教育の基礎的理解に関する科目等」)

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位			配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2					○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 総合的な探究の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2				○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1					○		高校免許は当該教科の教育実習指導及び、教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか１科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ		2	4			○		
		教育実習Ⅱ			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2						○	
最低修得単位数合計			25（必23、選必2）							

履修の際の注意事項
1. 当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか１科目を選択必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状（国語）と同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の２科目を必修とする。
3.「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、１年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
4. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位/履修区分		配当年次				備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道（書写を含む。）	書道Ａ	2		○				
			書道Ｂ	2		○				
			書道Ｃ	2			○			
			書道Ｄ	2			○			
		書道史	書道史Ⅰ	2				○		
			書道史Ⅱ		2			○		
		「書論、鑑賞」	書論・鑑賞Ⅰ	2				○		
			書論・鑑賞Ⅱ		2			○		
		「国文学、漢文学」	日本文学論Ⅰ（近現代）		2		○			
			日本文学論Ⅱ（古典）		2		○			
			日本文学史Ⅰ（近現代）	2		○				
			日本文学史Ⅱ（古典）	2		○				
			古典Ⅰ（日本）	2		○				
			古典Ⅱ（中国）	2		○				
			講読Ⅱ（近現代文学）		2		○			
			講読Ⅲ（古典文学）		2		○			
			漢文学		2		○			
			国語教材研究論Ⅱ（古典）		2			○		
			国語教材研究論Ⅲ（漢文）		2			○		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		教科教育法Ⅰ（書道）	2				○		
			教科教育法Ⅱ（書道）	2				○		
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必24、選10）						
中学校教諭・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する場合の最低修得単位数				32（必24、選8）						

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				Ⅰ かⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

中学校・高等学校教諭一種免許状【英語】
（国際コミュニケーション学科）

①「教職に関する科目」対応表

（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位				配当年次				備　考
			中	高							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2	2					○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（中・養）	2	—				○			中学免許のみ
	• 総合的な学習の時間の指導法*1 • 総合的な探究の時間の指導法*2 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2	2				○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1	1					○		中学免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰの2科目を必修とする。 高校免許は当該教科の教育実習指導及び、教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか1科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ	4		2	4			○		
		教育実習Ⅱ	—			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習(中･高)	2	2						○	
最低修得単位数合計			29	25（必23、選必2）							

＊1　中学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な学習の時間の指導法」となる。
＊2　高等学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

履修の際の注意事項
1. 中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
3. 高等学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか1科目を選択必修とする。
4. 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
5. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位/履修区分			配当年次				備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		中	高	中高					
				必修	必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概説	2	2			○			
			英語音声学			2	○				
			英文法Ⅰ			2	○				
			英文法Ⅱ			2	○				
			英語学			2		○			
			Reading（Language）			2			○		
		英語文学	英語文学概説	2	2		○				
			Reading（Literature）			2		○			
		英語コミュニケーション	ベーシックコミュニケーションⅠ	2	2		○				
			ベーシックコミュニケーションⅡ	2	2		○				
			ベーシックコミュニケーションⅢ			2	○				
			ベーシックコミュニケーションⅣ			2	○				
			アドバンストコミュニケーションⅠ			2			○		
			アドバンストコミュニケーションⅡ			2			○		
		異文化理解	英語圏文化概説	2	2		○				
			Reading（Culture）			2		○			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		教科教育法Ⅰ（英語） ※	2	2			○			中学免許はⅠ～Ⅳ必修 高校免許はⅠ～Ⅱ必修
			教科教育法Ⅱ（英語）	2	2				○		
			教科教育法Ⅲ（英語）	2	—			○			
			教科教育法Ⅳ（英語）	2	—				○		
中学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				30 (必18、選12)							
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34 (必14、選20)							
中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する場合の最低修得単位数			中学校教諭一種免許状取得最低修得単位数	30 (必18、選12)							
			高等学校教諭一種免許状取得最低修得単位数	32 (必14、選18)							

※　履修要件があります。(P.175 参照)

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計2単位もしくは体育講義※の2単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	ベーシックコミュニケーションⅠ	2			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8 (必4、選必4)							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

中学校教諭一種免許状【社会】
（社会学科）

①「教職に関する科目」対応表

（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2			○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（中・養）	2		○			
	• 総合的な学習の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2			○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2		○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2		○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2		○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1			○		該当教科の実習指導について必修 中学免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰの２科目が必修
		教育実習Ⅰ	4			○		
		教育実習Ⅱ	—					
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2				○	
最低修得単位数合計			29					

履修の際の注意事項

1. 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）（公民）と同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の２科目を必修とする。
2. 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、１年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
3. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位/履修区分		配当年次				備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	入門歴史学	2		○				
			日本史概説Ⅰ		2	○				
			日本史概説Ⅱ		2	○				
			日本史研究Ⅰ		2		○			
			日本史研究Ⅱ		2		○			
			日本思想史		2	○				
			西洋史	2			○			
			アジア史	2			○			
			中国史	2			○			
			歴史学特論（日本史）		2			○		
			歴史学特論（外国史）		2			○		
			史料講読		2			○		
		地理学（地誌を含む。）	人文地理学	2				○		
			自然地理学	2				○		
			地理学特論		2			○		
			地誌	2				○		
		「法律学、政治学」	法学（国際法を含む）	2		○				
			国際政治論		2			○		
		「社会学、経済学」	社会学概論		2	○				
			社会学理論Ⅰ	2		○				
			社会学理論Ⅱ		2			○		
			ジェンダー論		2			○		
			産業社会学		2		○			
			家族社会学		2		○			
			現代社会論		2		○			
			社会調査法		2	○				
			マス・メディア論		2	○				
			社会意識論		2		○			
			社会病理学		2	○				
			国際社会学		2			○		
			経済学	2		○				
			国際経済論		2		○			
		「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2		○				
			宗教学	2			○			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		社会教科教育法Ⅰ ※	2			○			
			社会教科教育法Ⅱ	2				○		
			社会地理歴史教科教育法 ※	2			○			
			社会公民教科教育法 ※	2			○			
中学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				32（必32）						

※　履修要件があります。（P.175 参照）

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

高等学校教諭一種免許状【地理歴史】
（社会学科）

①「教職に関する科目」対応表

（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位			配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2					○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 総合的な探究の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2				○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1					○		高校免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか1科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ		2	4			○		
		教育実習Ⅱ			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2						○	
最低修得単位数合計			25（必23、選2）							

履修の際の注意事項

1. 当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか1科目を選択必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状（社会）と同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
3. 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
4. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分		配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概説Ⅰ	2		○				
			日本史概説Ⅱ	2		○				
			日本史研究Ⅰ		2		○			
			日本史研究Ⅱ		2		○			
			日本文化史Ⅰ		2		○			日本学科※1
			日本文化史Ⅱ		2		○			日本学科※1
			日本思想史	2		○				
			歴史学特論（日本史）		2			○		
			史料講読		2			○		
		外国史	西洋史	2			○			
			英国史		2			○		国際コミュニケーション学科 ※1
			米国史		2			○		国際コミュニケーション学科 ※1
			アジア史	2			○			
			中国史	2			○			
			歴史学特論（外国史）		2			○		
		人文地理学・自然地理学	人文地理学	2				○		
			自然地理学	2				○		
			地理学特論		2			○		
		地誌	地誌	2				○		
			地域史研究	2				○		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		社会地理歴史教科教育法　※2	2			○			
			地理歴史教科教育法　※2	2				○		
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必24、選10）						
中学校教諭・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する場合の最低修得単位数				32（必24、選8）						

※1　「日本学科」「国際コミュニケーション学科」に開設の科目は、他学部他学科履修として、修得すること。
※2　履修要件があります。（P.175 参照）

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

高等学校教諭一種免許状【公民】
（社会学科）

①「教職に関する科目」対応表

（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位			配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2					○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 総合的な探究の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2				○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1					○		※ 該当教科の実習指導について必修 高校免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか１科目を選択必修
		教育実習Ⅰ		2	4			○		
		教育実習Ⅱ			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2						○	
最低修得単位数合計			25（必23、選必2）							

履修の際の注意事項

1. 当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか１科目を選択必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状（社会）と同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の２科目を必修とする。
3. 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、１年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
4. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分		配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学（国際法を含む）	2		○				
			国際政治論		2			○		
		「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論		2	○				
			現代社会論		2		○			
			社会学理論Ⅰ	2		○				
			社会学理論Ⅱ		2			○		
			ジェンダー論		2			○		
			産業社会学		2		○			
			家族社会学		2		○			
			社会調査法		2	○				
			マス・メディア論		2	○				
			社会意識論		2		○			
			社会病理学		2	○				
			国際社会学		2			○		
			経済学	2		○				
			国際経済論		2		○			
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	入門心理学		2	○				
			社会心理学	2			○			
			臨床心理学		2		○			
			コミュニティ心理学		2			○		
			哲学概論	2		○				
			宗教学	2			○			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		社会公民教科教育法　※	2			○			
			公民教科教育法　※	2				○		
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必16、選18）						
中学校教諭・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する場合の最低修得単位数				32（必16、選16）						

※　履修要件があります。（P.175 参照）

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

高等学校教諭一種免許状【公民】
（人間福祉学科）

①「教職に関する科目」対応表

（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2			○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 総合的な探究の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2			○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2		○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2		○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2		○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1			○		該当教科の実習指導について必修
		教育実習Ⅱ	2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2				○	
最低修得単位数合計			25					

履修の際の注意事項
1.「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、1 年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
2. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分		配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学（国際法を含む）	2		○				社会学科で開設※1
			政治学	2		○				教養教育科目開設
			権利擁護を支える法制度		2			○		
			刑事司法と福祉		2			○		
		「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会と人間		2	○				
			社会学と社会システム	2		○				
			家族社会学		2	○				
			地域社会学		2		○			
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2		○			
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2		○			
			社会保障Ⅱ		2			○		
			貧困に対する支援		2		○			
			経済学入門	2			○			
			国際経済学		2			○		
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	心理学と心理的支援	2		○				
			臨床心理学	2	2	○				「臨床心理学」「福祉心理学」「カウンセリング理論」の中から 1 科目を必ず修得すること
			福祉心理学		2		○			
			カウンセリング理論		2		○			
			カウンセリング方法論		2			○		
			「いのち」の権利論（生命倫理と遺伝）		2			○		
			ターミナルケア論		2			○		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		社会公民教科教育法　※ 2	2			○			
			公民教科教育法	2				○		
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必16、選18）						

※ 1　「社会学科」に開設の科目は、他学部他学科履修として修得すること。
※ 2　履修要件があります。

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

高等学校教諭一種免許状【福祉】
（人間福祉学科）

①「教職に関する科目」対応表

（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位		配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2				○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2		○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2				○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 総合的な探究の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2				○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2			○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（中・高）	2			○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2			○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1				○		該当教科の実習指導について必修
		教育実習Ⅱ	2				○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2					○	
最低修得単位数合計			25						

履修の際の注意事項
1. 教科教育法については、「教科教育法Ⅰ（福祉）」「教科教育法Ⅱ（福祉）」が必修であるが、教育実習は「公民」で行われることが多いため、「社会公民教科教育法」「公民教科教育法」の単位を併せて修得すること。
2. 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
3. 教育実習参加要件に注意して履修すること。（P.176 参照）

②「教科及び教科の指導法に関する科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分		配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	社会福祉学（職業指導を含む。）	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2		○				
			福祉法学		2	○				
			社会保障Ⅰ		2			○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2		○				
		高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉	高齢者福祉	2			○			
			高齢者支援と福祉		2		○			
			児童・家庭福祉	2			○			
			児童・家庭支援と福祉		2		○			
			障害者福祉	2			○			
			障害者支援と福祉		2		○			
		社会福祉援助技術	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2		○				
			ソーシャルワーク演習Ⅱ	2			○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2			○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2			○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		2			○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		2			○		
		介護理論・介護技術	介護福祉	2			○			
			介護演習	2			○			
		社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	ソーシャルワーク実習指導 A	2			○			
			ソーシャルワーク実習指導 B	2			○			
			社会福祉調査の基礎		2			○		
		人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解	人体・生活の研究	2				○		
		加齢に関する理解・障害に関する理解	加齢・障害の研究	2				○		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		教科教育法Ⅰ（福祉）（※）	2			○			
			教科教育法Ⅱ（福祉）	2				○		
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必34）						

※　履修要件があります。（P.175 参照）

③「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」対応表

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				Ⅰ かⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

教育学部教育学科　学校教育コースで取得できる教育職員免許状の課程

●教育職員免許状を取得するために必要な要件

要　　件	小学校教諭	特別支援学校教諭※2	幼稚園教諭※3	中高教諭 (数学) (英語) (理科)	養護教諭
「教職に関する科目」の必要単位の修得	○		○	○	○
「養護に関する科目」の必要単位の修得					○
「教科及び教科の指導法に関する科目」の必要単位の修得	○			○	
「教科に関する科目」(領域及び保育内容の指導法に関する科目)の必要単位の修得			○		
「特別支援教育に関する科目」の必要単位の修得		○			
「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に定められている科目※1 の修得	○		○	○	○
「介護等体験」への参加	○			○	
インターンシップⅠ・Ⅱの参加	○			○	○
インターンシップⅢの参加		○			
免許や実習に関するガイダンスへの出席	○	○	○	○	○
養護実習又は教育実習への参加	○	○	○	○	○
教育職員免許状申請	○	○	○	○	○
大学の卒業	○	○	○	○	○

※1　どの教員免許を取得する場合も「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ又はⅡ」の 6 科目を修得すること。
※2　小学校教諭一種免許状を取得することが必須要件となります。
※3　小学校教諭一種免許状の取得を前提として許可しています。

●学外実習に参加するための心得

学外実習は要件を満たしているからといって、それだけの理由で安易に行うべきものではありません。量・質ともに過密なスケジュールをこなしている学校の現場で多大な迷惑をかけながら、実習させていただくのです。教育実習を行うにあたっては、将来実際に教職につくことを強く希望しているということが、一番の要件になるということを強く自覚してください。

●教育学科〔学校教育コース対象〕インターンシップ・教育実習・養護実習・臨床実習・「介護等体験」の予定

1　学外実習については、学則による開講日だけでなく休業日にも実施します。

2　小学校又は中学校教育職員免許状を取得するためには、「介護等体験」への参加が必要です。

1セメスター 入学直後	教職課程履修等オリエンテーション、「履修カルテ」の作成、「介護等体験」についての説明
↓	
2セメスター 9月下旬～	「介護等体験」事前研修（4回程度） 参加申し込み手続き、参加費振込、レポート提出等
↓	
2セメスター 12月～1月	「インターンシップⅠ・Ⅱ」「教育実習」ガイダンス 参加申し込み手続き
↓	
3セメスター 4月	「インターンシップⅠ」事前指導、事前訪問 「教育実習」事前ガイダンス（英語・数学・理科・特支・養護）
↓	
3セメスター 5月～7月	**「インターンシップⅠ」参加**
↓	
3～4セメスター 5月～2月	**「介護等体験」参加**、社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間
↓	
3セメスター 7月	「インターンシップⅠ」実習継続判断（一次）
↓	
4セメスター 9月	「インターンシップⅠ」報告会 「教育実習」事前ガイダンス（小学校）
↓	
4セメスター 9月～3月	**「インターンシップⅡ」参加**
↓	
4セメスター 1月	「インターンシップⅡ」実習継続判断（二次） 「教育実習」事前ガイダンス
↓	
5セメスター 4月	「教育実習」事前指導（人権教育特別講義）
↓	
5セメスター 5月～7月	**「インターンシップⅢ」参加** 「教育実習（特支）」参加者：履修しなければなりません 「教育実習（小学校・英語・数学・理科・養護）」参加者：選択
↓	
5セメスター 6月	**「教育実習（小学校）」参加**　（20日間） **「教育実習Ⅰ又はⅡ（英語･数学･理科のみ免許取得希望者）」参加**　（15日間） **「養護実習（養護教諭免許のみ取得希望者）」参加**　（15日間）
↓	
5セメスター 7月	「教育実習（小学校）」実習日誌等提出 **「教育実習Ⅰ又はⅡ（英語･数学･理科のみ免許取得希望者）」参加**　（15日間） **「養護実習（養護教諭免許のみ取得希望者）」参加**　（15日間）
↓	
6セメスター 9月	「臨床看護学演習」（臨床実習）履修、臨床実習の事前ガイダンス
↓	
6セメスター 9月～10月	**「教育実習Ⅰ又はⅡ（英語・数学・理科）」参加**　（15日間） **「養護実習」参加**　（15日間） **「教育実習（特支）」参加**　（10日間）
↓	
6セメスター 10月	「教育実習Ⅰ又はⅡ（英語・数学・理科）」「養護実習」「教育実習（特支）」実習日誌等提出
↓	
6セメスター 2月～3月	**「臨床実習」参加**　（1週間）

※オリエンテーション、ガイダンス、事前研修等を欠席した場合は、「介護等体験」・養護実習・教育実習に参加できません。

●教育学部 「インターンシップⅠ」参加の要件〔学校教育コース対象〕

- 「インターンシップⅠ」は履修登録時に以下の要件を満たさないと履修登録ができません。
  前年度の年度 GPA が 1.25 以上であること。

●教育学部 「介護等体験」の参加要件

小学校又は中学校教育職員免許状を取得するためには、教育実習とは別に、特別支援学校で 2 日間、社会福祉施設で 5 日間、計 7 日間の「介護等体験」を行うことが義務付けられています。

その目的は、介護などの経験を通じて学んだことを教育の現場に活かしていくことにあります。詳細については、「介護等体験」事前研修において説明します。

- 「介護等体験」には、次の参加要件を満たさなければ参加できません。
  ① 2 セメスターを修了していること。
  ② 参加する前年度の夏学期までに、次の科目を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 1 科目を含んで、15 単位以上		

  ③ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。
- 体験先は大学から公的機関に依頼し決定します。他大学の学生と一緒に実習をする場合もあります。
- 体験参加申込金及び体験先への謝礼金が必要です。
- 体験先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。体験先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾患名等の健康情報を原則記載します。不都合等あれば事前に保健センターに相談してください。
- 体験先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。
- 体験先（社会福祉施設）には腸内細菌検査結果を提出する必要があります。

＊この要件は、科目等履修生にも適用されます。

●教育学部　教育実習参加の要件〔学校教育コース対象〕

「教職に関する科目」及び「特別支援教育に関する科目」の中には、学外での教育実習が含まれます。

- 教育実習には、参加する前セメスターまでに以下の参加要件を満たさないと参加できません。
- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。

＊この要件は、科目等履修生にも適用されます。

教育実習〈小学校教諭一種免許状〉

① 4 セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
	和の精神Ⅱ	1 単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2 科目 4 単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）	1 科目 2 単位以上
	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	
	インターンシップⅠ	2 単位
	インターンシップⅡ	1 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 7 科目を含んで、50 単位以上		

③「介護等体験」を修了していること。

④「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

⑤ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

教育実習　〈幼稚園教諭一種免許状〉

① 4 セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
	和の精神Ⅱ	1 単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2 科目 4 単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	幼児教育課程総論	4 科目 8 単位以上
	保育内容の理論と方法（健康）	
	保育内容の理論と方法（人間関係）	
	保育内容の理論と方法（環境）	
	保育内容の理論と方法（言葉）	
卒業に必要となる修得単位数が上記 8 科目を含んで、50 単位以上		

③「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

④ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

教育実習（特支）〈特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）〉

① 4セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科専門教育科目	教職論	2科目4単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	特別支援教育概論	2単位
	知的障害者の心理・生理・病理	2単位
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2単位
	知的障害教育論	2単位
卒業に必要となる修得単位数が上記8科目を含んで、50単位以上		

③「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

④ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

教育実習Ⅰ（英語）又は教育実習Ⅱ（英語）〈中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）〉

① 4セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科専門教育科目	教職論	2科目4単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	中等英語科教育法Ⅰ	2単位
	中等英語科教育法Ⅱ	2単位
	英語学概説	2単位
	ベーシックコミュニケーションⅠ	2単位
	ベーシックコミュニケーションⅡ	2単位
	インターンシップⅠ	2単位
	インターンシップⅡ	1単位
卒業に必要となる修得単位数が上記11科目を含んで、50単位以上		

③ 中学校教諭一種免許状の取得を希望する場合は、「介護等体験」を修了していること。

④「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

⑤ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

教育実習Ⅰ（数学）又は教育実習Ⅱ（数学）〈中学校・高等学校教諭一種免許状（数学）〉

① 4セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2科目4単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	数学的リテラシー	2単位
	子どもの発達と算数・数学	2単位
	中等数学科教育法Ⅰ	2単位
	中等数学科教育法Ⅱ	2単位
	インターンシップⅠ	2単位
	インターンシップⅡ	1単位
卒業に必要となる修得単位数が上記10科目を含んで、50単位以上		

③ 中学校教諭一種免許状の取得を希望する場合は、「介護等体験」を修了していること。

④「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

⑤ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

教育実習Ⅰ（理科）又は教育実習Ⅱ（理科）〈中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）〉

① 4セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2科目4単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	物理学Ⅰ	1科目2単位以上
	化学Ⅰ	
	生物学Ⅰ	
	地学Ⅰ	
	物理学実験	1科目1単位以上
	化学実験	
	生物学実験	
	地学実験	
	中等理科教育法Ⅰ	2単位
	中等理科教育法Ⅱ	2単位
	インターンシップⅠ	2単位
	インターンシップⅡ	1単位
卒業に必要となる修得単位数が上記10科目を含んで、50単位以上		

③中学校教諭一種免許状の取得を希望する場合は、「介護等体験」を修了していること。

④「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

⑤ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

養護実習　〈養護教諭一種免許状〉

① 4 セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
	和の精神Ⅱ	1 単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2 科目 4 単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	インターンシップⅠ	2 単位
	インターンシップⅡ	1 単位
	養護概説	2 単位
	学校看護学Ⅰ（基礎）	2 単位
	学校看護学Ⅱ（疾病Ⅰ）	2 単位
	学校看護学Ⅲ（疾病Ⅱ）	2 単位
	学校救急処置	2 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 11 科目を含んで、50 単位以上		

③「養護実習指導」担当教員の許可を得ていること。

④ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

●臨床実習参加の要件

「養護に関する科目」の中には、学外実習である「臨床実習」を含む「臨床看護学演習」があります。

- 臨床実習には、下記の参加要件を満たさないと参加できません。

① 5 セメスターを修了していること。

② 参加するセメスターの前セメスターまでに、次の科目の単位を修得していること。

専門教育科目	養護概説	2 単位
	解剖生理学	2 単位
	学校看護学Ⅰ（基礎）	2 単位
	学校看護学Ⅱ（疾病Ⅰ）	2 単位
	学校看護学Ⅲ（疾病Ⅱ）	2 単位
	学校救急処置	2 単位
合　計		12 単位

③「臨床看護学演習」担当教員の許可を得ていること。

- 科目「臨床看護学演習」を履修すること。

「臨床看護学演習」は、「臨床実習」の事前事後の指導を含みます。出席不良や、授業態度が教育者としてふさわしくないと見なされた場合は実習に参加できません。

- 授業以外に行われる実習参加ガイダンス等には、特別な事由がない限り、すべて出席しなければなりません。
- 教育者をめざすものとしてふさわしい礼儀や身なりなどの社会常識を身につけたうえで、自分の健康や時間厳守などの自己管理ができていること。なお、社会常識が著しく逸脱していると見なされたものは参加できません。
- 実習先は大学が決定します。
- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。実習先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾病名等の健康情報を原則記載します。
- 別途定められた感染症の検査を行う必要があります。大学の指示に従うこと。
- 実習先には腸内細菌検査結果を提出する必要があります。

＊この要件は、科目等履修生にも適用されます。

●教職に関する科目（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

【教育学科】小学校教諭一種免許状

〈学校教育コース〉〈幼児教育保育コース〉

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				配当年次			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	○				○			
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	○					○		
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○				○	
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	○				○			
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○				○			
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（小・中・高・養）	2			○				○	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（小・中・養）	2		○						○
	• 総合的な学習の時間の指導法 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）	2			○					○
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	2		○					○	
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）	2		○						○
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	2		○					○	
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1			○				○	
		教育実習　※1	4			○				○	
	• 教職実践演習	教職実践演習（教諭）　※2	2				○				○
最低修得単位数合計			29								

※1 「教育実習」は前述の参加要件（⇒ p.197）を満たさなければ参加できない。
※2 「教職実践演習（教諭）」を履修するためには 1 年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。

●教科及び教科の指導法に関する科目

【教育学科】小学校教諭一種免許状

〈学校教育コース〉〈幼児教育保育コース〉

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				配当年次			
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	教科内容論（国語）	2	○					○		
		社会	教科内容論（社会）	2	○					○		
		算数	教科内容論（算数）	2	○					○		
		理科	教科内容論（理科）	2		○					○	
		生活	教科内容論（生活）	2			○			○		
		音楽	教科内容論（音楽）	2		○					○	
		図画工作	教科内容論（図画工作）	2			○				○	
		家庭	教科内容論（家庭）	2			○					○
		体育	教科内容論（体育）	2		○				○		
		外国語	教科内容論（英語）	2		○					○	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	1	○					○		
		社会	初等社会科教育法	1		○					○	
		算数	初等算数科教育法	1		○					○	
		理科	初等理科教育法	1		○					○	
		生活	初等生活科教育法	1			○				○	
		音楽	初等音楽科教育法	1			○					○
		図画工作	初等図画工作科教育法	1				○				○
		家庭	初等家庭科教育法	1			○					○
		体育	初等体育科教育法	1		○					○	
		外国語	初等英語科教育法	1		○					○	
最低修得単位数合計				30								

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8 (必4、選必4)							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●特別支援教育に関する科目

【教育学科】特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）

免許法施行規則に定める科目区分		必要な最低修得単位数	本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				備考
				必修	1年	2年	3年	4年	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育概論	2		○			
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害者の心理・生理・病理	2		○			
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2		○			
			病弱者の心理・生理・病理	2		○			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害教育論	2		○			
			肢体不自由教育論	2			○		
			病弱教育論	2			○		
			障害者指導法	2			○		
	• 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 • 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		障害者教育探究	2				○	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	• 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 • 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5	視覚障害教育総論	2			○		
			聴覚障害教育総論	2			○		
			重複・発達障害教育総論	2			○		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	教育実習指導（特支）	1			○		
			教育実習（特支）	2			○		
計		26	最低修得単位数合計	27					

（注）特別支援学校教諭一種免許状を取得するには必ず小学校教諭一種免許状を同時に取得すること。
（注）「教育実習（特支）」は前述の参加要件（⇒ p.227）を満たさなければ参加できない。

●教職に関する科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

【教育学科】　中学校・高等学校教諭一種免許状＜英語＞

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位				配当年次				備　考
			中	高							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（小・中・高・養）	2	2					○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（小・中・養）	2	−				○			中学免許のみ
	• 総合的な学習の時間の指導法*1 • 総合的な探究の時間の指導法*2 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）	2	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	2	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）	2	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	2	2				○			
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導（英語）	1	1					○		中学免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰの2科目を必修とする。高校免許は当該教科の教育実習指導及び、教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか1科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ（英語）	4		2	4			○		
		教育実習Ⅱ（英語）	−			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（教諭）	2	2						○	
最低修得単位数合計			29	25（必23、選必2）							

＊1　中学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な学習の時間の指導法」となる。
＊2　高等学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

履修の際の注意事項
1. 中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
3. 高等学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか1科目を選択必修とする。
4. 複数教科の免許状を取得する者は、当該教科全ての教科教育法の単位を修得すること。
5. 「教職実践演習（教諭）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
6. 「教育実習」を履修するためには、教育実習参加の要件（p.228）を満たさなければならない。
7. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、教育実習に参加する前年度までに「介護等体験」を修了していること。

●教科及び教科の指導法に関する科目

【教育学科】　中学校・高等学校教諭一種免許状＜英語＞

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位/履修区分			配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		中	高	中/高	1年	2年	3年	4年	
				必修	必修	選択					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概説	2	2			○			
			英語音声学			2	○				
			英文法Ⅰ			2			○		
			英文法Ⅱ			2			○		
			第二言語習得論			2				○	
			英語学特論Ⅰ（認知言語学）			2		○			
			英語学特論Ⅱ（英語教授法）			2		○			
		英語文学	英語文学概説	2	2				○		
			英語文学Ⅰ（英文学）			2			○		
			英語文学Ⅱ（米文学）			2				○	
		英語コミュニケーション	ベーシックコミュニケーションⅠ	2	2		○				
			ベーシックコミュニケーションⅡ	2	2		○				
			ベーシックコミュニケーションⅢ			2		○			
			ベーシックコミュニケーションⅣ			2		○			
			アドバンストコミュニケーションⅠ			2			○		
			アドバンストコミュニケーションⅡ			2			○		
		異文化理解	英語圏文化概説	2	2				○		
			世界英語の文化圏Ⅰ			2			○		
			世界英語の文化圏Ⅱ			2				○	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等英語科教育法Ⅰ	2	2			○			中学免許はⅠ～Ⅳ必修高校免許はⅠ～Ⅱ必修
			中等英語科教育法Ⅱ	2	2			○			
			中等英語科教育法Ⅲ	2	－				○		
			中等英語科教育法Ⅳ	2	－				○		
中学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				30（必18、選12）							
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				34（必14、選20）							
中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する場合の最低修得単位数			中学校教諭一種免許状取得最低修得単位数	30（必18、選12）							
			高等学校教諭一種免許状取得最低修得単位数	32（必14、選18）							

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8 (必4、選必4)							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●教職に関する科目（「教育の基礎的理解に関する科目」等）

【教育学科】中学校・高等学校教諭一種免許状＜数学＞

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位				配当年次				備　考
			中	高							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
① 教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（小・中・高・養）	2	2					○		
② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（小・中・養）	2	—				○			中学免許のみ
	• 総合的な学習の時間の指導法[*1] • 総合的な探究の時間の指導法[*2] • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）	2	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	2	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）	2	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	2	2				○			
③ 教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導（数学）	1	1					○		中学免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰの2科目を必修とする。高校免許は当該教科の教育実習指導及び、教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか1科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ（数学）	4		2	4			○		
		教育実習Ⅱ（数学）	—			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（教諭）	2	2						○	
計		最低修得単位数合計	29	25（必23、選必2）							

＊1　中学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な学習の時間の指導法」となる。
＊2　高等学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

履修の際の注意事項
1. 中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
3. 高等学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか1科目を選択必修とする。
4. 複数教科の免許状を取得する者は、当該教科全ての教科教育法の単位を修得すること。
5. 「教職実践演習（教諭）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
6. 「教育実習」を履修するためには、教育実習参加の要件（p.229）を満たさなければならない。
7. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、教育実習に参加する前年度までに「介護等体験」を修了していること。

●教科及び教科の指導法に関する科目

【教育学科】中学校・高等学校教諭一種免許状＜数学＞

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		中 必修	高 必修	中高 選択	1年	2年	3年	4年	
④教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	線形代数学			2	○				
			代数学Ⅰ	2	2			○			
			代数学Ⅱ			2			○		
		幾何学	幾何学Ⅰ	2	2			○			
			幾何学Ⅱ			2			○		
			位相数学			2				○	
		解析学	解析学Ⅰ	2	2			○			
			解析学Ⅱ			2			○		
			微分積分学			2	○				
		「確率論、統計学」	確率・統計学Ⅰ	2	2			○			
			確率・統計学Ⅱ			2			○		
		コンピュータ	コンピュータ概論	2	2			○			
			コンピュータ演習			2				○	
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等数学科教育法Ⅰ	2	2			○			中学免許はⅠ～Ⅳ必修、高校免許はⅠ～Ⅱ必修
			中等数学科教育法Ⅱ	2	2			○			
			中等数学科教育法Ⅲ	2	－				○		
			中等数学科教育法Ⅳ	2	－				○		
中学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				28（必18、選10）							
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				28（必14、選14）							

科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		中 必修	高 必修	中高 選択	1年	2年	3年	4年	
⑤大学が独自に設定する科目	数学的リテラシー			2	○				
	数学史と現代数学			2			○		
	子どもの発達と算数・数学			2		○			

【重要】免許状取得のための要件

A：中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得するには、以下の⑴～⑶全ての要件を満たす必要がある。

⑴　①②③の単位を全て修得する。（中免の必修 29 単位）
⑵　④の科目から 32 単位修得する。（中免の必修 18 単位、高免の選択 14 単位）
⑶　⑤の科目から「数学的リテラシー」と「子どもの発達と算数・数学」の 2 科目 4 単位を修得する。
（「数学的リテラシー」「子どもの発達と算数・数学」は教育実習参加要件科目）

B：中学校教諭一種免許状のみを取得するには、以下の⑴～⑶全ての要件を満たす必要がある。

⑴　①②③の単位を全て修得する。（29 単位）
⑵　④の科目から 28 単位修得する。（必修 18 単位、選択 10 単位）
⑶　⑤の科目から「数学的リテラシー」と「子どもの発達と算数・数学」の 2 科目 4 単位を修得する。
（「数学的リテラシー」「子どもの発達と算数・数学」は教育実習参加要件科目）

C：高等学校教諭一種免許状のみを取得するには、以下の⑴～⑶全ての要件を満たす必要がある。

⑴　①②③の単位を全て修得する。（25 単位）
⑵　④の科目から 28 単位修得する。（必修 14 単位、選択 14 単位）
⑶　以下 a）又は b）の要件を満たし単位を修得する。
a）⑤の 3 科目 6 単位全てを修得する。
b）⑤の科目から「数学的リテラシー」と「子どもの発達と算数・数学」（教育実習参加要件科目）及び⑵で修得していない④の選択科目の中から 1 科目 2 単位を修得する。

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8 (必4、選必4)							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●教職に関する科目（「教育の基礎的理解に関する科目」等）

【教育学科】中学校・高等学校教諭一種免許状＜理科＞

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位				配当年次				備　考
			中	高							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
① 教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2			○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	2					○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2			○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	2			○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（小・中・高・養）	2	2					○		
② 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（小・中・養）	2	—				○			中学免許のみ
	• 総合的な学習の時間の指導法*1 • 総合的な探究の時間の指導法*2 • 特別活動の指導法	特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）	2	2					○		
	• 教育の方法及び技術 • 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	2	2				○			
	• 生徒指導の理論及び方法 • 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）	2	2				○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	2	2				○			
③ 教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導（理科）	1	1					○		中学免許は当該教科の教育実習指導及び教育実習Ⅰの2科目を必修とする。高校免許は当該教科の教育実習指導及び、教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅱのいずれか1科目を選択必修とする。
		教育実習Ⅰ（理科）	4		2	4			○		
		教育実習Ⅱ（理科）	—			2			○		
	• 教職実践演習	教職実践演習（教諭）	2	2						○	
計		最低修得単位数合計	29	25（必23、選必2）							

＊1　中学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な学習の時間の指導法」となる。
＊2　高等学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

「教職に関する科目」履修の際の注意事項
1. 中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
2. 中学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」と「教育実習Ⅰ」の2科目を必修とする。
3. 高等学校教諭一種免許状のみを取得する者は、当該教科の「教育実習指導」を必修、「教育実習Ⅰ」か「教育実習Ⅱ」のいずれか1科目を選択必修とする。
4. 複数教科の免許状を取得する者は、当該教科全ての教科教育法の単位を修得すること。
5. 「教職実践演習（教諭）」を履修するためには、1年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。
6. 「教育実習」を履修するためには、教育実習参加の要件（p.229）を満たさなければならない。
7. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、教育実習に参加する前年度までに「介護等体験」を修了していること。

● 教科及び教科の指導法に関する科目

【教育学科】中学校・高等学校教諭一種免許状＜理科＞

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		中	高	中高	1年	2年	3年	4年	
				必修	必修	選択					
④教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学Ⅰ	2	2		○				
			物理学Ⅱ			2			○		
		化学	化学Ⅰ	2	2		○				
			化学Ⅱ			2			○		
		生物学	生物学Ⅰ	2	2			○			
			生物学Ⅱ			2			○		
		地学	地学Ⅰ	2	2			○			
			地学Ⅱ			2			○		
		物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験※1「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」※2	物理学実験	1	1			○			
			化学実験	1	1			○			
			生物学実験	1	1			○			
			地学実験	1	1			○			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		理科教材開発の理論と実践(物理・化学)			2				○	
			理科教材開発の理論と実践(生物・地学)			2				○	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等理科教育法Ⅰ	2	2			○			
			中等理科教育法Ⅱ	2	2			○			
			中等理科教育法Ⅲ	2	−				○		中学免許はⅠ～Ⅳ必修、高校免許はⅠ～Ⅱ必修
			中等理科教育法Ⅳ	2	−				○		
中学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				28(必20、選8)							
高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合の最低修得単位数				24(必16、選8)							

※1　中学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験となる。
※2　高等学校教諭一種免許状の「各科目に含めることが必要な事項」は「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」となる。

科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		中	高	中高	1年	2年	3年	4年	
		必修	必修	選択					
⑤大学が独自に設定する科目	科学的探究の方法			2					
	生命と地球の科学			2					
	地域と生活の科学			2					
	理科クロスカリキュラム研究			2					

【重要】免許状取得のための要件

A：中学校・高等学校教諭一種免許状を同時に取得するには、以下の⑴～⑶全ての要件を満たす必要がある。

⑴　①②③の単位を全て修得する。(29 単位)
⑵　④の科目から 28 単位修得する。(中免の必修 20 単位、選択 8 単位)
⑶　⑵で修得していない④の選択科目と⑤の科目の中から 8 単位修得する。

B：中学校教諭一種免許状のみを取得するには、以下の⑴～⑶全ての要件を満たす必要がある。

⑴　①②③の単位を全て修得する。(29 単位)
⑵　④の科目から 28 単位修得する。(必修 20 単位、選択 8 単位)
⑶　⑵で修得していない④の選択科目と⑤の科目の中から 2 単位修得する。

C：高等学校教諭一種免許状のみを取得するには、以下の⑴～⑶全ての要件を満たす必要がある。

⑴　①②③の単位を全て修得する。(25 単位)
⑵　④の科目から 24 単位修得する。(必修 16 単位、選択 8 単位)
⑶　⑵で修得していない④の選択科目と⑤の科目の中から 10 単位修得する。

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8 (必4、選必4)							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●教職に関する科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

【教育学科】養護教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（小・中・高・養）	2			○		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育の理論と方法（小・中・養）	2		○			
		特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（小中高養）	2			○		
	• 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	2		○			
	• 生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（養）	2			○		
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（小・中・高・養）	2		○			
教育実践に関する科目	• 養護実習	養護実習指導	1			○		※1
		養護実習	4					
	• 教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）	2				○	※2
最低修得単位数合計			29					

※1　「養護実習」は前述の参加要件（⇒ p.200）を満たさなければ参加できない。

※2　「教職実践演習（養護教諭）」を履修するためには1セメスター時から「履修カルテ」を作成しなければならない。

●養護に関する科目

【教育学科】養護教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位/履修区分			配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	衛生学	2				○			
		公衆衛生学（予防医学を含む）	2					○		
	学校保健	学校保健	2			○				
	養護概説	養護概説	2				○			
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	健康相談	2				○			
	栄養学（食品学を含む。）	栄養学（食品学を含む）	2					○		
	解剖学・生理学	解剖生理学	2			○				
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	微生物学		2	2			○		1科目2単位選択必修
		薬理概論			2			○		
	精神保健	精神保健	2				○			
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	学校看護学Ⅰ（基礎）	2				○			
		学校看護学Ⅱ（疾病Ⅰ）	2				○			
		学校看護学Ⅲ（疾病Ⅱ）	2				○			
		学校看護学Ⅳ（応用）	2					○		
		臨床看護学演習	2					○		※1
		学校救急処置	2				○			
最低修得単位数合計			30（必28、選必2）							

※1　臨床看護学演習では学外実習である「臨床実習」に参加する。前述の参加要件（⇒ p.201）を満たさないと参加できない。

●教職に関する科目（「教育の基礎的理解に関する科目等」）教科に関する科目（領域及び保育内容の指導法に関する科目」）

【教育学科】幼稚園教諭一種免許状

幼児教育保育コースの科目表（p.129 ～ 132）を参照してください。

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				ⅠかⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8 (必4、選必4)							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●教育学部 「履修カルテ」について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、8 セメスター時に開講される「教職実践演習（教諭）」「教職実践演習（養護教諭）」の授業を受けるまでに、各自で 1 年次から「履修カルテ」を作成することが義務付けられています。「履修カルテ」とは、教職課程を履修する学生が、授業や学外活動等において、何を学んだのかを振り返り記録するとともに、今後どのような学習が必要かを考える為の手がかりにしてもらうためのものです。

それをもとに「教職実践演習（教諭）」「教職実践演習（養護教諭）」では、教員として必要な資質能力がどの程度形成されたかを確認します。

「履修カルテ」が作成されていない場合や、「履修カルテ」に記入漏れがある場合、8 セメスター時に「教職実践演習（教諭）」「教職実践演習（養護教諭）」を履修できないこともあります。

※養護教諭と小学校教諭・中学校・高等学校の免許状を取得する場合は、「教職実践演習（教諭）」と「教職実践演習（養護教諭）」の 2 科目を履修し、「履修カルテ」も 2 つ作成する必要があります。

●教育学部 「履修カルテ」記入の仕方

入学後オリエンテーションにて説明を受け、UNIPASS で 3 項目について記入します。

⑴ 教員志望理由と動機の記入　1 セメ終了時
　はじめに教員を志望する理由と動機について記入（100 字程度）

⑵ 教職関連科目の履修状況の記入　2 セメ、4 セメ、6 セメ終了時
　履修した「教科に及び教科の指導法に関する科目」と「教職に関する科目」（「教育の基礎的理解に関する科目等」）について振り返り、「履修カルテ」の項目ごとに自己評価を記入

⑶ 「介護等体験」や教育実習の状況の記入
　「介護等体験」や教育実習を通じて学んだこと等を記入（100 字程度）

※ UNIPASS での「履修カルテ」の記入は、指定された文字数内・時間内（30 分）で各自入力し、終了時に「↻」をクリックしてください。
(文字数を越えた場合、時間を過ぎた場合や「↻」をクリックしていない場合は更新できません)

教育学部教育学科 幼児教育保育コースで取得できる教育職員免許状の課程

●教育職員免許状を取得するために必要な要件

要　　件	幼稚園教諭	小学校教諭※2
「教職に関する科目」の必要単位の修得	○	○
「教科に関する科目」（「領域及び保育内容の指導法に関する科目」）の必要単位の修得	○	
「教科及び教科の指導法に関する科目」の必要単位の修得		○
「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に定める科目※1 の修得	○	○
「介護等体験」への参加		○※3
免許や実習に関するガイダンスへの出席	○	○
教育実習への参加	○	○
教育職員免許状申請	○	○
大学の卒業	○	○

※ 1　「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ又はⅡ」の 6 科目。
※ 2　幼稚園教諭一種免許状の取得を前提として許可しています。
※ 3　保育士資格をめざす場合、保育実習に参加すれば「介護等体験」が免除される場合があります。詳しくは保育実習ガイダンスで説明します。

●学外実習に参加するための心得

学外実習は要件を満たしているからといって、それだけの理由で安易に行うべきものではありません。量・質ともに過密なスケジュールをこなしている幼稚園の現場で多大な迷惑をかけながら、実習させていただくのです。教育実習を行うにあたっては、将来実際に教職につくことを強く希望しているということが、一番の要件になるということを強く自覚してください。

●教育学科 幼児教育保育コース 教育実習及び保育実習の予定

1　学外実習については、学則による開講日だけでなく休業日にも実施します。

2　保育実習Ⅰ（施設）の実習先から「介護等体験」証明書が発行されれば、「介護等体験」にかえることができます。

〈保育実習〉		〈教育実習〉
1セメスター 入学直後	教職課程履修等オリエンテーション、履修カルテの作成についての説明、 保育士養成課程の履修についての説明	1セメスター 入学直後
4セメスター 9月～1月	保育実習Ⅰ（保育所）実習参加申込書提出、申込金納付	
	教育実習申込ガイダンス、教育実習申込金納付	4セメスター 9月～1月
	保育実習Ⅰ（保育所）事前指導（学内）	
4セメスター 12月	保育実習Ⅰ（施設）実習参加申込金納付	
4セメスター 1月	保育実習Ⅰ（保育所） 事前オリエンテーション（実習先）	
4セメスター 2月	**保育実習Ⅰ（保育所）10日間実習参加**	
4セメスター 3月	保育実習Ⅰ（保育所）実習記録提出、成績評価表・出席表の返送	
5セメスター 4月	保育実習Ⅱ（保育所）又はⅢ（施設）の選択、申込書提出、申込金納付	
5セメスター 4月～7月	教育実習事前指導（学内） 保育実習Ⅰ（施設）事前指導（学内）	5セメスター 4月～7月
5セメスター 7月	人権教育特別講義 教育実習事前オリエンテーション（実習先） 保育実習Ⅰ（施設）事前オリエンテーション（実習先）	5セメスター 7月
5セメスター 8月	**保育実習Ⅰ（施設）10日間実習参加**	
	教育実習（幼稚園）20日間実習参加	5セメスター 9月
6セメスター 10月	保育実習Ⅰ（施設）実習記録提出、成績評価表・出席表の返送 教育実習実習記録提出、成績評価表・出席表の返送	6セメスター 10月
6セメスター 10月～1月	保育実習Ⅱ（保育所）又はⅢ（施設） 事前指導（学内）	
6セメスター 1月	**保育実習Ⅱ（保育所）又はⅢ（施設） 事前オリエンテーション（実習先）**	
6セメスター 2月	**保育実習Ⅱ（保育所）又はⅢ（施設） 10日間実習参加**	
6セメスター 3月	保育実習Ⅱ（保育所）又はⅢ（施設）実習記録提出、成績評価表・出席表の返送	

●教育学部 「介護等体験」の参加要件

※保育士資格をめざす場合、保育実習に参加すれば「介護等体験」が免除される場合があります。詳しくは保育実習ガイダンスで説明します。

小学校又は中学校教育職員免許状を取得するためには、教育実習とは別に、特別支援学校で 2 日間、社会福祉施設で 5 日間、計 7 日間の「介護等体験」を行うことが義務付けられています。

その目的は、介護などの経験を通じて学んだことを教育の現場に活かしていくことにあります。詳細については、「介護等体験」事前研修において説明します。

- 「介護等体験」には、次の参加要件を満たさないと参加できません。
  ① 2 セメスターを修了していること。
  ② 参加する年度の前年度の夏学期終了時に、次の科目を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 1 科目を含んで、15 単位以上		

  ③ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。
- 体験先は大学から公的機関に依頼し決定します。他大学の学生と一緒に実習をする場合もあります。
- 体験参加申込金及び体験先への謝礼金が必要です。
- 体験先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。体験先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾患名等の健康情報を原則記載します。不都合等あれば事前に保健センターに相談してください。
- 体験先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。
- 体験先（社会福祉施設）には腸内細菌検査結果を提出する必要があります。

＊この要件は、科目等履修生にも適用されます。

●教育学部　教育実習参加の要件〔幼児教育保育コース対象〕

「教職に関する科目」（「教育の基礎的理解に関する科目等」）の中には、学外での教育実習が含まれます。

- 教育実習には、参加する前セメスターまでに以下の参加要件を満たさないと参加できません。
- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。

＊この要件は、科目等履修生にも適用されます。

教育実習〈幼稚園教諭一種免許状〉

① 4セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2科目4単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	幼児教育課程総論	4科目8単位以上
	保育内容の理論と方法（健康）	
	保育内容の理論と方法（人間関係）	
	保育内容の理論と方法（環境）	
	保育内容の理論と方法（言葉）	
卒業に必要となる修得単位数が上記8科目を含んで、50単位以上		

③「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

④ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

教育実習〈小学校教諭免許状〉

① 4セメスターを修了していること。

② 次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科 専門教育科目	教職論	2科目4単位以上
	教育原論	
	特別支援教育	
	教育心理学	
	生徒指導論（進路指導を含む）（小・中・高）	1科目2単位以上
	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	
	インターンシップⅠ	2単位
	インターンシップⅡ	1単位
卒業に必要となる修得単位数が上記7科目を含んで、50単位以上		

③「介護等体験」を修了していること。

④「教育実習指導」担当教員の許可を得ていること。

⑤ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。

●教職に関する科目（「教育の基礎的理解に関する科目等」）

【教育学科】幼稚園教諭一種免許状

〈幼児教育保育コース〉〈学校教育コース〉

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				配当年次			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	○				○			
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		○			○			
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○				○	
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	○				○			
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○				○			
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	幼児教育課程総論	2		○				○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育方法論	2			○				○	
		教育方法・技術（情報通信技術の活用含む幼小中高養）	2			○			○		
	• 幼児理解の理論及び方法 • 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	幼児理解 （教育相談を含む）	2			○			○		
教育実践に関する科目	• 教育実習	教育実習指導	1			○				○	
		教育実習　※1	4			○				○	
	• 教職実践演習	教職実践演習（教諭）※2	2				○				○
最低修得単位数合計			25								

※1 「教育実習」は前述の参加要件（⇒ p.220）を満たさなければ参加できない。
小学校教諭一種免許状の取得も希望する場合、教育実習は小学校又は幼稚園のどちらかに参加し単位を修得すれば、両方の免許を取得できる。2 回参加する必要はない。

※2 「教職実践演習（教諭）」を履修するためには 1 年次から「履修カルテ」を作成しなければならない。

●教科に関する科目（領域及び保育内容の指導法に関する科目）

【教育学科】幼稚園教諭一種免許状

〈幼児教育保育コース〉〈学校教育コース〉

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				配当年次			
科目区分		各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	2	○					○		
		人間関係	幼児と人間関係	2		○				○		
		環境	幼児と環境	2	○				○			
		言葉	幼児と言葉	2	○					○		
		表現	幼児と表現Ⅰ	2		○				○		
			幼児と表現Ⅱ	2		○					○	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容の理論と方法（健康）	2		○				○		
			保育内容の理論と方法（人間関係）	2		○					○	
			保育内容の理論と方法（環境）	2	○					○		
			保育内容の理論と方法（言葉）	2		○					○	
			保育内容の理論と方法（表現活動・音楽）	2			○				○	
			保育内容の理論と方法（表現活動・造形）	2			○				○	
			保育内容総論	2	○				○			
最低修得単位数合計				26								

●教職に関する科目（「教育の基礎的理解に関する科目等」）教科及び教科の指導法に関する科目

【教育学科】 小学校教諭一種免許状

学校教育コースの科目表（p.202 ～ 203）を参照してください。

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				Ⅰ かⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●教育学部　「履修カルテ」について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、8 セメスター時に開講される「教職実践演習（教諭）」の授業を受けるまでに、各自で 1 年次から「履修カルテ」を作成することが義務付けられています。「履修カルテ」とは、教職課程を履修する学生が、授業や学外活動等において、何を学んだのかを振り返り記録するとともに、今後どのような学習が必要かを考える為の手がかりにしてもらうためのものです。

それをもとに「教職実践演習（教諭）」では、教員として必要な資質能力がどの程度形成されたかを確認します。

「履修カルテ」が作成されていない場合や、「履修カルテ」に記入漏れがある場合、8 セメスター時に「教職実践演習（教諭）」を履修できないこともあります。

●教育学部　「履修カルテ」記入の仕方

入学後オリエンテーションにて説明を受け、UNIPASS で 3 項目について記入します。

⑴　教員志望理由と動機の記入　1 セメ終了時
　　はじめに教員を志望する理由と動機について記入（100 字程度）

⑵　教職関連科目の履修状況の記入　2 セメ、4 セメ、6 セメ終了時
　　履修した「教科に関する科目」（領域及び保育内容の指導法に関する科目）と「教職に関する科目」（「教育の基礎的理解に関する科目等」）について振り返り、「履修カルテ」の項目ごとに自己評価を記入

⑶　「介護等体験」や教育実習の状況の記入
　　「介護等体験」や教育実習を通じて学んだこと等を記入（100 字程度）

※ UNIPASS での「履修カルテ」の記入は、指定された文字数内・時間内（30 分）で各自入力し、終了時に「↻」をクリックしてください。
（文字数を越えた場合、時間を過ぎた場合や「↻」をクリックしていない場合は更新できません）

養護教諭一種免許状の課程
（看護学部　看護学科）

●教育職員免許状を取得するために必要な要件

「教職に関する科目」の必要単位の修得
※「教職に関する科目」は卒業に必要な単位に含まない

「養護に関する科目」の必要単位の修得

「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に定める科目※の修得
※「日本国憲法」
「スポーツⅠ・Ⅱ」
「英語Ⅰ・Ⅱ」
「情報処理演習Ⅰ又はⅡ」

学内選抜試験

免許や実習に関するガイダンスへの出席

養護実習への参加

教育職員免許状申請
※養護教諭一種免許状申請に必要な卒業までの修得単位数は 161 単位である。

大学の卒業

●学外実習に参加するための心得

学外実習は要件を満たしているからといって、それだけの理由で安易に行うべきものではありません。量・質ともに過密なスケジュールをこなしている学校の現場で多大な負担をかけながら、実習させていただくのです。養護実習を行うにあたっては、将来実際に教職につくことを強く希望しているということが、一番の要件になるということを強く自覚してください。

●看護学部　養護実習の予定

学外実習については、学則による開講日だけでなく休業日にも実施します。

1 セメスター 入学後	教職課程履修等オリエンテーション 「履修カルテ」の作成について等
↓	
4 セメスター 3 月	学内選抜試験
↓	
5 セメスター 5 月	養護実習申込登録ガイダンス
↓	
5 セメスター 5 月～6 月	実習希望校へ教育実習の内諾依頼（各自）
↓	
6 セメスター 3 月	実習希望校へ正式依頼書を提出
↓	
7 セメスター 4 月	養護実習事前ガイダンス （人権教育特別講義）
↓	
7 セメスター 5 月	実習先とのオリエンテーション
↓	
7 セメスター 6 月	**養護実習参加** 小学校、中学校、高等学校＝ 3 週間
↓	
7 セメスター 7 月	養護実習終了 （終了後 2 週間以内に実習記録等を提出）

※オリエンテーション、ガイダンスを欠席した場合は、養護実習に参加できません。

●養護教諭コース　学内選抜試験

本学では、養護教諭コースを選択できる定員は 10 人以内とし、選抜時期は 2 年次冬学期の成績判定終了後に行います。出願方法は UNIPASS で連絡します。選抜試験を受験するためには、4 セメスターまでに配当された教養教育科目及び専門教育科目の必修科目及び下記の指定された選択科目（教養教育科目、語学・情報科学科目、健康科学科目、看護科学科目、教職科目）の単位数を修得する必要があります。なお、選抜試験の評価は、小論文（出願時に提出）、面接試験、4 セメスターまでの全履修科目の累積 GPA（実習含む）により行います。

教養教育科目		和の精神Ⅰ	1 単位
		和の精神Ⅱ	1 単位
		仏教概説	2 単位
		現代社会と人権Ⅰ又はⅡ	2 単位
		生物学	2 単位
		日本国憲法	2 単位
		スポーツⅠ	1 単位
		スポーツⅡ	1 単位
		英語Ⅰ	1 単位
		英語Ⅱ	1 単位
		英語Ⅲ	1 単位
		英語Ⅳ	1 単位
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1 科目 2 単位以上
	その他の教養教育科目 1 科目以上		2 単位以上
専門教育科目	4 セメスターまでに配当された必修科目 35 科目		55 単位
	健康科学科目	疫学	2 単位
	看護科学科目	学校保健論	2 単位
		養護概説	2 単位
教職に関する科目		教職論	2 単位
		教育原論	2 単位
		教育心理学	2 単位
		特別支援教育	2 単位
		教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2 単位
		生徒指導論（養）	2 単位
		教育相談の理論と方法（中・高・養）	2 単位
		道徳教育の理論と方法（中・養）	2 単位

●看護学部　養護実習参加の要件

「教職に関する科目」の中には、学外での養護実習が含まれます。

- 養護実習には、次の参加要件を満たさないと参加できません。
  - ① 選抜試験に合格していること。
  - ② 6 セメスターを修了していること。
  - ③ 参加する年度の前年度までに、次の科目を修得していること。

専門教育科目	6 セメスターまでに配当された必修科目 51 科目		88 単位
	看護科学科目	健康相談	2 単位
教職に関する科目		教育制度論	2 単位
		教育課程総論（中・高・養）	2 単位
		特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2 単位

  - ④ 全てのオリエンテーション、ガイダンスに出席すること。
- 依頼方法等についてはガイダンスで説明します。
- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。

●教職に関する科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

【看護学科】養護教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位	配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	• 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	○				
	• 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	○				
	• 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○		
	• 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	○				
	• 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○				
	• 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論（中・高・養）	2			○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	• 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育の理論と方法（中・養）	2		○			
		特別活動・総合的な学習時間の理論と方法（中高養）	2			○		
	• 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術（情報通信技術の活用含む中高養）	2		○			
	• 生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（養）	2		○			
	• 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（中・高・養）	2		○			
教育実践に関する科目	• 養護実習	養護実習	5				○	事前・事後指導を含む
	• 教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）	2				○	
最低修得単位数合計			29					

●養護に関する科目

【看護学科】養護教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等		本学で開講されている授業科目	単位/履修区分	配当年次				備　考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	1年	2年	3年	4年	
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	地域生活支援論Ⅰ	2		○			
		疫学	2		○			
	学校保健	学校保健論	2		○			
	養護概説	養護概説	2		○			
	健康相談活動の理論及び方法	健康相談	2			○		
	栄養学（食品学を含む。）	栄養と代謝	2	○				
	解剖学及び生理学	人体の構造と機能Ⅰ	2	○				
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	薬理学	2		○			
		疾病と治療Ⅰ	2	○				
	精神保健	精神保健	2		○			
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	看護概論	2	○				
		成育生活支援論	1		○			
		看護治療技術演習	1		○			
		成育療養生活支援技術演習	2			○		
		看護と倫理	2		○			
		成育療養生活支援実習	2			○		
最低修得単位数合計			30					

●教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学で開講されている授業科目	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本国憲法	日本国憲法	2			○				
体育	スポーツⅠ		2	1	○				スポーツⅠ及びⅡの合計 2 単位もしくは体育講義※の 2 単位を修得すること
	スポーツⅡ			1	○				
	体育講義※			2		○			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1			○				
	英語Ⅱ	1			○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ		2	2	○				Ⅰ かⅡ、いずれか 1 科目を修得すること
	情報処理演習Ⅱ			2	○				
最低修得単位数合計		8（必4、選必4）							

※「体育講義」は、教育学部教育学科 幼児教育保育コースの学生及び許可された学生のみ履修することができる。

●看護学部　「履修カルテ」について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、8 セメスター時に開講される「教職実践演習（養護教諭）」の授業を受けるまでに、各自で 1 年次から「履修カルテ」を作成することが義務付けられています。

「履修カルテ」とは、教職課程を履修する学生が、授業や学外活動等において、何を学んだのかを振り返り記録するとともに、今後どのような学習が必要かを考える為の手がかりにしてもらうためのものです。

それをもとに「教職実践演習（養護教諭）」では、教員として必要な資質能力がどの程度形成されたかを確認します。

「履修カルテ」が作成されていない場合や、「履修カルテ」に記入漏れがある場合、8 セメスター時に「教職実践演習（養護教諭）」を履修できないこともあります。

●看護学部　「履修カルテ」記入の仕方

入学後オリエンテーションにて説明を受け、UNIPASS で 3 項目について記入します。

⑴　教員志望理由と動機の記入　1 セメ終了時
　　はじめに教員を志望する理由と動機について記入（100 字程度）

⑵　教職関連科目の履修状況の記入　2 セメ、4 セメ、6 セメ終了時
　　履修した「養護に関する科目」と「教職に関する科目」（「教育の基礎的理解に関する科目等」）について振り返り、「履修カルテ」の項目ごとに自己評価を記入

⑶　養護実習の状況の記入
　　養護実習を通じて学んだこと等を記入（100 字程度）

※ UNIPASS での「履修カルテ」の記入は、指定された文字数内・時間内（30 分）で各自入力し、終了時に「↻」をクリックしてください。
（文字数を越えた場合、時間を過ぎた場合や「↻」をクリックしていない場合は更新できません）

保育士資格（教育学部　教育学科　幼児教育保育コース）

●保育士資格を取得するために必要な要件

- 保育士資格の教養科目、必修科目、選択科目の修得
- 「保育実習」への参加
- 保育士登録
- 大学の卒業

●保育士資格　教養科目

法令上の教科目				本学開講科目	授業形態	※2 履修単位数	
系列	教　科　目	授業形態	※1 設置単位数			必修	選択
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	仏教概説	講義	2	
				現代社会と人権Ⅰ	講義	2	2
				現代社会と人権Ⅱ	講義		2
				情報処理演習Ⅰ	演習	2	2
				情報処理演習Ⅱ	演習		2
	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習	1	
				英語Ⅱ	演習	1	
	体　育	講義	1	体育講義	講義	2	
		実技	1	スポーツⅠ	実技	1	
合　　計		10単位以上			11単位		

※1　「設置単位数」は法令上開設しなければならない単位数。
※2　「履修単位数」は実際に修得しなければならない単位数。履修の際はこの欄に従うこと。

●保育士資格　必修科目

法令上の教科目				本学開講科目	授業形態	※2 履修単位数
系列	教　科　目	授業形態	※1 設置単位数			計
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2
	教育原理	講義	2	教育原論	講義	2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2
	子どもの理解と援助	演習	1	幼児理解（教育相談を含む）	演習	2
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	幼児教育課程総論	講義	2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2
	保育内容演習	演習	5	保育内容の理論と方法（健康）	演習	2
				保育内容の理論と方法（人間関係）	演習	2
				保育内容の理論と方法（環境）	演習	2
				保育内容の理論と方法（言葉）	演習	2
				保育内容の理論と方法（表現活動・音楽）	演習	2
				保育内容の理論と方法（表現活動・造形）	演習	2
	保育内容の理解と方法	演習	4	子どもと遊び	演習	2
				音楽実践演習（器楽）	演習	1
				小児体育	演習	1
				子どもと造形表現	演習	1
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1
保育実習	保育実習	実習	4	保育実習Ⅰ（施設）（※3）	実習	2
				保育実習Ⅰ（保育所）（※3）	実習	2
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	1
				保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習	2
合　計		51単位			61単位	

※1　「設置単位数」は法令上開設しなければならない単位数。
※2　「履修単位数」は実際に修得しなければならない単位数。履修の際はこの欄に従うこと。
※3　「保育実習」の履修条件については、 ⇒ p.233 ～ 234 を参照すること。

●保育士資格　選択必修科目

法令上の教科目				本学開講科目	授業形態	※2 履修単位数	
系列	教　科　目	授業形態	※1 設置単位数			必修	選択
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15単位以上	子ども学概論	講義	2	
				幼保小中接続研究	講義		2
保育の対象の理解に関する科目				多様な子ども理解入門	講義		2
				フィールドワーク演習（子育て支援）	演習		1
				フィールドワーク演習（子ども支援）	演習		1
保育の内容・方法に関する科目				保育方法論	講義		2
				音楽への扉	演習		2
				音楽実践演習（声楽）	演習		1
				音楽実践演習（弾き歌い）	演習		1
				保育インターンシップ	演習		2
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ（保育所）（※3）	実習	2	2
				保育実習Ⅲ（施設）（※3）	実習		2
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ（保育所）（※3）	演習	1	1
				保育実習指導Ⅲ（施設）（※3）	演習		1
合　計			18単位以上			9単位以上	

※1　「設置単位数」は法令上開設しなければならない単位数。
※2　「履修単位数」は実際に修得しなければならない単位数。履修の際はこの欄に従うこと。
※3　「保育実習Ⅱ（保育所）」・「保育実習指導Ⅱ（保育所）」又は「保育実習Ⅲ（施設）」・「保育実習指導Ⅲ（施設）」3単位は必ず修得すること。
また、「保育実習」の履修条件については、⇒ p.233 ～ 234 を参照すること。

●保育実習

前記必修科目と選択科目の中には、学外での保育実習が含まれます。

- 学外実習について質問がある場合は、教職教育推進センターに来てください。
- 実習参加時期は、p.218 を参照してください。
- 保育実習には、次の参加要件を満たさなければ参加できません。

「保育実習Ⅰ（保育所）」

① 3セメスターを修了していること。

② 参加する前セメスターまでに、次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科専門教育科目	教育原論	7科目14単位以上
	保育原理	
	社会福祉	
	子ども家庭福祉	
	社会的養護Ⅰ	
	保育者論	
	保育内容総論	
	乳児保育Ⅰ	
	子どもの保健	
	音楽への扉	2単位
卒業に必要となる修得単位数が上記10科目を含んで55単位以上		

③「保育実習指導Ⅰ（保育所）」担当教員の許可を得ていること。

「保育実習Ⅰ（施設）」

① 3セメスターを修了していること。

② 参加する前セメスターまでに、次の科目の単位を修得していること。

教養教育科目	和の精神Ⅰ	1単位
	和の精神Ⅱ	1単位
教育学科専門教育科目	保育原理	2単位
	子ども家庭福祉	2単位
	社会的養護Ⅰ	2単位
卒業に必要となる修得単位数が上記5科目を含んで55単位以上		

③「保育実習指導Ⅰ（施設）」担当教員の許可を得ていること。

「保育実習Ⅱ（保育所）」又は「保育実習Ⅲ（施設）」

① 5 セメスターを修了していること。

② 参加する前セメスターまでに、次の科目の単位を修得していること。

教育学科 専門教育科目	音楽実践演習（声楽）	1 単位
	音楽実践演習（弾き歌い）	1 単位
卒業に必要となる修得単位数が上記 2 科目を含んで、85 単位以上		

③「保育実習Ⅰ（保育所）」及び「保育実習Ⅰ（施設）」を終えていること。

④「保育実習指導Ⅱ（保育所）」又は「保育実習指導Ⅲ（施設）」担当教員の許可を得ていること。

- 「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習Ⅲ（施設）」で実習を行う社会福祉施設は、大学が実習先を決定します。
- 「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅱ（保育所）」で実習を行う保育所は、大学が実習先を決定します。
- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。実習先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾患名等の健康情報を原則記載します。不都合等あれば事前に保健センターに相談してください。
- 実習先から求められた場合は麻疹の抗体を証明する必要があります。大学の指示に従って必要書類を提出してください。
- 実習先には腸内細菌検査結果の提出が必要です。

いずれも、「保育実習指導」で詳しく説明します。

●保育士登録、証明書について

1. 保育士登録

「保育士」になるには、日本保育協会登録事務処理センターへ「保育士登録」の申請を行い、「保育士登録簿」への登録を受ける必要があります。

大学で取りまとめて申請します。申請方法は、8 セメスター時に説明します。

登録の申請を行なうと、卒業後に登録事務処理センターより「保育士登録済通知書」「保育士証」が郵送されます。

※保育士の制度が変更になった場合は、手続きの方法が変わる可能性があります。

2. 就職活動等に使用する証明書発行

7 セメスター以降、証明書発行サービスで「資格取得見込証明書」を発行してください。

3. 卒業後の証明書発行

「保育士証」を紛失等で再発行する場合は、日本保育協会登録事務処理センターへ問い合わせてください。大学では発行できません。

社会福祉士国家試験受験資格
（社会学部　人間福祉学科）

●社会福祉士国家試験受験資格とは

社会福祉士とは、「社会福祉及び介護福祉士法」に基づく国家資格です。社会福祉に関する専門的知識や技術を持って、身体に障害のある者や、環境上の理由で日常生活に支障のある者の福祉に関する相談に応じて助言・指導を行ったり、介護福祉士や医師など福祉サービスや保健医療サービス提供者の間にたって連絡・調整等の援助を行ったりすることが業務です。

この資格は、まず受験資格を取得し、国家試験に合格することで、取得できます。

人間福祉学科の学生は、下記「指定科目」の単位を修得し、卒業が見込まれる場合に、社会福祉士国家試験の受験資格を取得できます。その場合、国家試験は在学中８セメスター時に受験することができます。

●社会福祉士国家試験受験資格　指定科目対応表

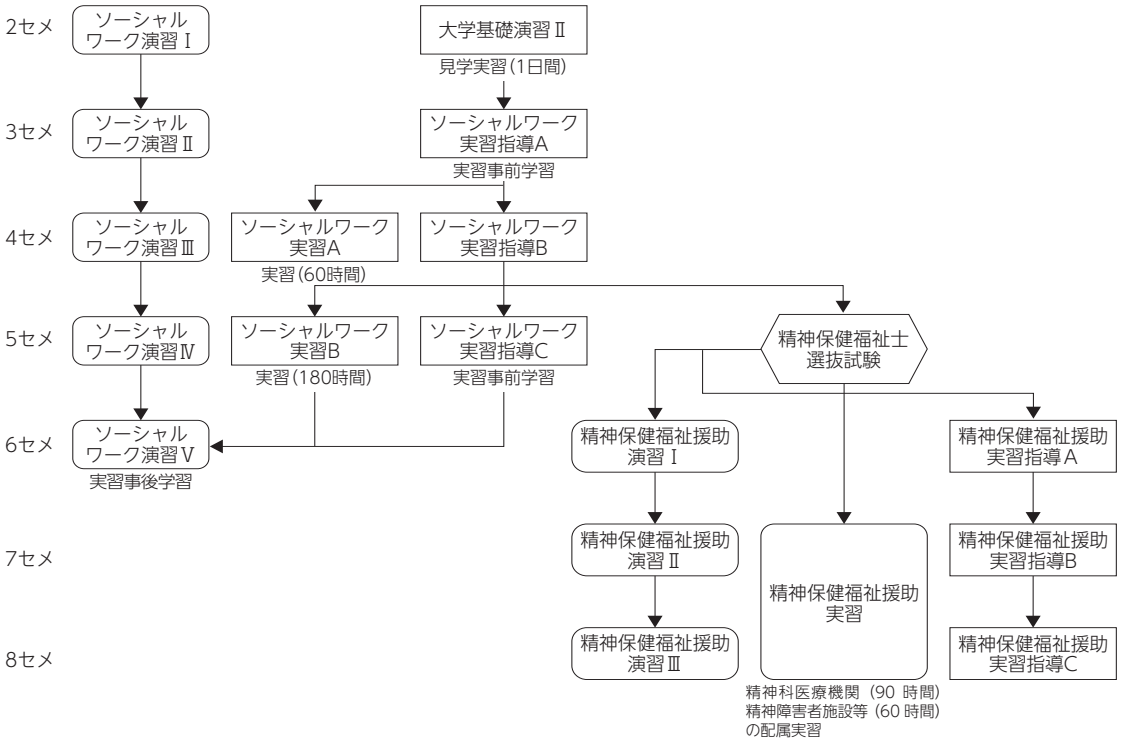
	社会福祉士国家試験受験資格指定科目	国家試験科　目	本学開講の受験資格取得科目	
			科目名	取得単位
1	医学概論	○	医学概論	2
2	心理学と心理的支援	○	心理学と心理的支援	2
3	社会学と社会システム	○	社会学と社会システム	2
4	社会福祉の原理と政策	○	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	2
5	社会福祉調査の基礎	○	社会福祉調査の基礎	2
6	ソーシャルワークの基盤と専門職	○	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2
7	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	○	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2
8	ソーシャルワークの理論と方法	○	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2
9	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	○	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2
10	地域福祉と包括的支援体制	○	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2
11	福祉サービスの組織と経営	○	福祉サービスの組織と経営	2
12	社会保障	○	社会保障Ⅰ	2
			社会保障Ⅱ	2
13	高齢者福祉	○	高齢者福祉	2
14	障害者福祉	○	障害者福祉	2
15	児童・家庭福祉	○	児童・家庭福祉	2
16	貧困に対する支援	○	貧困に対する支援	2
17	保健医療と福祉	○	保健医療と福祉	2
18	権利擁護を支える法制度	○	権利擁護を支える法制度	2
19	刑事司法と福祉	○	刑事司法と福祉	2
20	ソーシャルワーク演習		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2

	社会福祉士国家試験受験資格指定科目	国家試験科　目	本学開講の受験資格取得科目		
			科目名		取得単位
21	ソーシャルワーク演習（専門）		ソーシャルワーク演習Ⅱ		2
			ソーシャルワーク演習Ⅲ		2
			ソーシャルワーク演習Ⅳ		2
			ソーシャルワーク演習Ⅴ		2
22	ソーシャルワーク実習指導		ソーシャルワーク実習指導Ａ	※１・２	2
			ソーシャルワーク実習指導Ｂ	※１・２	2
			ソーシャルワーク実習指導Ｃ	※１・２	2
23	ソーシャルワーク実習		ソーシャルワーク実習Ａ	※１・２	2
			ソーシャルワーク実習Ｂ	※１・２	4

※１　表中※１以外の指定科目は、必ず在学中に修得すること。「ソーシャルワーク実習指導Ａ･Ｂ･Ｃ」「ソーシャルワーク実習Ａ･Ｂ」については、卒業後に科目等履修制度で修得可能ですが、その場合在学中に国家試験を受験することはできません。
※２　「ソーシャルワーク実習指導Ａ･Ｂ･Ｃ」、「ソーシャルワーク実習Ａ･Ｂ」の履修条件については、⇒ p.106 参照すること。

●社会福祉士国家試験　指定科目　学外実習・演習の流れ

指定科目の中には、演習科目や学外実習が含まれ、下図の順番で履修します。社会福祉士国家試験受験資格と、精神保健福祉士国家試験受験資格の両方を取得することも可能です。



- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を必ず受診してください。実習先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾患名等の健康情報を原則記載します。不都合等あれば事前に保健センターに相談してください。
- 実習先には腸内細菌検査結果の提出が必要です。
- 学外実習については、学則による開講日だけでなく休業日にも実施します。

履修の実際については、大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ及びソーシャルワーク実習指導Ａ・Ｂ・Ｃで説明します。

●社会福祉士国家試験　指定科目　学外実習・演習の予定

【大学基礎演習Ⅱ】（見学実習）

【Ⅱ】 履修登録	2 セメスター 9 月上旬
【Ⅱ】 見学実習 学外実習の手引きの配布 実習指導・実習全体像 オリエンテーション	2 セメスター 9 月中旬
【Ⅱ】 見学実習 参加費振込み 誓約書作成	2 セメスター 10 月下旬
【Ⅱ】 見学施設発表 実習ノート等 書類配布	
【Ⅱ】 見学実習 1 日	2 セメスター 12 月上旬
【Ⅱ】 実習ノート提出	2 セメスター 12 月上旬
【Ⅱ】 事後指導	2 セメスター 12 月中旬～ 1 月
① 【A】【B】 履修希望調査 実習 A 施設希望調査 実習指導・実習オリエンテーション 事前学習課題	2 セメスター 1 月

【ソーシャルワーク実習指導 A】（事前学習）

② 【A】【B】【C】【実習 A】【実習 B】 【演習Ⅴ】全体像 オリエンテーション	3 セメスター 4 月中旬
③ 【A】履修登録	3 セメスター 4 月上旬
④ 【A】【実習 A】事前指導	3 セメスター 4 ～ 7 月
⑤ 【実習 A】実習施設の再希望調査 参加申込書提出 参加申込費納入	3 セメスター 5 ～ 6 月
⑥ 【実習 A】仮配属施設発表 夏休み課題 (事前学習) (配属施設確定は 9/1)	3 セメ 7 月中～下旬

【ソーシャルワーク実習指導 B】
【ソーシャルワーク実習 A】

⑦ 【B】【実習 A】実習謝礼金振込	4 セメスター
⑧ 【B】【実習 A】履修登録	4 セメスター 9 月中旬
⑨ 【B】【実習 A】 実習計画書 個人票・誓約書作成	4 セメスター 9 月下旬 ～ 10 月上旬
⑩ 【B】【実習 A】 健康診断証明書・実習ノート・ 実習評価表等書類配付 腸内細菌検査	4 セメスター 10 月上旬～中旬
⑪ 【B】【実習 A】 実習オリエンテーション オリエンテーション報告書提出 直前指導・リスクマネジメント	4 セメスター 10 月中旬～下旬 大学祭後 1 回 指導時間を確保
⑫ **【実習 A】　（9 日・約 70 時間）** 実習中は、必要に 応じて巡回指導	4 セメスター 11 月中旬～下旬 2 週間
⑬ 【B】【実習 A】実習ノート提出 実習評価表 出席表返送	4 セメスター 11 月下～ 12 月中旬
⑭ 【B】事後指導	4 セメスター 12 ～ 1 月
⑮ 【実習 B】履修希望調査 実習施設希望調査	4 セメスター 12 月
⑯ 【実習 B】参加申込書の提出	4 セメスター 12 月下旬～ 1 月下旬

【ソーシャルワーク実習指導 C】（事前学習・実践学習）
【ソーシャルワーク実習 B】

⑰ 【C】【実習 B】 仮配属施設発表 春休み課題 (事前学習) (配属施設確定は 4/1)	⇒ 4 セメスター 3 月上旬 (5 セメ指導 C 第 1 回 授業)
⑱ 【実習 B】 参加申込費・実習謝礼金振込	⇒ 5 セメスター 4 月上旬
⑲ 【C】【実習 B】履修登録	⇒ 5 セメスター 4 月上旬
⑳ 【C】【実習 B】 実習計画書 個人票・誓約書作成	⇒ 5 セメスター 4 月上旬～
㉑ 【C】【実習 B】 健康診断証明書・実習ノート・実 習評価表等書類配付 腸内細菌検査	⇒ 5 セメスター 4 月中旬～下旬
㉒ 【C】【実習 B】 実習オリエンテーション オリエンテーション報告書提出 直前指導・リスクマネジメント	⇒ 5 セメスター 5 月上旬～下旬
㉓ **【実習 B】実習（24 日・180 時間）**	⇒ 5 セメスター 6 ～ 7 月 (一部 8 月から 9 月) 第 1 週帰校指導 第 2 週巡回指導 第 3 週帰校指導 第4～5週巡回指導 場合によっては、 反省会での指導
㉔ 【C】【実習 B】実習ノート提出 実習評価表 出席表返送	⇒ 5 セメスター 7 月中旬～下旬

【ソーシャルワーク演習Ⅴ】（事後学習）

㉕ 【演習Ⅴ】履修登録	⇒ 6 セメスター 9 月中旬
㉖ 【演習Ⅴ】事後指導 実習報告書 実習報告会	⇒ 6 セメスター 9 ～ 1 月

※実習日数は原則であり前後することがある。

●社会福祉士国家試験受験資格　証明書等

1. 社会福祉士国家試験受験用の証明書発行

受験には、試験を主催する社会福祉振興・試験センターが指定する以下の証明書（2 種類）が必要です。いずれも大学で取りまとめて作成・送付します。

申込方法は、出願方法とともに、7 セメスター時に説明します。

- 国家試験出願時
  卒業見込証明書・社会福祉士指定科目履修見込証明書
- 学位授与式終了時
  卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書

また、社会福祉士国家試験に合格した場合は、社会福祉振興・試験センターから合格通知とともに社会福祉士証書の申請方法が送付されますので、それに従って個人で手続きをしてください。(大学への申請ではありません。)

※社会福祉士国家試験の制度が変更になった場合は、手続きの方法が変わる可能性もあります。

2. 就職活動等に使用する証明書発行

7 セメスター以降、証明書発行サービスで「資格取得見込証明書」を発行してください。

3. 卒業後の証明書発行

- 社会福祉士国家試験を受験する場合、受験用の証明書を発行できます。

精神保健福祉士国家試験受験資格
（社会学部　人間福祉学科）

●精神保健福祉士国家試験受験資格とは

精神保健福祉士とは、「精神保健福祉士法」に基づく国家資格であり、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助（相談援助）を行うことを業とするものです。

この資格は、まず受験資格を取得し、国家試験に合格することで、取得できます。

人間福祉学科の学生は、後述の「指定科目」の単位を修得し、卒業が見込まれる場合に、精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得できます。その場合、国家試験は在学中 8 セメスター時に受験することができます。

●精神保健福祉士国家試験受験資格　学内選抜試験

本学では、精神保健福祉士国家試験受験資格　指定科目を履修し資格取得できる定員は、1 学年につき最大 20 名とします。

学内選抜試験は 4 セメスター時に行います。出願方法は UNIPASS で連絡します。

●精神保健福祉士国家試験受験資格　指定科目対応表

	精神保健福祉士国家試験 受験資格指定科目	国家試験 科目	本学開講の受験資格取得科目	
			科　目　名	取得 単位
1	医学概論	○	医学概論	2
2	心理学と心理的支援	○	心理学と心理的支援	2
3	社会学と社会システム	○	社会学と社会システム	2
4	社会福祉の原理と政策	○	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	2
5	地域福祉と包括的支援体制	○	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2
6	社会保障	○	社会保障Ⅰ	2
			社会保障Ⅱ	2
7	障害者福祉	○	障害者福祉	2
8	権利擁護を支える法制度	○	権利擁護を支える法制度	2
9	刑事司法と福祉	○	刑事司法と福祉	2
10	社会福祉調査の基礎	○	社会福祉調査の基礎	2
11	精神医学と精神医療	○	精神医学と精神医療Ⅰ	2
			精神医学と精神医療Ⅱ	2
12	現代の精神保健の課題と支援	○	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2
13	ソーシャルワークの基盤と専門職	○	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2
			ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2
14	精神保健福祉の原理	○	精神保健福祉の原理Ⅰ	2
			精神保健福祉の原理Ⅱ	2
15	ソーシャルワークの理論と方法	○	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2
16	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	○	精神保健福祉ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2
			精神保健福祉ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2
17	精神障害リハビリテーション論	○	精神障害リハビリテーション論	2
18	精神保健福祉制度論	○	精神保健福祉制度論	2
19	ソーシャルワーク演習		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
20	ソーシャルワーク演習（専門）		精神保健福祉援助演習Ⅰ	2
			精神保健福祉援助演習Ⅱ	2
			精神保健福祉援助演習Ⅲ	2
21	ソーシャルワーク実習指導		精神保健福祉援助実習指導 A	2
			精神保健福祉援助実習指導 B	2
			精神保健福祉援助実習指導 C	2
22	ソーシャルワーク実習		精神保健福祉援助実習	3

●精神保健福祉士国家試験受験資格　指定科目　学外実習

- 実習参加申込金及び実習先への謝礼金が必要です。
- 実習先には健康診断書を提出します。「学生定期健康診断」を受診してください。実習先に事前に提出する健康診断書には、現在治療中の疾患名等の健康情報を原則記載します。不都合等があれば事前に保健センターに相談してください。
- 実習先には腸内細菌検査結果の提出が必要です。

履修の実際については、精神保健福祉援助実習指導Ａ・Ｂ・Ｃで説明します。

●精神保健福祉士国家試験受験資格　証明書等

1. 精神保健福祉士国家試験受験用の証明書発行

受験には、試験を主催する社会福祉振興・試験センターが指定する以下の証明書（2種類）が必要です。いずれも大学で取りまとめて作成・送付します。

申込方法は、出願方法とともに、7セメスター時に説明します。

- 国家試験出願時
  卒業見込証明書・精神保健福祉士指定科目履修見込証明書
- 学位授与式終了時
  卒業証明書・精神保健福祉士指定科目履修証明書

また、精神保健福祉士国家試験に合格した場合は、社会福祉振興・試験センターから合格通知とともに精神保健福祉士証書の申請方法が送付されますので、それに従って個人で手続きをしてください。（大学への申請ではありません。）

※精神保健福祉士国家試験の制度が変更になった場合は、手続きの方法が変わる可能性があります。

2. 就職活動等に使用する証明書発行

7セメスター以降、証明書発行サービスで「資格取得見込証明書」を発行してください。

3. 卒業後の証明書発行

- 精神保健福祉士国家試験を受験する場合、受験用の証明書を発行できます。

学校図書館司書教諭
（文学部・社会学部・教育学部）

●学校図書館司書教諭とは

学校図書館司書教諭とは、小学校、中学校及び高等学校に設置された学校図書館の専門的職務を司る教諭のことです。（学校図書館法第５条）。これは免許制ではなく、司書教諭の資格を得た者が小学校、中学校、又は高等学校の教員となり、学校図書館の専門的職務にあたる場合、その学校の設置者（都道府県あるいは市町村の教育委員会）が発令を行います。

したがって、学校図書館司書教諭の講習の修了証書取得を希望する学生は、教育職員免許状取得（小一種・中一種・高一種）に必要な授業科目を修得した上で、さらに学校図書館司書教諭講習規程に定める司書教諭の講習に関する科目を必要単位数分、修得しなければなりません。なお、これらの科目も卒業に必要な単位には含まれませんので注意してください。

●司書教諭の講習に関する科目一覧

【文学部・社会学部・教育学部の教職課程履修者（小１種・中１種・高１種）】

種　別	本学設置授業科目名	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	１年	２年	３年	４年	
司書教諭の講習に関する科目	学校経営と学校図書館	2						○	
	学校図書館メディアの構成	2						○	
	学習指導と学校図書館	2						○	
	読書と豊かな人間性	2						○	
	情報メディアの活用	2						○	
資格取得に必要な修得単位数		合計 10 単位							

※「司書教諭の講習に関する科目」は卒業に必要な単位に含まない。

●学校図書館司書教諭講習修了書取得までの流れ

卒業年度５月初旬頃	大学より「学校図書館司書教諭申込書」を自宅へ送付。
	記載事項を確認し、署名・捺印後に期限内に大学へ返送。
↓	
卒業翌年度	「学校図書館司書教諭講習」を実施。 →　書類参加のため実際に参加する必要はありません。
↓	
卒業翌年度３月下旬	「学校図書館司書教諭講習修了書」が自宅に送付されます。

※学校図書館司書教諭講習修了書は在学中に申込をしますが、取得は卒業してから１年後となります。

社会福祉主事任用資格
（文学部・社会学部・教育学部・経営学部・看護学部）

●社会福祉主事任用資格とは

社会福祉主事とは、都道府県、市町村に設置される福祉事務所に置かれる職であり、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に定める援護、育成又は更生の措置に関する事務を行うことを職務とします。

社会福祉主事に任用される資格のことを、社会福祉主事任用資格と呼び、地方自治体に採用となり、福祉事務所に配属されてはじめて意味をなす「任用資格」です。

この資格は、必要科目を修得して卒業することが条件であるため、卒業後に不足の科目を科目等履修によって補うことはできません。

この資格を有する事を証明する必要がある場合は、「成績単位修得証明書」を使用してください。

●資格要件科目一覧

社会福祉主事任用資格は社会福祉法に定められており、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目（下記の科目を参照）のうち、3 科目以上を修得し、本学を卒業することで任用条件を満たす事ができます。

※詳細は下記にてご確認ください。

厚生労働省（社会福祉主事任用資格の取得方法）

省令科目	本学開講科目	単位数	科目種別	他学部・他学科履修
社会福祉概論	社会福祉概論	2	教養教育科目	
児童福祉論	児童福祉論	2		
老人福祉論	老人福祉論	2		
法学	法学入門	2		
心理学	心理学Ⅰ	4※1		
	心理学Ⅱ			
身体障害者福祉論	障害者福祉	2		
社会福祉調査論	社会調査法	2	社会学科 専門教育科目	不可
法学	法学（国際法を含む）	2		
経済学	経済学	2		
社会政策	社会政策論	2		
心理学	心理学概論	2		不可
社会学	社会学概論	2		不可
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策Ⅰ	4※1	人間福祉学科 専門教育科目	不可
	社会福祉の原理と政策Ⅱ			

省令科目	本学開講科目	単位数	科目種別	他学部・他学科履修
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	4※1	人間福祉学科 専門教育科目	不可
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ			
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	8※2		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	8※2	人間福祉学科 専門教育科目	不可
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ			
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎	2		
社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営	2		
社会福祉行政論	社会福祉法制論	2		
社会保障論	社会保障Ⅰ	4※1		
	社会保障Ⅱ			
公的扶助論	貧困に対する支援	2		
児童福祉論	児童・家庭福祉	2		
精神障害者保健福祉論	精神保健福祉の原理Ⅰ	4		
	精神保健福祉の原理Ⅱ			
老人福祉論	高齢者福祉	2		
医療社会事業論	医療福祉論	2		
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	4※1		
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			
経済学	経済学入門	2		
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2		
医学一般	医学概論	2		
リハビリテーション論	リハビリテーション論	2		
介護概論	介護福祉	2		
精神障害者保健福祉論	精神保健	2	教育学科専門教育科目 （学校教育コース）	不可
保育理論	保育方法論	2		
教育学	教育原論	2		
公衆衛生学	公衆衛生学（予防医学を含む）	2		
栄養学	栄養学（食品学を含む）	2		
保育理論	保育方法論	2	教育学科専門教育科目 （幼児教育保育コース）	不可
社会福祉概論	社会福祉	2		
児童福祉論	子ども家庭福祉	2		
行政法	行政法	2	経営学科専門教育科目	
経済学	経済学概論	2		
社会保障論	社会保障法	2		
民法	民法Ⅰ（総則）	10※3		
	民法Ⅱ（物権）			
	民法Ⅲ（債権総論・不法行為法等）			
	民法Ⅳ（契約法）			
	民法Ⅴ（家族法）			

※1のある科目はⅠ・Ⅱを修得して1科目となります。
※2の「ソーシャルワークの理論と方法」はⅠ～Ⅳ全ての科目を修得して1科目となります。
※3の「民法」はⅠ～Ⅴ全ての科目を修得して1科目となります。

日本語教員養成プログラム
（文学部）

●日本語教員養成プログラムとは

日本語教員養成プログラムは、日本語教員になるために必要な標準的教育内容が学べるように設定されています。各区分必要単位を修得して、合計 28 単位を取得すれば、日本語教員に必要な知識能力を修得したものとみなして、審議の上「四天王寺大学　日本語教員養成プログラム修了証明書」を発行します。将来、日本語教員をめざす学生は、所定の科目一覧で学修計画を立ててください。

●資格要件科目一覧

【文学部　全学科】

種　別	本学設置授業科目名	単位 / 履修区分			配当年次				備考
		必修	選択必修	選択（履修を推奨）	1 年	2 年	3 年	4 年	
日本学科 国際コミュニケーション学科 学科共通科目	日本語教育学概論Ⅰ	2			○				
	日本語教育学概論Ⅱ	2			○				
	日本語教育実習指導及び実習 A	2						○	
	日本語教育実習指導及び実習 B	2						○	
	地域における多文化共生Ⅰ	2	2				○		
	地域における多文化共生Ⅱ		2				○		
日本学科 専門教育科目	日本語学Ⅰ	2			○				
	日本語学Ⅱ	2			○				
	日本語教育論Ⅰ	2				○			
	日本語教育論Ⅱ	2				○			
	日本語教授法Ⅰ	2					○		
	日本語教授法Ⅱ	2					○		
	日本語文法Ⅰ（現代）	2				○			
	言語学概論	2				○			
	講読Ⅰ（日本語学）			2		○			
	異文化理解	2	2				○		
国際コミュニケーション学科 専門教育科目	異文化理解		2		○				
	国際コミュニケーション論		2			○			
必修科目の単位数合計		28 単位							

博物館学芸員（社会学部　社会学科）

●学芸員とは

社会学部社会学科では、博物館法に定める博物館学芸員資格の資格要件科目を履修し、その単位を取得することで学芸員の資格を得ることができます。

学芸員資格を持つ者は、博物館などに採用されて専門職員として資料の収集・保管・展示及び調査研究などを行う学芸員としての職務に従事することができます。

なお、下記の資格要件科目中の「博物館実習」に参加するためには、同表の資格要件科目に加え、博物館実習に参加するまでに、社会学科の歴史コースに設置している「日本語概説Ⅰ・Ⅱ」「日本史研究Ⅰ・Ⅱ」「歴史学特論（日本史）」「史料購読」及び日本学科の伝統文化・観光コースに設置している「日本文化史Ⅰ・Ⅱ」「仏教と日本文化」の９科目 18 単位を履修していることが望ましい。

また、「博物館実習」の履修については、時間割に定める授業日以外、さらには授業期間外に、学外での実習を行うことがあります。原則として、それらに欠席することは認められませんので、実施日程などに注意してください。

さらに、「博物館実習」の履修に関しては、以下の条件があります。

履修科目	履修条件
「博物館実習 A」	「博物館概論」・「博物館展示論」・「博物館資料論」の３科目を履修し、その単位を修得していること。
「博物館実習 B」	「博物館実習 A」を履修し、その単位を修得していること。
「博物館実習 C」	「博物館実習 A」及び「博物館実習 B」を履修し、その単位を修得していること。

「博物館実習 B」の定員は 15 名とするため、当該科目に関しては履修登録者数を制限する場合がある。
制限人数を超えた場合は、「博物館展示論」「博物館資料論」「博物館教育論」の成績と GPA の点数の上位 30 位に履修許可を出すものとする。

なお、「博物館実習」で実施される施設見学に伴う交通費、入館料などの実費は受講者負担とし、さらに館園実習先で必要とされる実習費に関してもこれを受講者が負担するものとします。

●資格要件科目一覧

種　別	本学設置授業科目名	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
社会学科 専門教育科目	生涯学習概論	2			○				
	博物館概論	2			○				
	博物館経営論	2					○		
	博物館資料論	2				○			
	博物館資料保存論	2					○		
	博物館展示論	2				○			
	博物館教育論	2				○			
	博物館情報・メディア論	2					○		
	博物館実習 A	1					○		
	博物館実習 B	1						○	定員 30 名とする
	博物館実習 C	1						○	
資格取得に必要な修得単位数		合計 19 単位							

児童指導員任用資格
（文学部・社会学部・教育学部）

●児童指導員任用資格とは

児童養護施設や障害児施設などの児童福祉施設に配置されている「児童指導員」として採用する際に、基準として厚生労働省が定めた資格です。

この任用資格をもって、児童福祉施設に採用され児童指導に携わる職に配属されることで、「児童指導員」となることができます。

児童指導員の仕事は、児童福祉施設において、0 歳～ 18 歳までの児童の成長を援助するとともに、基本的な生活習慣や学習の指導、生活上のアドバイスなどを行います。児童福祉施設では直接子どもたちを援助する仕事に携わる職種の場合、この児童指導員任用資格か保育士資格のいずれかが必須となっているところがほとんどです。

この資格は、社会学部社会学科・人間福祉学科及び教育学部教育学科を卒業すれば、任用条件を満たす事ができます。また、文学部日本学科・国際コミュニケーション学科は、教育職員免許状を取得して卒業することで、任用条件を満たす事ができます。

この資格を有する事を証明する必要がある場合は、「卒業証明書」を利用してください。

社会調査士（社会学部　社会学科）

●社会調査士とは

「社会調査士」は、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」です。（一社）社会調査協会が認定を行います。

調査企画から報告書作成までの社会調査の全過程を学習することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘することができます。

●資格要件科目一覧

【社会学部　社会学科】

<table>
<tr><th rowspan="2">種　別</th><th rowspan="2">本学設置
授業科目名</th><th colspan="3">単位 / 履修区分</th><th colspan="4">配当年次</th><th rowspan="2">備　考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>4 年</th></tr>
<tr><td rowspan="8">社会学科
専門教育科目</td><td>社会調査法</td><td>2</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>標本調査法</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>基礎統計学</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>資料・データ分析</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>社会調査実習Ａ</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">原則として 1・2 年次配当の 4 科目修得者のみ履修可</td></tr>
<tr><td>社会調査実習Ｂ</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>社会統計学</td><td></td><td rowspan="2">2</td><td>2</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">社会統計学、質的調査法のいずれか 1 科目を修得すること</td></tr>
<tr><td>質的調査法</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">資格取得に必要な最低修得単位数</td><td colspan="3">合計 12 単位</td><td colspan="4"></td><td></td></tr>
</table>

認定心理士（社会学部　社会学科）

●認定心理士とは

認定心理士とは、「大学で心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」と（公社）日本心理学会が認定した人のことで、心理学を専攻した事が証明できます。正式名称は「日本心理学会認定心理士」です。

認定心理士という資格は認定資格であって免許ではないので、取得することによって特定の職業に就くことができるものではありません。しかし、心理学の基礎的知識と技術があると証明できることにより、認定心理士資格を活かした仕事に就ける可能性はあります。

本学においては、社会学部社会学科に在籍し、指定された科目を履修・単位修得した後、（公社）日本心理学会に申請を行い、学会の審査結果によりこの資格を取得することができます。なお、別途審査料・認定料が必要となります。

※詳細は、社会学科によるオリエンテーション時及び取得希望者ガイダンスで説明します。

●資格要件科目一覧

【社会学部　社会学科】

領域	本学設置授業科目名	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1 年	2 年	3 年	4 年	
a	入門心理学	2			○				
	心理学概論	2			○				
b	心理学実験法	2			○				
	心理測定法概論	2				○			
c	心理学基礎実験Ⅰ	2				○			「心理学実験法」修得者のみ履修可
	心理学基礎実験Ⅱ	2				○			「心理測定法概論」「心理学基礎実験Ⅰ」修得者のみ履修可
d	認知心理学		16	2		○			d ～ h 領域のうち最低 3 領域から各 4 単位以上計 16 単位以上必要
	学習心理学			2			○		
f	教育心理学（※）			2	○				
	発達心理学			2		○			
	幼児児童心理学			2			○		
g	人格心理学			2		○			
	臨床心理学			2		○			
	カウンセリング理論			2		○			
	カウンセリング方法論			2			○		「カウンセリング理論」修得者のみ履修可
	心理検査法演習			2			○		「心理学基礎実験Ⅱ」修得者のみ履修可
	職場メンタルヘルス			2			○		
	犯罪心理学			2		○			
h	社会心理学			2		○			
	産業組織心理学			2			○		
	コミュニティ心理学			2			○		
	対人関係の心理学			2			○		
i	犯罪捜査の心理学			2			○		
	演習Ⅰ（心理系）			2			○		
	演習Ⅱ（心理系）			2			○		
	演習Ⅲ（心理系）			2				○	
	演習Ⅳ（心理系）			2				○	
	卒業研究（心理系）			4				○	
資格修得に必要な最低修得単位数		合計 36 単位							

※教育心理学は教職に関する科目、その他科目は全て社会学科専門教育科目

身体障害者福祉司任用資格
（社会学部　人間福祉学科）

●身体障害者福祉司任用資格とは

身体障害者福祉司とは、都道府県の身体障害者更生施設や相談所及び市町村の福祉事務所に置かれ、身体障害者の相談援助や更生援助事務などの仕事をする専門職員のことです。具体的な仕事としては、身体障害者の福祉に関して福祉事務所員等に技術指導を行い、身体障害者の相談・調査・更生援護の要否や種類の判断、本人への指導等の業務です。

身体障害者福祉司になるためには、身体障害者福祉司任用資格が必要となります。この資格は、社会福祉士資格を取得することで得ることができます。又は、社会福祉主事任用資格の条件を満たし、社会福祉主事として身体障害者の更生援護その他その福祉に関する事業に 2 年以上従事した後にも資格が得られます。

この任用資格をもって、公務員試験に合格し、身体障害者更生施設や相談所・福祉事務所などに配属されることで「身体障害者福祉司」となることができます。

知的障害者福祉司任用資格
（社会学部　人間福祉学科）

●知的障害者福祉司任用資格とは

知的障害者福祉司とは、知的障害者更生相談所、福祉事務所などに置かれ、知的障害者の相談援助や知的障害者の福祉に関する事務などの仕事をする専門職員のことです。具体的な仕事としては、知的障害者に関する相談・指導のうち専門的な知識や技術を必要とするものを行ったり、福祉事務所員等に技術指導を行います。

知的障害者福祉司になるためには、知的障害者福祉司任用資格が必要となります。この資格は、社会福祉士資格を取得することで得ることができます。又は、社会福祉主事任用資格の条件を満たし、社会福祉主事として知的障害者の福祉に関する事業に 2 年以上従事した後にも資格が得られます。

この任用資格をもって、公務員試験に合格し、知的障害者更生相談所や福祉事務所などに配属されることで「知的障害者福祉司」となることができます。

公認初級パラスポーツ指導員
（社会学部　人間福祉学科）

●公認初級パラスポーツ指導員とは

公認初級パラスポーツ指導員とは、障がいのある人が積極的にスポーツを楽しんだり、体を鍛えたり、より充実した生活を送れるようにサポートするために、障がいに応じた適切な指導を行う専門家です。

公認初級パラスポーツ指導員の役割は、3つあげられます。

1. 初めてスポーツに参加する障がい者にスポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する。
2. 障がいの基本内容を理解し、健康や安全管理を重視した指導をする。
3. 地域の障がい者スポーツの振興を支える。

本学においては、人間福祉学科に在籍し、指定された科目を履修した後、（公財）日本パラスポーツ協会に申請（申請費含む）を行うことによりこの資格を取得することができます（卒業後は申請できません）。

なお、資格の有効期間は毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間となり、資格の更新を希望する場合、年間登録料が必要となります。

●資格要件科目一覧

【社会学部　人間福祉学科】

種　別	本学設置授業科目名	単位 / 履修区分			配当年次				備　考
		必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
人間福祉学科専門教育科目	障害者スポーツ研究	2			○				
	障害者支援と福祉	2				○			
	スポーツマネジメント	2				○			
資格取得に必要な最低修得単位数		合計6単位							

児童福祉司任用資格
（社会学部　人間福祉学科）

●児童福祉司任用資格とは

児童福祉司とは、都道府県等に設置されている児童相談所に置かれる職員のことです。具体的な仕事としては、児童の保護や福祉に関する事項についての相談に応じ、必要な調査などを行い、専門的技術に基づいて児童・保護者等の援助・指導を行います。

児童福祉司になるためには、児童福祉司任用資格が必要となります。この資格は、社会福祉士資格を取得することで得ることができます。又は、社会福祉主事任用資格の条件を満たし、社会福祉主事として2年以上児童福祉事業に従事した後にも資格が得られます。

この任用資格をもって、公務員試験に合格し、児童相談所に配属されることで「児童福祉司」となることができます。

看護師国家試験受験資格
（看護学部　看護学科）

●看護師免許について

看護師の免許は、保健師助産師看護師法第 18 条に基づいて行われる看護師国家試験に合格したものに対して、申請により厚生労働大臣より交付されます。

●看護師国家試験受験資格

看護師国家試験受験資格は、学科で定める卒業要件に必要な科目を修得することで取得できます。

●看護師国家試験受験資格取得に必要な科目一覧

教養教育科目	24 単位（卒業に必要な最低修得単位数と同じ）
専門教育科目	102 単位（卒業に必要な最低修得単位数と同じ）
合　計	126 単位（卒業に必要な最低修得単位数と同じ）

保健師国家試験受験資格
（看護学部　看護学科）

●保健師免許について

保健師の免許は、保健師助産師看護師法第 18 条に基づいて行われる看護師国家試験に合格し、さらに保健師国家試験に合格したものに対して、申請により厚生労働大臣より交付されます。

●保健師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格は、学科で定める卒業要件に必要な科目を修得し、さらに「保健師コース」の科目を全て修得することで取得できます。

●保健師課程を履修できる定員は 15 人以内とし、2 年次冬学期の成績評価終了後に選抜を行います。

保健師国家試験受験資格を希望する学生は、2 年次夏学期開始前のオリエンテーションに参加してください。学内選抜試験、履修方法等の詳細を案内します。

●保健師国家試験受験資格　取得要件科目一覧

卒業要件に加えて、下表の 11 科目 24 単位を含んで 144 単位以上を修得する必要があります。

区　分	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
看護学部　専門教育科目	疫学	3～4	2	
	保健統計学	3～4	2	
	保健行政論	1～2	2	
	産業保健論	3～4	2	
	学校保健論	3～4	2	
	地域生活支援論Ⅱ	5～6	2	
	地域生活支援技術論	5～6	2	
	地域生活支援技術演習Ⅰ	5～6	1	
	地域生活支援技術演習Ⅱ	7～8	2	
	健康教育論	3～4	2	
	地域生活支援実習	7～8	5	

※保健師免許を取得したうえで、「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ」又は「情報処理演習Ⅱ」を修得している者は、申請により養護教諭二種免許状を取得できる。

※保健師免許を取得した者は、労働基準監督署又は都道府県労働局で申請を行なうことで、第一種衛生管理者の国家資格を取得できる。

助産師国家試験受験資格
（看護学部　看護学科）

●助産師免許について

助産師の免許は、保健師助産師看護師法第 18 条に基づいて行われる看護師国家試験に合格し、さらに助産師国家試験に合格したものに対して、申請により厚生労働大臣より交付されます。助産師免許は、保健師助産師看護師法第 3 条により、女子のみ取得できます。

●助産師国家試験受験資格

助産師国家試験受験資格は、学科で定める卒業要件に必要な科目を修得し、さらに「助産師コース」の科目を全て修得することで取得できます。

●助産師課程を履修できる定員は 5 人以内とし、3 年次夏学期の成績評価終了後に選抜を行います。

助産師国家試験受験資格を希望する学生は、3 年次夏学期開始前のオリエンテーションに参加してください。学内選抜試験、履修方法等の詳細を案内します。

●助産師国家試験受験資格　取得要件科目一覧

卒業要件に加えて、下表の 10 科目 27 単位を含んで 153 単位以上を修得する必要があります。

区　分	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
看護学部　専門教育科目	助産学概論	5～6	2	
	周産期医学	5～6	2	
	助産診断・技術学Ⅰ	5～6	3	
	助産診断・技術学Ⅱ	7～8	2	
	助産診断・技術学Ⅲ	7～8	3	
	助産技術学演習Ⅰ	5～6	1	
	助産技術学演習Ⅱ	7～8	1	
	地域母子保健	7～8	1	
	助産管理論	7～8	1	
	助産実習	7～8	11	

地域共創プログラム
（文学部・社会学部・経営学部）

●地域共創プログラムとは

近年「地域共創」が求められています。「共創」とは、多様性をもとに共に新たな価値を創造することで、いわば「和」の実践です。

地域共創プログラムは、社会・文化・産業・観光など地域の活性化につながる多様な科目を、学部学科の専門の枠を超えて一つにまとめ、地域の多面的な課題解決のために新たな学びの形を提供するものです。所定の要件を満たして合計 24 単位以上を取得すれば、地域共創に関する一定の知識と経験を修めたものとして、審議の上、本学独自の「地域共創プログラム修了証明書」あるいは「地域共創プログラム（観光フィールド）修了証明書」を発行します。さらに在学中に「旅行業務取扱管理者」の（国内）か（総合）のいずれかの資格を取得した場合は、上記のプログラム修了証明書に加えて「観光学エキスパート」の称号を授与します。

地域の活性化に関心のある学生は、学修の手引きとして、進路を考える手立てとして、科目一覧にもとづいて学修計画を立て、このプログラムの取り組みを将来の就業に役立ててください。

●資格要件科目一覧

科目	種別	本学設置授業科目名	単位／履修区分			配当年次				備考
			必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
地域共創科目群	教養教育科目	地域活性化概論	2			○				経営学科の学生は経営学科専門教育科目「地域活性化総論」2単位を修得すること
		地域活性化実践演習Ⅰ		2	2		○			経営学科の学生は経営学科専門教育科目「地域活性化演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」から2単位を修得すること
		地域活性化実践演習Ⅱ			2		○			
		地域活性化実践演習Ⅲ			2			○		
		地域歴史文化演習			2		○			
	経営学科専門教育科目	マーケティング			2	○				
		マーケティングリサーチ			2	○				
		SDGs 概論			2		○			
		起業研究			2		○			
		起業実践			2			○		
		フードビジネス論			2			○		
		中小企業経営論			2			○		
		国際ビジネス論			2			○		
	日本学科・国際コミュニケーション学科学科共通科目	地域・文化発信演習			2		○			
	日本学科専門教育科目	日本学インターンシップ演習			2		○			
		郷土と食の実践			2		○			
		郷土と食発信演習			2			○		
	国際コミュニケーション学科専門教育科目	世界遺産と観光			2	○				
		国際コミュニケーション論			2		○			
		異文化共生論			2		○			
	社会学科専門教育科目	まちづくり論			2		○			
		環境問題論			2		○			
		国際経済論			2		○			
		フィールドワーク入門			2	○				
		フィールドワーク演習			2		○			
	人間福祉学科専門教育科目	ボランティア論			2	○				
		児童・家庭支援と福祉			2		○			
		ターミナルケア論			2			○		
		「いのち」の権利論（生命倫理と遺伝）			2			○		
		高齢者支援と福祉			2		○			
		社会と人間			2	○				

科目		種別	本学設置授業科目名	単位／履修区分			配当年次				備考
				必修	選択必修	選択	1年	2年	3年	4年	
地域共創科目群	観光フィールド科目群	日本学科・国際コミュニケーション学科 学科共通科目	地域観光演習Ⅰ			2			○		＊A 地域共創プログラム(観光フィールド)修了には必修科目となる ＊B 地域共創プログラム修了では選択科目となる
			地域観光演習Ⅱ			2			○		
		日本学科 専門教育科目	観光学概論	2 (＊A)		2 (＊B)	○				
			観光社会学			2		○			
			旅行産業基礎			2	○				
			観光データ分析			2		○			
			国内旅行実務Ⅰ			2		○			
			国内旅行実務Ⅱ			2		○			
			日本の世界遺産			2			○		
		経営学科 専門教育科目	ホスピタリティマネジメント			2	○				
			ホテルマネジメント論			2			○		
			観光ビジネス論			2			○		
			旅行ビジネス論			2			○		
		国際コミュニケーション学科 専門教育科目	ホスピタリティ概論			2	○				
			ホスピタリティツーリズム論			2		○			
			英米文化論			2		○			
			米国史			2			○		
			英国史			2			○		
			現代中国事情			2	○				
			地域と国際観光			2		○			
			観光英語			2			○		
			観光英語実践演習（実地演習）			2			○		
		社会学科 専門教育科目	コンテンツ産業論			2			○		
			人文地理学			2			○		
			地域史研究			2			○		
			日本史概説Ⅰ			2	○				
			日本史概説Ⅱ			2	○				
地域共創プログラム修了に必要な最低修得単位数				合計 24 単位							
地域共創プログラム（観光フィールド）修了に必要な最低修得単位数				合計 24 単位			(観光フィールド科目 18 単位を含むこと)				

※1　教養教育科目の必修科目 2 単位及び選択必修科目 2 単位を修得するとともに、地域共創科目群において 20 単位、合計 24 単位以上を修得した場合には、卒業時に「四天王寺大学　地域共創プログラム修了証明書」を発行する。

※2　上記の要件「地域共創科目群において 20 単位」のうち、「観光フィールド科目群」から 18 単位（必ず「観光学概論」を含むこと）を修得した場合、「四天王寺大学　地域共創プログラム（観光フィールド）修了証明書」を発行する。

※3　「四天王寺大学　地域共創プログラム（観光フィールド）修了証明書」取得条件を満たし、かつ在学中に総合旅行業務取扱管理者資格又は国内旅行業務取扱管理者資格を取得した者には、修了証明書とともに「観光学エキスパート」の称号を授与する。

※4　各学部学科専門科目の時間割は所属学生を第一に編成され、他学部他学科の学生の履修を保証するものではないため、所属学部学科の科目を中心に柔軟な履修計画を立てること。

※5　「地域共創科目群」には「他学部・他学科履修不可」科目を含む場合がある。『履修要覧』の学部学科専門科目編成表を確認すること。

※6　上記の修了証明書・称号を取得するには、指定の申請期間において教務課で手続きすること。

諸規程

四天王寺大学履修規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/91_daigakurisyukitei.pdf

四天王寺大学学位規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/36_daigakugakui.pdf

四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 GPA 制度に関する規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/35_gpaseido.pdf

四天王寺大学・四天王寺大学留学に関する規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/39_ryugaku.pdf

四天王寺大学・四天王寺大学海外語学研修に関する規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/40_kaigaigogakukenshu.pdf

四天王寺大学・四天王寺大学海外実地研修に関する規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/41_kaigaijicchikenshu.pdf

四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部資格チャレンジ奨励金規程
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/44_shikakushorei.pdf

四天王寺大学教育学部教育学科保育士養成課程履修細則
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/49_hoikushiyosei.pdf

四天王寺大学社会福祉士国家試験受験資格取得に関する履修細則
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/50_shakaifukushi.pdf

四天王寺大学精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する履修細則
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/51_seishinhokenfukushi.pdf

四天王寺大学日本語教員養成プログラムに関する細則
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/47_nihongokyoin.pdf

四天王寺大学地域共創プログラムに関する細則
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/48_chiikikyosei.pdf

文学部要項
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/84_bungakuyoukou.pdf

社会学部要項
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/85_syakaiyoukou.pdf

教育学部要項
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/86_kyouikuyoukou.pdf

経営学部要項
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/87_keieiyoukou.pdf

看護学部要項
https://unipa.shitennoji.ac.jp/rx-manual/gakusei/kitei/88_kangoyoukou.pdf

令和８年度　履修要覧

発行　四天王寺大学
編集　教務センター
住所　〒583-8501　大阪府羽曳野市学園前３丁目２－１
Tel　072-956-3181（代）

SHITENNOJI UNIVERSITY